

地域リハビリテーション推進のための
関係機関調査結果

令和4年3月

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

目次

1	地域リハビリテーション推進のための関係機関調査の概要	… 1
2	市町村	… 5
3	地域包括支援センター	… 20
4	病院	… 36
5	診療所	… 60
6	介護老人保健施設	… 79
7	介護支援専門員	… 95
8	訪問看護事業所	…106
9	指定特定相談支援事業者、指定一般相談支援事業者及び 指定障害児相談支援事業者	…121
10	中核地域生活支援センター	…137
11	障害者支援施設	…148
12	福祉型障害児入所施設	…161
13	医療型障害児入所施設	…174
	別紙 市町村リハビリ関連職の所属と配置状況	…187
	調査票	…191

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査の概要

1 調査の目的

この調査は、今後の地域リハビリテーション支援体制の方向性を検討するにあたり、現状と課題を把握し、整理することを目的とする。

2 調査の名称

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査

3 調査の項目

別添調査票のとおり

4 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲 千葉県全域

(2) 属性的範囲 (個人、事業所、企業・法人・団体、地方公共団体)

予防的リハビリテーション、急性期リハビリテーション、回復期リハビリテーション、維持期・生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくために、連携する関係機関(別表のとおり)

(3) 報告者の選定方法(全数、有意抽出)

- ① 県内市町村の全てを選定する。
- ② 県内地域包括支援センターの全てを選定する。
- ③ 関東信越厚生局が公表している保険医療機関の一覧表から、一般病棟又は療養病棟(回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟及び回復期機能病床有を含む)を有する病院を全て選定する。
- ④ 関東信越厚生局が公表している保険医療機関の一覧表から、リハビリテーション科を標榜している診療所を全て選定する。
- ⑤ 県が保有する施設・事業所一覧表から、介護老人保健施設を全て選定する。
- ⑥ 県が保有する居宅介護支援事業所一覧表に記載がある事業所から二次保健医療圏ごとに12又は11事業所を選定し、各事業所に所属する2人の介護支援専門員を選定する。
- ⑦ 県が保有する施設・事業所一覧表から、訪問看護事業所を全て選定する。
- ⑧ 県内指定特定相談支援事業者、指定一般相談支援事業者及び指定障害児相談支援事

業者の全てを選定する。

- ⑨ 県内中核地域生活支援センターの全てを選定する。
- ⑩ 県が保有する施設・事業所一覧表から、障害者支援施設を全て選定する。
- ⑪ 県が保有する施設・事業所一覧表から、福祉型障害児入所施設を全て選定する。
- ⑫ 県が保有する施設・事業所一覧表から、医療型障害児入所施設を全て選定する。

5 調査時期

(1) 基準となる期日

令和3年4月1日 時点

(2) 期間

別表のとおり

6 調査方法

(1) 調査系統 千葉県一報告者

(2) 調査方法

郵送調査、オンライン調査

(調査方法の概要)

対象機関に対して郵送及びE-mailで調査依頼し、回答は千葉県健康づくり支援課地域リハビリ班へ送付依頼する。

7 調査の周期

不定期

8 回収結果

別表のとおり

別表

	調査対象	対象数	回答数	回答率	期間	備考
1	県内市町村	54	54	100%	R3 9-10月	
2	地域包括支援センター	223	121	54%	R3 9-10月	
3	病院	238	77	32%	R3 8-9月	
4	診療所	419	181	43%	R3 8-9月	
5	介護老人保健施設	161	33	20%	R3 10-11月	
6	介護支援専門員	200	74	37%	R3 11-12月	
7	訪問看護事業所	480	45	9%	R3 11-12月	新規
8	指定特定相談支援事業者、 指定一般相談支援事業者及び 指定障害児相談支援事業者	397	132	33%	R3 9-10月	新規
9	中核地域生活支援センター	13	2	15%	R3 10-11月	新規
10	障害者支援施設	86	4	5%	R3 10-11月	新規
11	福祉型障害児入所施設	12	4	33%	R3 10-11月	新規
12	医療型障害児入所施設	4	2	50%	R3 10-11月	新規

【報告書の見方】

- (1) 比率はすべて百分比で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。
- (3) 1機関が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。

【過去に実施した調査結果との比較】

- (1) 平成19年10月に以下の対象機関に対し、調査を実施した。
 - ・市町村
 - ・病院(リハ科標榜のみ)
 - ・診療所(リハ科標榜のみ)
 - ・老人保健施設
 - ・訪問看護ステーション
 - ・特別養護老人ホーム
- (2) 令和3年度調査の検討は、平成26、27年度に以下の調査対象機関に対し実施した調査をもとに行っている。

- ・市町村
- ・地域包括支援センター
- ・病院(回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟保有)
- ・診療所(リハビリテーション科標榜)
- ・介護老人保健施設
- ・広域支援センター
- ・介護支援専門員

(3) 上記(1)(2)を前提に、令和3年度調査との比較については、下表のとおりとする。

なお、比較する項目については、平成19年度調査項目のうち、「広域支援センターとの関係」のみとし、また、平成26、27年度調査項目については、比較が可能なもののみとする。

	調査対象	調査実施有無			比較の構成		
		H19	H26(27)	R3	H19	H26(27)	R3
1	県内市町村	○	○	○	○	○	○
2	地域包括支援センター		○	○		○	○
3	病院	○	○	○	※1	○	○
4	診療所(リハ科標榜)	○	○	○	○	○	○
5	介護老人保健施設	○	○	○	○	○	○
6	介護支援専門員		○	○		○	○
7	訪問看護事業所	○		○	※2		
8	特別養護老人ホーム	○					
9	指定特定相談支援事業者、 指定一般相談支援事業者及び 指定障害児相談支援事業者			○			
10	中核地域生活支援センター			○			
11	障害者支援施設			○			
12	福祉型障害児入所施設			○			
13	医療型障害児入所施設			○			

※1 平成19年度の調査はリハ科標榜の病院のみを調査対象としていることから、比較しない

※2 訪問看護事業所について、平成27年度の調査を実施していないことから、比較しない

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査(市町村)

対象数 54市町村 回答数54市町村
回答率100%

問1 各事業を所掌する課

所掌事業	担当課
健康増進	別紙のとおり ※R3.4.1現在
高齢者の健康増進	
介護予防	
地域包括ケアの推進	
認知症施策の推進	
障害者・児の支援	
精神保健福祉	
高次脳機能障害	
母子保健	
口腔・摂食、嚥下に係る取組	

問2 リハビリ関連職の配置状況について

医療圏	圏域別市町村数	リハビリ関連職が配置されている市町村数															その他職種等			
		R3			H26			R3			H26			R3				H26		
		PT	成人	小児	PT	成人	小児	OT	成人	小児	OT	成人	小児	ST	成人	小児		ST	成人	小児
千葉	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	
東葛南部	6	6	4	6	6	2	6	5	4	5	5	1	5	4	0	4	4	0	4	
東葛北部	5	4	3	4	4	3	4	5	5	4	3	3	3	4	1	4	3	1	3	
印旛	9	7	5	4	6	5	4	4	1	4	2	0	2	7	1	7	5	0	5	
香取海匝	7	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
山武長生夷隅	17	2	2	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	
安房	4	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
君津	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市原	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	
計	54	23	18	17	19	13	16	16	12	13	11	5	11	19	2	19	14	2	14	

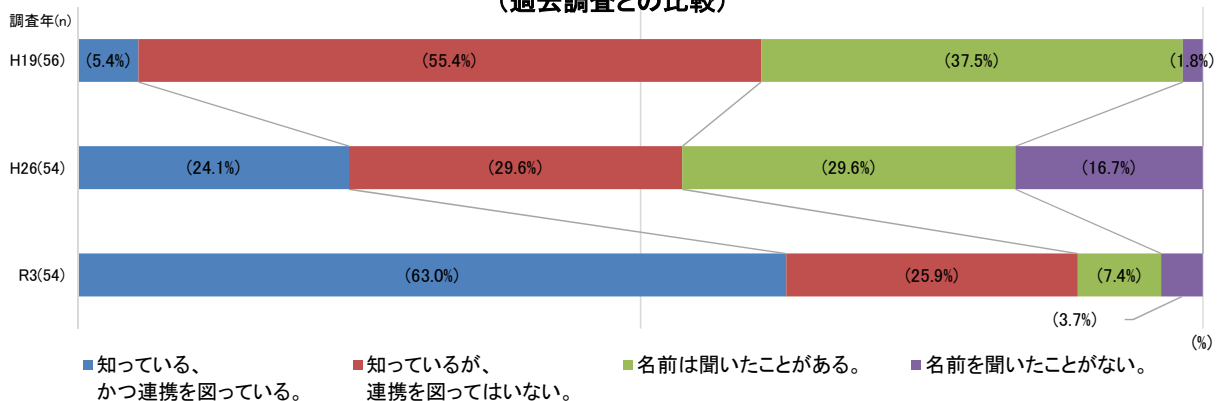
医療圏	圏域別市町村数	リハビリ関連職が配置されている市町村数															その他職種等			
		R3			H26			R3			H26			R3				H26		
		歯科	成人	小児	歯科	成人	小児	看護	成人	小児	看護	成人	小児	その他	成人	小児		その他	成人	小児
千葉	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東葛南部	6	5	5	5	5	3	2	4	3	4	3	1	3	4	4	3	3	2	3	
東葛北部	5	3	3	3	2	2	2	4	3	4	3	1	3	2	2	2	2	1	2	
印旛	9	8	7	8	6	5	5	2	1	2	3	2	2	1	1	1	2	2	2	
香取海匝	7	5	4	3	2	2	2	2	2	0	2	2	2	1	1	0	0	0	0	
山武長生夷隅	17	5	4	5	3	3	2	4	3	3	2	2	1	4	4	2	1	1	1	
安房	4	1	1	1	0	0	0	3	3	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	
君津	4	4	4	4	2	2	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	
市原	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
計	54	32	29	29	21	17	16	21	17	16	14	9	12	15	15	10	8	6	8	

※各市町村所掌課別のリハビリ関連職の配置状況については、別紙参照

7

問3 広域支援センターとの現在の関係

広域支援センターとの関係
(過去調査との比較)

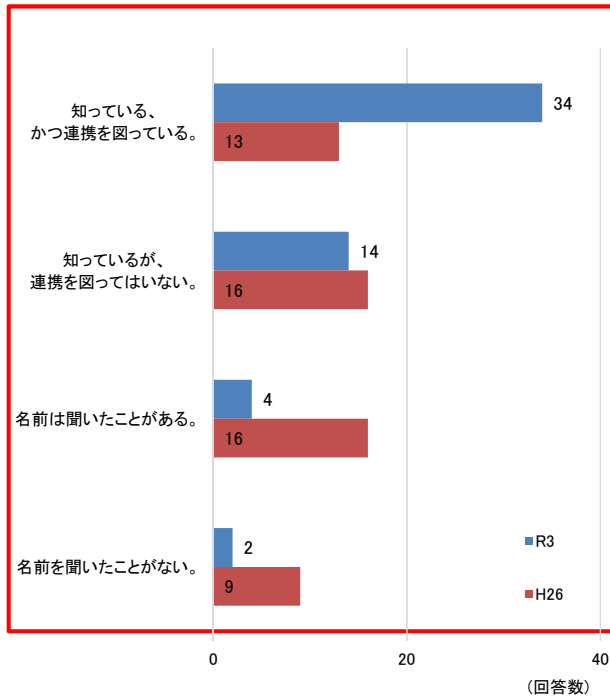


- 知っている、と回答したのは48市町村で前回比35.2%増(H26年は29市町村)
 - ↳ かつ、連携を図っているのは34市町村で前回比38.9%増(H26年は13市町村)
 - ↳ しかし、連携を図っていないのは14市町村で前回比3.7%減(H26年は16市町村)
- 名前は聞いたところがあると回答したのは4市町村で前回比22.2%減(H26年は16市町村)
- 名前を聞いたことがないと回答したのは2市町で前回比13.0%減(H26年は9市町村)

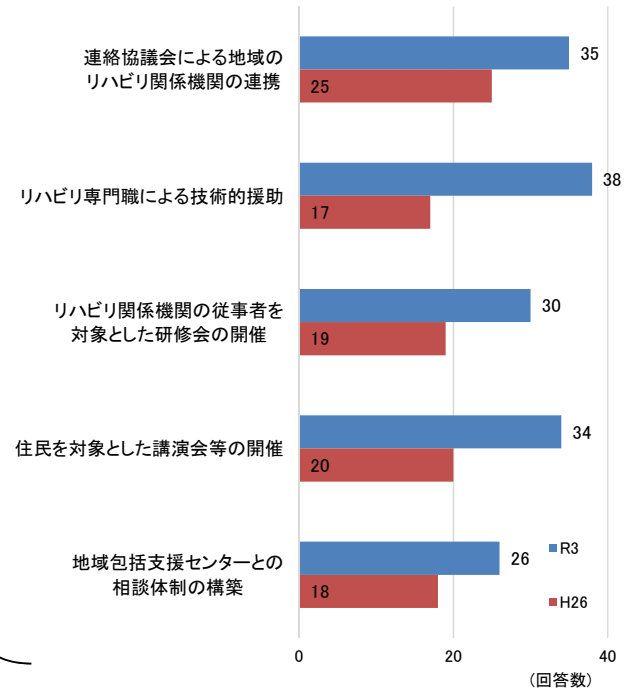
8

問3-1 広域支援センターで実施している事業の認知度

広域支援センターとの関係
(過去調査との比較)



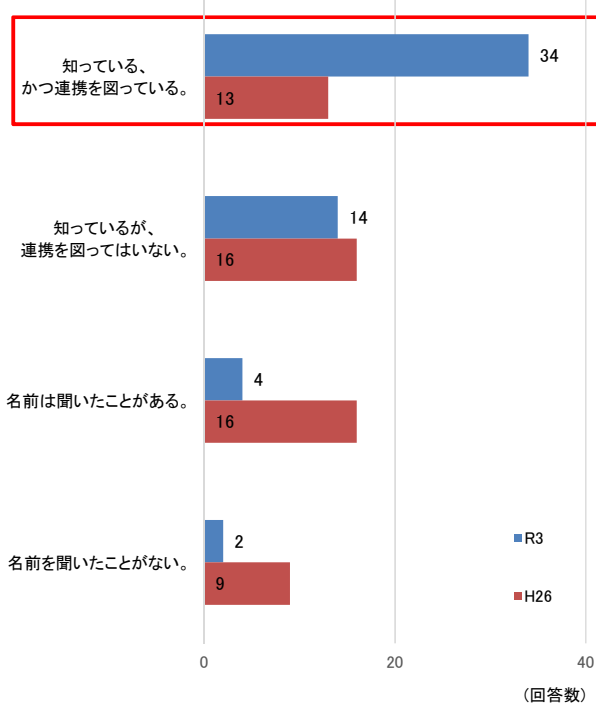
広域支援センター実施事業別認知度
(過去調査との比較、複数回答)



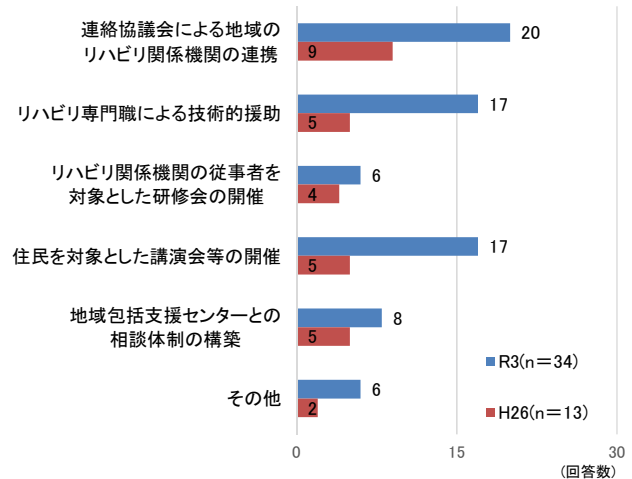
9

問3-2 広域支援センターと実際に連携したことがある事業内容

広域支援センターとの関係
(過去調査との比較)



実際に連携したことがある事業内容
(過去調査との比較、複数回答)

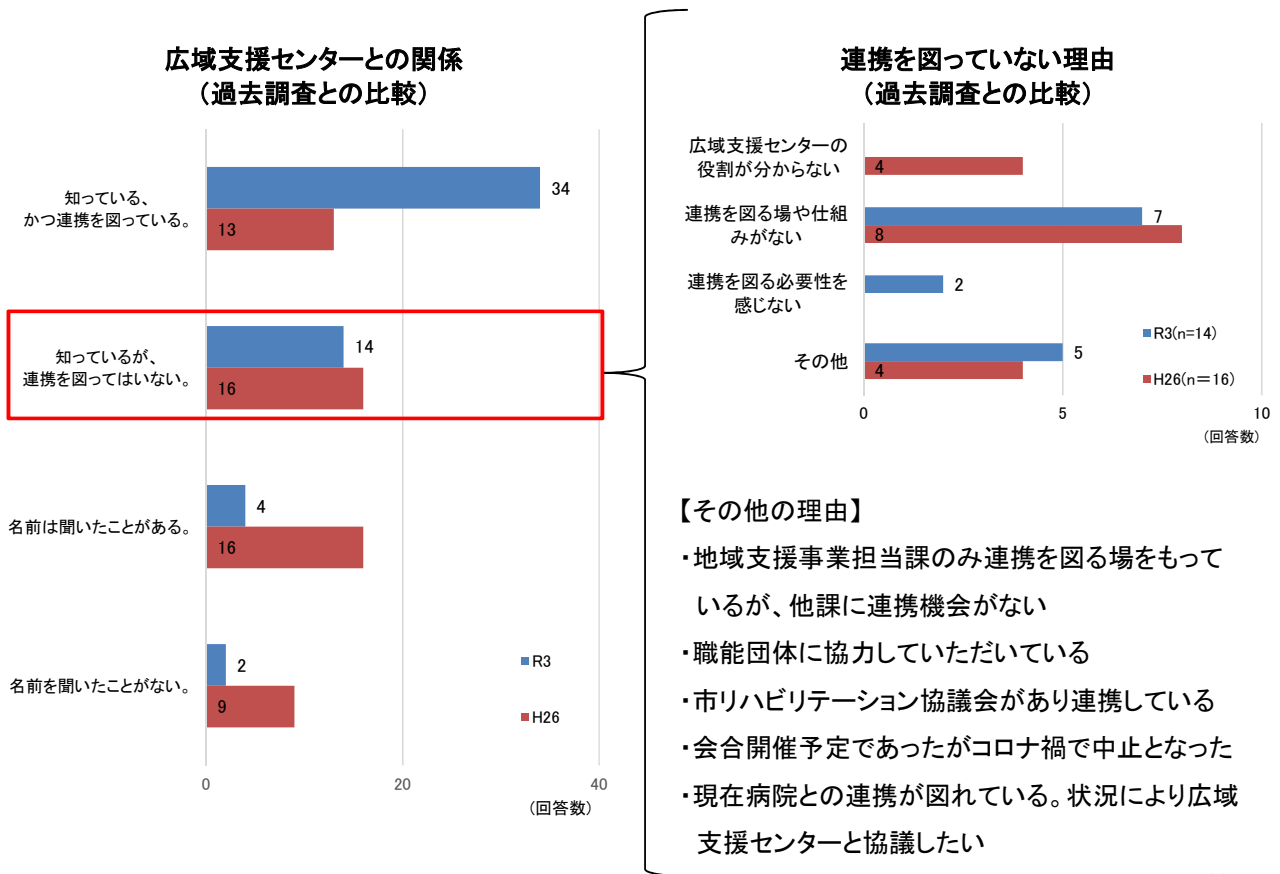


【その他の事業内容】

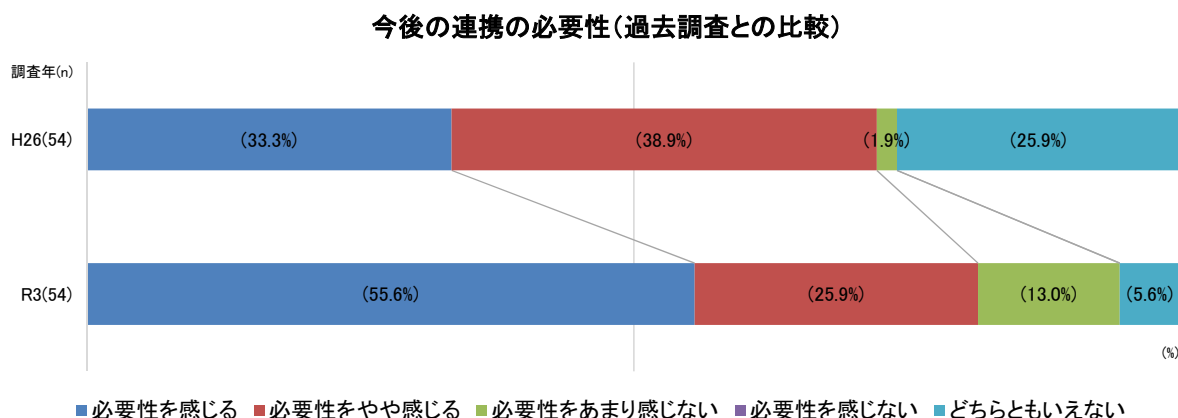
- ・多職種、市町村向け研修の開催
- ・子どもの療育発達相談に関与可能な言語聴覚士の紹介
- ・訪問指導
- ・地域ケア会議の参加
- ・行政担当課オンライン情報交換会等で連携

10

問3-3 広域支援センターと連携を図っていない理由

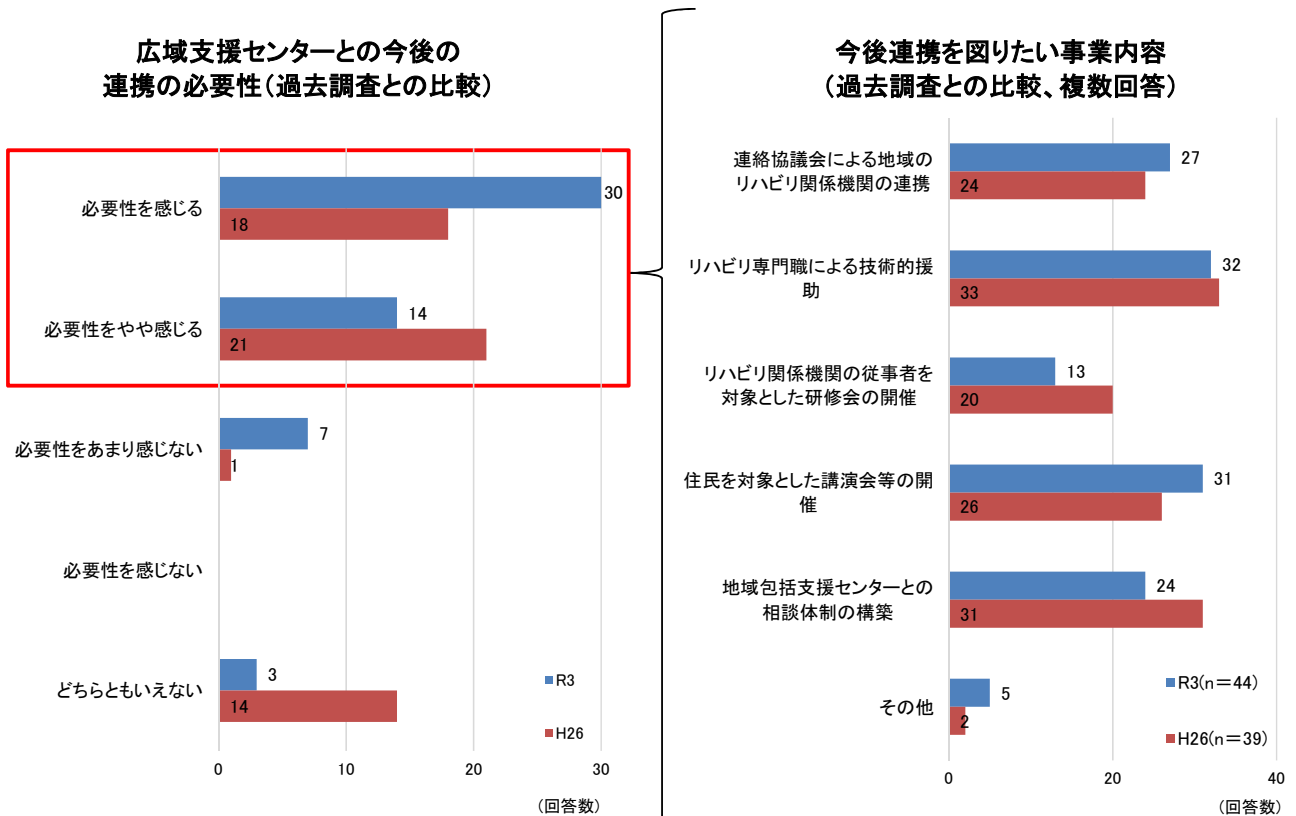


問4 広域支援センターとの今後の連携の必要性



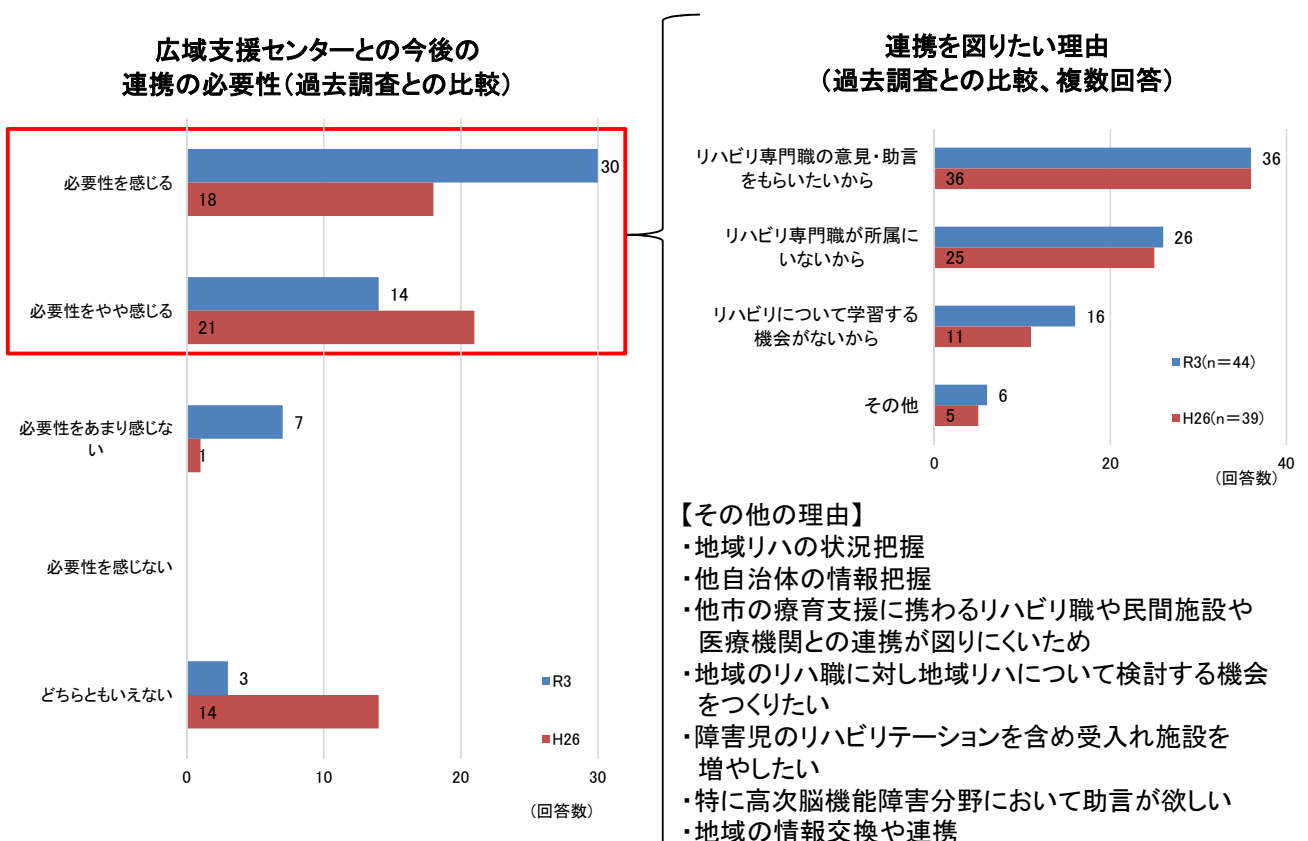
- ・ 今後の連携の必要性について
 - ↳ 「感じる」、「やや感じる」と回答したのは44市町村で前回比9.3%増(H26年は39市町村)
 - ↳ 「あまり感じない」と回答したのは7市町村で前回比11.1%増(H26年は1市町村)
 - ↳ 「どちらともいえない」と回答したのは3市町村で前回比20.3%減(H26年は14市町村)
- ・ (「感じない」の回答はR3年、H26年ともになし)

問4-1 広域支援センター業務のうち連携を図りたい事業内容



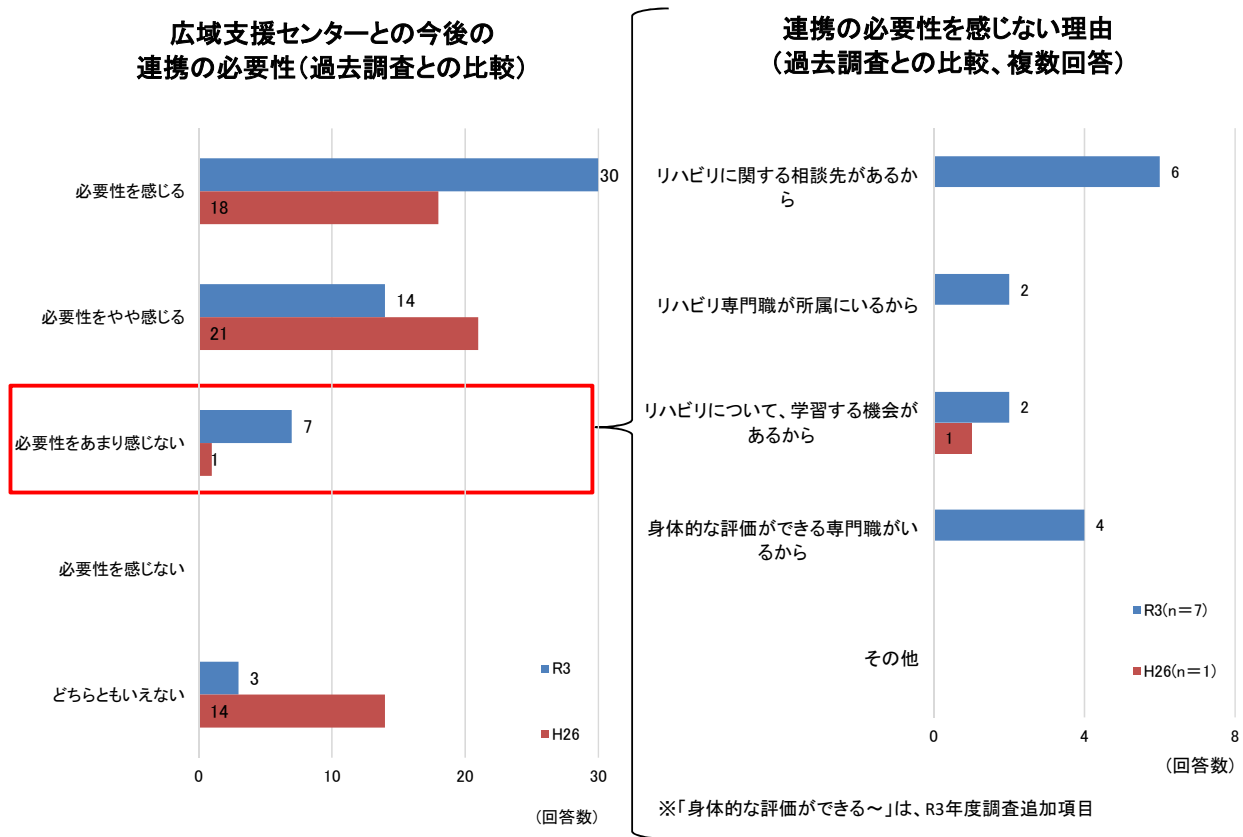
13

問4-2 広域支援センターと連携を図りたい理由



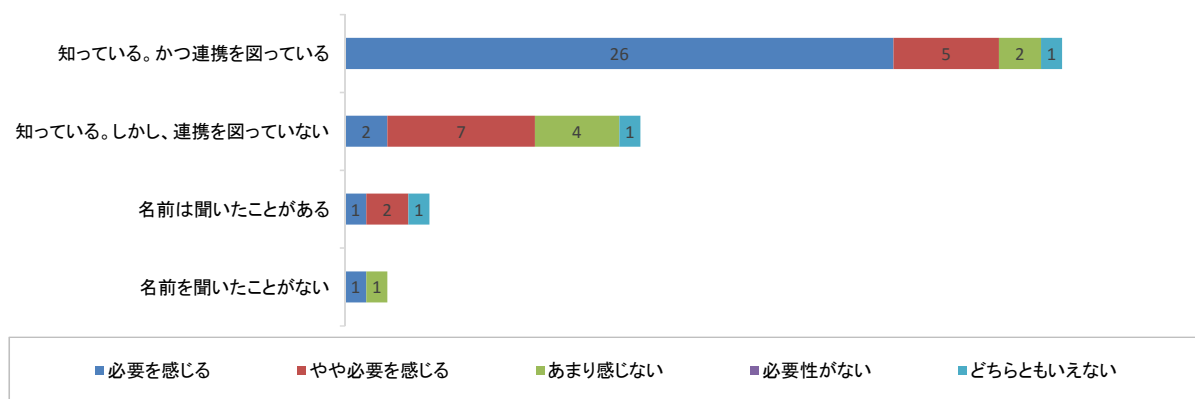
14

問4-3 広域支援センターと連携の必要性を感じない理由



15

広域支援センターとの「現在の関係(問3)」と「今後の連携の必要性(問4)」との関連

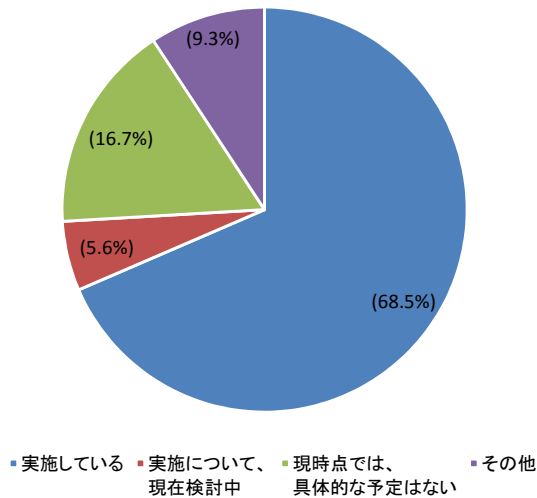


現在の関係 \ 今後の連携	① 必要を感じる	② やや必要を感じる	③ あまり感じない	④ 必要性がない	⑤ どちらともいえない	計
知っている。かつ連携を図っている	26	5	2	0	1	34
知っている。しかし、連携を図っていない	2	7	4	0	1	14
名前は聞いたことがある	1	2	0	0	1	4
名前を聞いたことがない	1	0	0	0	1	2
計	30	14	7	0	3	54

16

問5 地域リハビリテーション活動支援事業の実施状況

地域リハビリテーション活動支援事業
実施状況



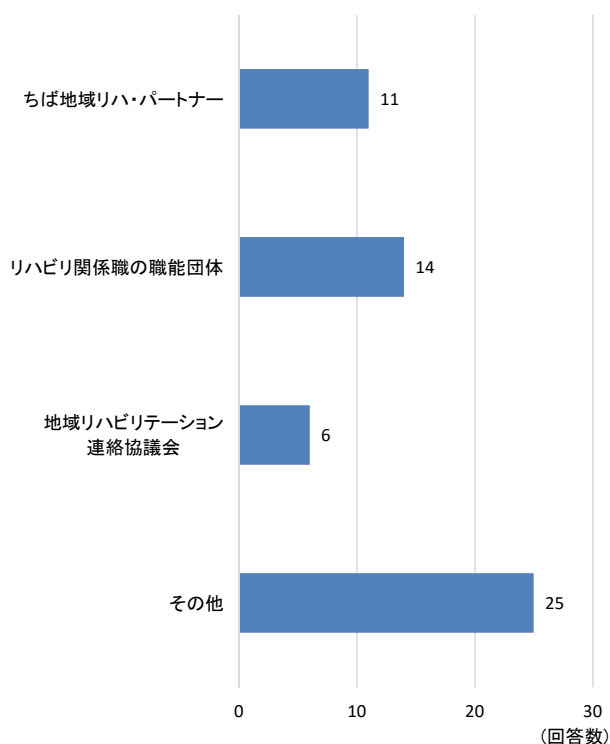
圏域別の実施状況(令和3年8月1日時点)

圏域	圏域別市町村数	実施している	実施検討中	具体的予定なし	その他
千葉	1	1	0	0	0
東葛南部	6	5	0	1	0
東葛北部	5	5	0	0	0
印旛	9	6	1	2	0
香取海匝	7	5	1	1	0
山武長生夷隅	17	10	1	3	3
安房	4	1	0	1	2
君津	4	4	0	0	0
市原	1	0	0	1	0
合計	54	37	3	9	5

17

問6 リハビリ関係団体との連携状況

リハビリ関連団体との連携状況(複数回答)



【その他の関連団体】

- ・千葉リハビリテーションセンター
- ・広域支援センター
- ・市内リハビリ専門職に依頼
- ・市内医療機関
- ・病院(リハビリテーション科)
- ・市のリハビリ職等派遣支援事業に登録している専門職
- ・市のリハビリテーション協会
- ・医療系大学
- ・事業所の理学療法士
- ・PT、OTの養成学校(専門学校)
- ・体づくり指導協会
- ・市のリハビリテーション専門職連絡会

18

本事業に対する意見・要望

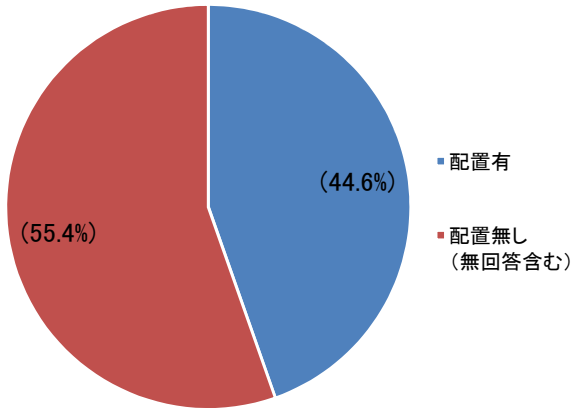
- ・ 広域支援センターの担当範囲はとて大きく、今後も継続した支援をいただけるか不安はある。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止のため、市民を対象とした講演会等が難しい状況が続いていたが、ワクチン接種の進捗、感染者数の推移を見ながら、講演会の開催を検討したいと考えており、以前のように協力をお願いしたい。
- ・ 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業のおかげで、住民主体の通いの場等へ、技術支援を始め介護予防への取組みが効果的にできています。また、介護予防のための人材育成やスキルアップについても技術だけでなく、地域リハビリテーションという観点からも指導いただけるのでありがたいです。ただ、圏域センターの代表が変わると、地域リハビリテーション支援体制整備推進事業への考え方や意向も変わることがあるので今まで通りの連携が継続しなくなってしまうこともあるので、県からもきちんと各代表等への説明や調整をお願いしたいです。
- ・ 予算的な問題もあると思うが、地域にリハ職がもっと連携して頂きたい。1人2人熱心なりハ職の方はいるが多くは病院組織にいて、中々地域に出てきてもらえない。住民のニーズはあるので宜しくご協力いただきたい。

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査(地域包括支援センター)

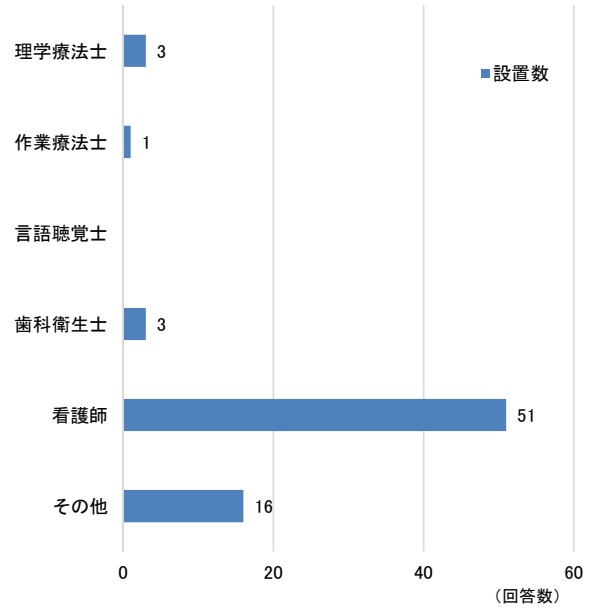
対象数 223包括 回答数121包括
回答率54%

問1 リハビリ関連職の配置状況

リハビリ関連職の配置有無
(n=121)

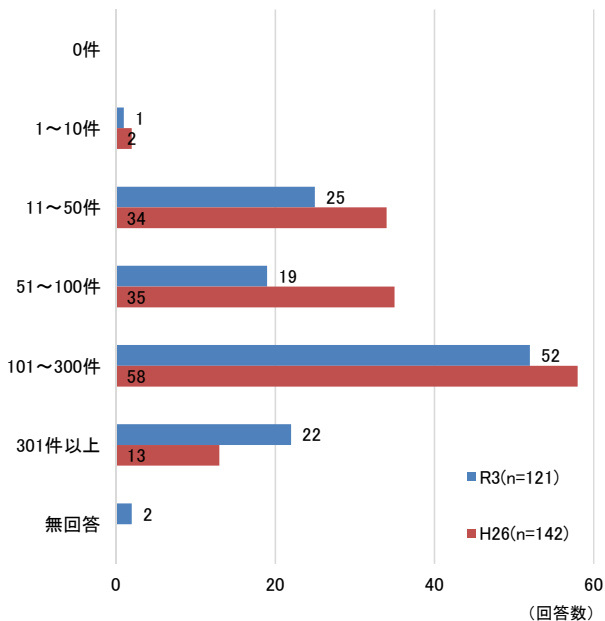


リハビリ関連職配置
地域包括支援センター数(n=121)

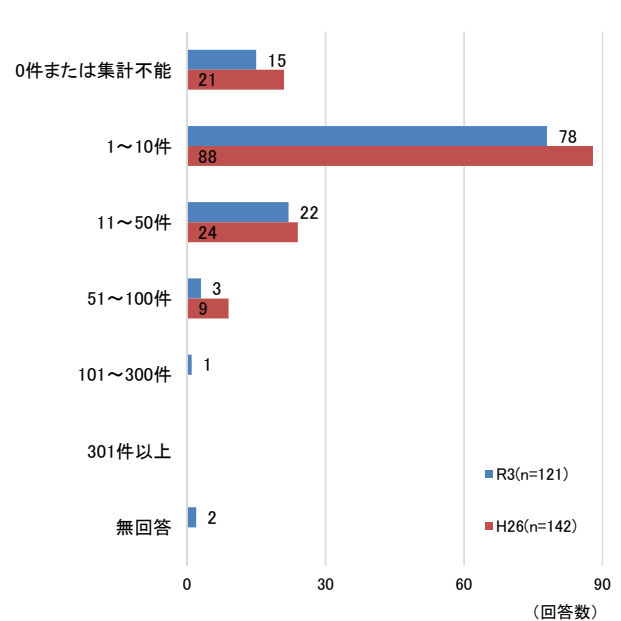


問2 平均相談件数

1か月の平均相談件数
(過去調査との比較)

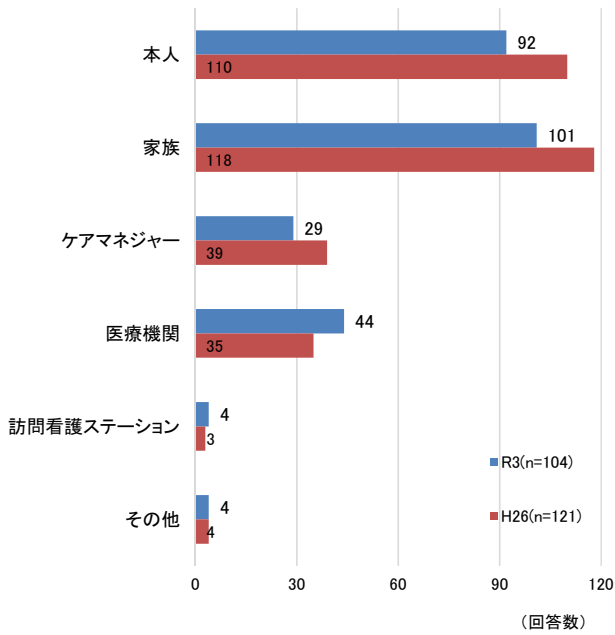


リハビリに関する相談件数
(過去調査との比較)

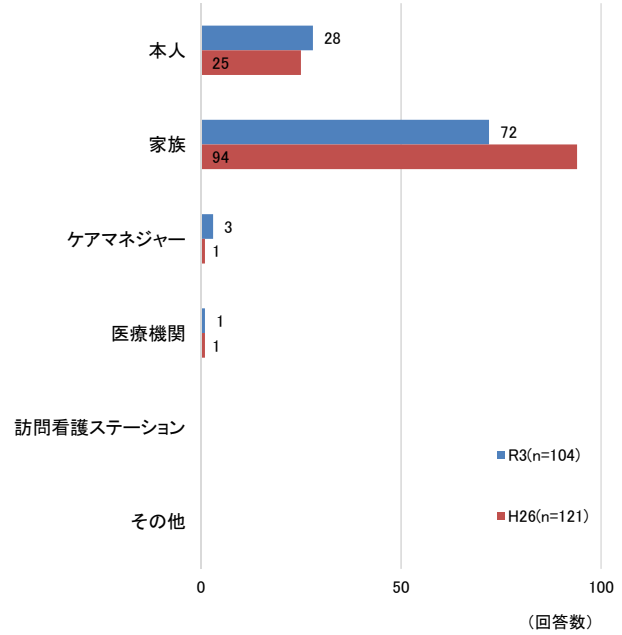


問2-1、2 リハビリに関する相談者

リハビリに関する相談者
(過去調査との比較、複数回答)



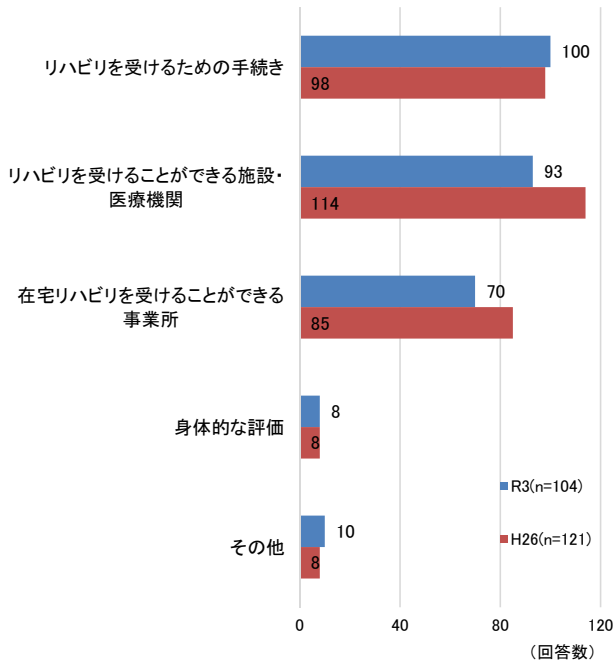
リハビリに関する相談が最も多い
相談者(過去調査との比較)



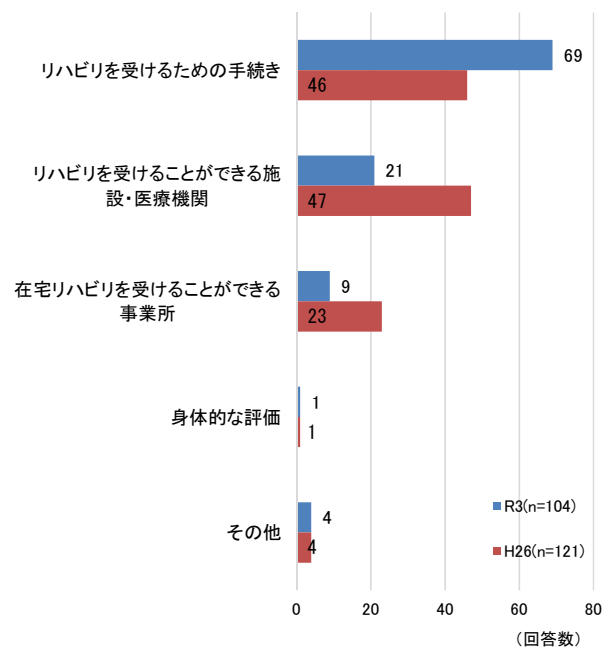
23

問2-3、4 リハビリに関する相談内容

リハビリに関する相談内容
(過去調査との比較、複数回答)



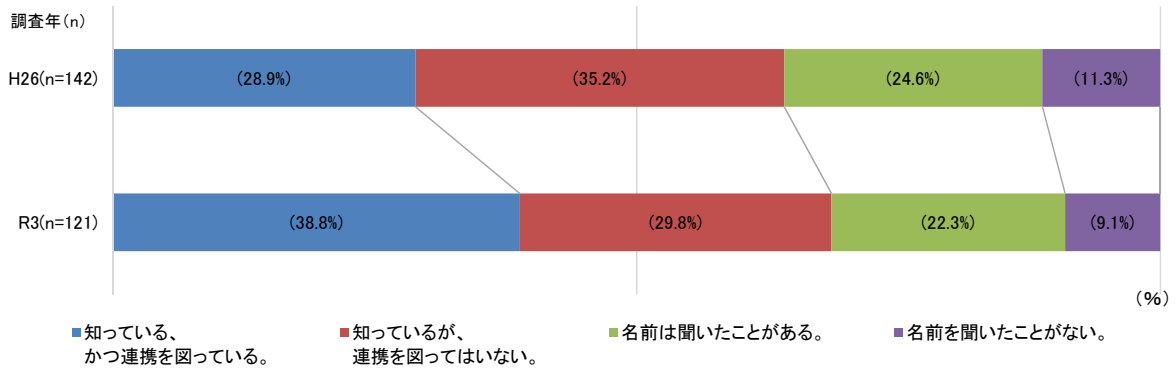
リハビリに関する相談で最も多い
相談内容(過去調査との比較)



24

問3 広域支援センターとの現在の関係

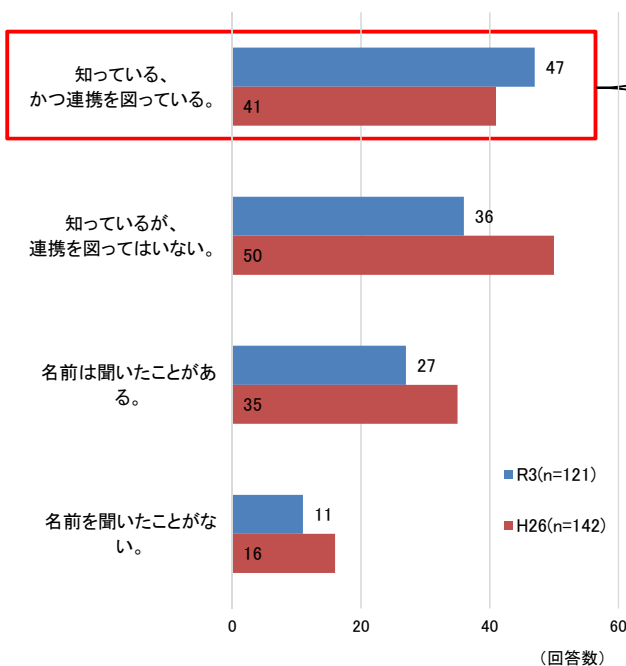
広域支援センターとの関係(過去調査との比較)



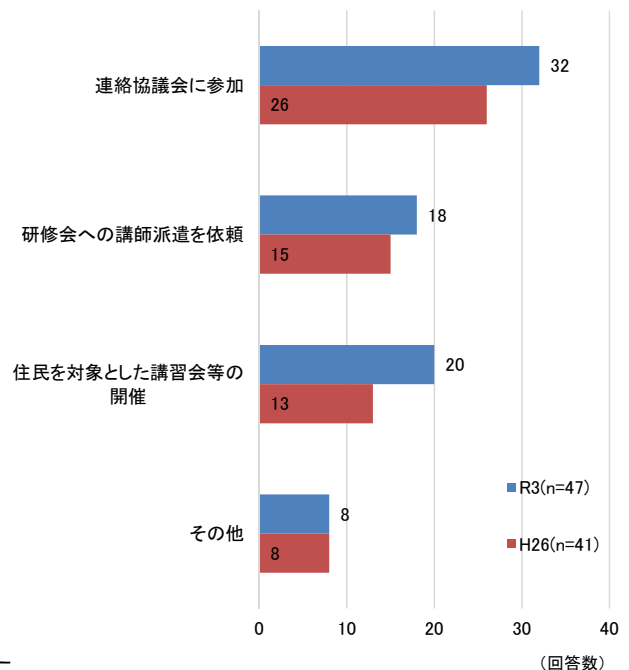
- 知っている、と回答したのは83施設で前回比4.5%増(H26年は91施設)
 ↳かつ、連携を図っているのは47施設で前回比9.9%増(H26年は41施設)
 ↳しかし、連携を図っていないのは36施設で前回比5.4%減(H26・27年は50施設)
- 名前は聞いたことがあると回答したのは27施設で前回比2.3%減(H26年は35施設)
- 名前を聞いたことがないと回答したのは11施設で前回比2.2%減(H26年は16施設)

問3-1 広域支援センターと連携したことのある事業内容

広域支援センターとの関係(過去調査との比較)

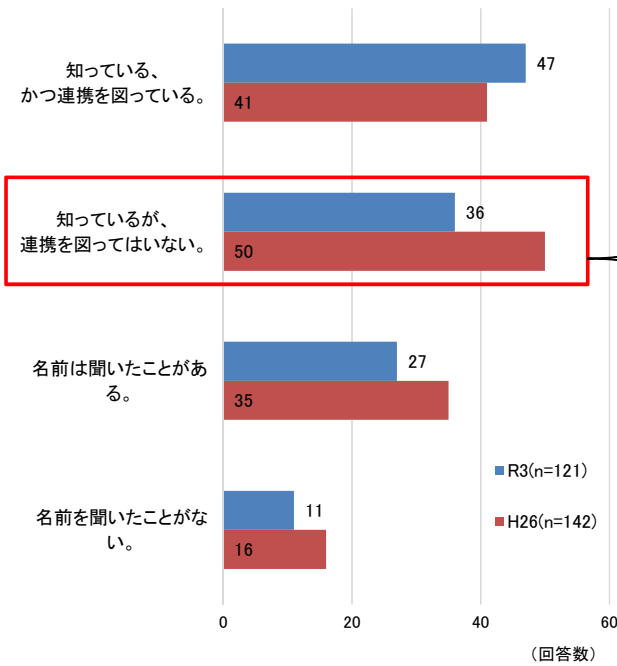


実際に連携したことのある事業(過去調査との比較、複数回答)

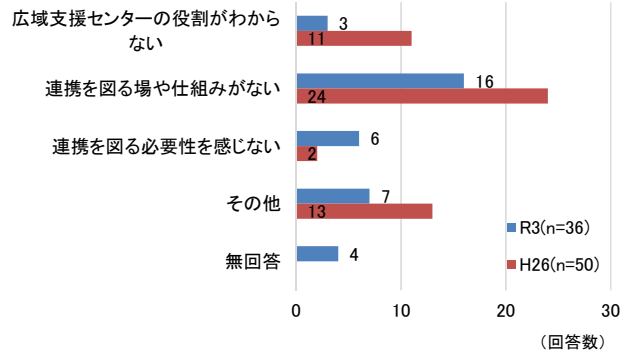


問3-2 広域支援センターと連携を図っていない理由

広域支援センターとの関係
(過去調査との比較)



連携を図っていない理由
(過去調査との比較)



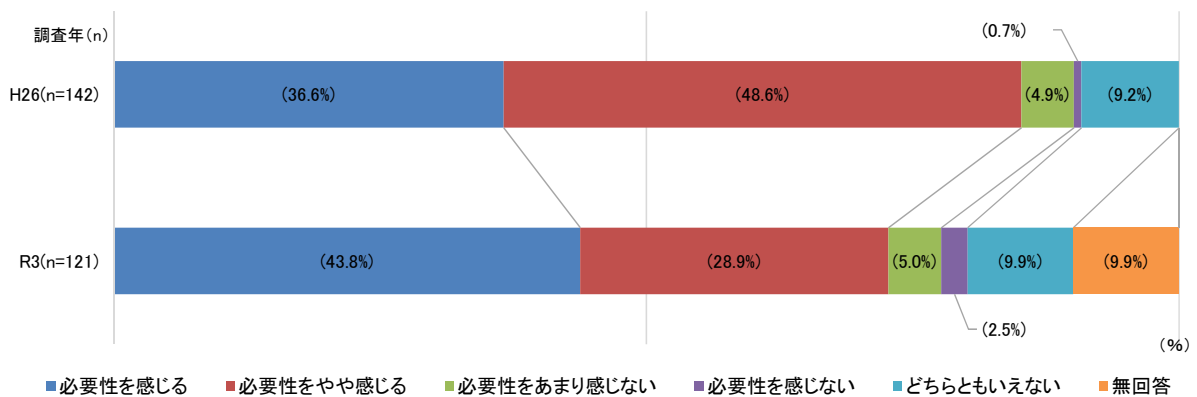
【その他の理由】

- ・所属にリハビリ職がいるため
- ・市独自のリハビリ職の同行訪問事業がある
- ・研修案内は来るが、連携を必要とする案件がなかった
- ・業務上関わる機会がなくなった
- ・市内のリハ職に相談できている
- ・近くに広域支援センターがないため市内のリハビリ施設や病院と連携することがほとんどない

27

問4 広域支援センターとの今後の連携の必要性

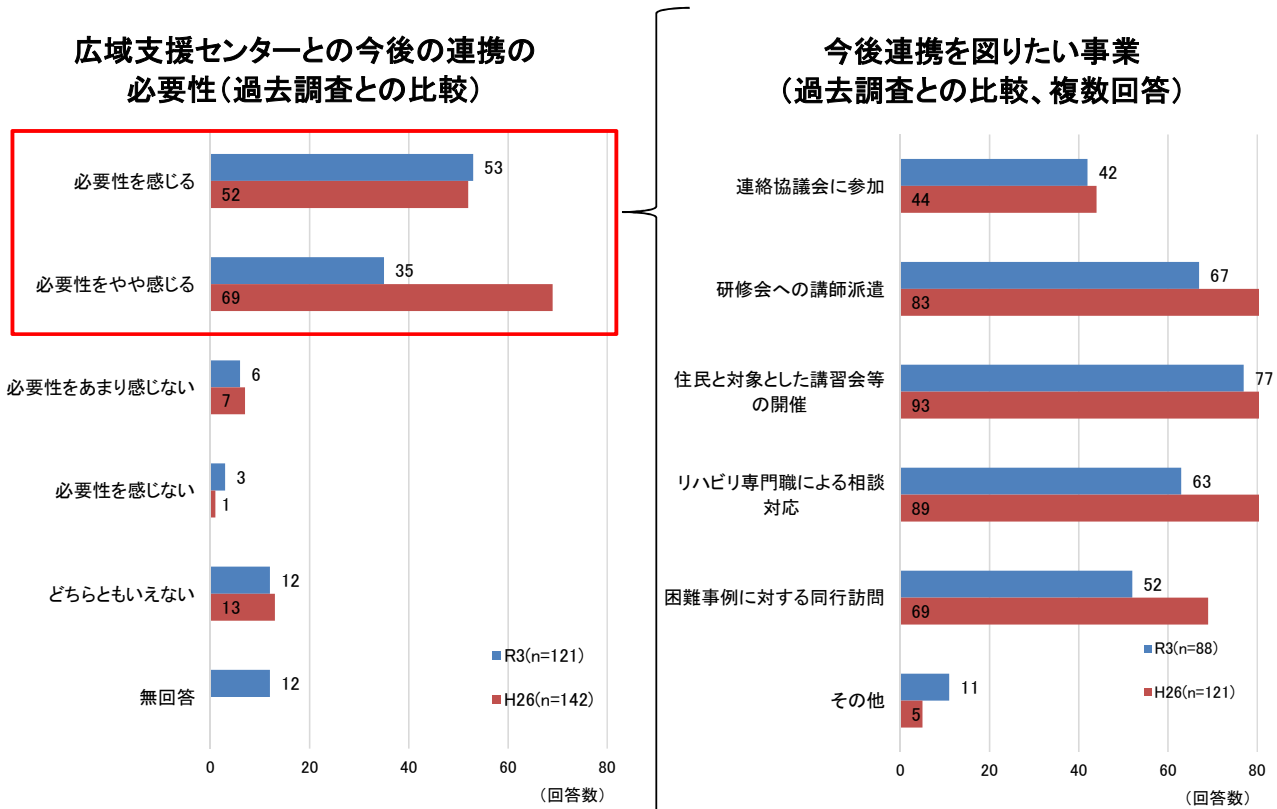
今後の連携の必要性(過去調査との比較)



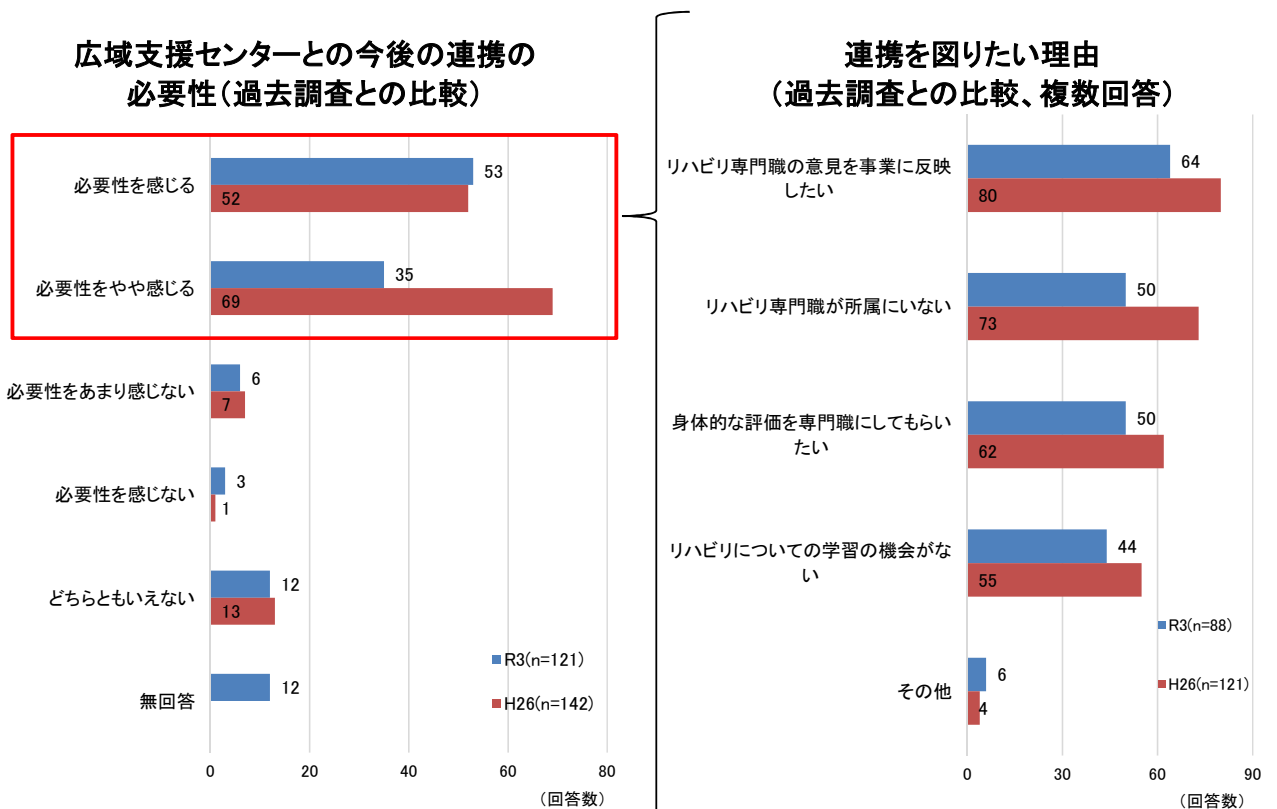
- ・ 今後の連携の必要性について
 - ↳ 「感じる」、「やや感じる」と回答したのは88施設で前回比12.5%減(H26年は121施設)
 - ↳ 「感じない」「あまり感じない」と回答したのは9施設で前回比1.9%増(H26年は8施設)
 - ↳ 「どちらともいえない」と回答したのは12施設で前回比0.7%増(H26年は13施設)

28

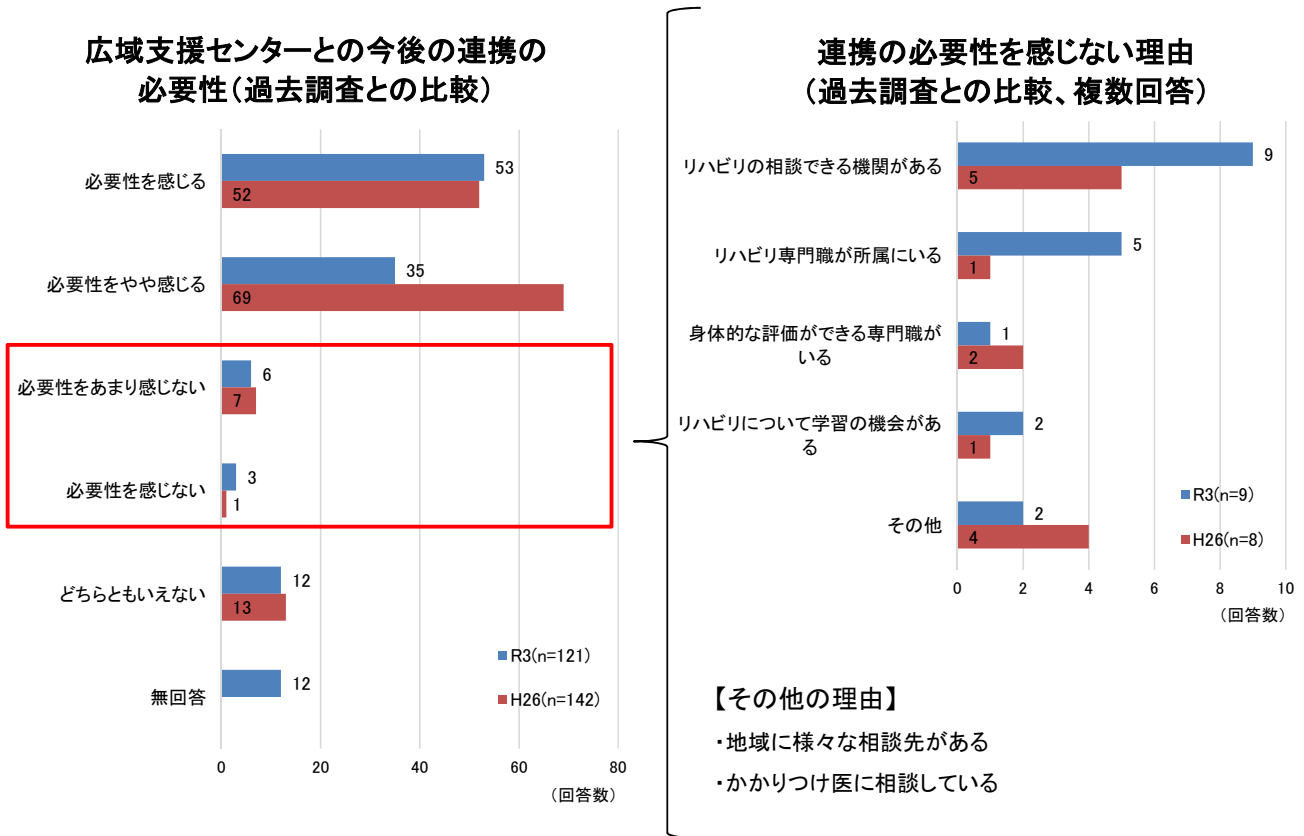
問4-1 今後の広域支援センターと連携を図りたい事業内容



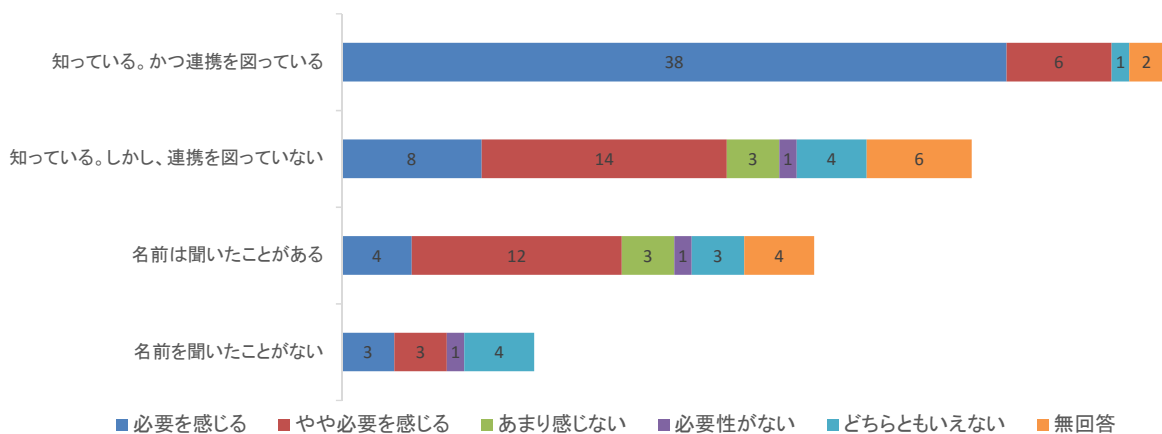
問4-2 今後の広域支援センターと連携を図りたい理由



問4-3 広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由



広域支援センターとの「現在の関係(問3)」と「今後の連携の必要性(問4)」との関連



現在の関係 \ 今後の連携	必要を感じる	やや必要を感じる	あまり感じない	必要性がない	どちらともいえない	無回答	計
知っている。かつ連携を図っている	38	6	0	0	1	2	47
知っているが、連携を図っていない	8	14	3	1	4	6	36
名前は聞いたことがある	4	12	3	1	3	4	27
名前を聞いたことがない	3	3	0	1	4	0	11
無回答	0	0	0	0	0	0	0
計	53	35	6	3	12	12	121

本事業に対する意見・要望 ①

- ・ 研修の案内をいただいているが、地域的に参加する機会が少ない。
 - ・ 具体的な連携がいまいちわからず交流がないが連絡協議会など連絡があれば参加したい。
 - ・ ケア会議での専門的意見がとてもためになっている。
 - ・ 在宅生活期のリハビリテーション、外来リハビリテーションの相談に関して、診療報酬と介護報酬上の取扱い仕組みの市民啓発、制度間調整の相談、助言、医療機関関係者と介護関係者間の調整、これをテーマとした研修などについて対応いただくと助かります。(介護認定の申請のタイミング、「介護認定後も引き続き外来リハビリテーション(診療報酬算定)を受診したい」が可能かどうかなど)
 - ・ 連携した経験がないので、どのような相談ができるのか、支援ができるのか等連携の想定ができていない。
 - ・ 地域でのリハビリテーション理解を深め、その意味について共通言語化しておく必要がある。
 - ・ 地域のリハビリ専門職との連携を日頃から深めておく必要がある。
 - ・ 入退院、入退所等の地域との連携は重要
 - ・ 用具の選定、住宅改修、についてリハビリ専門職と連携して住環境等の整備ができていくことが自立支援に繋がるので、地域のケアマネとの連携がより深まっていくと良い。
 - ・ 今後広域支援センターについての学びをしていきたい
 - ・ 昔に比べてPTの数が増え病院から在宅へのPTの数が増えたことはとても良いことだが他機関との繋がりが少ないことが残念
 - ・ リハビリ職の皆様と連携を図り、住み慣れた地域でより良い暮らしができるよう支援するとともに、私たちの知識や質の向上につながるとよい。困ったときや違った視点が欲しい時に気軽に声かけができるような関係を築いていきたい。
 - ・ 市町村内のセラピストと連携する仕組みもあり、広域支援センターと具体的にどのような機会に連携するかイメージが無い。介護予防についてセラピストとの連携は必須。連携は必要。
- 本事業は、比較的広域を対象としていることもあり、日常的な業務の中で連携をする機会がないことが結果として連携する機会を作れない状況を生み出していると思う。

33

本事業に対する意見・要望 ②

- ・ 本人と家族と相談し福祉用具の導入を検討したりすることがあるが、器具の選定が正しいか今後の予測される経過にあったものになっているか、専門職に意見をいただきたいことがあるので、相談できる機会とツールがあると助かります。
- ・ 地域包括支援センターとして介護保険等保険福祉サービスなどは集計しているが、リハビリに関する相談として集計していない。介護保険等の保険福祉サービスや医療の相談の中で、リハビリに関する相談は多々ある。また、市内に広域支援センターがあると連携しやすくなる。
- ・ 地域包括支援センターには主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士の配置が必須である。設問1の設定について考え方を聴きたいと感じた。多くの相談がある中で職員配置基準上で必要な職種では対応に限界を感じている。相談の中にはフレイル予防や身体機能評価等を目的とするリハビリテーション関連の相談もある。センターとして多くの機関との連携は重要であるが、ワンストップで迅速な対応をすることが重要であり、二次保健医療圏内での連携より包括支援センター内にリハ職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)や精神保健福祉士等を常勤配置することが最良であると感じている。すぐに相談できるリハ職が同じ空間にいることのほうが実益にかなう。
- ・ 研修会の講師派遣や住民を対象とした講演会の講師依頼、リハビリ職への相談ができるのであれば検討したい。
- ・ 市内に広域支援センターがないため連携していなかった
- ・ 広域支援センターの支援を受けている。リハビリテーションの知見からクライアントやその家族にアプローチいただくことが有効なケースの場合は、自宅まで同行いただき、直接指導を提供いただいている。介護支援専門員にも活用を周知している。町の総合事業における介護予防の取組みにおいて、オリジナル介護予防の作成に協力いただいております。13週間のメニューにトライアルしている。この取組みにおいて健康寿命の延伸と医療費・介護費の抑制を目指している。広域支援センターの支援は重要。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大のため、医療機関への問い合わせを遠慮してしまう。相談者に不利益が生じないように広域支援センターの支援は必要。
- ・ 当市においては、市立リハビリテーション病院と連携を行いリハビリに関する事業等を行っているため、特段広域支援センターとの連携の必要性は感じていない。また、包括支援センターにリハビリ関係の相談はほとんどなく、必要な方は既に病院やケアマネージャーが関わって進めている状況。

34

本事業に対する意見・要望 ③

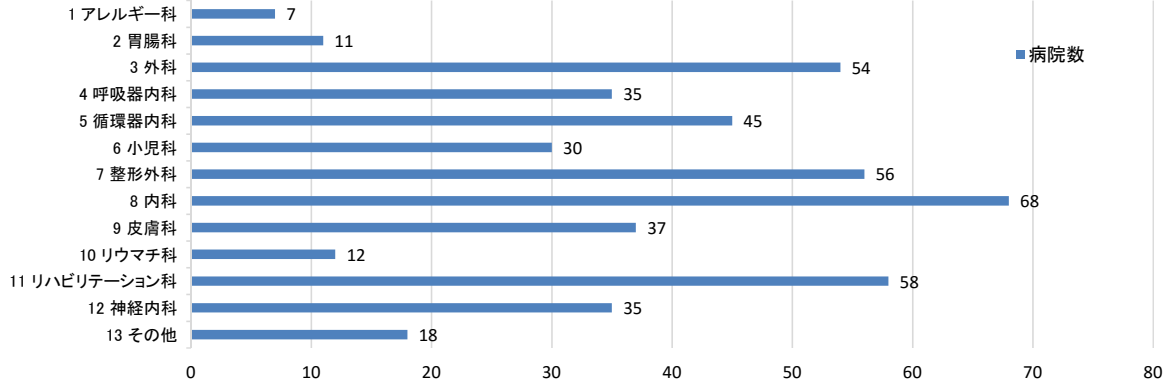
- ・ 市には何度も要望しているが、短期集中型の総合事業での訪問リハ・通所リハ事業に着手しないので困っている。
- ・ 自立した日常生活を継続するためには支障が生じた部分を含めてリハビリが重要。専門家のリハビリを受けることにより自立を妨げている要因の抽出や課題を明確にしていく助けとなればと思う。
- ・ 広域支援センターの役割、実態の業務などが分からない
- ・ 事業については知っているつもりであったが日々の業務に追われ相談まで至らない。一度関係ができれば具体的な活動が理解でき、連携が図れると思うがそこまで至らない。本当の意味でこの活動の理解が不十分だと感じた。
- ・ 地域包括支援センターとしても地域リハビリテーションの資源を知り、ともに連携が図れるように関わりをもっていきたい
- ・ 地域包括に所属しているため身体機能低下予防や活動の説明のなかで介護保険制度の説明になってしまうことが多く、リハビリ専門職の介入でのアドバイスを受けられる仕組みがあると良い。
- ・ 広域支援センターについて役割や行っていることを具体的に教えていただける機会が欲しい。コロナ禍によりフレイルの進行が課題となっているのでフレイル予防についてなどの市民向けの情報があると活用しやすい。

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (病院)

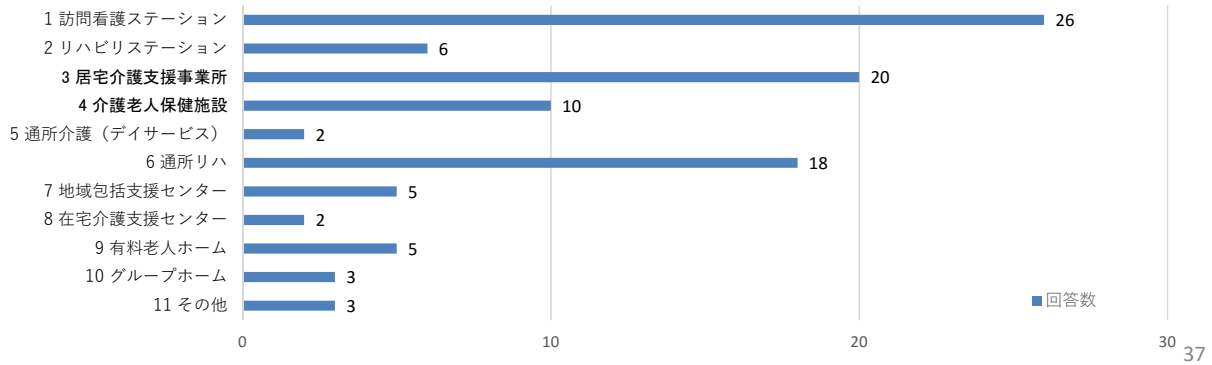
対象数238病院 回答数77病院
回答率32%

問1 病院の概況

診療科目



併設施設

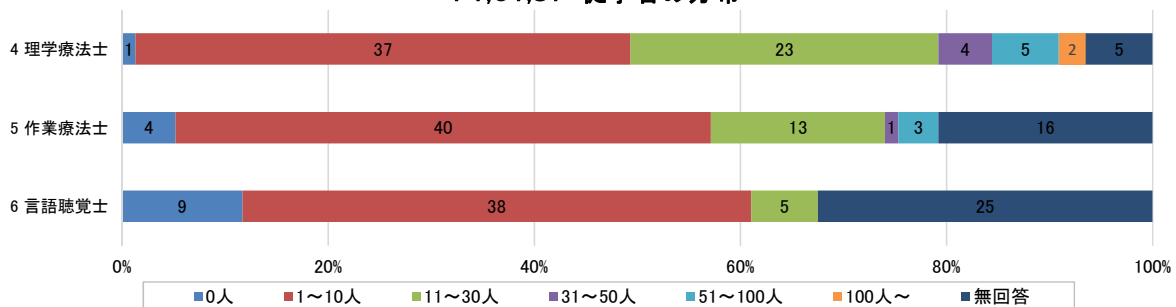


問1 病院の概況

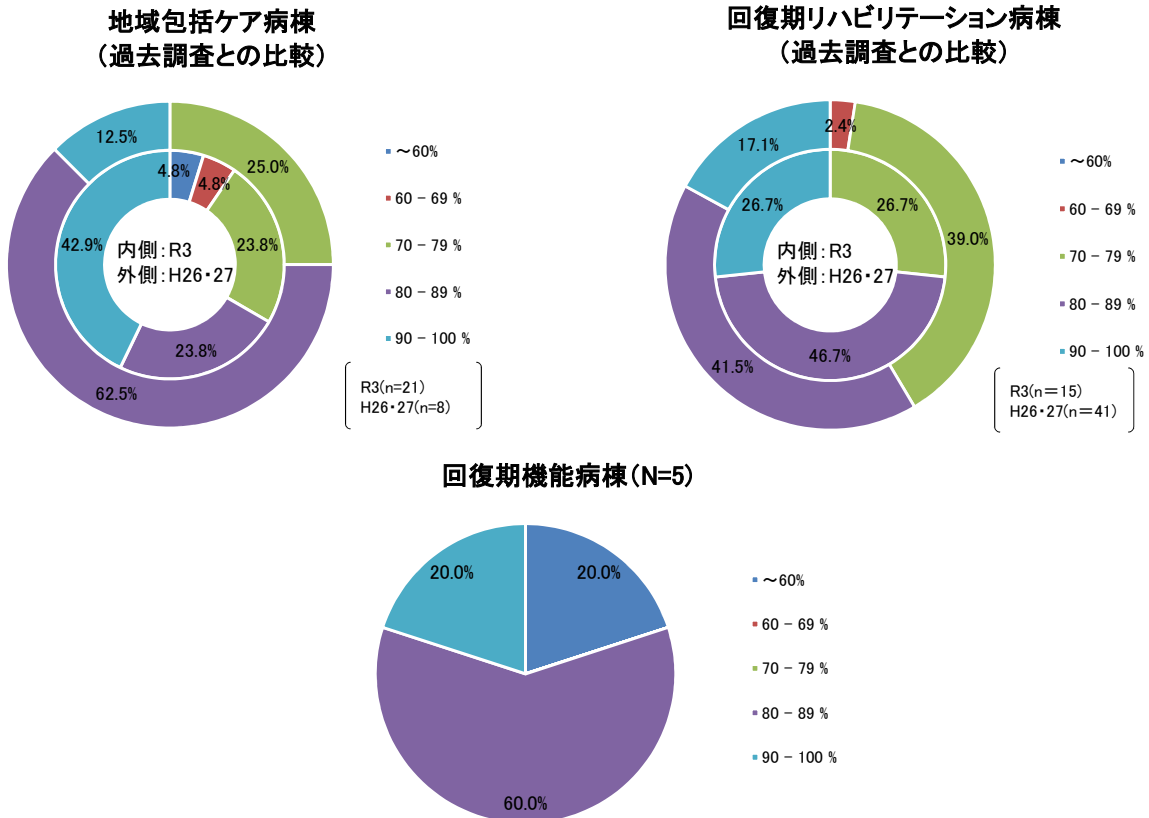
従事者数(常勤)

	0人	1~10人	11~30人	31~50人	51~100人	101人~	無回答
1 医師	0	39	16	4	7	7	4
2 薬剤師	0	53		4	0	0	4
3 看護師	0	1	15	10	23	24	4
4 理学療法士	1	37	23	4	5	2	5
5 作業療法士	4	40	13	1	3	0	16
6 言語聴覚士	9	38	5	0	0	0	25
7 放射線技師	2	49	18	2	0	0	6
8 看護助手	3	19	34	8	2	0	11
9 ケアマネジャー	18	12	0	0	0	0	47
10 医療ソーシャルワーカー	0	62	3	0	0	0	12
11 事務	0	20	30	8	10	3	6
12 介護福祉士	9	22	10	4	1	0	31
13 その他	2	20	13	10	12	3	17

PT,OT,ST 従事者の分布



問2 在宅復帰率



※回復期機能病棟は、R3年度調査追加項目

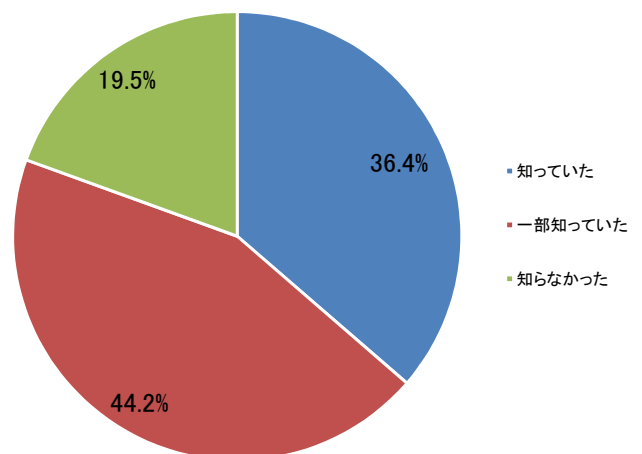
39

問3 地域リハビリテーション支援体制の整備・推進に関する認知度

【地域リハビリテーション支援体制の整備】
(千葉県保健医療計画より抜粋)

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

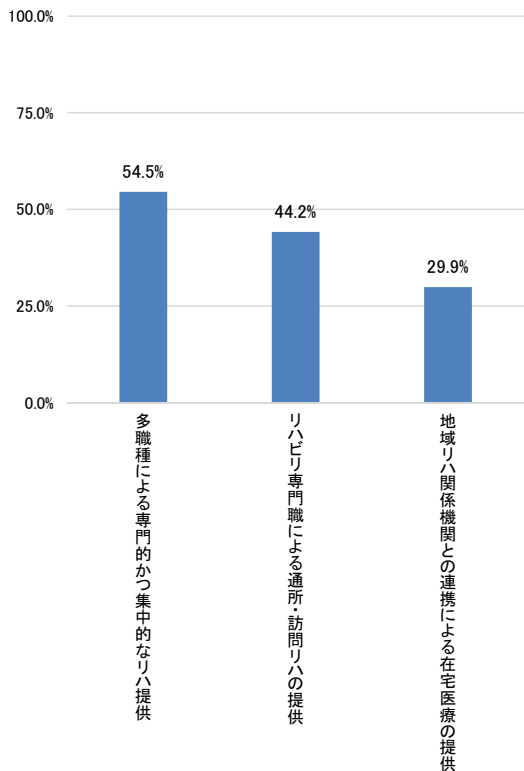
地域リハビリテーション支援体制の認知度



40

問3-1 地域リハビリテーション推進の取組状況

地域リハビリテーションに関する取組状況(複数回答)

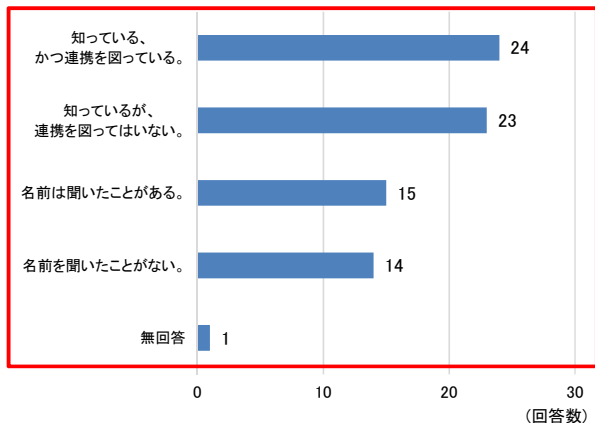


【その他、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいること】

- ・ちば地域リハ・パートナー参加
- ・地域住民の自主サークル支援
- ・地域包括支援センターと連携した体力測定
- ・市モデル事業(足腰の衰えチェック)
- ・オンラインを使って地域住民への医療講演や体操教室の実施
- ・ちば地域リハ・パートナー施設に登録している。広域支援センターから案内される会議や研修会には積極的に参加している
- ・市認知症初期集中支援チームへの参加。在宅医療・介護連携推進会議への参加
- ・地域の関係機関との連携構築
- ・訪問リハ事業所への出向してのサービス提供
- ・地域の民間企業と協力しての予防リハ、教育講演、訪問リハビリテーションの実施
- ・訪問リハビリテーション
- ・市フレイル予防事業、ちば地域リハ・パートナー事業、介護予防活動におけるリハビリテーション専門職派遣事業(体力測定、集団・個別指導、百歳体操の指導、訪問型介護予防事業)、地域ケア個別会議。
- ・施設、公民館でリハビリテーションの公開講座を実施
- ・PT、ST等各県士会主催事業参加・脳卒中等連携パス会議・研修の参加、市リハビリテーション連絡会事業参加
- ・市リハビリテーション協議会へ入会し適宜講演会等に参加

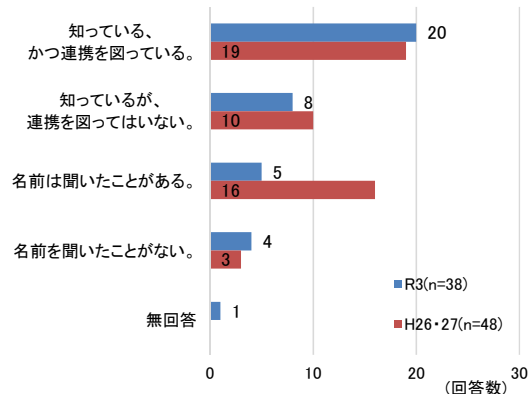
問4 広域支援センターとの現在の関係

広域支援センターとの関係

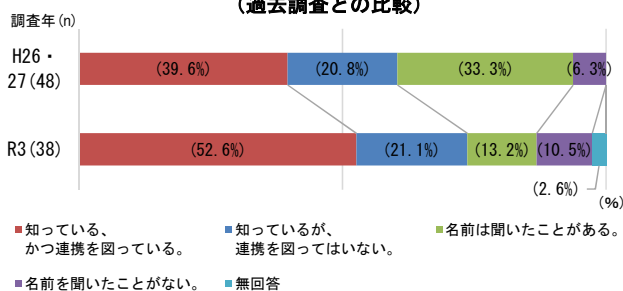


- ・ 知っている、と回答したのは47病院で全体の61.1%
 - ↳ かつ、連携を図っているのは24病院で全体の31.2%
 - ↳ しかし、連携を図っていないのは23病院で全体の29.9%
- ・ 名前は聞いたことがあると回答したのは15病院で全体の19.5%
- ・ 名前を聞いたことがないと回答したのは14病院で全体の18.2%

回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答(過去調査との比較)

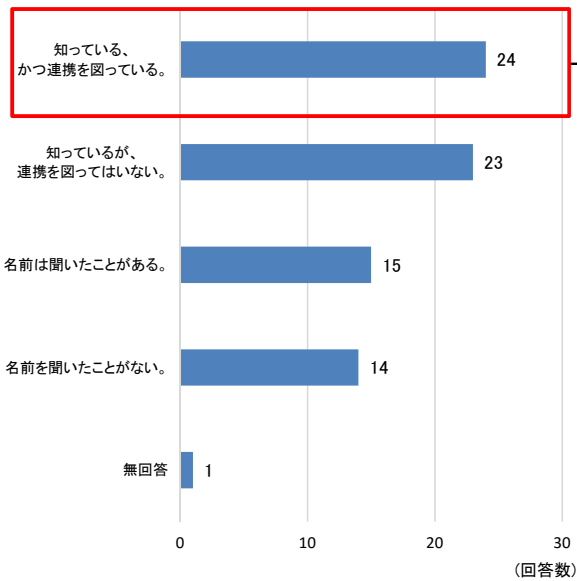


回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答割合(過去調査との比較)

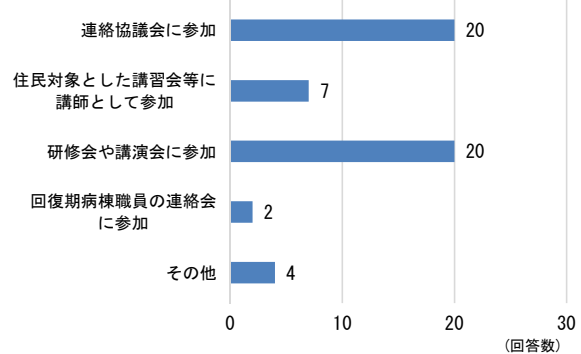


問4-1、2 広域支援センターと連携したことがある事業内容

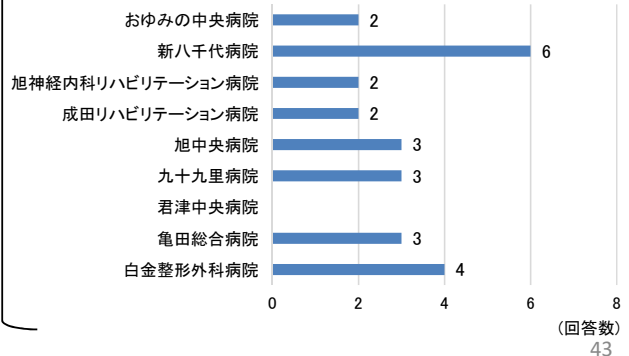
広域支援センターとの関係



実際に連携したことがある内容 (複数回答)

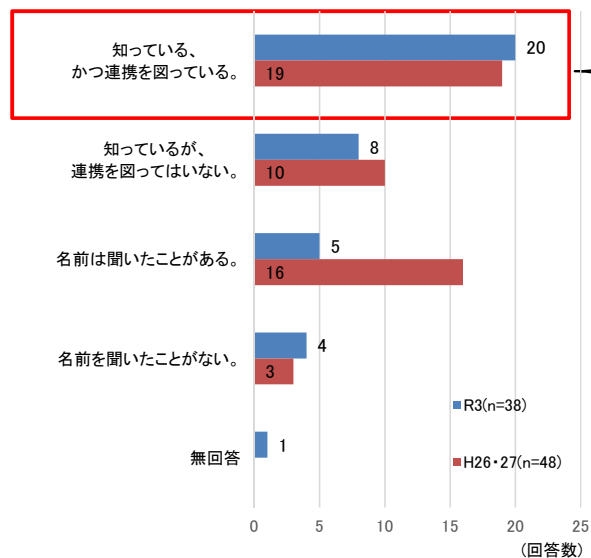


連携先の広域支援センター

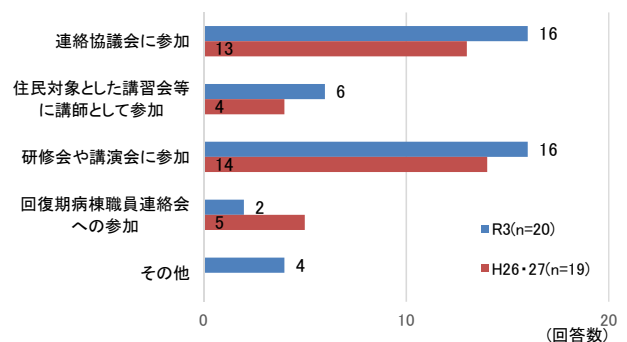


問4-1、2 広域支援センターと連携したことがある事業内容

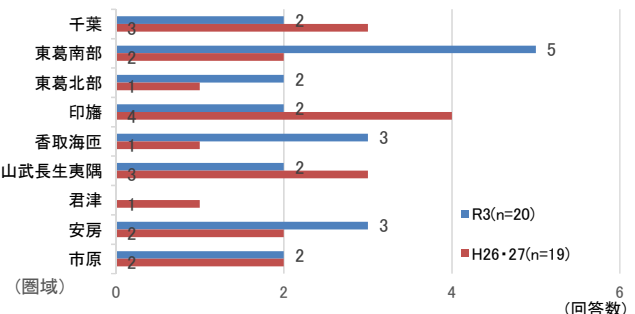
広域支援センターとの関係(回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答、過去調査との比較)



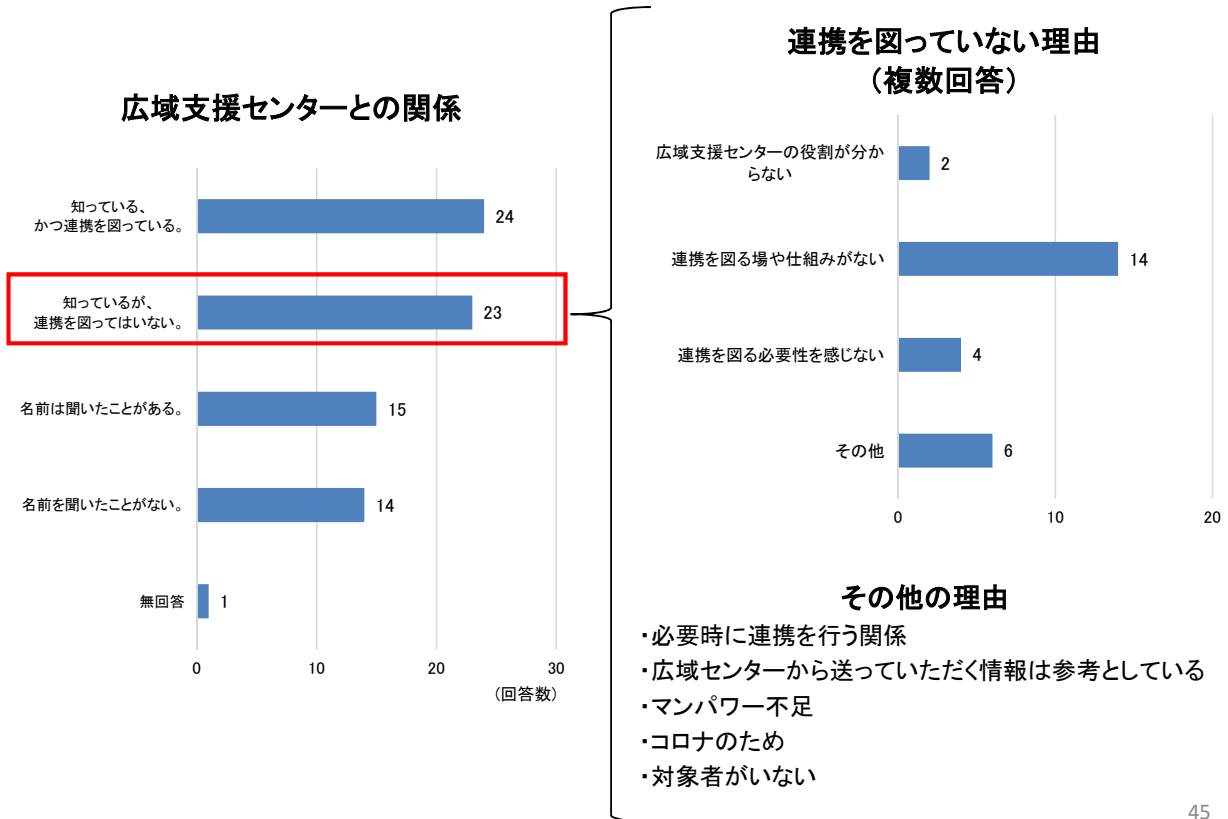
回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答 (過去調査との比較、複数回答)



連携先の広域支援センター(回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答、過去調査との比較、複数回答)

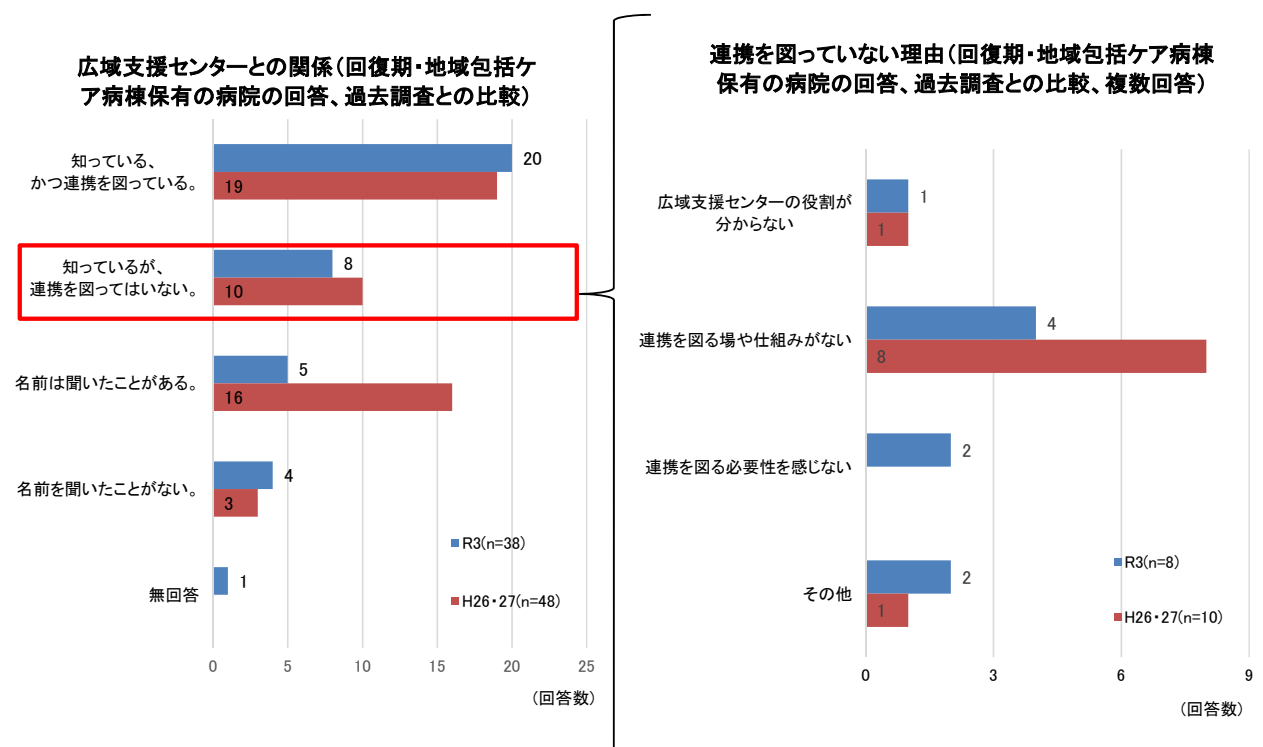


問4-3 広域支援センターと連携を図っていない理由



45

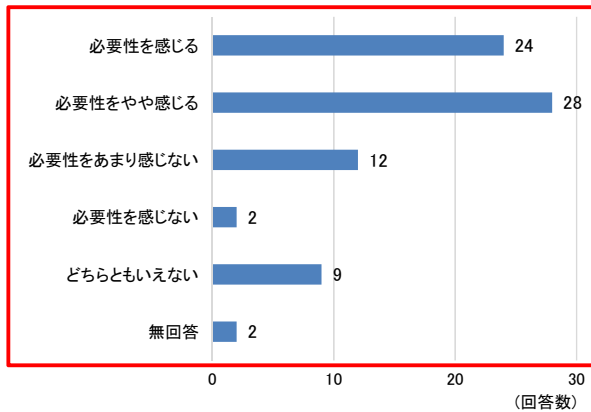
問4-3 広域支援センターと連携を図っていない理由



46

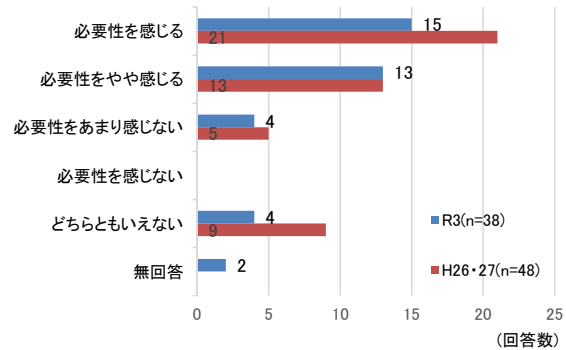
問5 今後の広域支援センターとの連携の必要性

今後の広域支援センターとの連携の必要性

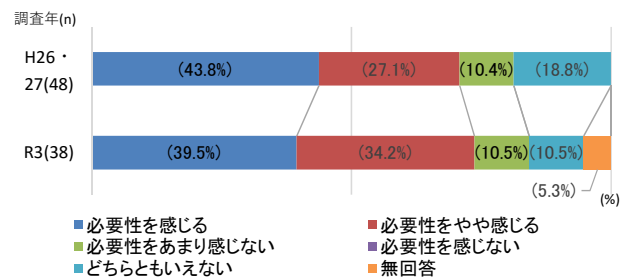


- 今後の連携の必要性について、
 - 「感じる」、「やや感じる」と回答したのは52病院で全体の67.5%
 - 「あまり感じない」、「感じない」と回答したのは14病院で全体の18.2%
 - 「どちらともいえない」と回答したのは9病院で全体の11.7%

回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答 (過去調査との比較)

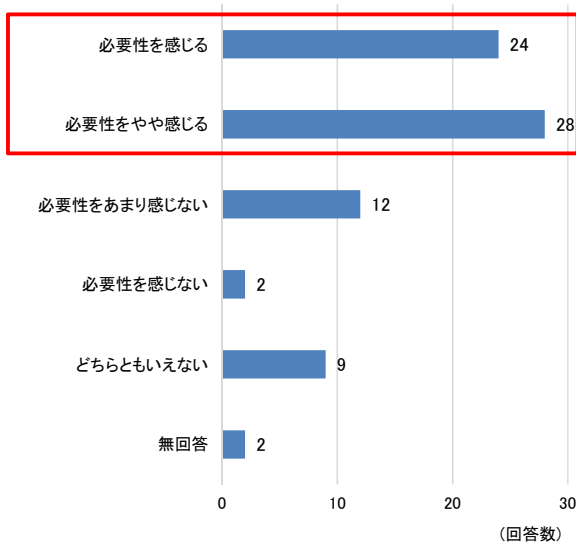


回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答割合 (過去調査との比較)

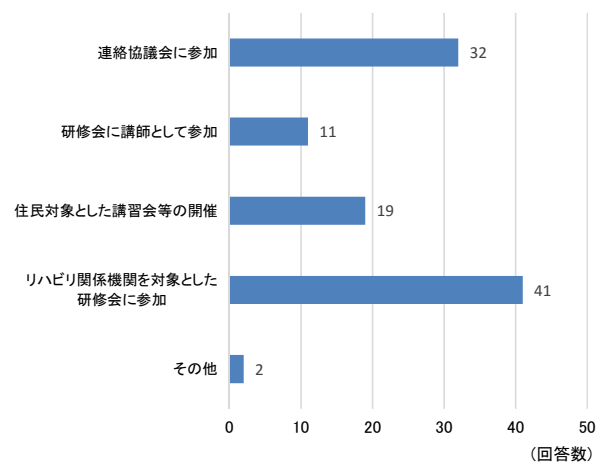


問5-1 今後の広域支援センターと連携を図りたい事業内容

今後の広域支援センターとの連携の必要性



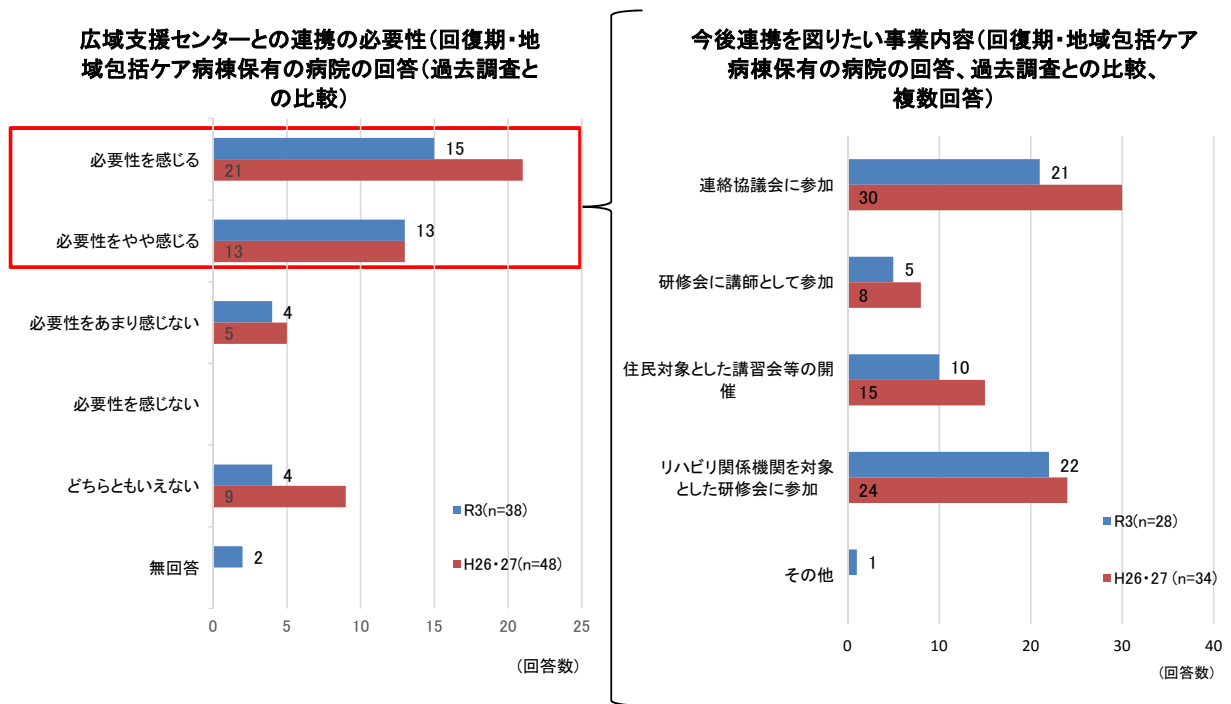
連携を図りたい事業内容(複数回答)



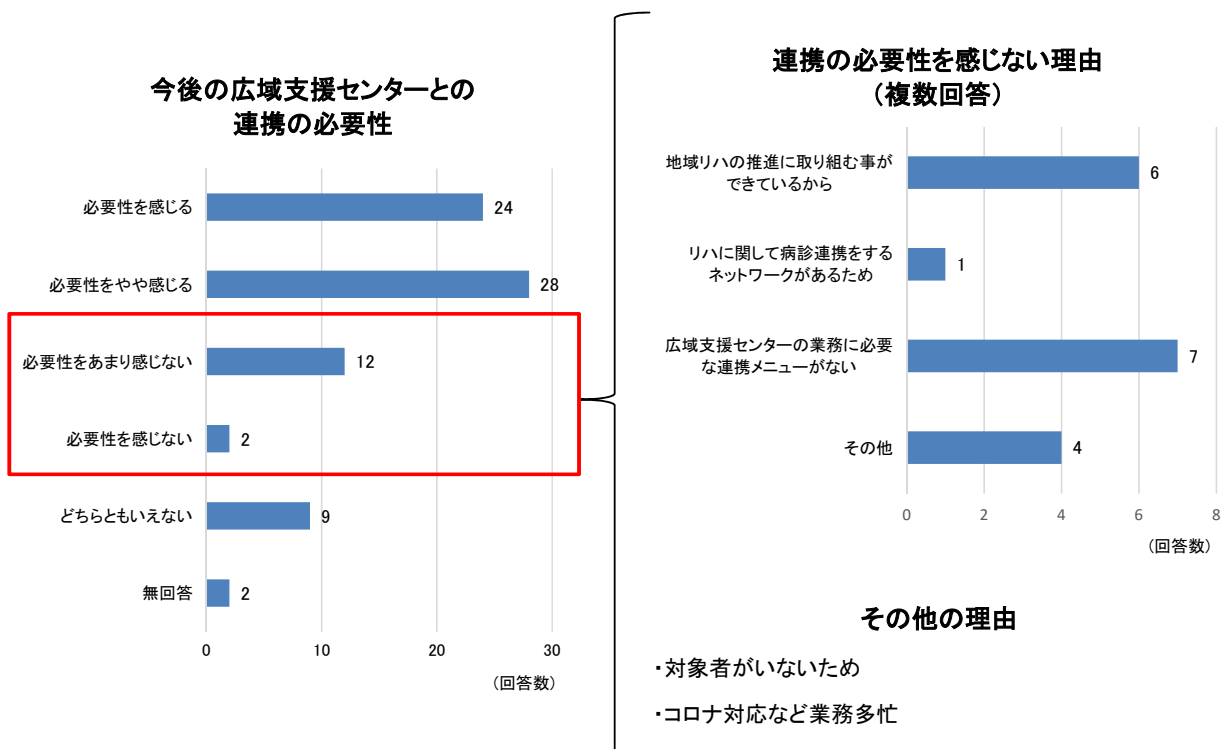
その他の理由

- 精神疾患を有する患者の地域の受入れ先紹介

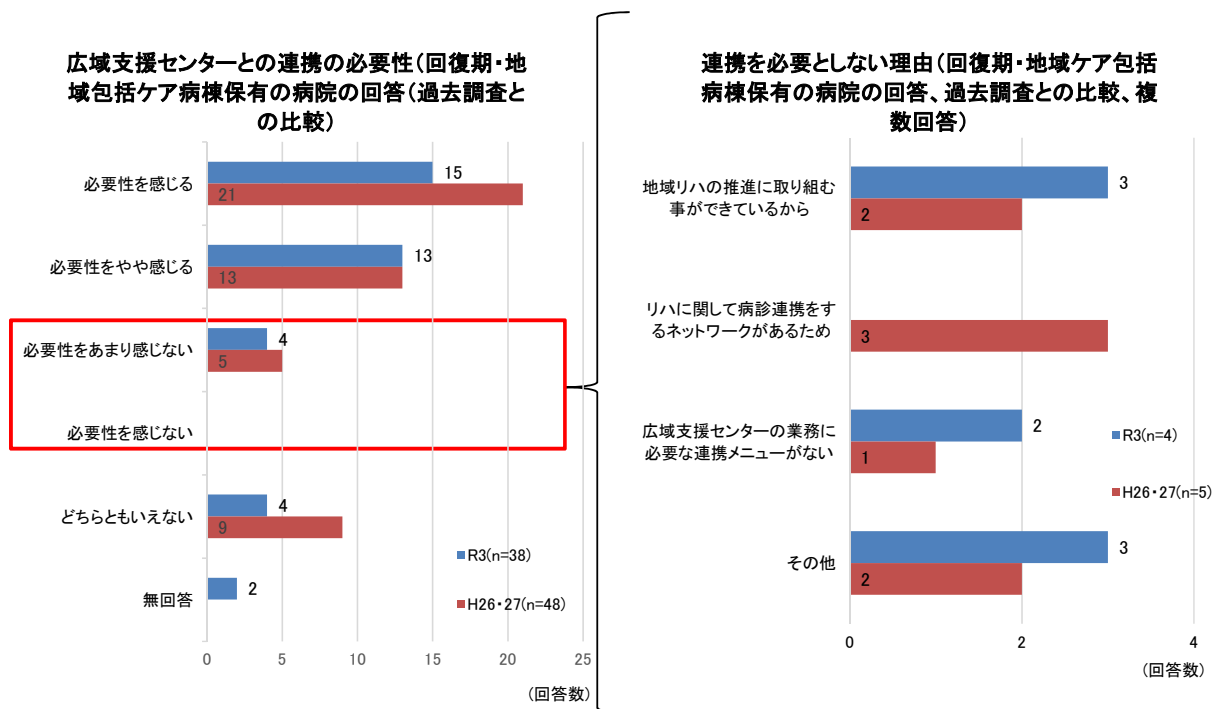
問5-1 今後の広域支援センターと連携を図りたい事業内容



問5-2 広域支援センターと連携の必要性を感じない理由

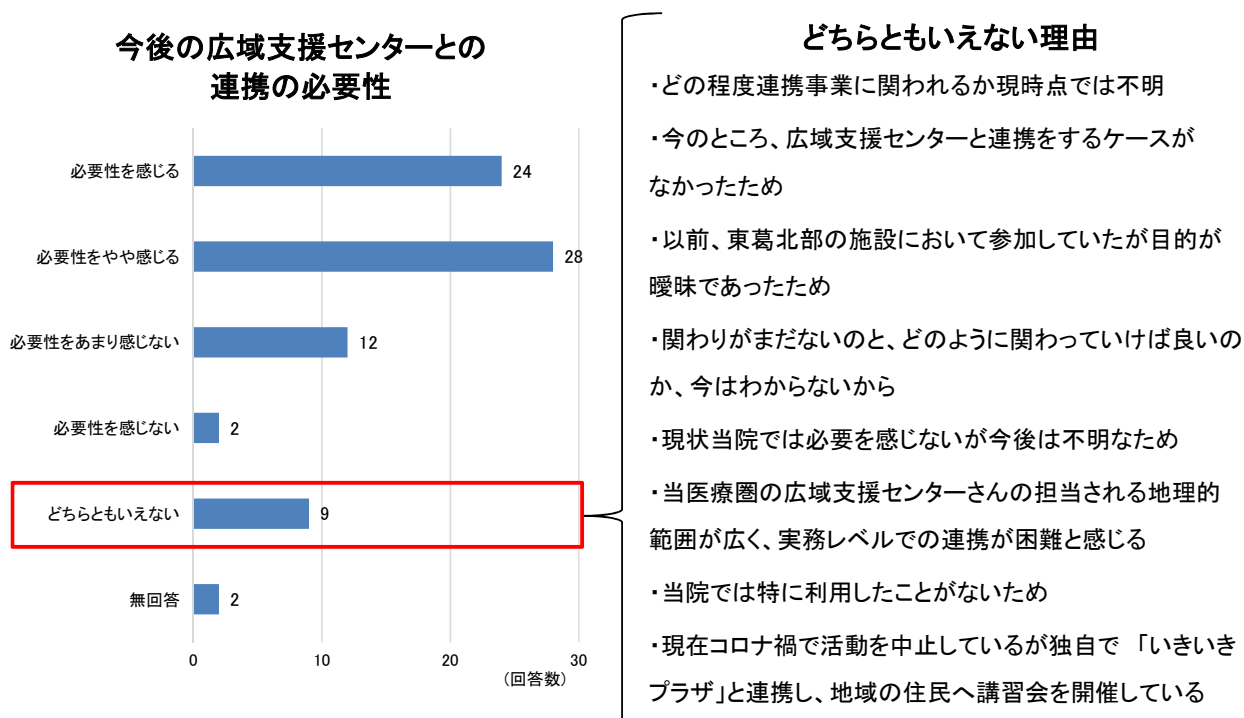


問5-2 広域支援センターと連携の必要性を感じない理由



51

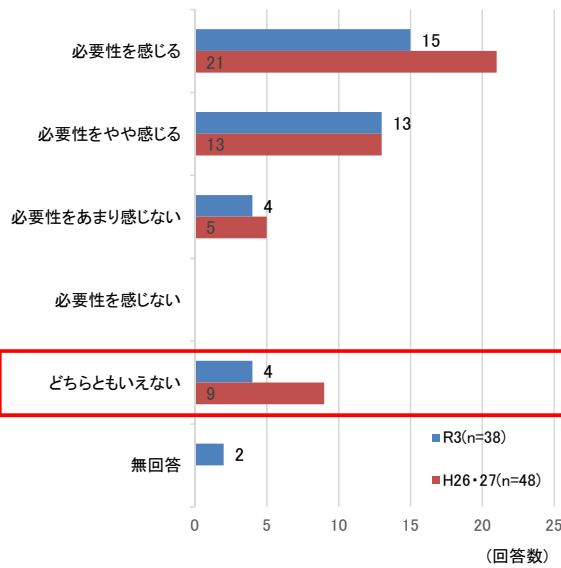
問5-3 今後の広域支援センターと連携の必要性について、どちらともいえない理由



52

問5-3 今後の広域支援センターと連携の必要性について、どちらともいえない理由

広域支援センターとの連携の必要性(回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答(過去調査との比較))



どちらともいえない理由

【平成26・27年度】

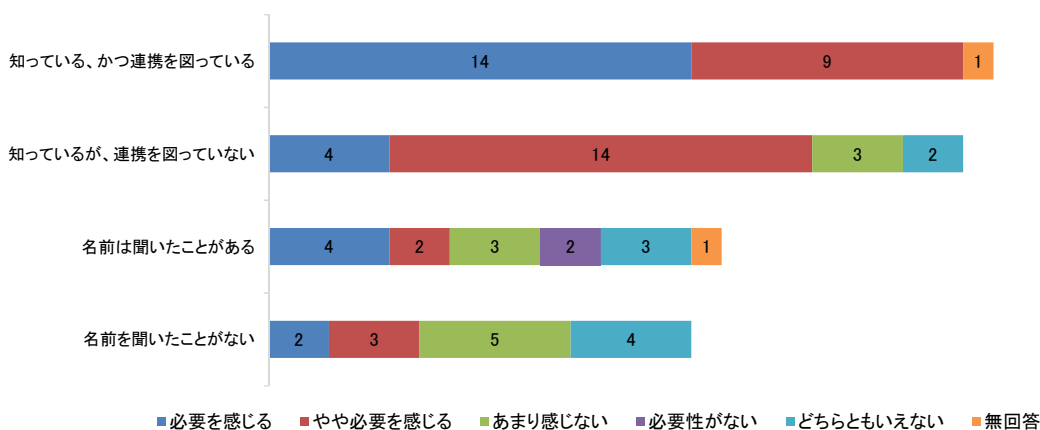
- ・連携は大事と思うが、広域支援センターとの具体的な連携のイメージがわからない。
- ・具体的なイメージがわからない。
- ・広域支援センターがあることによりどのような効果が得られたのかが良くわからないから。
- ・マンパワー不足で連携まで至っていない状態
- ・連携を図るには地域のくくりが広い。市レベルでの連携のほうが現場では要求される。
- ・二次医療圏では範囲が大きすぎ、連携をどうすればよいか明確にはならない。
- ・直接的な連携としては、地域包括支援センターとの協力・連携が重要と考える。より広範囲な情報把握や、地域リハ連携推進のためには、広域支援センターとの連携が重要かと思う。

【令和3年度】

- ・どの程度連携事業に関われるか現時点では不明
- ・関わりがまだないと、どのように関わっていけば良いのか、今はわからないから
- ・現状当院では必要を感じないが今後は不明なため
- ・当院では特に利用したことがないため

53

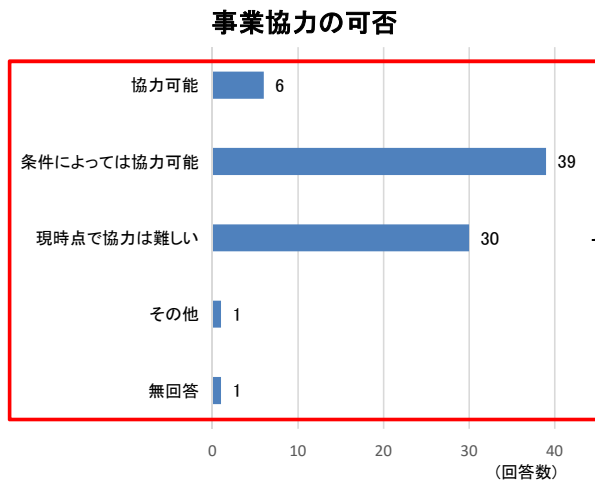
広域支援センターとの「現在の関係(問4)」と「今後の連携の必要性(問5)」との関連



現在の関係 \ 今後の連携	必要を感じる	やや必要を感じる	あまり感じない	必要性がない	どちらともいえない	無回答	計
知っている、かつ連携を図っている	14	9	0	0	0	1	24
知っているが、連携を図っていない	4	14	3	0	2	0	23
名前は聞いたことがある	4	2	3	2	3	1	15
名前を聞いたことがない	2	3	5	0	4	0	14
無回答	0	0	1	0	0	0	1
計	24	28	12	2	9	2	77

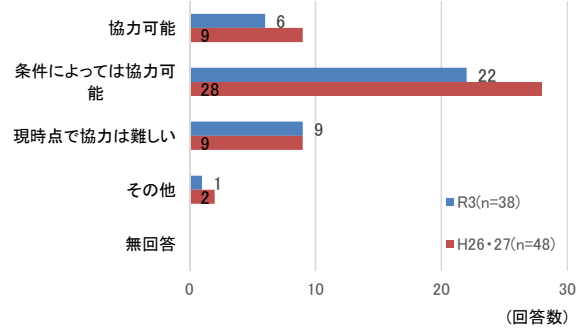
54

問6 広域支援センターが協力を依頼した場合の事業協力の可否

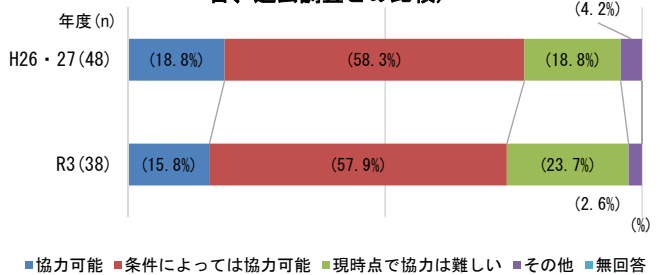


- 広域支援センターが協力を依頼した場合について、
 「協力可能」、「条件によっては協力可能」と回答したのは45病院で全体の58.4%
 「現時点で協力は難しい」と回答したのは30病院で全体の39.0%

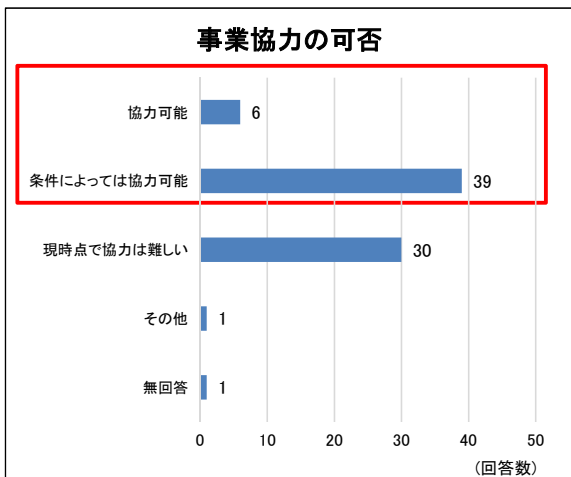
回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答 (過去調査との比較)



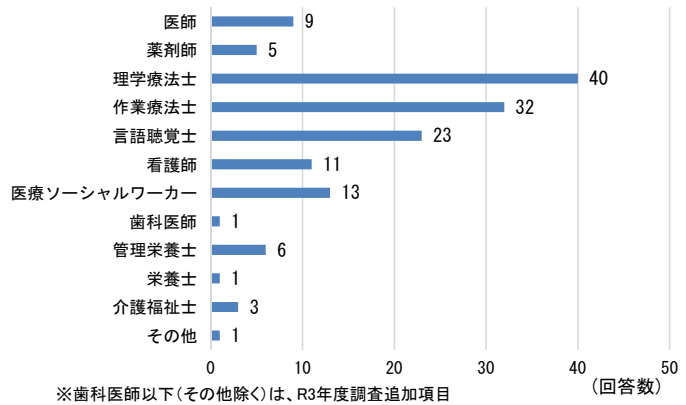
回復期・地域包括ケア病棟保有の病院の回答割合、過去調査との比較



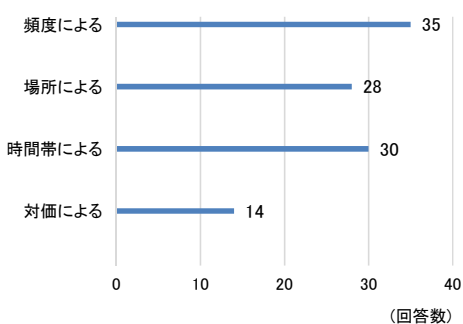
問6-1、2、3 事業協力の条件



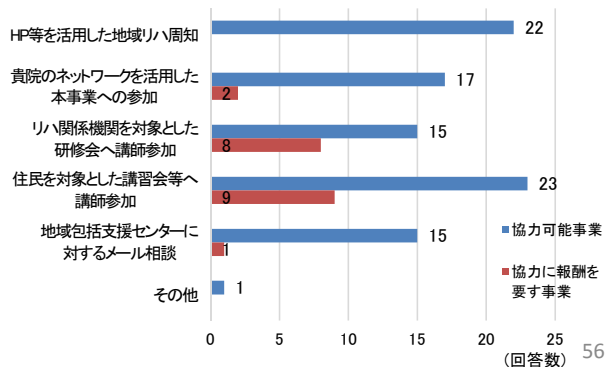
協力可能職種 (複数回答)



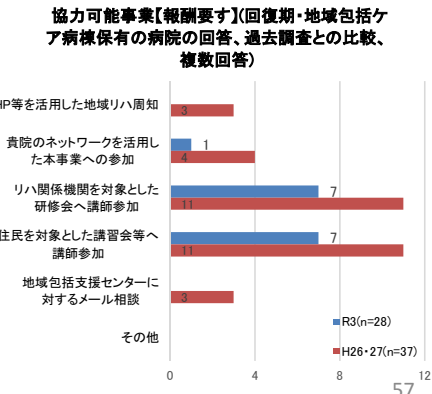
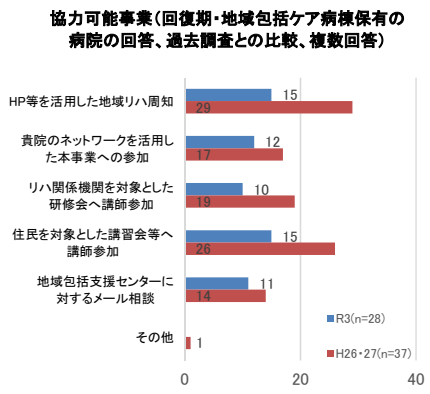
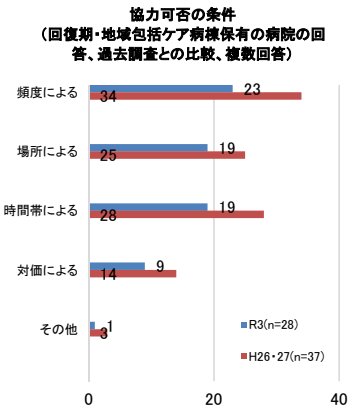
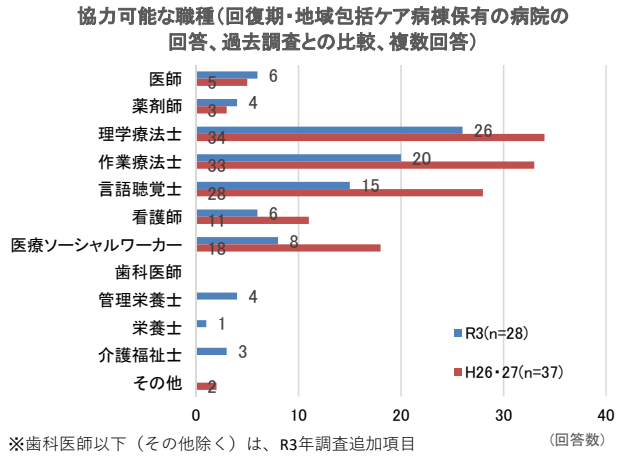
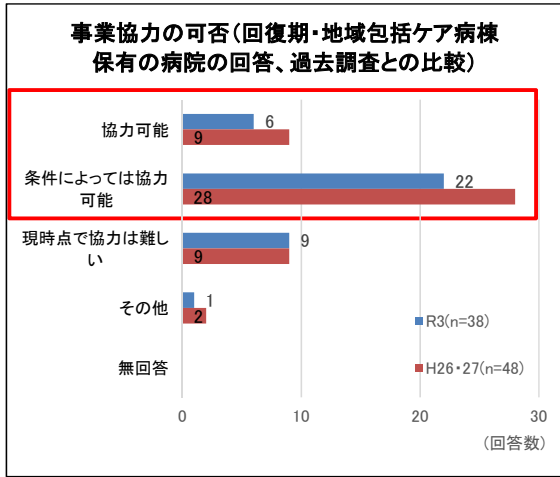
協力可否の条件 (複数回答)



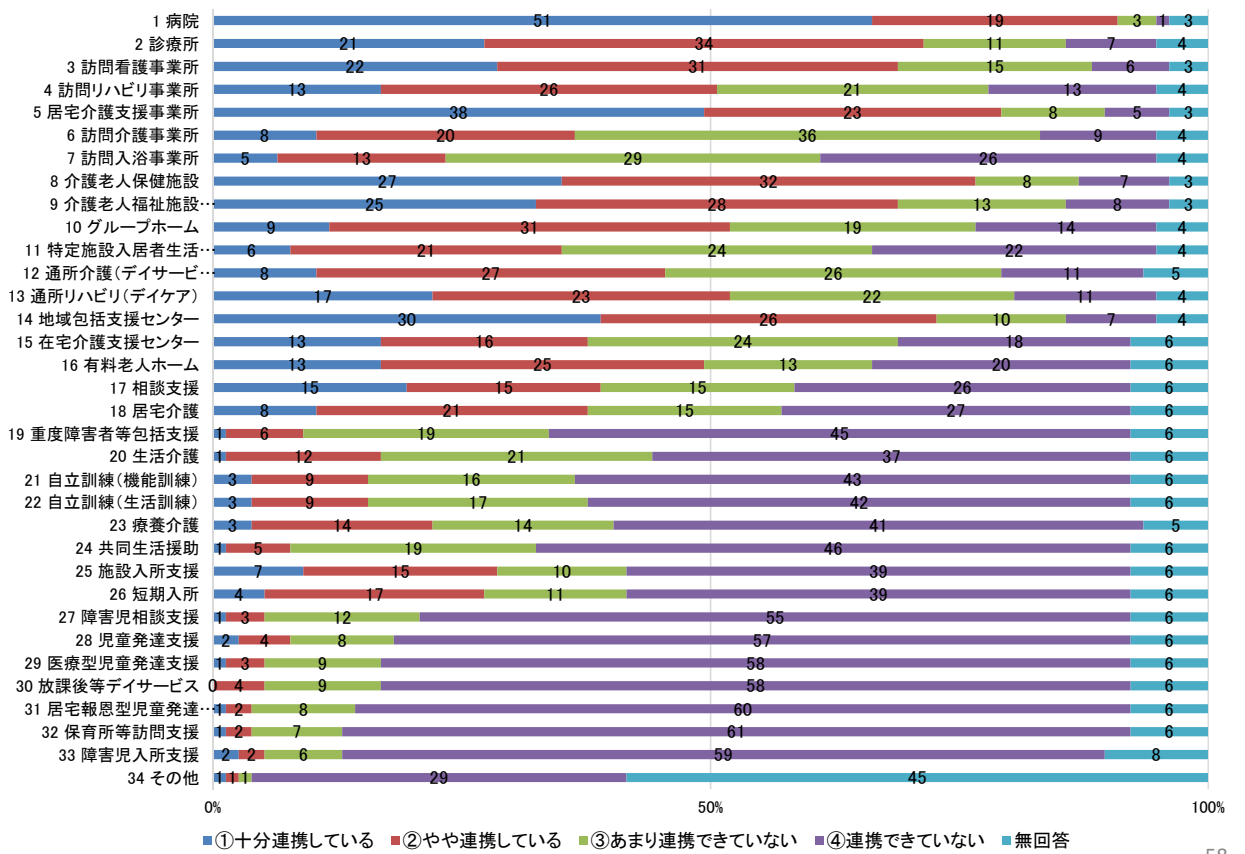
協力可能事業 (複数回答)



問6-1、2、3 事業協力の条件



問7 関係機関との連携状況



本事業に対する意見・要望

- ・ 地域包括ケア構想のイメージはあるのですが、急性期病院として具体的なことが見えにくいです。以前、他の地域でかかわっていた時も行政のアリバイ的に実施している感がありました。キックオフミーティングのような感じでそこから作り上げていかなければならなかったのですが、一部の在宅や訪問リハ施設に勤務されている方々以外には浸透していなかったように感じました。現在はどのような感じなのでしょう？
- ・ 当院は終末期医療を行っているので対象者が少ない上、設備・人員不足
- ・ 回答において「連携の位置づけ」「連携の度合い」を判断するのに苦慮いたしました。本事業においての県・広域支援センター様のご尽力とご苦労は推察いたしますところであり、コロナ禍を経た後の事業計画や取り組みなどにおきましては、可能な限りご協力させて頂く所存でございます。
- ・ 当院での在院期間は平均で10日程度となっております。自宅退院を除く多くの患者は、回復期リハ病院や療養施設などへ転院していただくことが多くあります。転院に際してそれらの施設との事前情報共有などは、十分行えているかと思いますが、転院後、患者がどの様にリハビリや生活しているかなどの情報共有は、回復期リハ病院を除くと多くない印象があります。業務多忙の中でなかなか難しかと思いますが、患者の生活状況情報の共有を行うことで、急性期病院の課題も見えてくるのではないかと考えております。引き続きシームレスに地域と連携できる体制を構築していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。
- ・ 当該地区における今までの事業活動内容や今後の事業計画について聞いたことないので知りたい
- ・ 具体的な協力依頼（内容）がございましたら検討し協力は可能です。
- ・ 基本的には必要性があれば協力する意向です。問6-2・3に関しては、働き方改革等もあり、報酬の有無というより、勤務先（病院等）が事業の内容の必要性を理解できるような働きかけが必要だと思います。
- ・ 当院は介護医療院、通所リハビリを併設しており、介護職員については医療は看護助手、介護施設（介護医療院・通所リハ）は介護福祉士に入れております。
- ・ 当院開設時（2020.3）より、コロナ禍であり十分な連携や活動ができておりません。今後、同地区の広域支援センターの事業内容を確認しながら連携を図っていきたいと考えております。

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (リハビリテーション科を標榜する診療所)

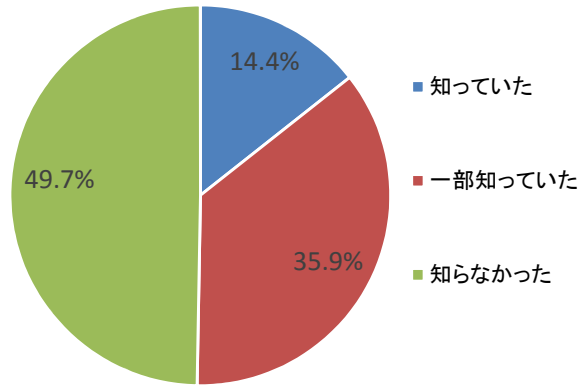
対象数 419診療所 回答数181診療所
回答率43%

問1 地域リハビリテーション支援体制の整備・推進に関する認知度

【地域リハビリテーション支援体制の整備】
(千葉県保健医療計画より抜粋)

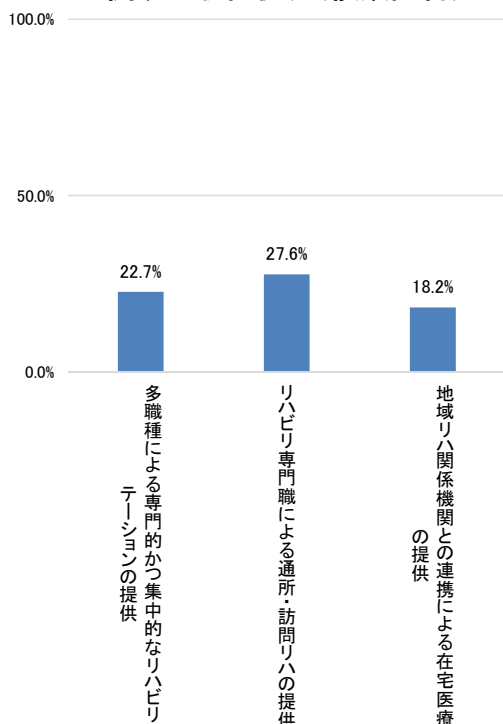
○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

地域リハビリテーション支援体制の認知度



問1-1 地域リハビリテーション推進の取組状況

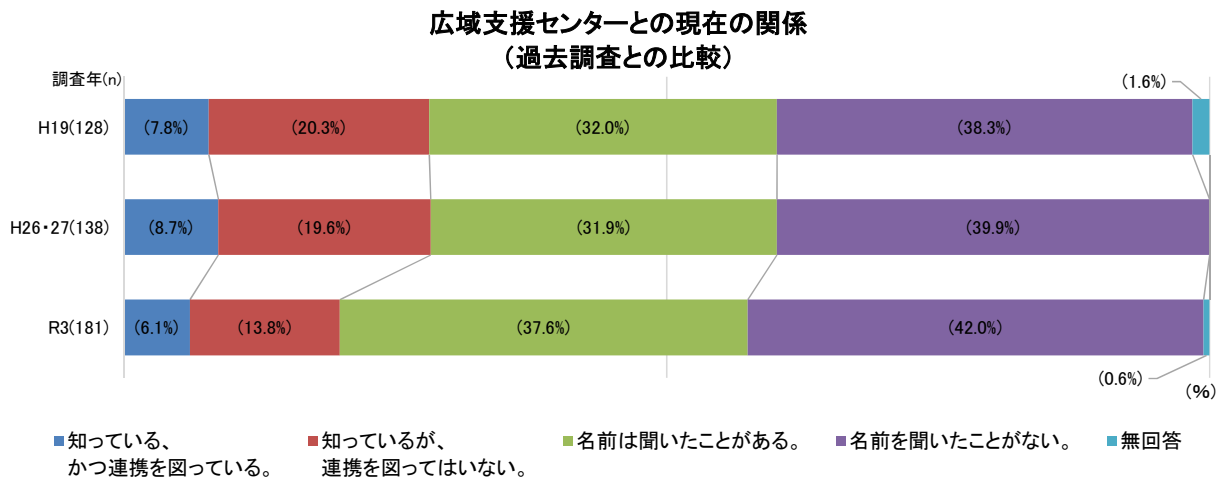
地域リハビリテーションに関する取組状況(複数回答)



【その他、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいること】

- ・看護職、理学療法士、医師を交えた定期的なカンファレンス
- ・訪問リハと連携
- ・介護予防を含む外来リハ、デイサービスでのリハ
- ・地域医療機関での手術後のリハビリテーションの提供
- ・メディカルフィットネス事業
- ・訪問リハの指示書
- ・急性期病院からの術後患者の受入れ
- ・地域住民に対する健康講話
- ・市内リハ職ネットワークづくり
- ・通院での運動器リハビリテーション提供
- ・市地域リハビリテーション拠点事業
- ・地域リハ担当者と密接に連携できるように努めている
- ・当院での訪問リハビリ提供の案内・普及

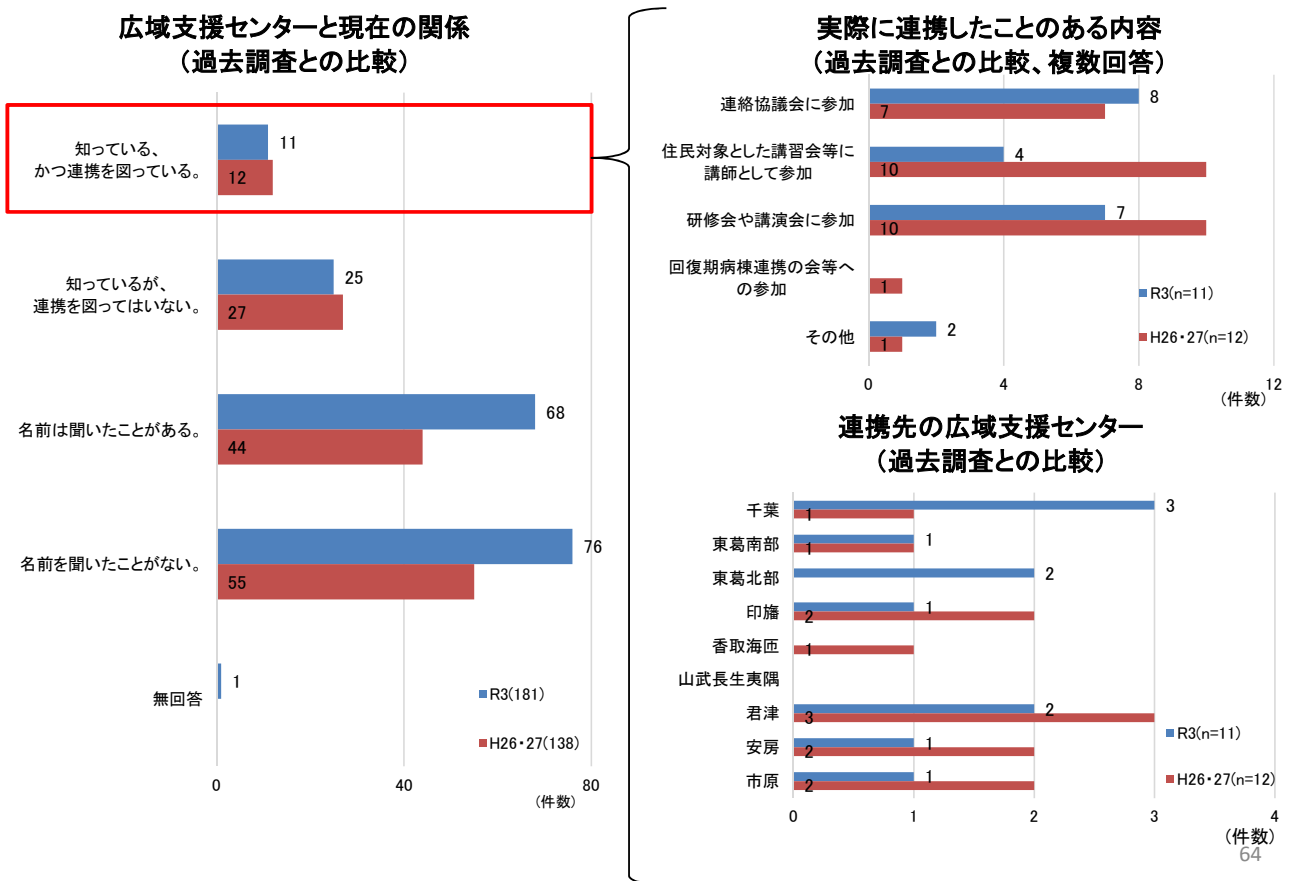
問2 広域支援センターとの現在の関係



- ・ 知っている、と回答したのは36診療所で前回比8.4%減(H26・27年は39診療所)
 - ↳ かつ、連携を図っているのは11診療所で前回比2.6%減(H26・27年は12診療所)
 - ↳ しかし、連携を図っていないのは25診療所で前回比5.8%減(H26・27年は27診療所)
- ・ 名前は聞いたことがあると回答したのは68診療所で前回比5.7%増(H26・27年は44診療所)
- ・ 名前を聞いたことがないと回答したのは76診療所で前回比2.1%増(H26・27年は55診療所)

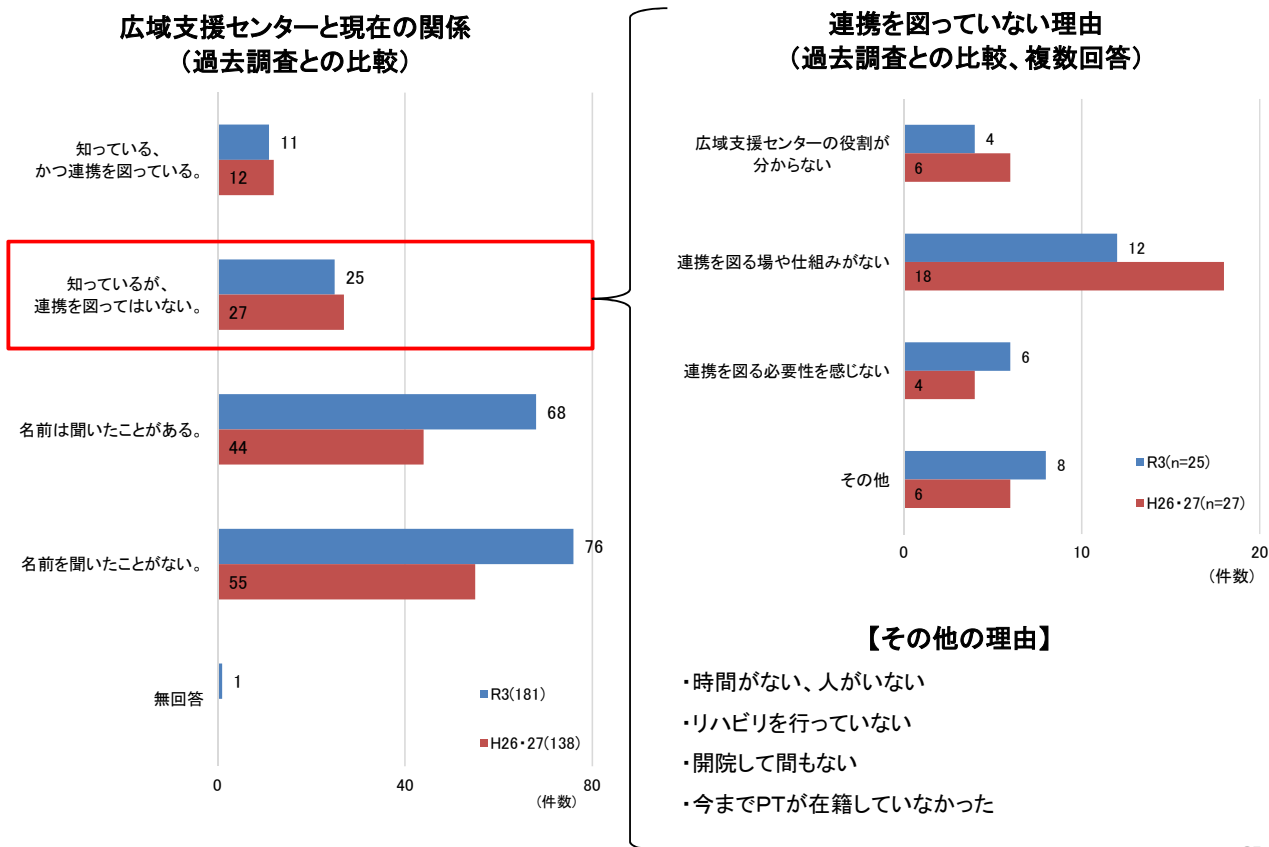
63

問2-1、2 広域支援センターと連携したことがある事業内容



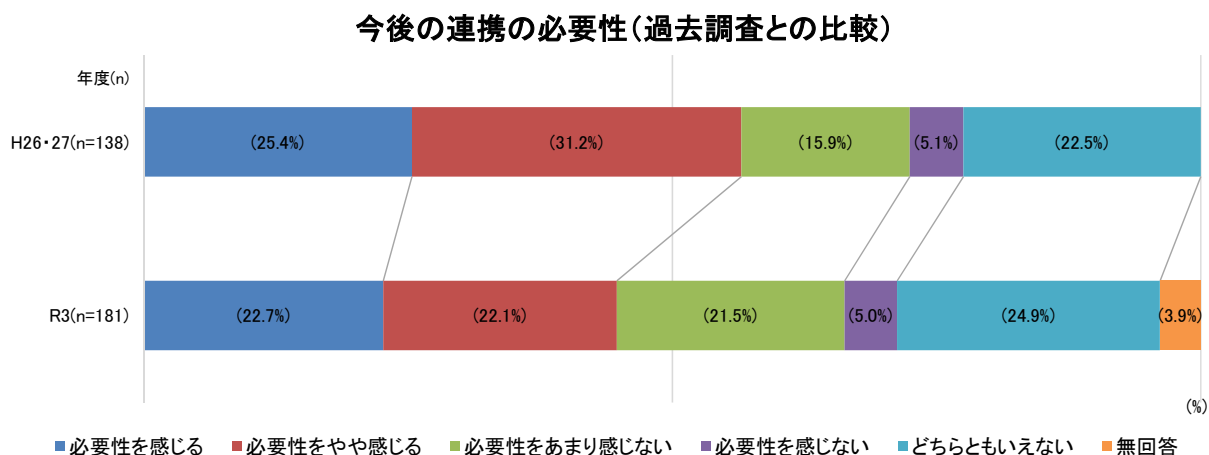
64

問2-3 広域支援センターと連携を図っていない理由



65

問3 広域支援センターとの今後の連携の必要性



・ 今後の連携の必要性について

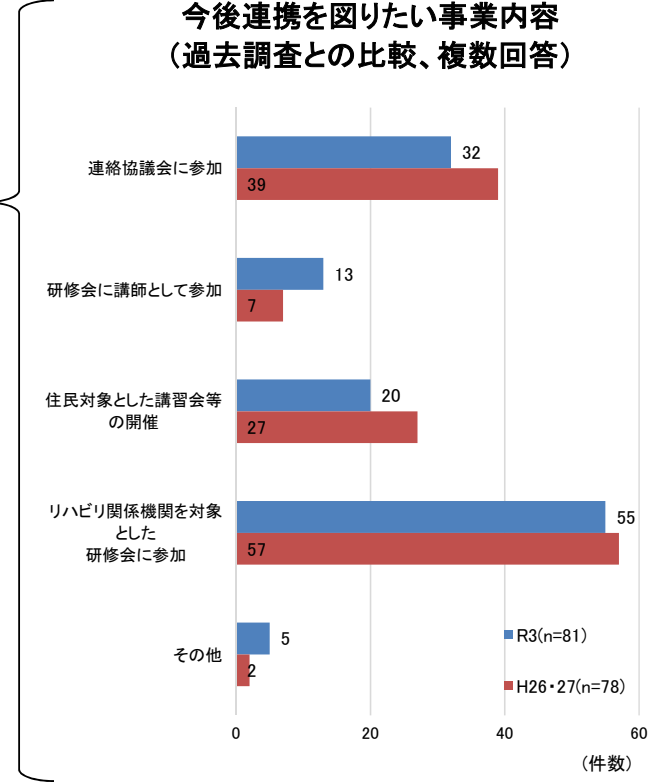
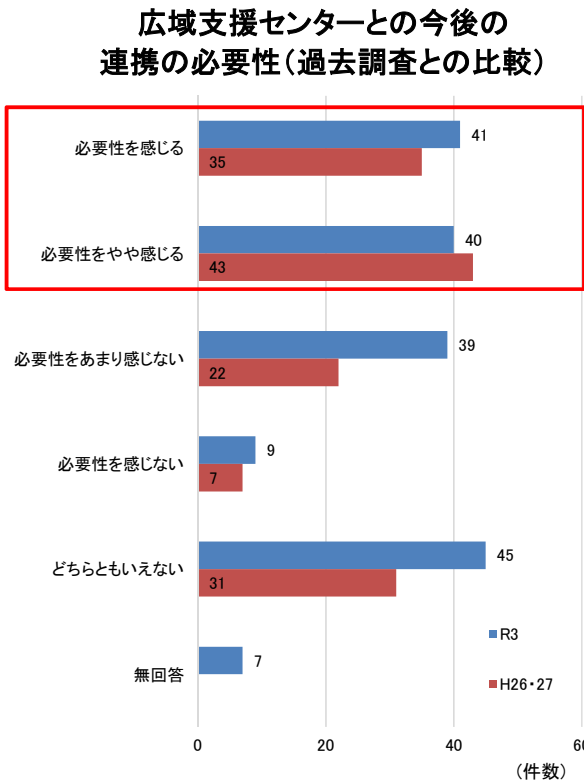
↳「感じる」、「やや感じる」と回答したのは81診療所で前回比11.8%減(H26・27年は78診療所)

↳「あまり感じない」、「感じない」と回答したのは48診療所で前回比5.5%増(H26・27年は29診療所)

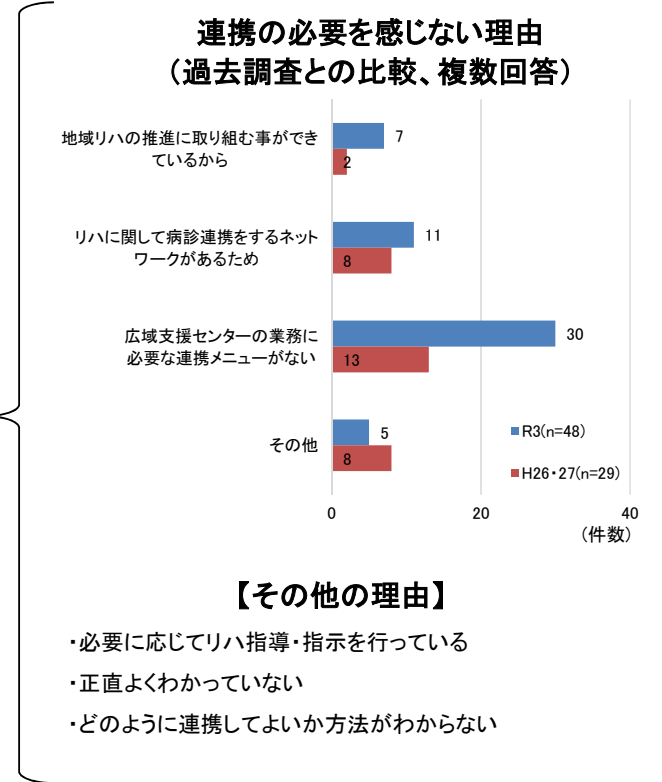
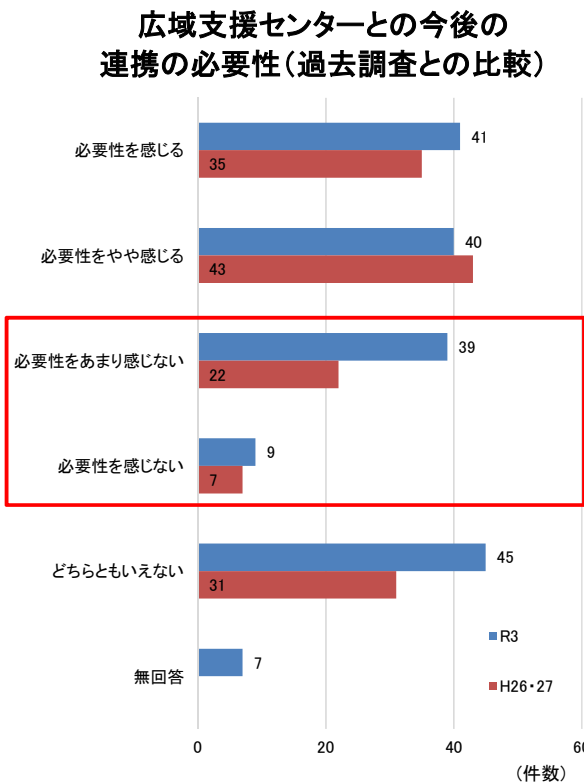
↳「どちらともいえない」と回答したのは45診療所で前回比2.4%増(H26・27年は31診療所)

66

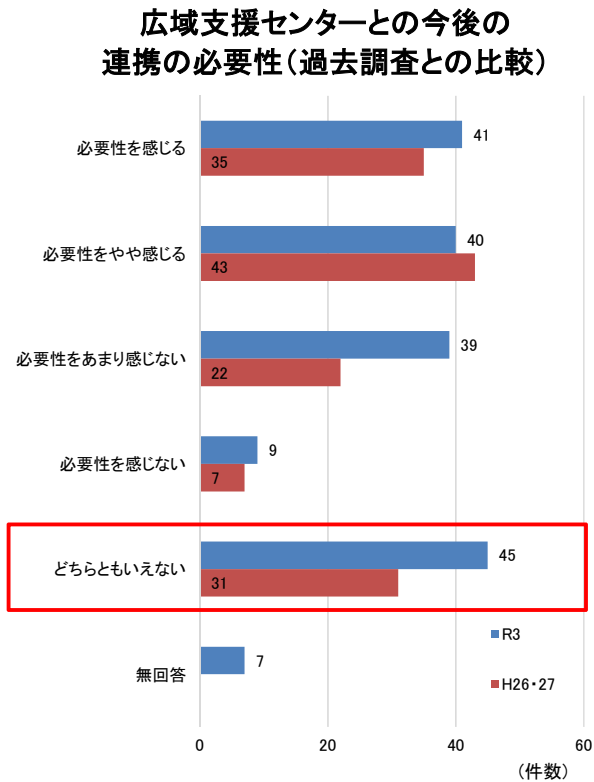
問3-1 広域支援センターと今後連携を図りたい事業内容



問3-2 広域支援センターと連携の必要性を感じない理由



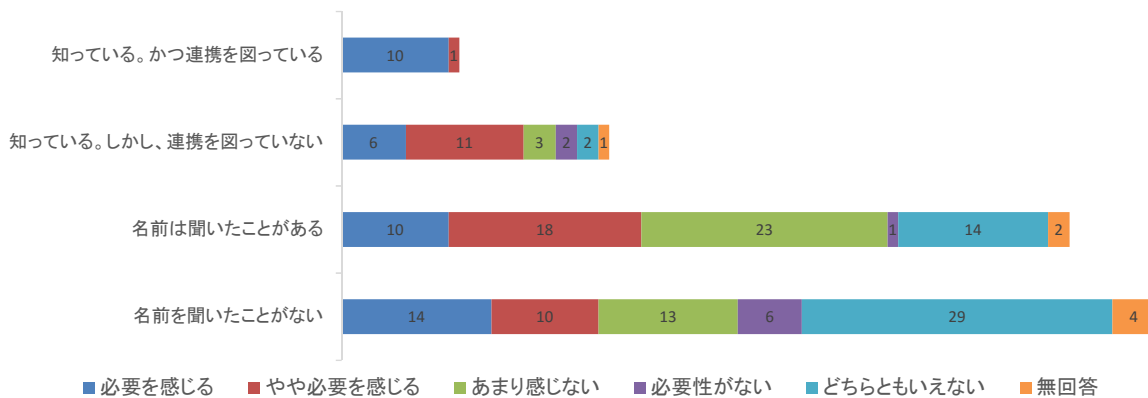
問3-3 広域支援センターと連携の必要性について どちらともいえない理由



【どちらともいえない理由】

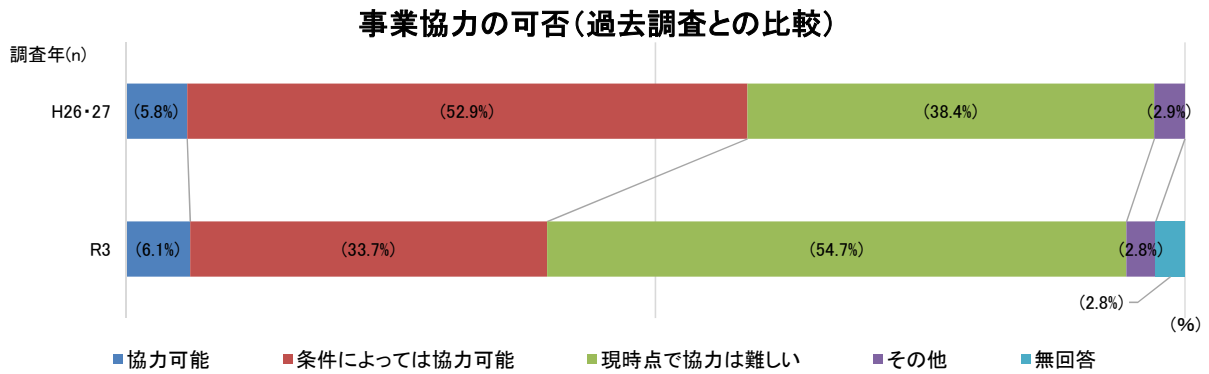
- ・現状で必要なケースが生じていない
- ・連携が必要な患者を診ていない
- ・日々の診療に直接関連していない
- ・活用したことがない
- ・当診療所内で完了する患者が多数のため
- ・当院はあまり関係性がない
- ・きちんとした連携がとれているかが分からない
- ・個々のケースによる
- ・今どのように動いているか状況を知らないから
- ・接点がない
- ・コロナ対応で余裕がない
- ・センターの情報がない
- ・患者から相談されることがない
- ・現在の業務以上手が回らない
- ・システムが理解できない
- ・広域支援センター事業内容を知らない
- ・広域支援センターの役割が明確ではない
- ・連携に公平性が担保できるか不明
- ・公的医療計画では運動器領域への配慮が不足することが多い
- ・連携していないが業務が成り立っている
- ・外来での患者には対象となる方がいない。在宅診療では必要なこともあり得る
- ・状況の認識がないため
- ・役割をまだよく把握していない
- ・有料老人ホームに併設された診療所であり、PT3名で充実しているから

広域支援センターとの「現在の関係(問2)」と「今後の連携の必要性(問3)」との関連



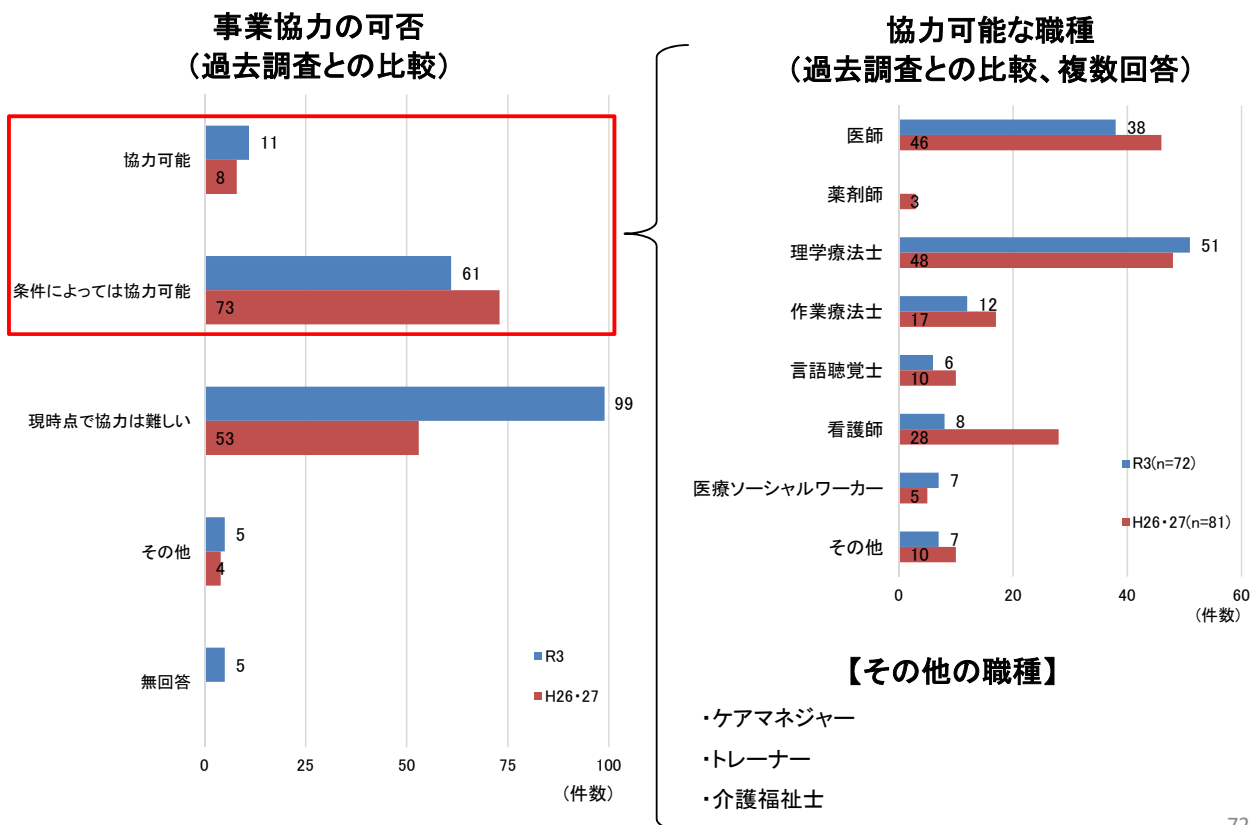
現在の関係	今後の連携	必要を感じる	やや必要を感じる	あまり感じない	必要性がない	どちらともいえない	無回答	計
知っている。かつ連携を図っている		10	1	0	0	0	0	11
知っている。しかし、連携を図っていない		6	11	3	2	2	1	25
名前は聞いたことがある		10	18	23	1	14	2	68
名前を聞いたことがない		14	10	13	6	29	4	76
無回答		1	0	0	0	0	0	1
計		41	40	39	9	45	7	181

問4 広域支援センターが協力を依頼した場合の事業協力の可否



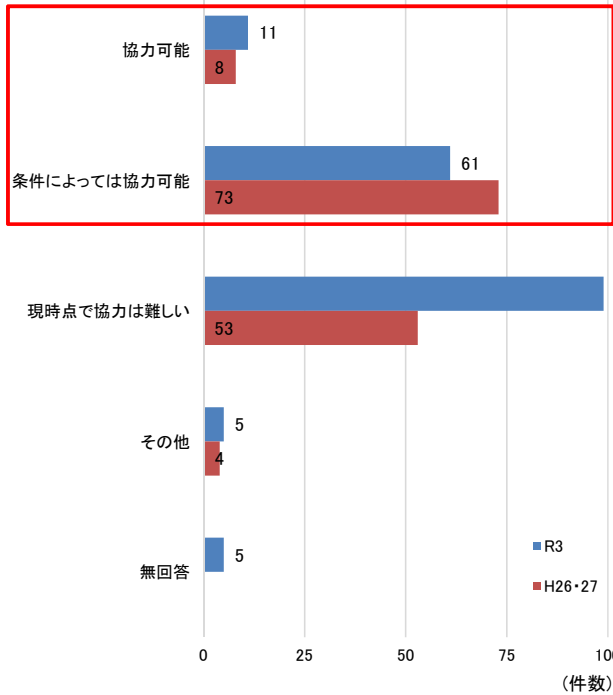
- 事業協力の可否について、
 - 「協力可能」と回答したのは11診療所で前回比0.3%増(H26・27年は8診療所)
 - 「条件によっては協力可能」と回答したのは61診療所で前回比19.2%減(H26・27年は73診療所)
 - 「現時点で協力は難しい」と回答したのは99診療所で前回比16.3%増(H26・27年は53診療所)

問4-1 協力可能職種

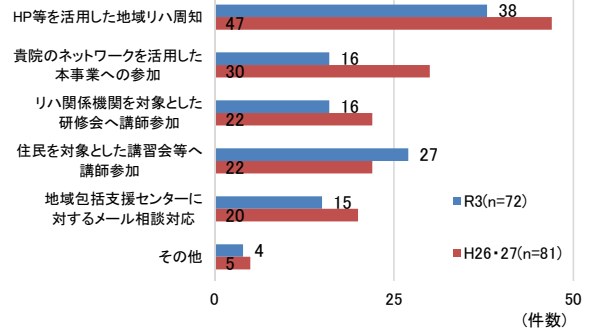


問4-2 協力可能事業

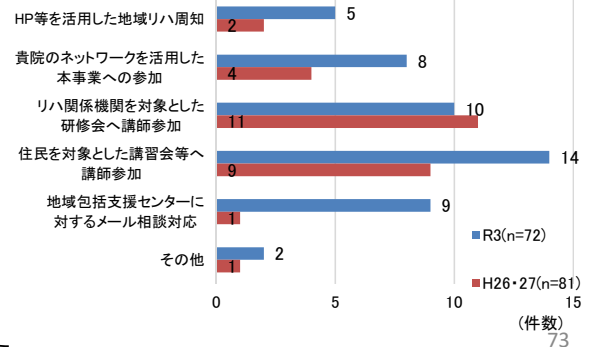
事業協力の可否
(過去調査との比較)



協力可能事業
(過去調査との比較、複数回答)

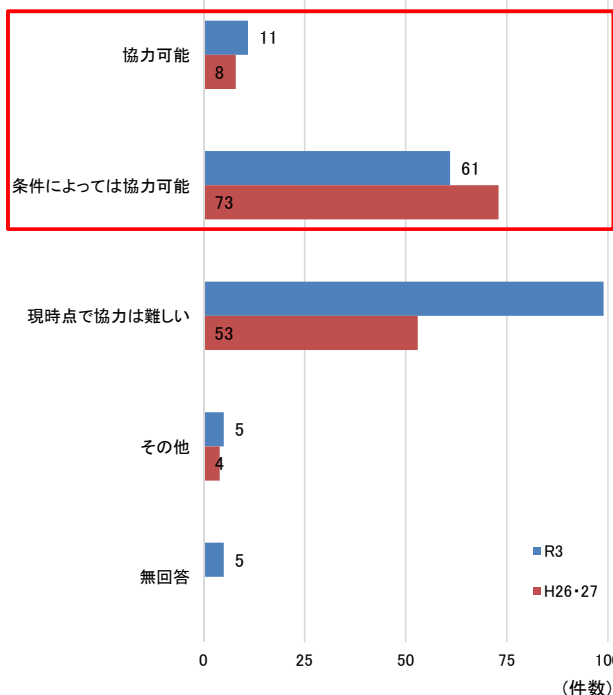


協力可能事業【報酬要す】
(過去調査との比較、複数回答)

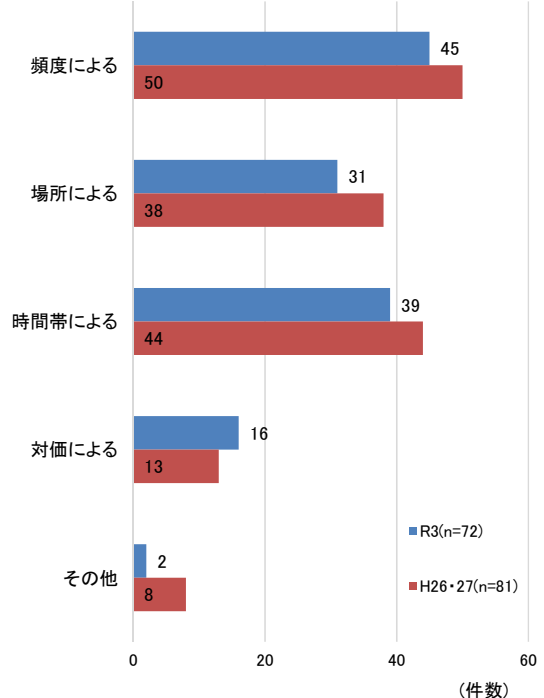


問4-3 協力可否の条件

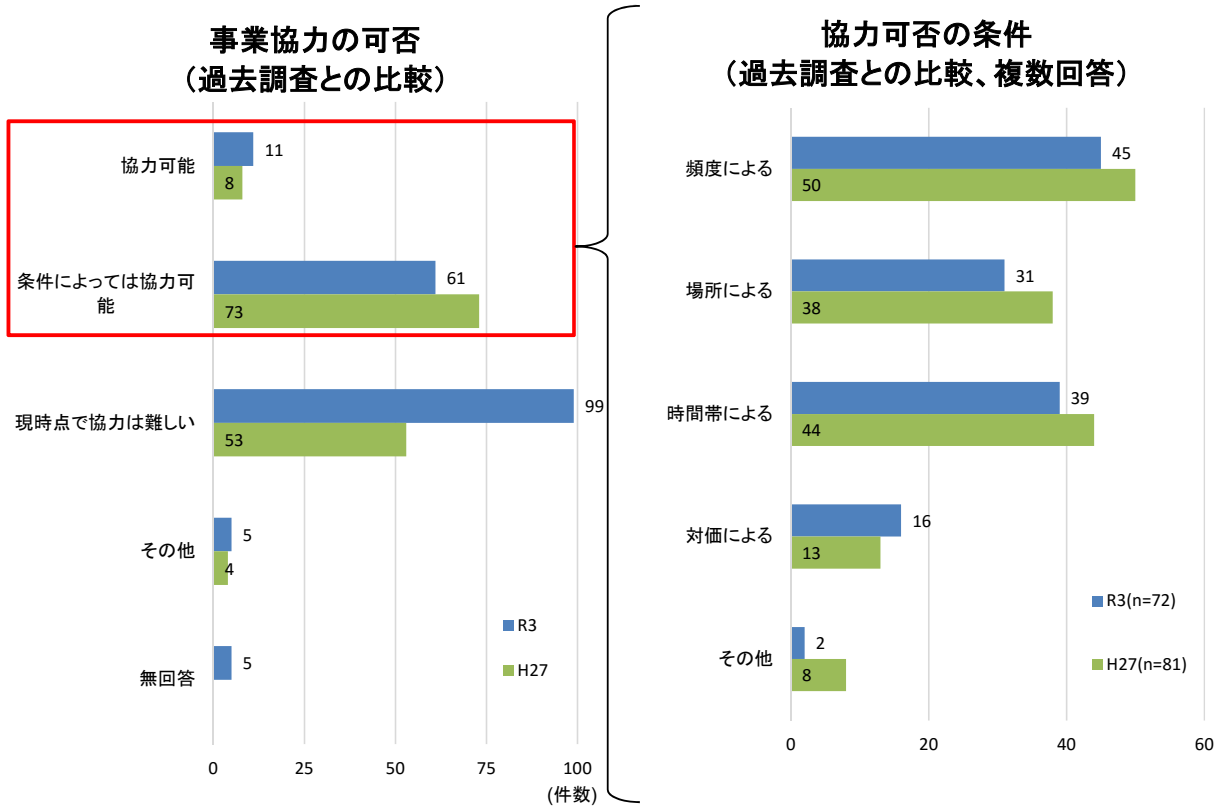
事業協力の可否
(過去調査との比較)



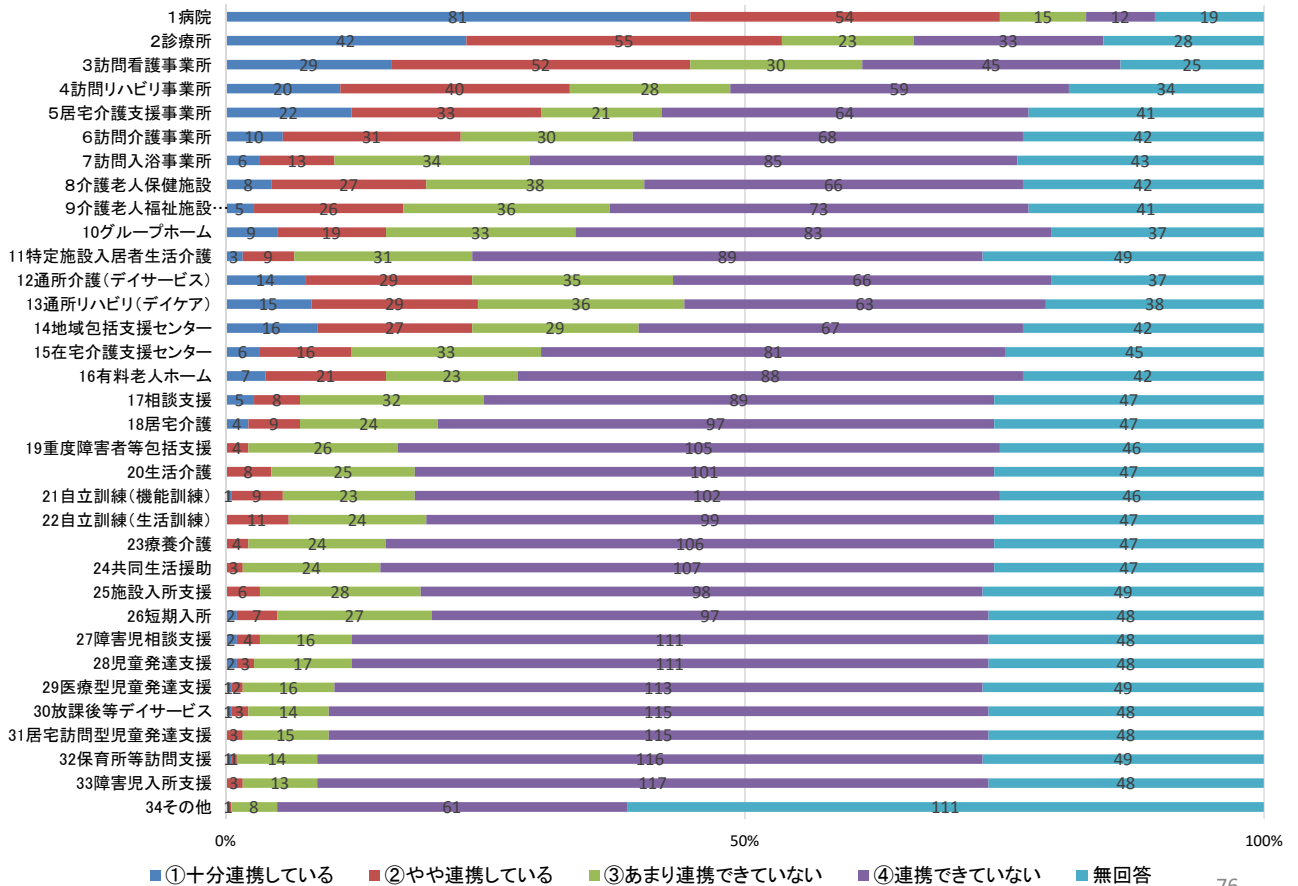
協力可否の条件
(過去調査との比較、複数回答)



問4-3 協力可否の条件

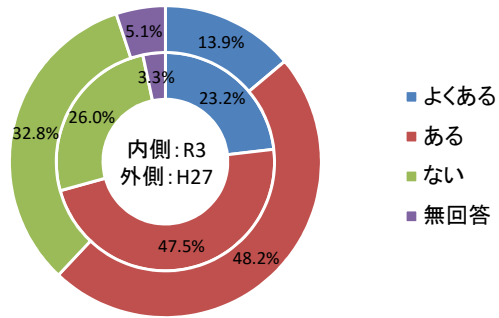


問5 関係機関との連携状況

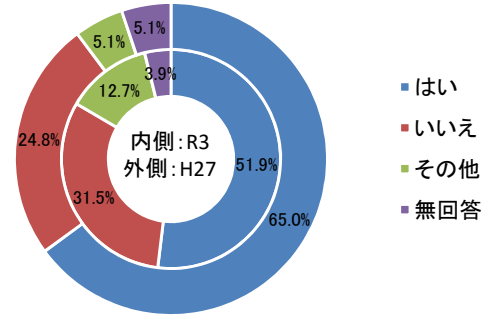


問6 かかりつけ医研修会等の希望

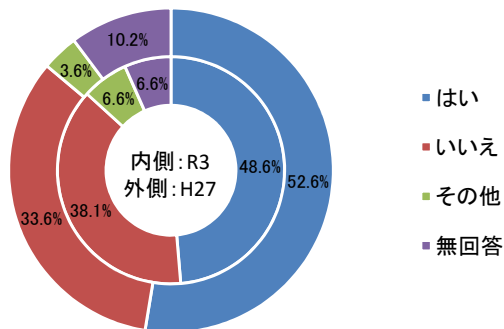
訪問リハビリ指示書を書いたことがあるか



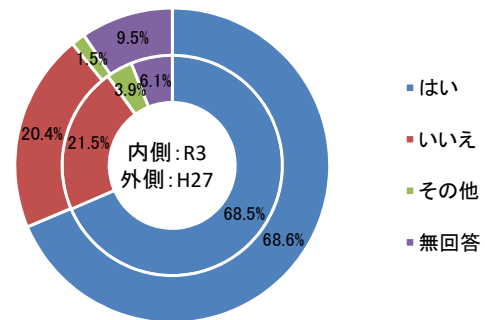
リハビリ医学研修の必要性



リハ科を標榜していない医療機関の医師に対する医学研修の必要性



リハ科を標榜していない医療機関の医師に対するリハビリ専門医相談体制の必要性



77

本事業に対する意見・要望

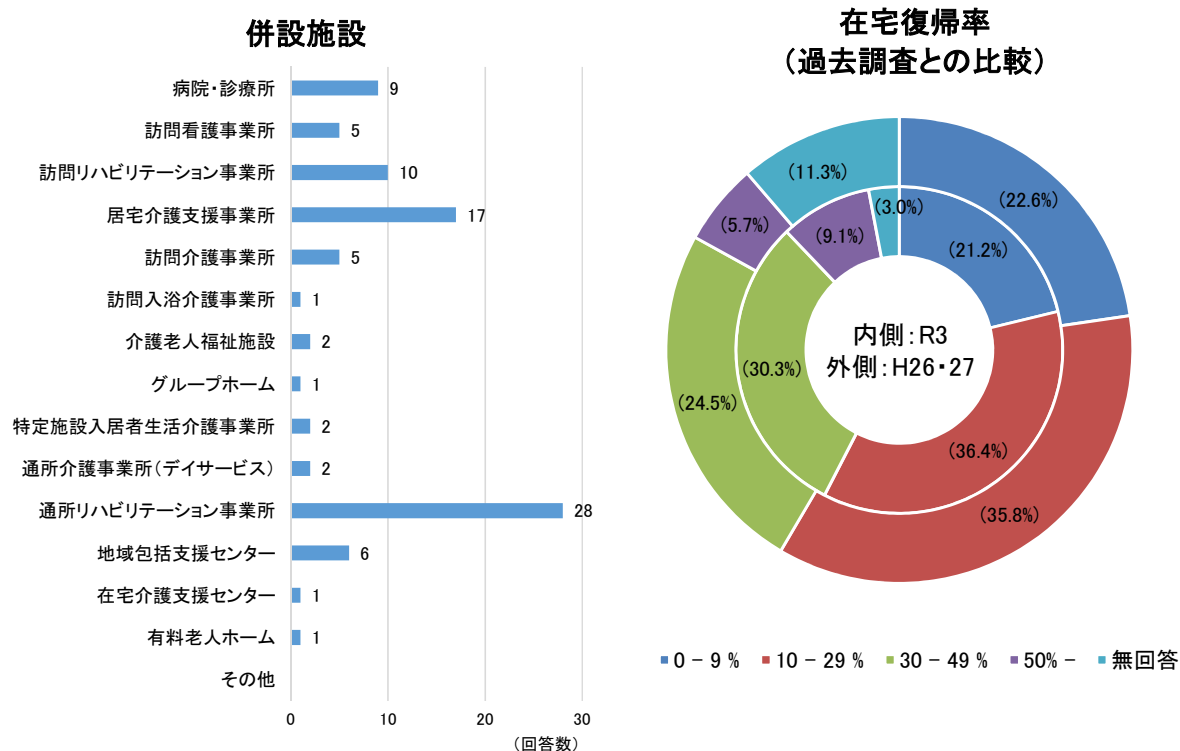
- ・ 仕事量は増やさない方がよいと思う。
- ・ 研修、会議等オンラインを中心にしてほしい。
- ・ 運動機能の低下しそうな人を早く見つけ出して、リハビリに繋げて介護予防できると良い。
- ・ 理学療法士等訪問看護をしている方が頼りになる。
- ・ ADLを上げるロコモも、フレイルもさせないことが医療費削減になり、人生にもよい。
- ・ 県、広域支援センターとの連携についての具体的な役割を知る必要があると感じる。
- ・ リハビリにも専門性があるため難しい
- ・ 生活支援も大切。住居の整備、買物、外出、洗濯等生活支援ホームプログラム、週間スケジュール作成、引きこもりにならない支援が必要
- ・ 当院リハビリテーション科を標榜しておりますが、現在、PT・OTの在籍がなく、又、具体的な内容がわからないので、(趣旨は大変よいと思うのですが)回答に困りました。

78

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (介護老人保健施設)

対象数 161事業所 回答数33事業所
回答率20%

問1 事業所の概況

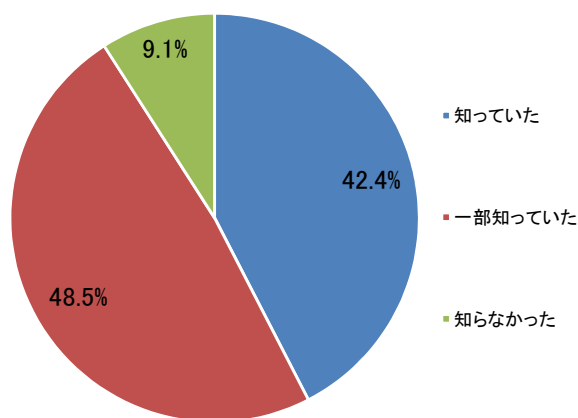


問2 地域リハビリテーション支援体制の整備・推進に関する認知度

【地域リハビリテーション支援体制の整備】
(千葉県保健医療計画より抜粋)

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

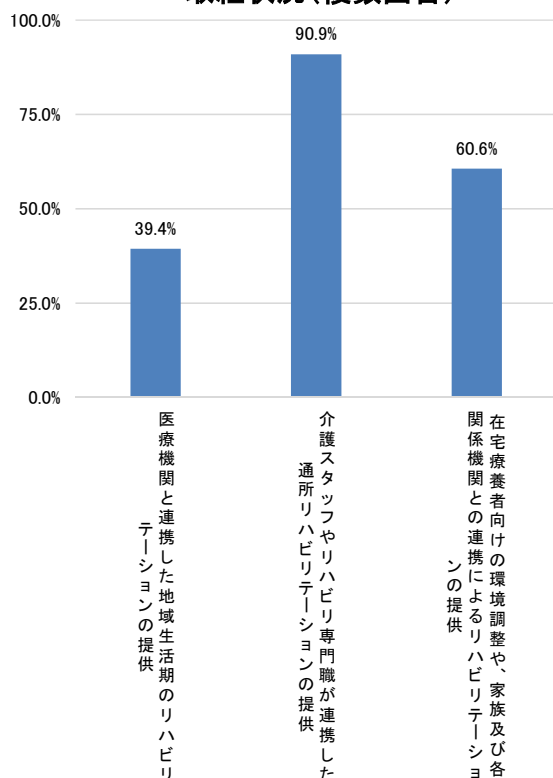
地域リハビリテーション支援体制の認知度



81

問2-1、2 地域リハビリテーション推進の取組状況

地域リハビリテーションに関する取組状況(複数回答)



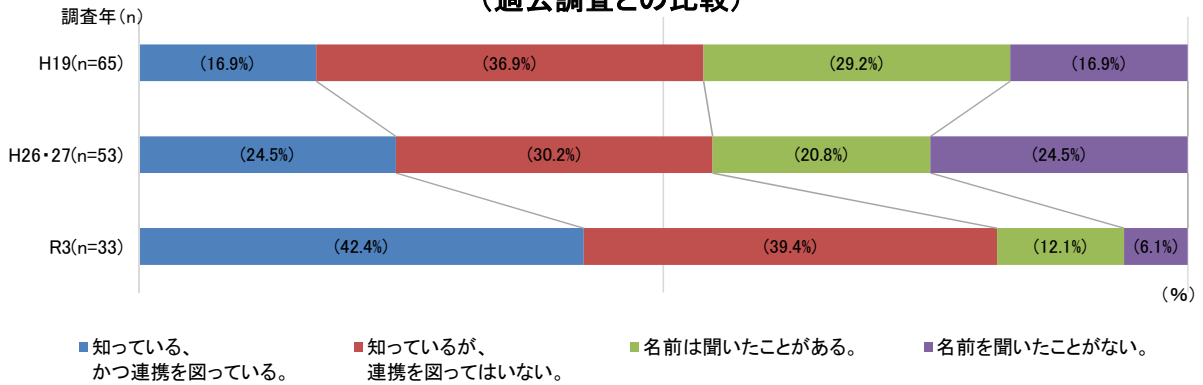
【その他、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいること】

- ・ちば地域リハビリテーション連絡協議会の参加
- ・訪問看護枠での訪問リハビリテーション
- ・行政と連携した足腰衰えチェック事業の参画
- ・地域高齢者に対する介護予防教室
- ・市町村との連携(介護予防事業への協力)
- ・認知症カフェの開催、公民館等のイベント時にリハ職から地域住民対象で健康体操の指導
- ・特別養護老人ホームへのリハビリ職の派遣業務
- ・地域住民への介護教室の開始(コロナ禍で現在中止)
- ・行政の介護予防事業への協力参加(「百歳体操」での運動指導)
- ・訪問リハビリテーションの提供
- ・「ちばリハ・パートナー」に登録し、地域での活動参加

82

問3 広域支援センターとの現在の関係

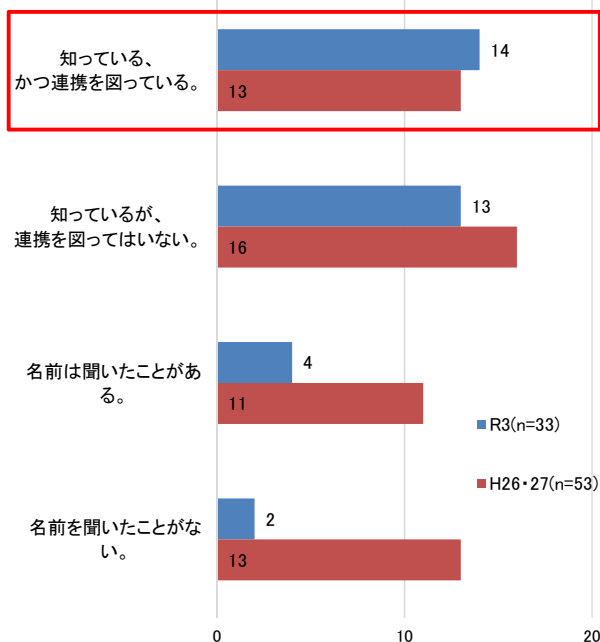
広域支援センターとの現在の関係
(過去調査との比較)



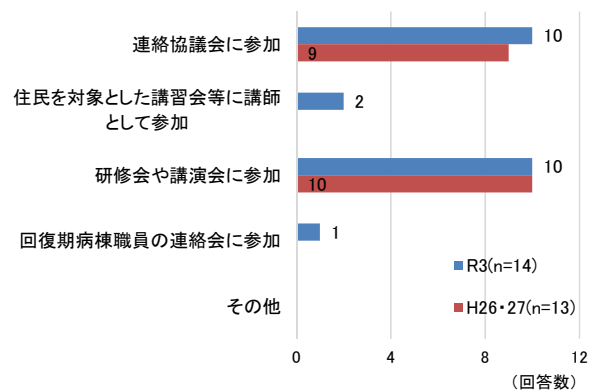
- 知っている、と回答したのは27施設で前回比27.1%増(H26・27年は29施設)
 - かつ、連携を図っているのは14施設で前回比17.9%増(H26・27年は13施設)
 - しかし、連携を図っていないのは13施設で前回比9.2%増(H26・27年は16施設)
- 名前は聞いたことがあると回答したのは4施設で前回比8.7%減(H26・27年は11施設)
- 名前を聞いたことがないと回答したのは2施設で前回比18.4%減(H26・27年は13施設)

問3-1、2 広域支援センターと連携したことのある事業内容

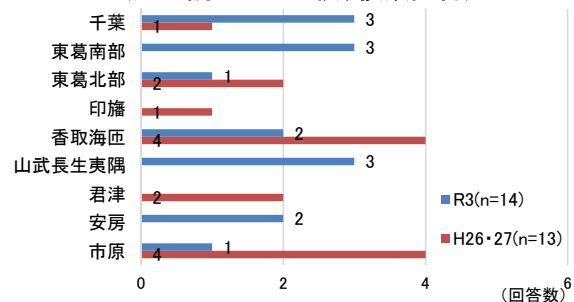
広域支援センターとの現在の関係
(過去調査との比較)



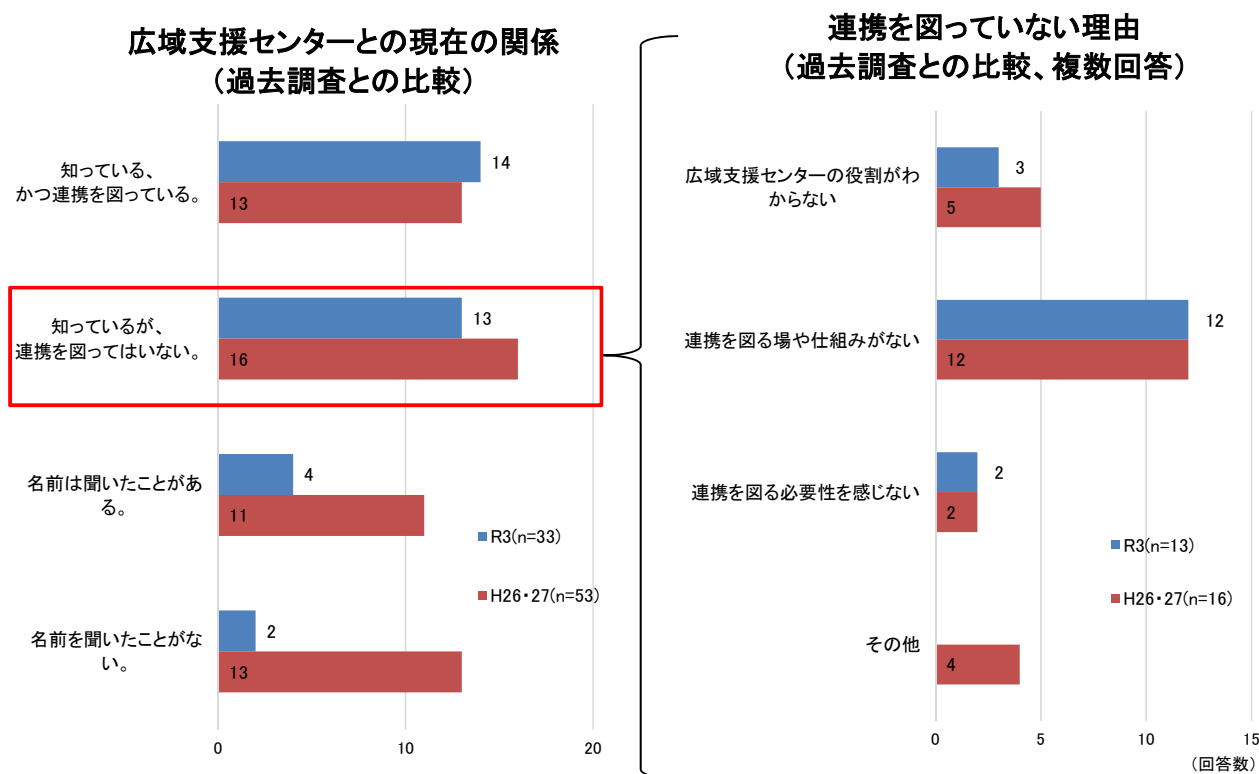
実際に連携したことのある内容
(過去調査との比較、複数回答)



連携先の広域支援センター
(過去調査との比較、複数回答)

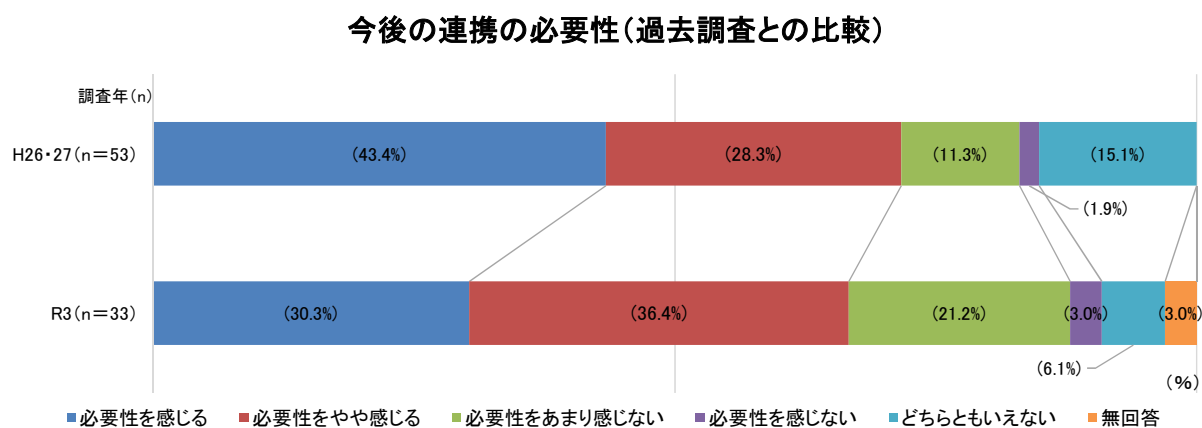


問3-3 広域支援センターと連携を図っていない理由



85

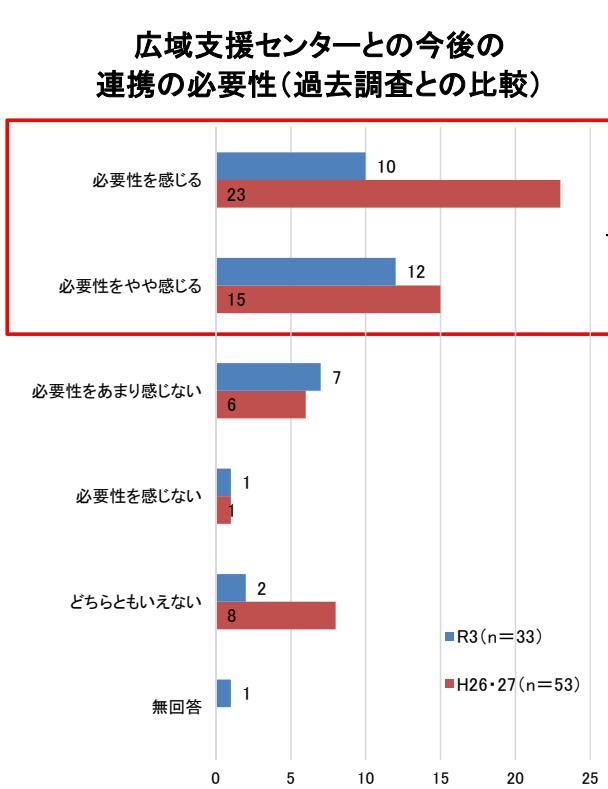
問4 広域支援センターとの今後の連携の必要性



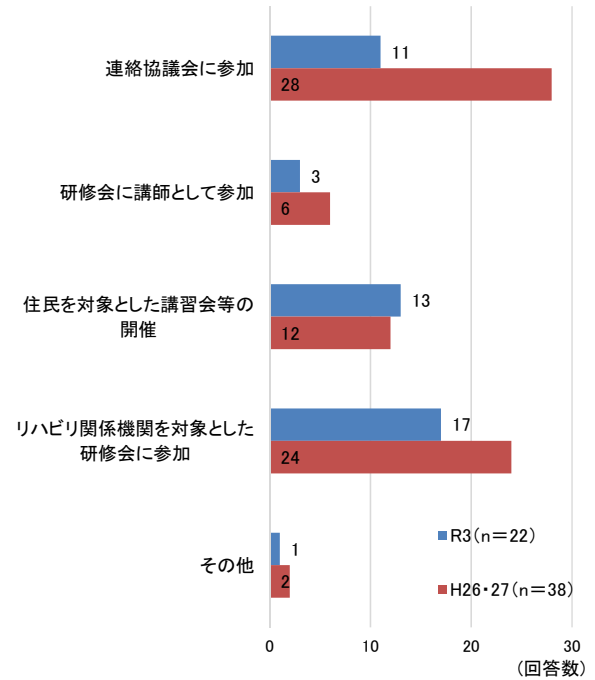
- 今後の連携の必要性について
 - 「感じる」、「やや感じる」と回答したのは22施設で前回比5.0%減 (H26・27年は38施設)
 - 「感じない」「あまり感じない」と回答したのは8施設で前回比11.0%増 (H26・27年は7施設)
 - 「どちらともいえない」と回答したのは2施設で前回比9.0%減 (H26・27年は8施設)

86

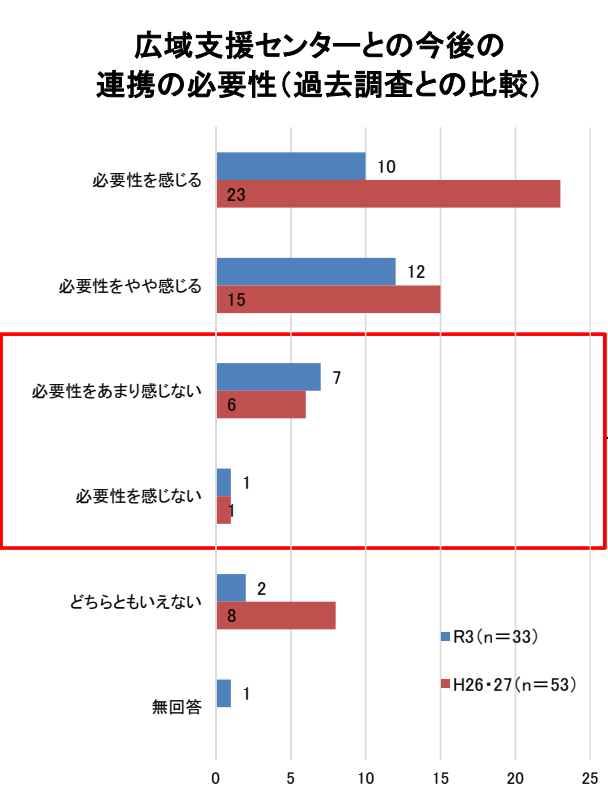
問4-1 今後の広域支援センターと連携を図りたい事業内容



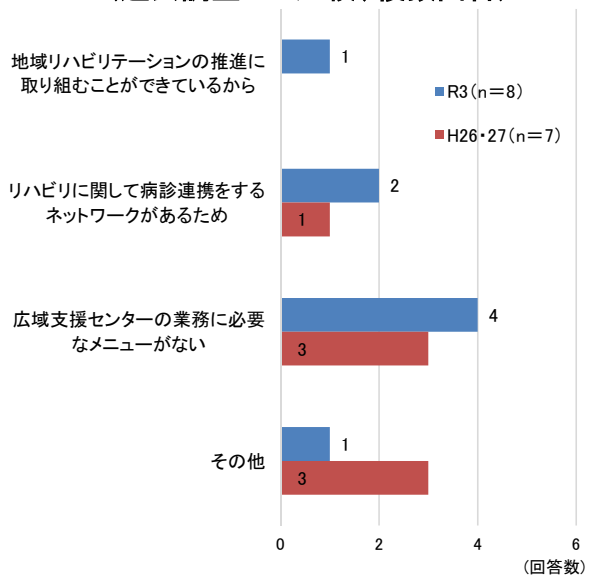
今後連携を図りたい事業内容(過去調査との比較、複数回答)



問4-2 広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由



連携の必要性を感じない理由(過去調査との比較、複数回答)

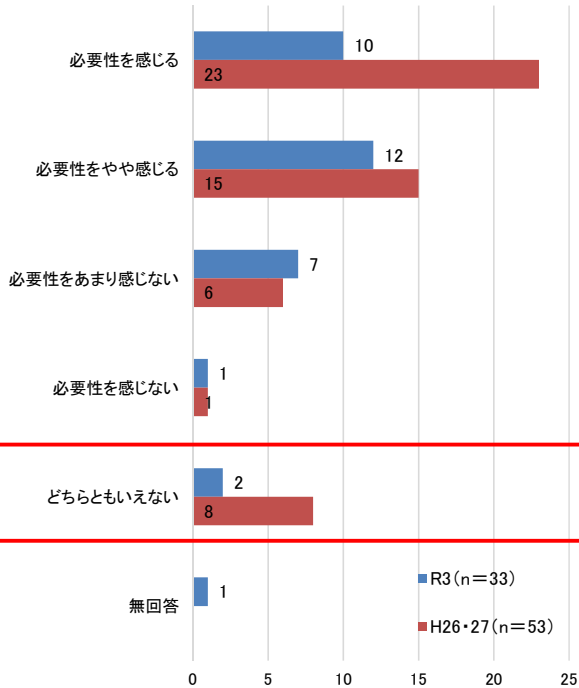


【その他の理由】

- ・地域が広範囲であり意味がない

問4-3 今後の広域支援センターと連携の必要性について、どちらともいえない理由

広域支援センターとの今後の連携の必要性(過去調査との比較)



どちらともいえない理由

【平成26・27年度】

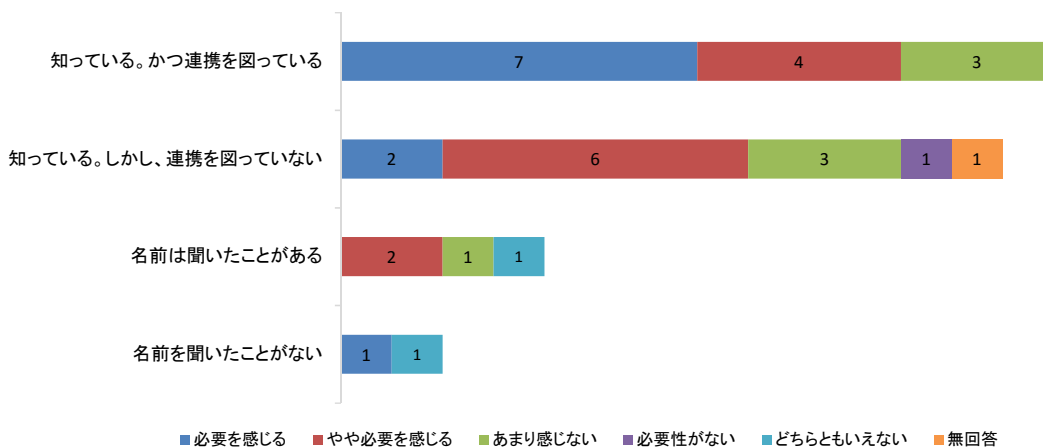
- ・広域支援センターの業務内容の理解が不十分のため。
- ・具体的な活動内容をまだ自身が分かっていないため。
- ・今回初めて知ったので、現状で判断しかねます。
- ・詳細の理解が不十分であるため。
- ・目的に沿った具体的な活動が分からず、かつ現有スタッフで対応可能かも不明である。
- ・リハビリに限らず、医療・介護・リハビリの関係をすることが大切と考える。当市では連携が進んでおり、圏域での連携は地域が広すぎるため、具体的なイメージが湧きづらい。広域での連携が果たして必要なのか。
- ・地域差があるので行政の協力もないと。
- ・当施設は老健であり、現在は連携は行っていない。

【令和3年度】

- ・広域支援センターの役割や連携内容について理解できていないため
- ・具体的な活動内容が分からないため

89

広域支援センターとの「現在の関係(問3)」と「今後の連携の必要性(問4)」との関連

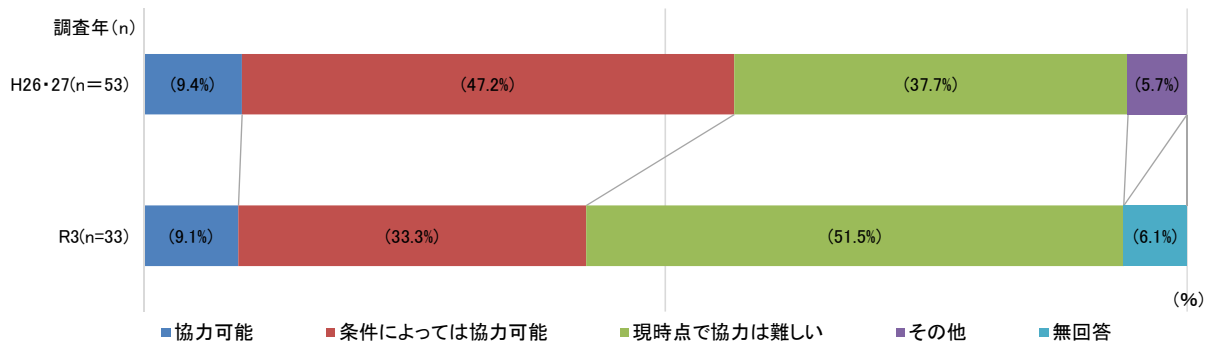


現在の関係 \ 今後の連携	必要を感じる	やや必要を感じる	あまり感じない	必要性がない	どちらともいえない	無回答	計
知っている。かつ連携を図っている	7	4	3	0	0	0	14
知っているが、連携を図っていない	2	6	3	1	0	1	13
名前は聞いたことがある	0	2	1	0	1	0	4
名前を聞いたことがない	1	0	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0
計	10	12	7	1	2	1	33

90

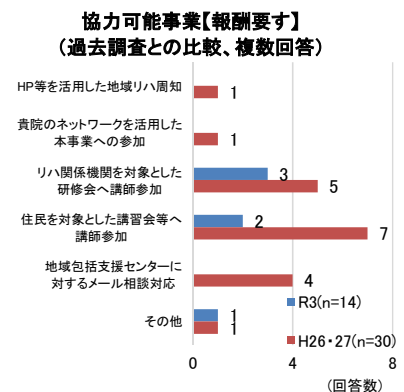
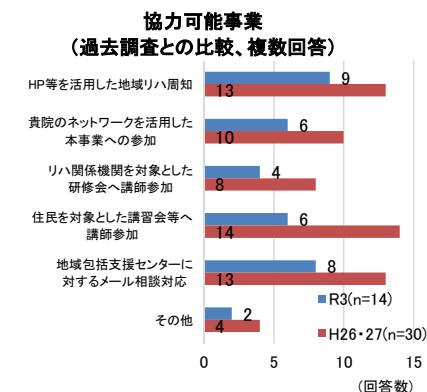
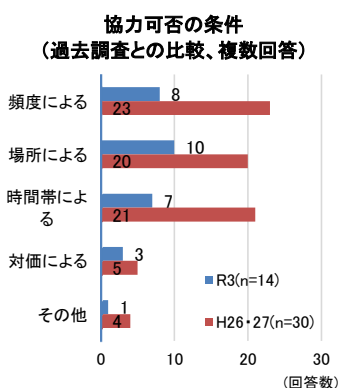
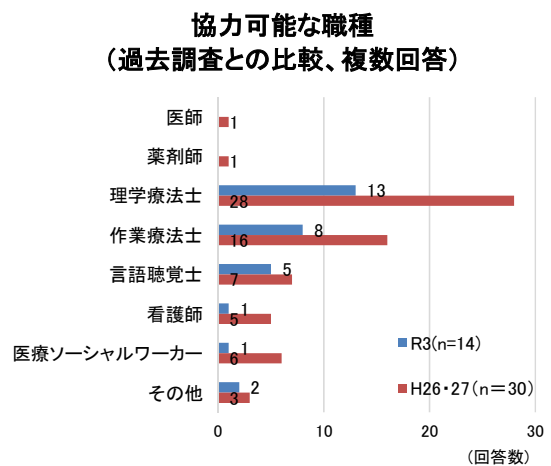
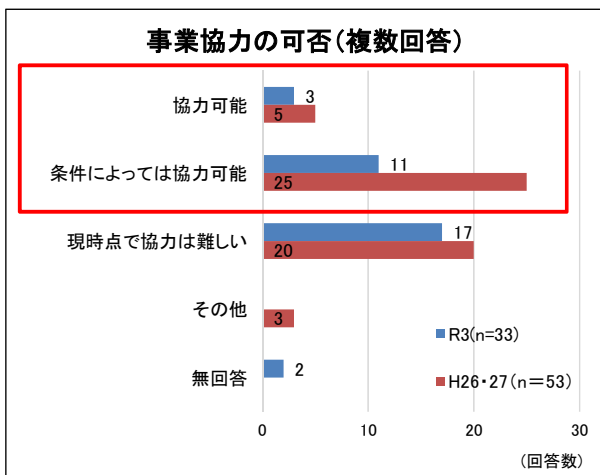
問5 広域支援センターが協力を依頼した場合の事業協力の可否

事業協力の可否(過去調査との比較)

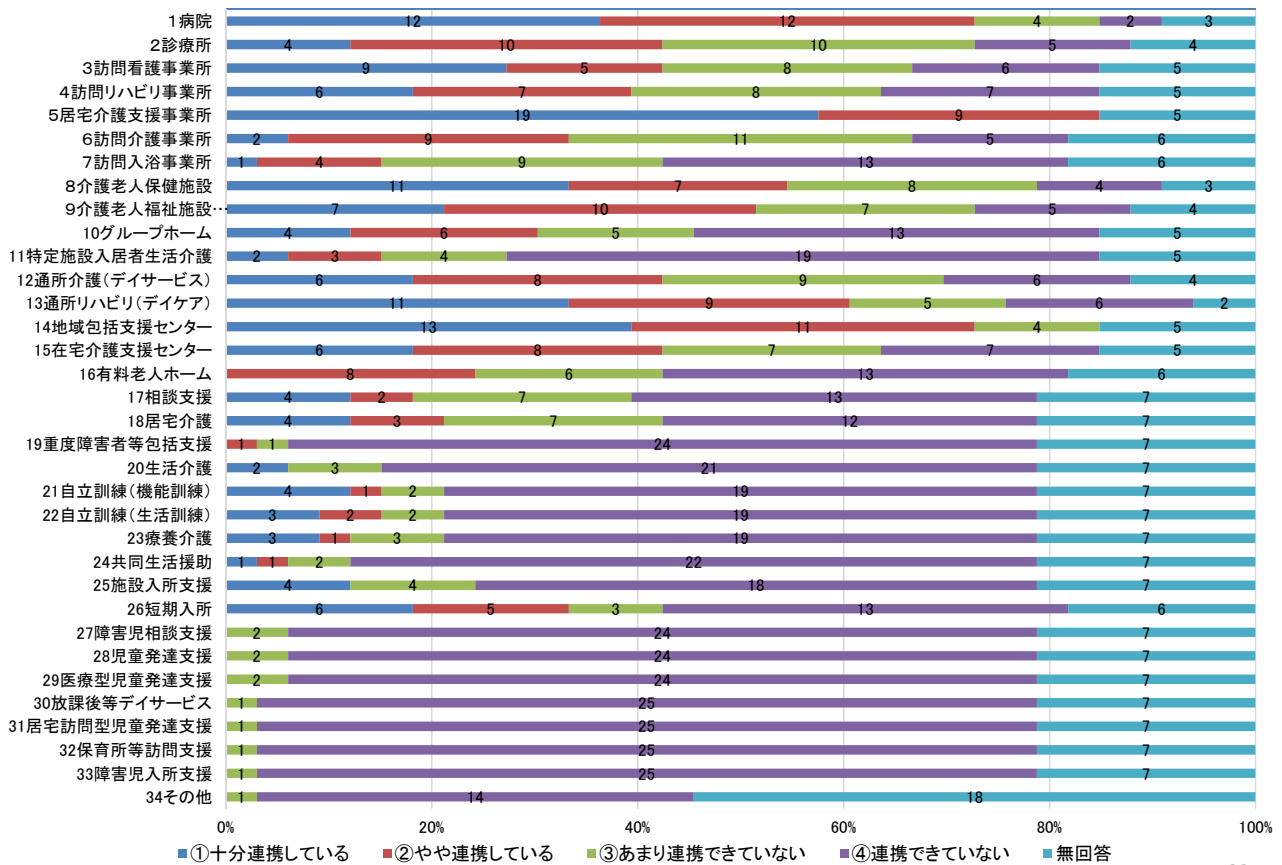


- 事業協力の可否について、
 - 「協力可能」「条件によっては協力可能」と回答したのは14施設で前回比14.2%減
(H26・27年は30施設)
 - 「現時点で協力は難しい」と回答したのは17施設で前回比13.8%増
(H26・27年は20施設)

問5-1、2、3 事業協力の条件



問6 関係機関との連携状況



本事業に対する意見・要望

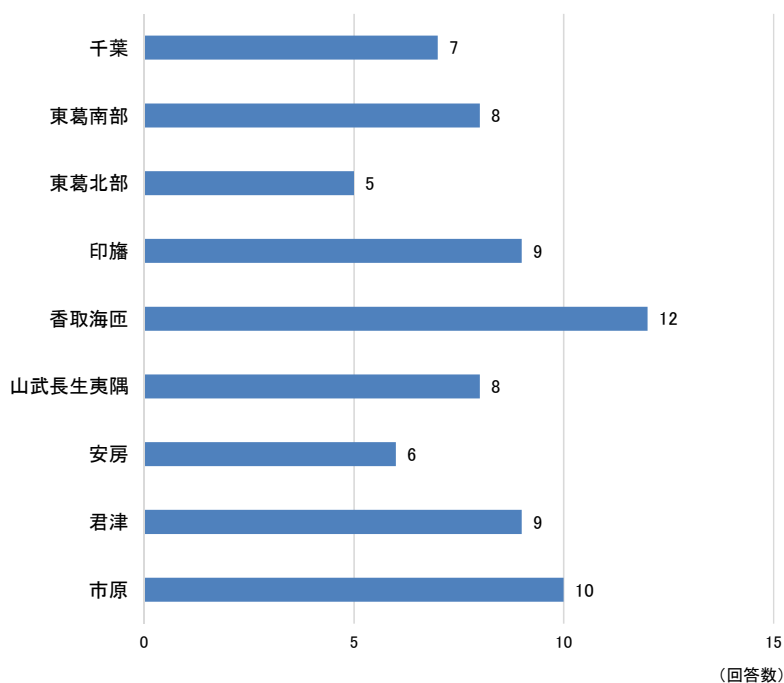
- ・ 現状、在宅復帰の利用者がほとんどおらず、どちらかといえば特養の待機で利用している方が多い。老健本来の形である、在宅復帰へ向けたリハビリ提供をしたいと思っているが、なかなか該当となる利用者がいなかった(見つけられなかった)。もし、在宅復帰希望の利用者の照会をスムーズに行える仕組みがあるならば、是非参加してみたいと思う。

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (介護支援専門員)

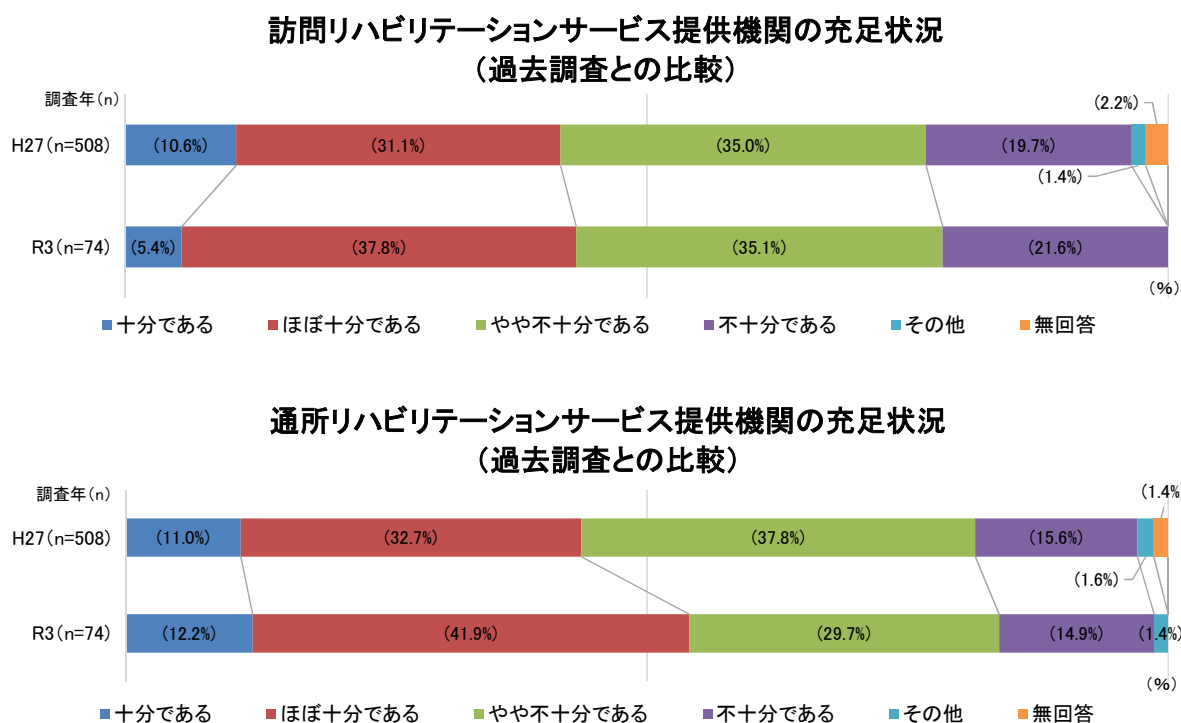
対象数 200人 回答数74人
回答率37%

問1 回答者の勤務先

回答者の勤務先所在地

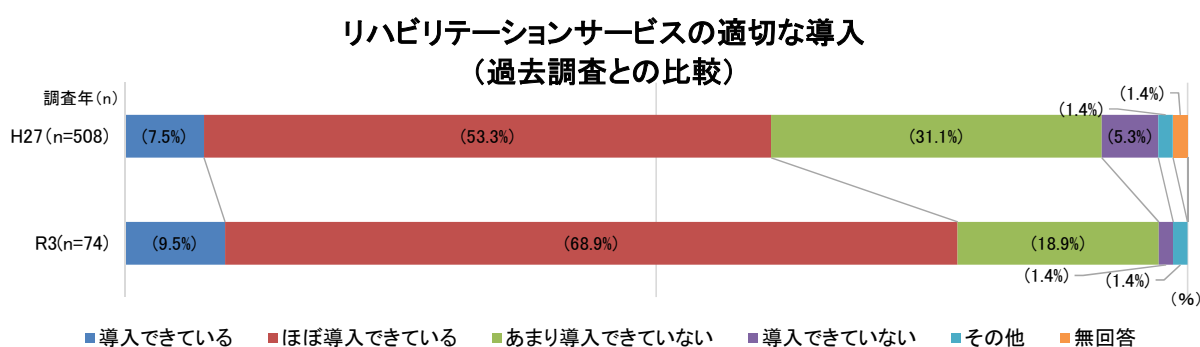


問2 訪問・通所リハビリテーションサービス提供機関の充足状況



97

問3 リハビリサービスが必要と思われる方へのサービス導入状況

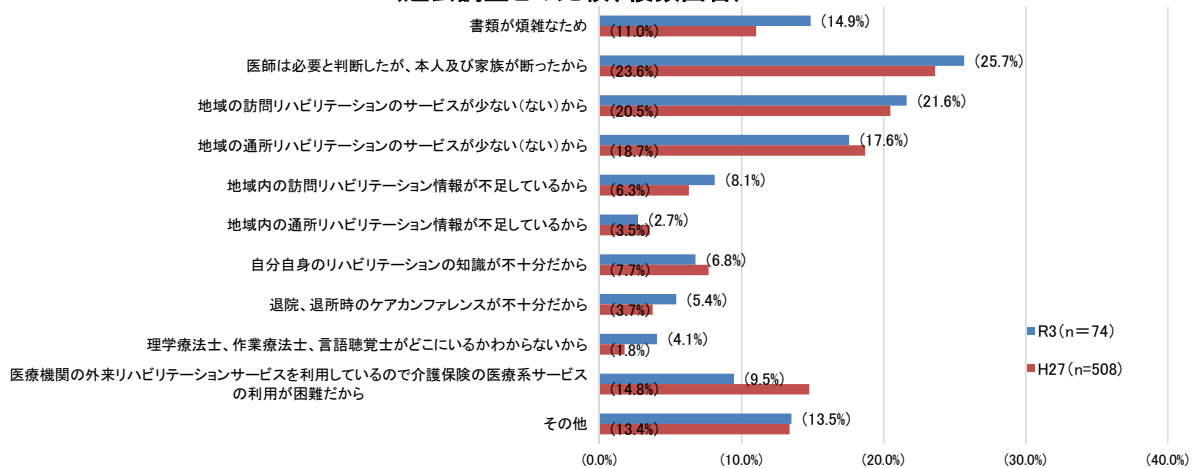


- 「導入できている」、「ほぼ導入できている」と回答したのは58人で前回比17.6%増
(H27年は309人)
- 「導入できていない」、「あまり導入できていない」と回答したのは15人で前回比16.1%減
(H27年は185人)

98

問4 適切なリハビリテーションサービスが導入できなかった理由

適切なリハビリテーションサービスを導入できなかった理由
(過去調査との比較、複数回答)



【その他の理由】

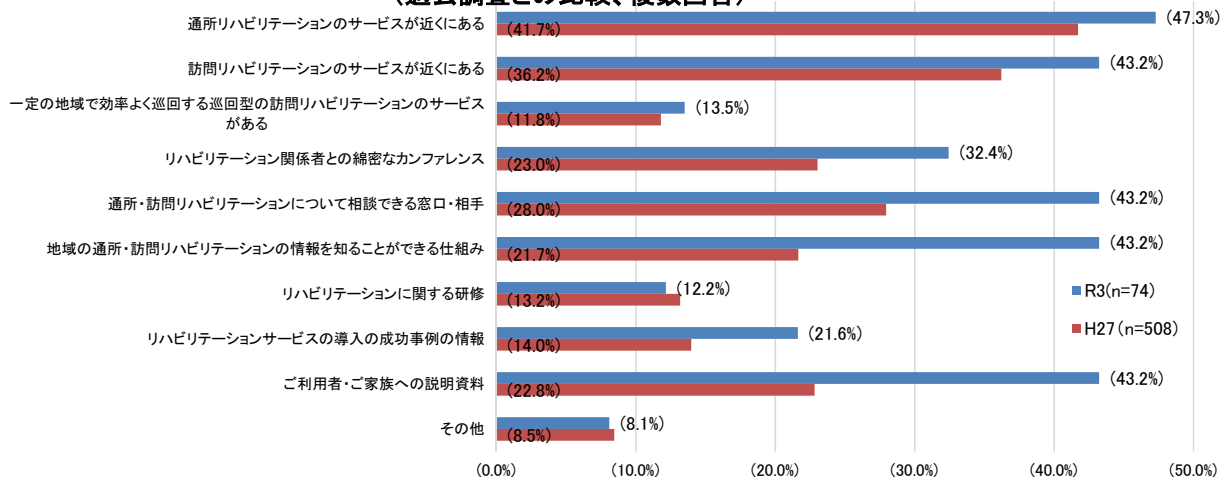
- ・理学療法士はたくさんいるが、訪問系の作業療法士、言語聴覚士が市内にいない
- ・半日及び短時間のリハビリのサービス事業所がなく、デイサービスに比べて料金が掛かる
- ・本人、家族がそこまでリハビリテーションを望まないケース
- ・利用者側の金銭面の負担が大きかったため
- ・医師より本人へリハビリの必要性が伝わっているケースが少ない

- ・デイケアを利用したかったが、送迎範囲外で利用ができなかった
- ・健康診断書の作成料金が高額で本人、家族が利用をためらってしまった
- ・デイでもリハビリが強化されてきていて、単位やその他のメニューでデイケアを選ばない人が増えている
- ・デイ：加算が多くて、単位数の問題、利用時間が短い
- ・訪問：ローカルルールでデイと訪問の併用に規制がある
- ・訪問リハビリテーションを利用する際、3か月に1回の受診が難しい

99

問5 リハビリテーションサービスの円滑な導入に必要な施策

リハビリテーションサービスを円滑に導入するために必要な施策
(過去調査との比較、複数回答)



【その他の理由】

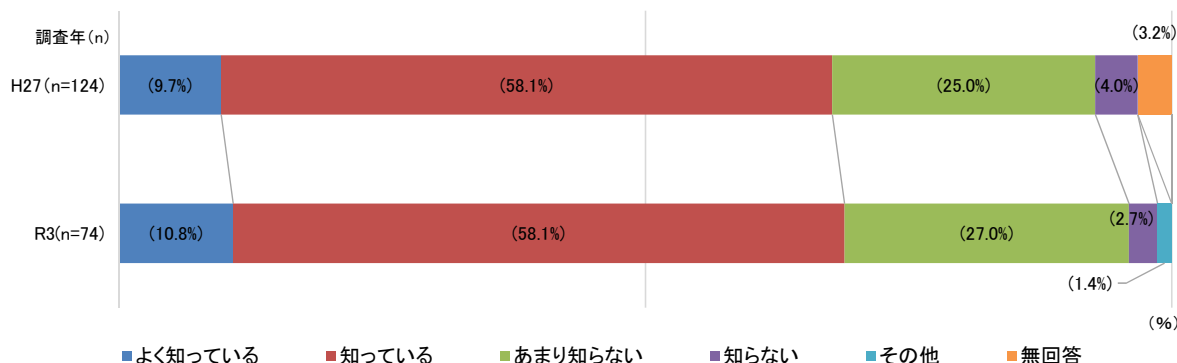
- ・導入時にコンサル医師との連携のしやすさに関すること
- ・利用するとなると書類を揃える必要があり気軽に試せない。訪問リハビリはこうゆうものだとして試せる制度があると導入しやすく理解が得られやすい
- ・主治医意見書にリハのチェックがないと受診時コンサル同席や医師の意見を確認する必要があるため、病院との連携の仕方が病院によって取りにくい。そこが円滑にできると利用しやすい

- ・指示書の廃止
- ・導入時の書類の削減、簡略化
- ・指示書を医師がスムーズに作成してくれるとよい
- ・利用までの資料準備、診察、指示書の準備などの処理がもっと簡潔でスピーディーになるとよい

100

問6 地域における高齢者支援において、PT・OT・STが果たせる支援内容の認知度

リハビリテーション専門員の地域における支援内容の認知度(過去調査との比較)



※H27年度調査は主任介護支援専門員研修受講者の回答

- ・ 「よく知っている」、「知っている」と回答したのは51人で前回比1.1%増(H27年は84人)
- ・ 「知らない」、「あまり知らない」と回答したのは22人で前回比0.7%増(H27年は36人)

101

本事業に対する意見・要望 ①

- ・ リハビリの利用を希望される方の中で、一定数、利用前の段取り(①主治医の意見書に記載がない場合の医師との利用確認・コンサルについて、②利用前検査の必要性など)を理由に、簡単に利用が開始できるデイでの機能訓練を希望する方はいらっしゃいます。①についてはケアマネが行うことを説明しても、事前段取りの多さや手間感、②書類について料金の発生で、躊躇される傾向はあります
- ・ 難病他、病名で医療でのリハビリになる場合などの対応先や線引きが分からない時があるため、資料等わかりやすいものがあると助かる
- ・ 訪問看護ステーションからPT派遣で3か月に1回看護師訪問が義務付けられているため利用しているが、本人家族からはリハビリのみで構わないが利用料金が発生してしまうため、最短(30分)でお願いしているが、訪問リハビリの事業所の数が少ないので、このようになってしまっている。算定を感ずることもある
- ・ 主治医の指示書が必要であり、面倒と思う方もいる。通所介護サービスの中にもっと充実できればいいと思います
- ・ 通所リハ・訪問リハの内容と、医療機関でのリハビリ内容に差がある。介護保険に切り替わると、機能低下の進む例が多い。通所リハでの個別の訓練時間が短い
- ・ 通所リハビリについて、利用開始に至るまでの書類が多すぎます。またそれらをクリアして導入に至っても、結局10～15分程度しかリハビリをする時間がありません。それだったら、半日型の運動器デイへ通ってもらった方がよっぽど効果的です
- ・ 通所リハビリについて、短時間コースが増えると、利用者への提案が行いやすい
- ・ 当市は広く、老健等が13か所あるが、それぞれのリハビリ方法や考え方に違いがあり、望むリハビリが実現しない場合もある。送迎の関係で「通所リハビリ」の選択肢はあまりない現実がある。問題がどこにあるのか、ケアマネが何を望んでいるのか、県として把握してせめて通所リハビリのレベルを同じくらいにしてもらえたらよいと思う。また、現場にセラピストの不足が感じます。国家資格を持って仕事をするセラピストにもっと待遇を良くして、人が集まるようにしなければ、切磋琢磨してもらえなければ、良いリハビリも提供できないと考えます
- ・ 言語聴覚士によるリハビリを受けられるといいなと思った方が過去に何人かいたのですが、探したけれども見つけれませんでした。もっとSTにみてもらえるようになるいいと思います
- ・ 訪問リハビリが必要に応じて即対応してもらえる事業所などがほしい時があります。訪問リハビリはまだ不足していると思います

102

本事業に対する意見・要望 ②

- ・ コロナの影響で、退院時に一緒に家屋調査ができなくなり、退院後の自宅での生活を送る支援がうまくいかなくなりました。そのため、折角リハビリで身体状況が良い状態で退院されたのに悪化することが多いです。また、病院の理学療法士の方は、家屋調査をしてくれず、ケアマネに丸投げすることがあり、困っています
- ・ 利用者（特に高齢者）は退院後自宅に戻ると運動量が少なくなる。デイサービスやデイケアを利用しても家にいるときは動かない。意欲を持たせるための工夫等知りたい
- ・ 退院後に介護サービスに切り替わると、リハビリの時間が短くなり、不満を漏らす方が結構います。「物足りないよ」とよく言われます。通所リハビリの開始までに時間が掛かるため、提案しても断られる事があります
- ・ 色々提案してくれるが、家族状況、経済状況等を考慮しないことがある。本人の事だけを中心に考えることは難しいことがある。提案がとて役に立つこともある
- ・ 研修会でリハビリテーションサービスの事例検討や講義などを行ってほしいです
- ・ 医療系サービスを導入する際に主治医に意見を求める必要がありますが、病院によっては、医師に連絡票等を記入してもらう時は料金が発生するといわれることがあります。料金が発生すると医師と連携がとりにくいです
- ・ 広域でのリハビリテーションの成功事例や情報を知りたい。近隣の利用状況しかわからない、都市部での利用の仕組み等、研修があれば参加したい
- ・ 訪問リハビリテーションが十分に対応できるようになり、デイサービス等でも時々、療法士が見てあげられる状況ができればと思います
- ・ リハビリ目的で入院されている方が、退院してデイケアを利用した時に、個別リハビリの時間が短く、不満を持たれる方がいらっしゃいます。その中で、リハビリ職の方には本人の効率の良いリハビリの内容が自主的にできるリハビリなど丁寧に説明していただき、それが目標を達成できるプロセスということを伝えていただければと思います
- ・ 地域によって事業所の集中、不足があり、さらにSTも希少であり、利用者のニーズに応えられない悩みがあります
- ・ 最近では、地域のリハ職の方々の研修会への参加の案内が届き、リハ職と顔の見える関係作りが少しずつできるようになりました。退院時に在宅でのリハビリの継続のため、訪問リハビリに依頼できるようになってきました。でもまだ不足していると思います。デイケアは市内に2か所しかなく、いつもスムーズに利用につなげるのが難しいため、デイの中でもPTがいるところなどリハビリに特化しているデイにつなげる人が多い現状となっております。PTやOTは利用したことがありますが、STの在宅での利用はありません。

103

本事業に対する意見・要望 ③

- ・ 勤務する地域のデイケアについて、定員オーバーや送迎区域外とのことから思うように利用できない方がいるので、今後のサービス供給が充実してくれることを願っています
- ・ 当事業所は、同事業所内に訪問リハビリと通所リハビリを併設しています。市内に他3か所通所リハがあり、今まで利用に対して不自由さを感じたことはありません。最近、予防プラン作成時に、行政からいつまで訪問リハを使っているのか、いい加減通所系のサービスに切り替えるよう指導がありました。平成27年から今日までずっと訪問リハを利用している方がいますが、腎臓の病の影響で筋肉がこわばる方で月2回の訪問リハでこわばりがリセットできています。利用の必要性を了解いただければ、高齢者にとってリハビリは必要なものと思います。これからも、利用者の状態や希望に添えるようプランはしていこうと考えています
- ・ デイと訪問リハの併用がもっと簡単にできるとよい。
- ・ リハビリを受けるための受診やリハ会議が負担
- ・ 通所リハビリでも事業所によってPTやOTの人数が不十分で、身体機能の向上があまり達成できない事業所も存在する。ケアマネや利用者、家族が求めている内容と相違があるため、そのような事業所を紹介するのに戸惑ってしまうことがある。
- ・ 質問6にある「PT・ST・OTの地域における支援」とは、具体的にどのような支援なのでしょう。リハ専門職の地域での役割について、広く知らしめる活動も必要かと思います
- ・ 言語聴覚士によるリハビリサービスが少ない
- ・ 通所リハビリテーションに通うのが難しいため、訪問リハビリテーションを利用したいと希望する方がいる。しかし、3か月に1回の受診が負担となるため、導入までに至れない。受診の負担をどうにかできないかと思います
- ・ 言語聴覚士さんが在籍する施設が少なく感じます。脳梗塞となり言語障害となり、発語や嚥下が困難となった時に、指導を受け、早期の機能回復を目指すことができると思います。
- ・ 自宅の環境を検討する際に、リハビリ専門職から助言をいただけるスポット的なリハサービスがあると便利である
- ・ 退院後に訪問、通所リハを利用される方が多いです。退院後、自宅で生活できるようにリハビリ継続していくため、どのようなリハビリを継続したらいいのか等、退院後もアドバイスをいただけるととても助かります

104

本事業に対する意見・要望 ④

- ・ 脳梗塞の回復期リハなどは、身体の動きでリハビリの成果を実感しやすいですが、高齢者の心身の機能維持を目的としたリハビリとなると、加齢や認知症の進行でリハビリの効果を実感しにくく、定期的な評価も本人、ご家族がわかりにくい書式が多い。リハを続けていることでどんな効果が出ているか、今後も続けることでどうなっていくか、もう少しわかりやすい説明があるとありがたいと思います
- ・ 自宅内で日常生活動作も定期的に行ってほしい。歩行状態を動画等で家族も状況確認できるようにしてほしい
- ・ 自社の置かれている地域では、今年に入り2つの訪問事業所が閉鎖してしまいました。地域に根ざしていただけない、とても残念です
- ・ リハビリをすればよくなるというイメージが強く、効果を感じられずやめてしまう人が多い。ケアマネとしては、活動意欲の向上や身体機能維持(改善)を考えているので、継続を促すにはどう伝えたらいいかが問題である。リハビリを受けていると、生活環境の相談等できて心強い
- ・ 訪問リハビリのPTやOTの数を増やしてほしい
- ・ 医師に指示書を依頼する際、本人や家族が動いてくれればいいが、それを面倒がる方もいます。事業所で医師とのやり取りをしてくれるとスムーズにいくケースもあると思います。リハに介入していただくと、大半の方は、お願いしてよかったといってください。必要な方には進めたい支援です
- ・ 通所リハのリハビリとデイサービスでのリハの差別化があまりなくなっている
- ・ ローカルルールがあることから、訪問看護ステーションから訪問リハをスムーズに導入できない
- ・ 1日デイとは違い、半日、そしてリハビリ中心という点で今後利用される方が多くなると思う。現在利用されている方の意見ですが、一通りマシン運動後、時間をもて余し、新聞を読んでいるという方がいます。マシンに加えて何らかが望まれています。それぞれの事業所の特徴を期待します

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (訪問看護事業所)

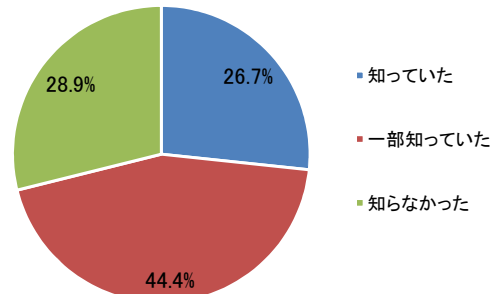
対象数 480事業所 回答数45事業所
回答率 9%

問1 地域リハビリテーション支援体制の整備・推進に関する認知度

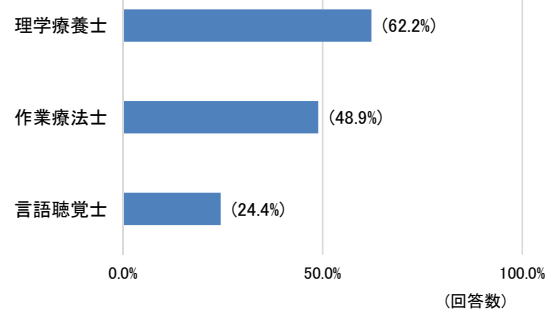
【地域リハビリテーション支援体制の整備】
(千葉県保健医療計画より抜粋)

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期 リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

地域リハビリテーション支援体制の認知度

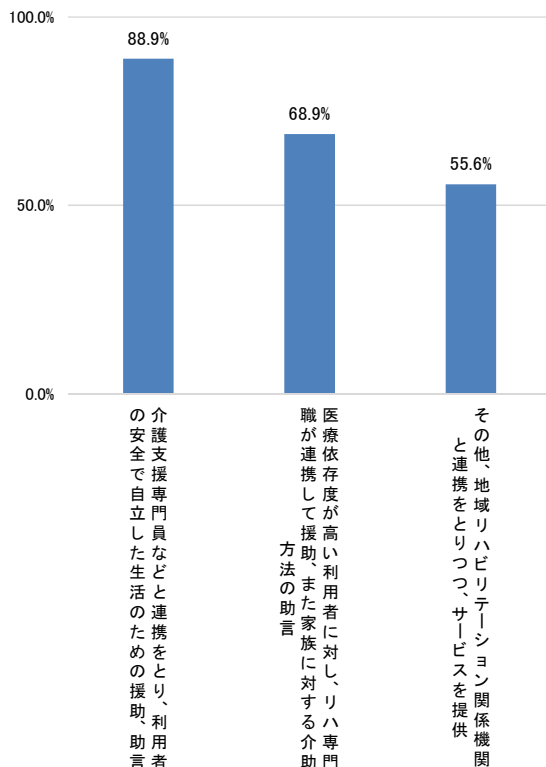


PT,OT,STの在籍状況
(複数回答)



問1-1、2 地域リハビリテーション推進の取組状況

地域リハビリテーションに関する取組状況(複数回答)

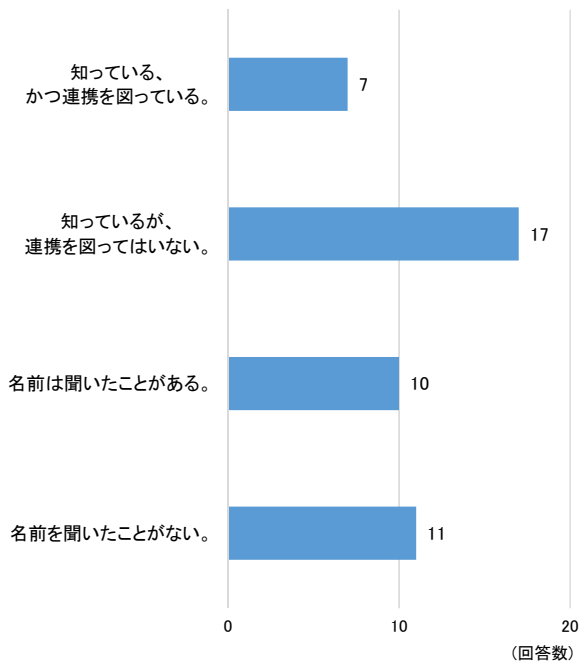


【その他、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいること】

- ・ケアマネジャーに対する勉強会を開催し、リハビリの啓蒙を行っている。勉強会の前後に相談会も行い、利用者の自立につながるケアプランの作成のための相談を受けている
- ・地域自治会などの体操教室に参加
- ・地域包括支援センターと連携し、助言等を行っている
- ・福祉用具のレンタルや住宅改修の提案
- ・利用者へのサービス提供の際に、担当セラピストとのコミュニケーションをとるようにしている。リハ職が入っていないケースでは松戸市在宅医療・連携支援センターに相談をしている
- ・研修の実施
- ・市自立支援型介護予防ケアマネジメント事業(同行訪問)
- ・地域の事業所同士の平時からのつながりのために勉強会を開催
- ・連携ツールを活用できるように準備をしている
- ・地域運営委員に関わり、地域包括ケアの推進に住民とともに取組む。
- ・地域住民に対して、健康増進活動や介護予防、健康相談など実施している
- ・他事業所との連絡・連携を密にしている
- ・気軽に介護や医療について相談できるスペースを広く提供している
- ・退院時に訪問リハビリが必要な方には勧めている

問2 広域支援センターとの現在の関係

広域支援センターとの現在の関係

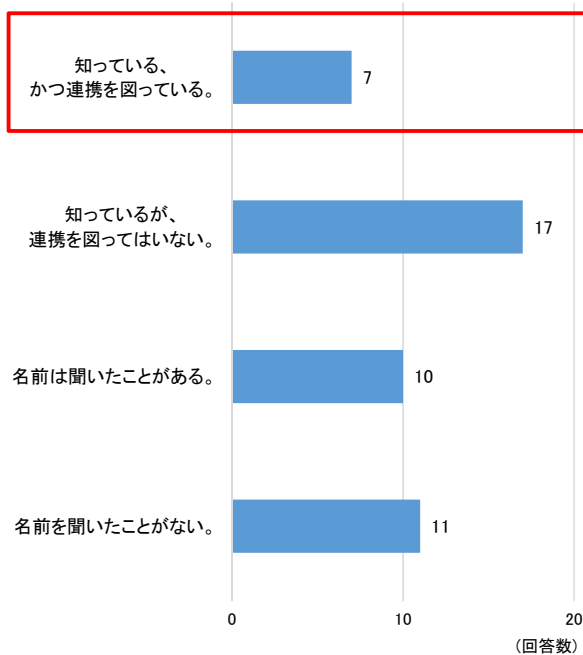


- 知っている、と回答したのは24事業所で全体の53.4%
 - ↳ かつ、連携を図っているのは7事業所で全体の15.6%
 - ↳ しかし、連携を図っていないのは17事業所で全体の37.8%
- 名前は聞いたことがあると回答したのは10事業所で全体の22.2%
- 名前を聞いたことがないと回答したのは11事業所で全体の24.4%

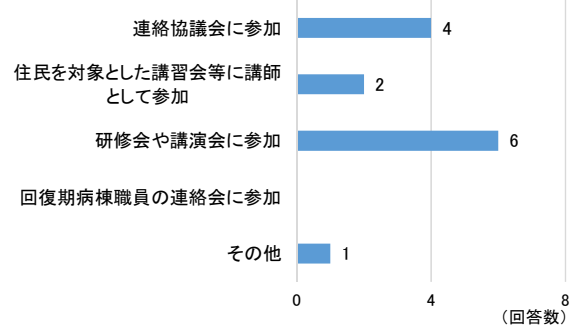
109

問2-1、2 広域支援センターと連携したことのある事業内容

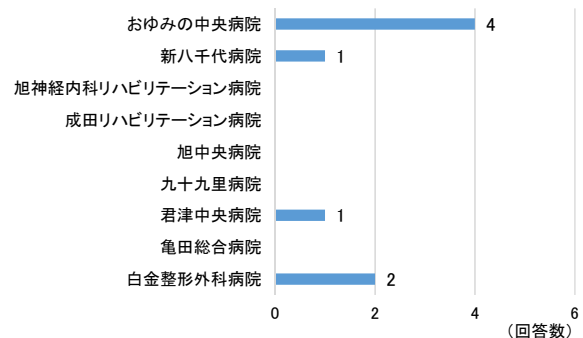
広域支援センターとの現在の関係



実際に連携したことのある内容
(n=7、複数回答)

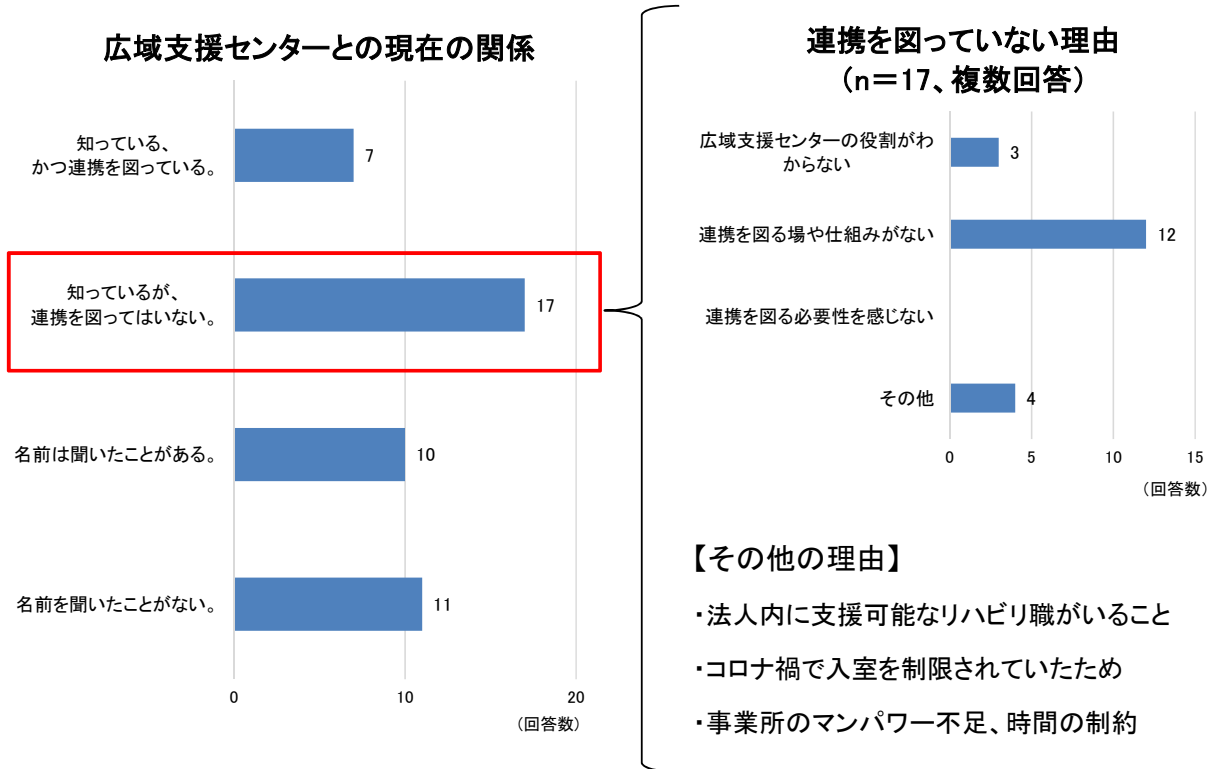


連携先の広域支援センター
(n=7、複数回答)



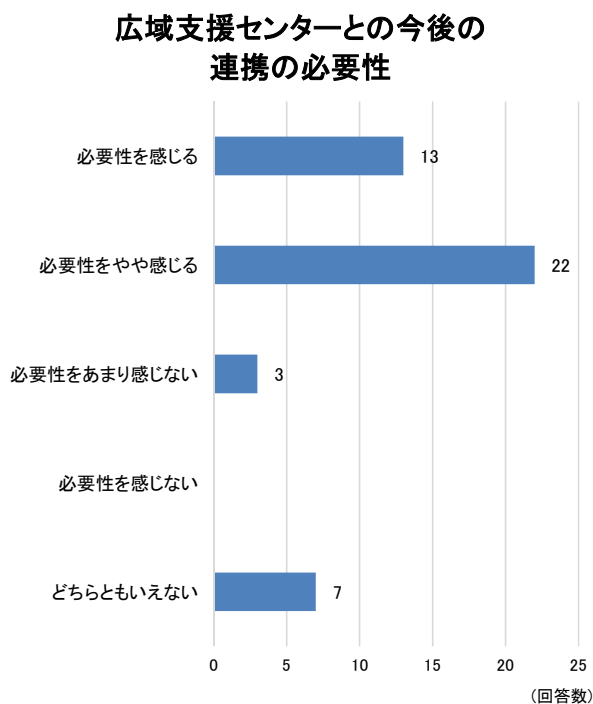
110

問2-3 広域支援センターと連携を図っていない理由



111

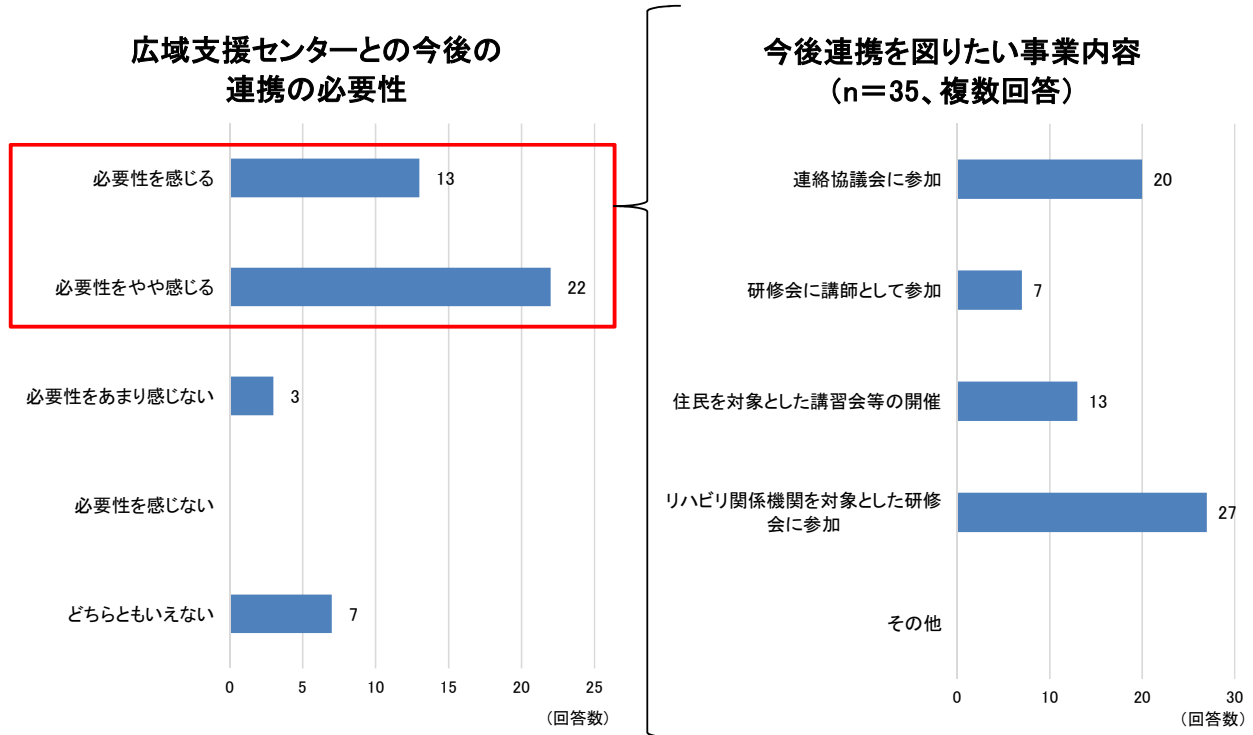
問3 広域支援センターとの今後の連携の必要性



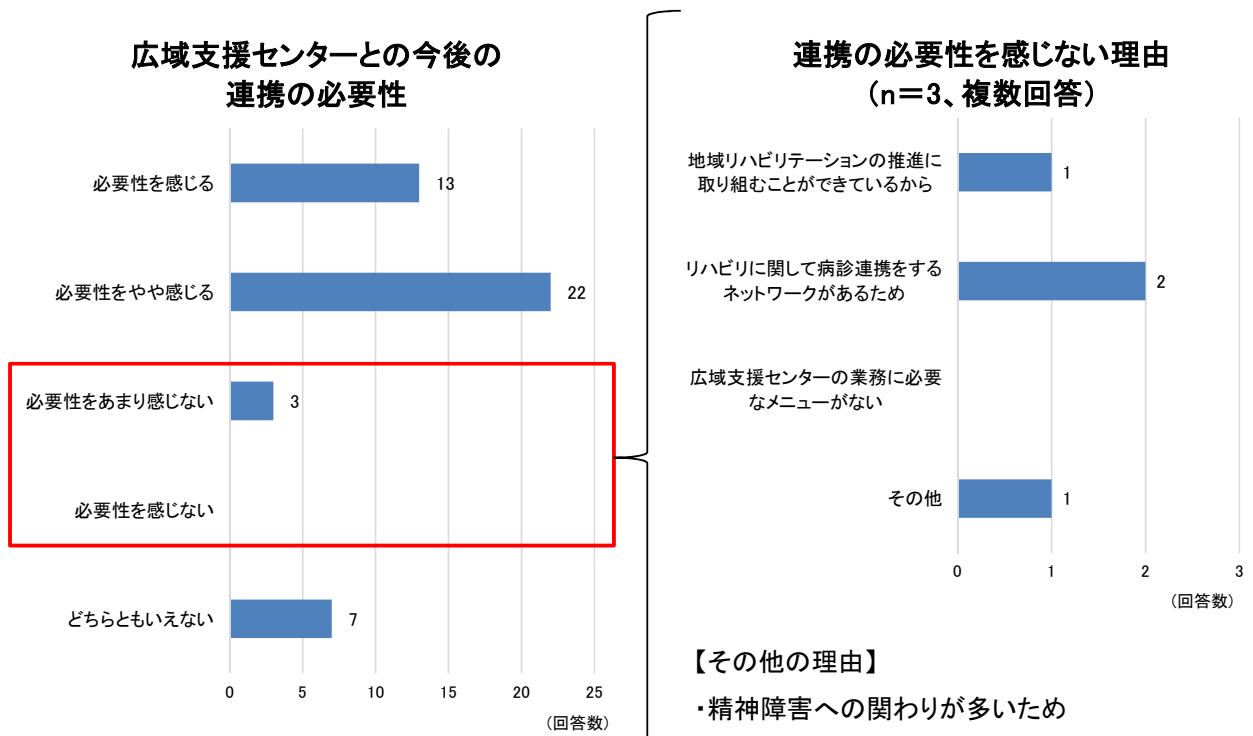
- ・ 今後の連携の必要性について
 - ↳「感じる」、「やや感じる」と回答したのは35事業所で全体の77.8%
 - ↳「あまり感じない」と回答したのは3事業所で全体の6.7%
 - ↳「どちらともいえない」と回答したのは7事業所で全体の15.6%

112

問3-1 今後の広域支援センターと連携を図りたい事業内容

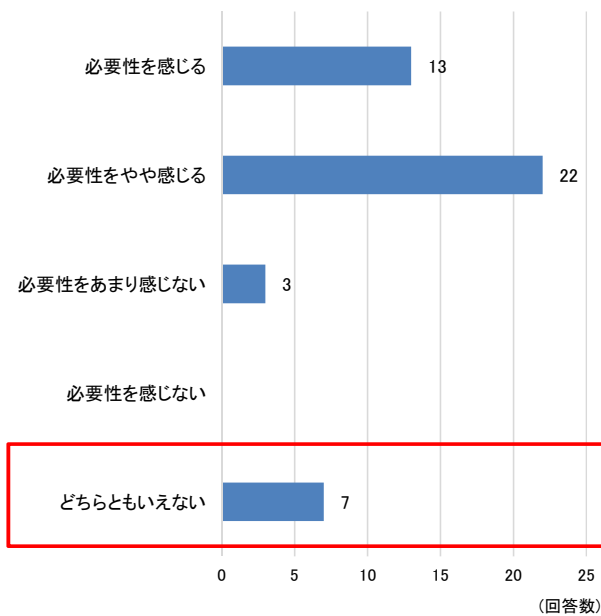


問3-2 広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由



問3-3 広域支援センターとの連携について どちらともいえない理由

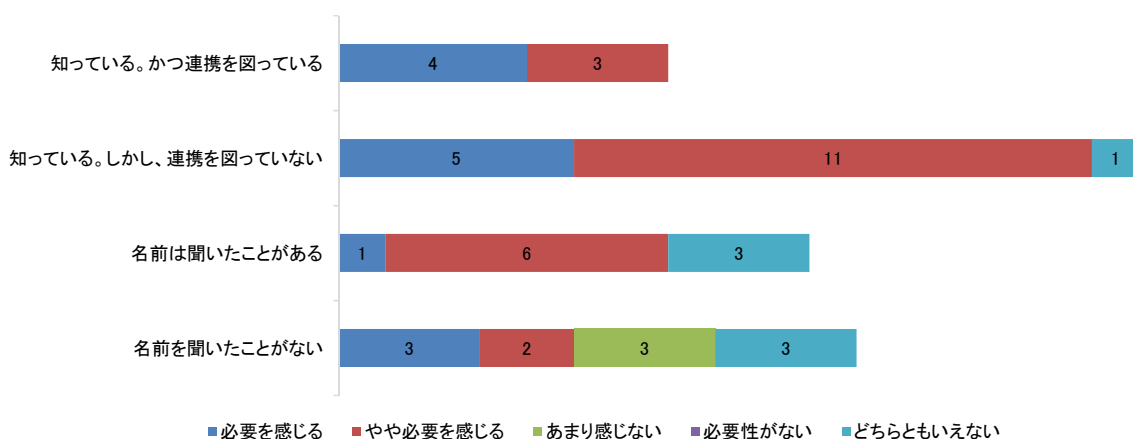
広域支援センターとの今後の
連携の必要性



どちらともいえない理由

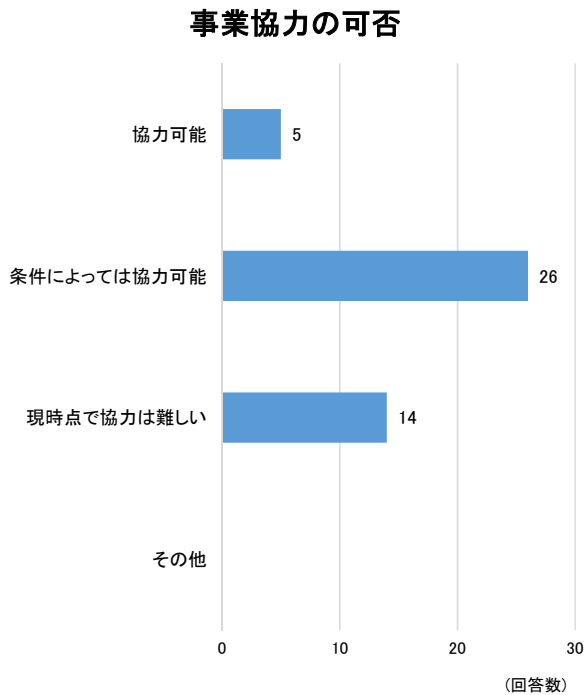
- ・地域リハビリテーションの重要性は理解している。当ステーションはリハビリセラピストが不在の為、必要時は他事業所にお願いする等している。現時点で広域支援センターの役割についてよく理解していないため、まずは理解しながら進めていくことが必要だと感じたため
- ・連携は必要だと感じますが、実際どのような連携ができるのか、何を目的として連携をするのかが具体的に想像できないためどちらともいえないと回答しました
- ・いまいち、役割を理解しておりません
- ・現在コロナ対応のため余裕がない
- ・知らないため
- ・広域支援センターの実際に実施している内容がわからない、また、アプローチの仕方がわからない
- ・具体的活動内容がわかりにくい

広域支援センターとの「現在の関係(問2)」と 「今後の連携の必要性(問3)」との関連



現在の関係 \ 今後の連携	必要を感じる	やや必要を感じる	あまり感じない	必要性がない	どちらともいえない	計
知っている、かつ連携を図っている	4	3	0	0	0	7
知っているが、連携を図っていない	5	11	0	0	1	17
名前は聞いたことがある	1	6	0	0	3	10
名前を聞いたことがない	3	2	3	0	3	11
計	13	22	3	0	7	45

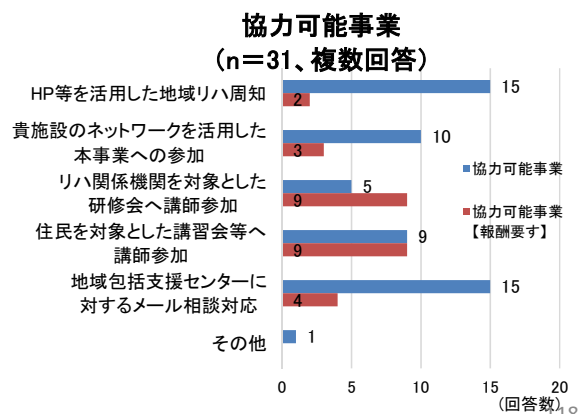
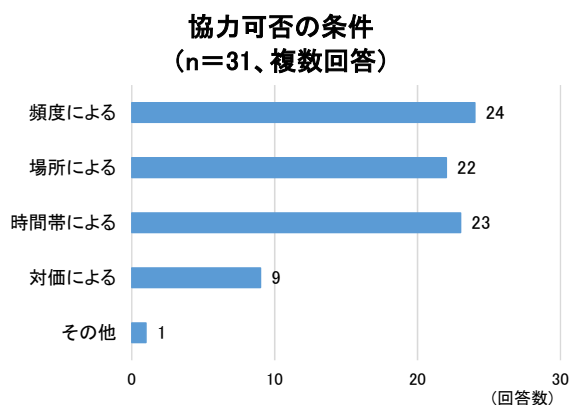
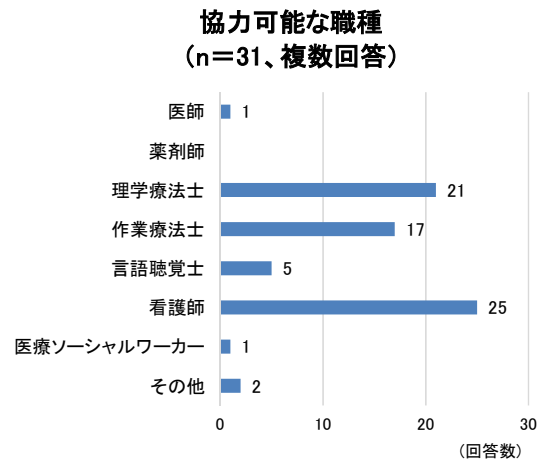
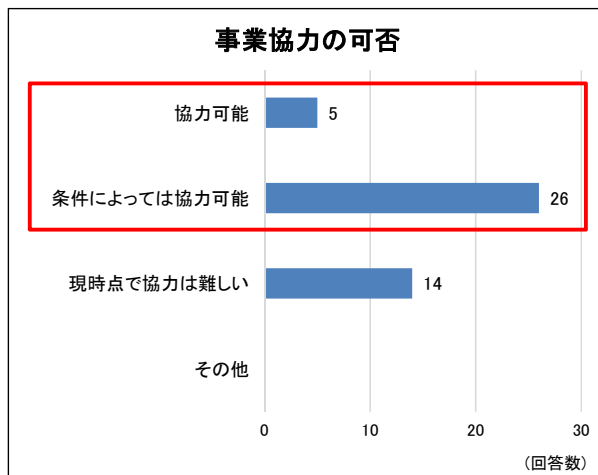
問4 広域支援センターが協力を依頼した場合の 事業協力の可否



- 事業協力の可否について、
 - 「協力可能」、「条件によっては協力可能」と回答したのは31事業所で全体の68.9%
 - 「現時点で協力は難しい」と回答したのは14事業所で全体の31.1%

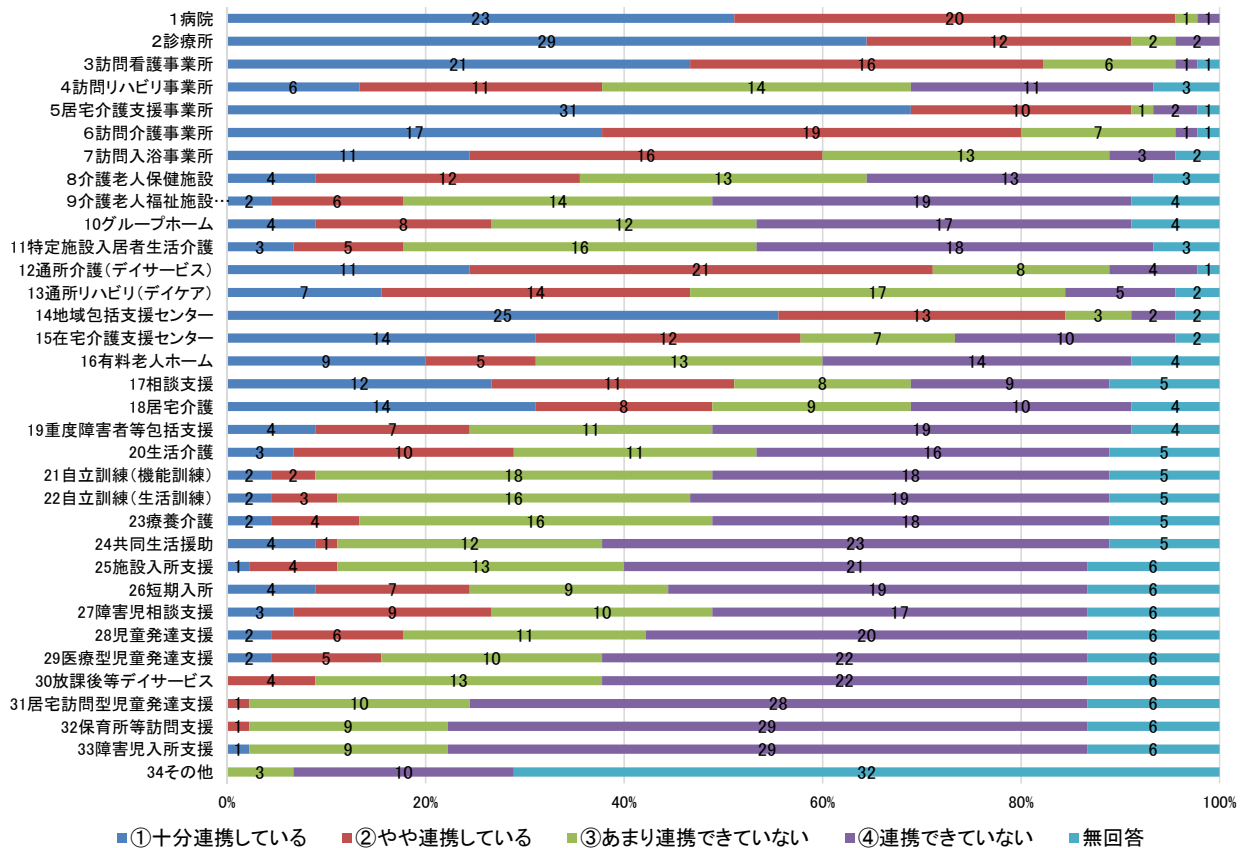
117

問4-1、2、3 事業協力の条件



118

問5 関係機関との連携状況



119

本事業に対する意見・要望

- ・ 地域リハビリテーション広域活動支援センターは、活動実態が見えないように思います。新型コロナウイルスの状況で大変だとは思いますが、何か形に見えるものがあればと思います。
- ・ リハビリや言語療法などで、気楽に相談できアドバイスをしてもらえそうな場所等があれば、いいなと思います。
- ・ 普段の訪問看護の活動を通じて出会うところとは分け隔てなく連携しているつもりです。日常の動線でお会いしない機関とは必然とやり取りがなく、無理にやり取りをするのはその意義が理解できないと難しい面があり、また、やはり働いている専門職の待遇に直結しますので、(現状としてすでに多くの行政の活動にボランティアで協力していることに重ねて)対価なくボランティアで協力するのは難しい面があります。個々の住民のために必要な連携は当然だと思いますが、連携のための連携になるような活動に対しては食傷気味です。
- ・ 精神障害を専門とした看護ステーションのため、該当することが少ない。
- ・ 当事業所の所在地が、千葉県千葉リハビリテーションセンターに近く、何か困った時など相談しやすい環境にあります。地域リハビリテーションに関わる職種がリハ専門職というイメージが強すぎるので、この地域リハの概念をきちんと伝えていく必要があると感じます。地域住民に関わるリハ職に対して報酬が出るが、他の職種には出ないということも違うのではないかと。思うところ。必要な資源を十分活用しながら目的が達成できることが望ましいと思っています。20年以上経っても浸透しないですね、なかなか。もっと柔軟にしていかないと、と思います。

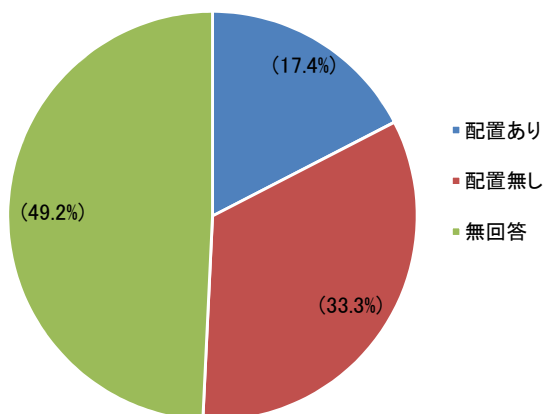
120

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査(障害者・障害児相談支援 事業者)

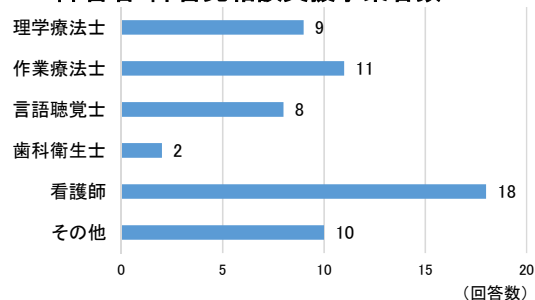
対象数 397事業者 回答数132事業者
回答率33%

問1 リハビリ関連職の配置状況

リハビリ関連職の配置有無
(n=132)

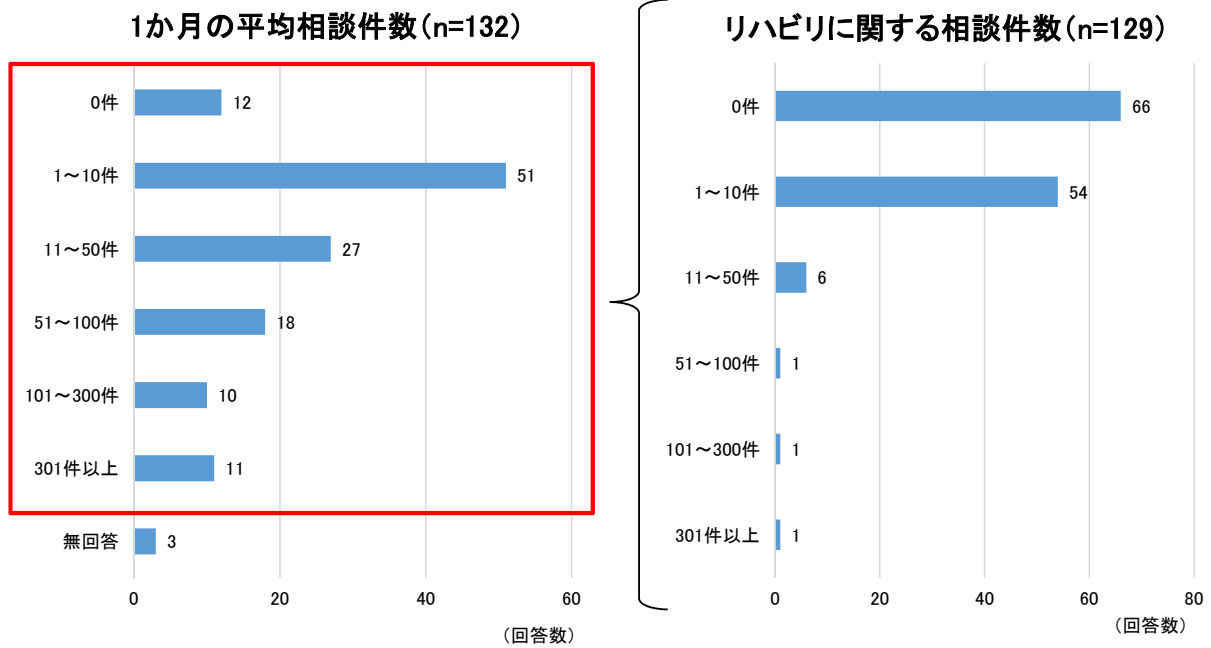


リハビリ関連職配置
障害者・障害児相談支援事業者数



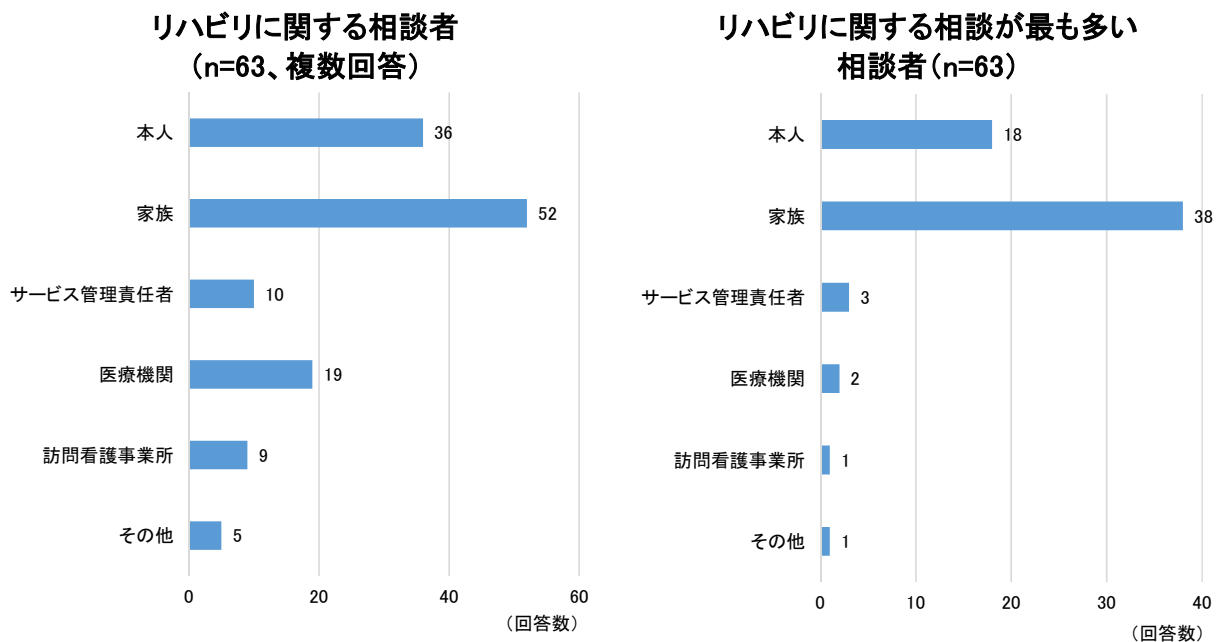
職種	配置人数別施設数						無回答
	0名	1名	2名	3名	4名	5名以上	
理学療法士	47	3	4	1	0	1	76
作業療法士	47	3	5	2	0	1	74
言語聴覚士	46	3	1	0	2	2	78
歯科衛生士	48	1	1	0	0	0	82
看護師	43	9	3	2	0	4	71
その他	38	4	0	4	0	2	84

問2 平均相談件数



123

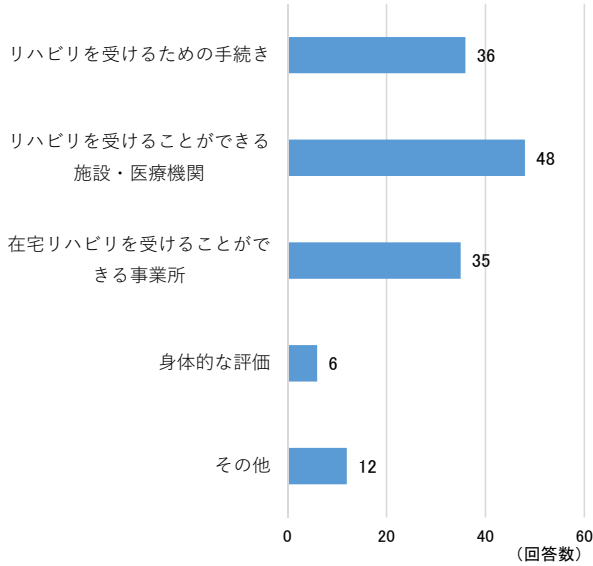
問2-1、2 リハビリに関する相談者



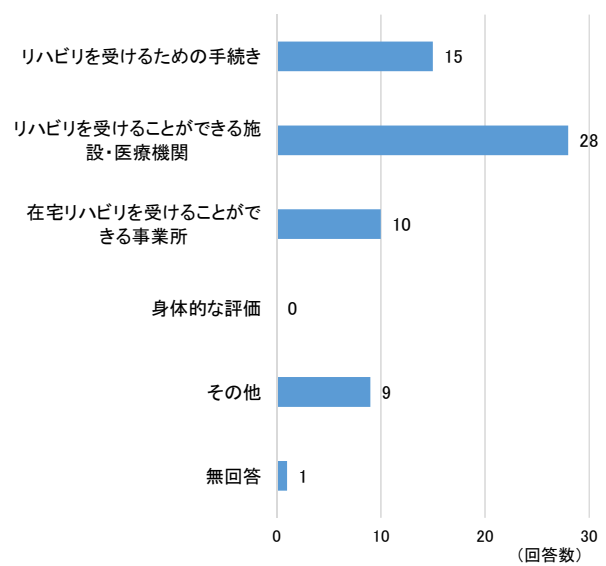
124

問2-3、4 リハビリに関する相談内容

リハビリに関する相談内容
(n=63、複数回答)

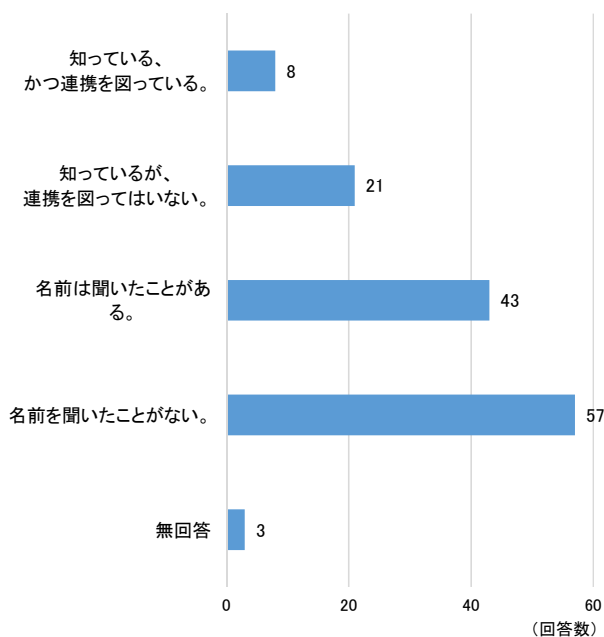


リハビリに関する相談で最も多い
相談内容(n=63)



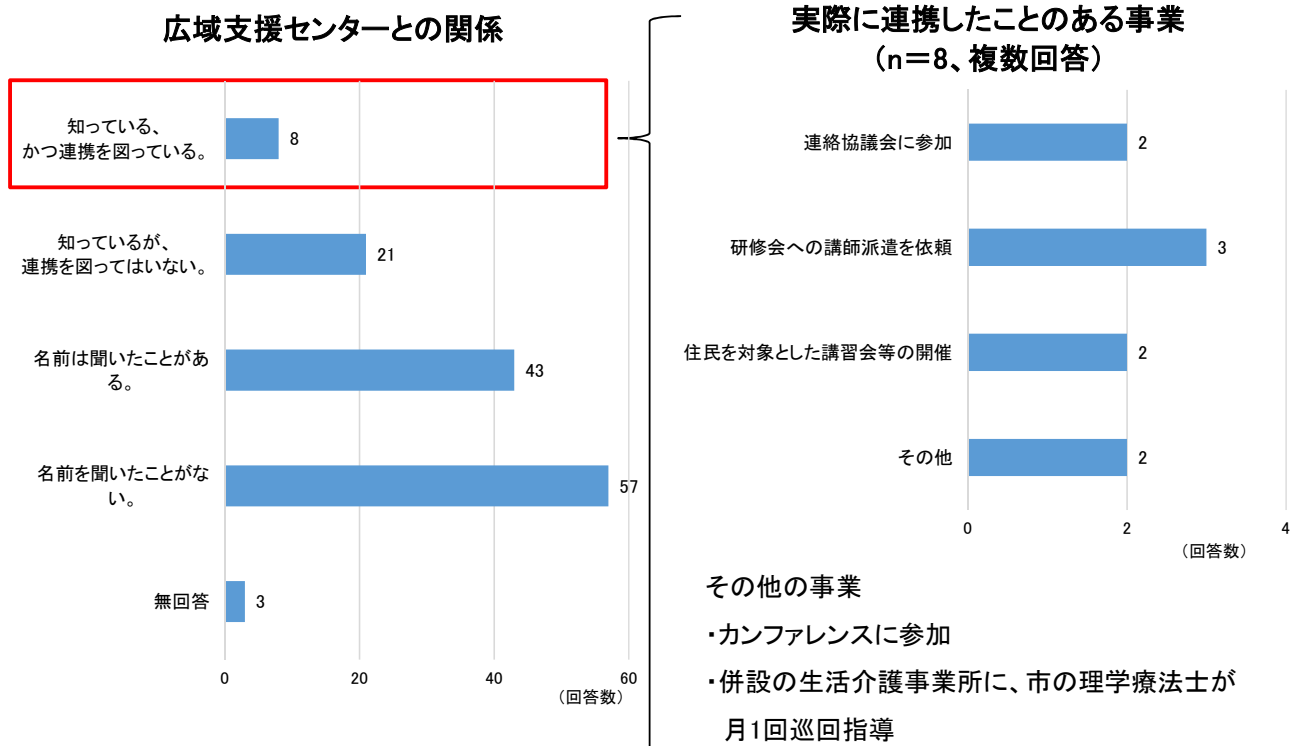
問3 広域支援センターとの現在の関係

広域支援センターとの関係



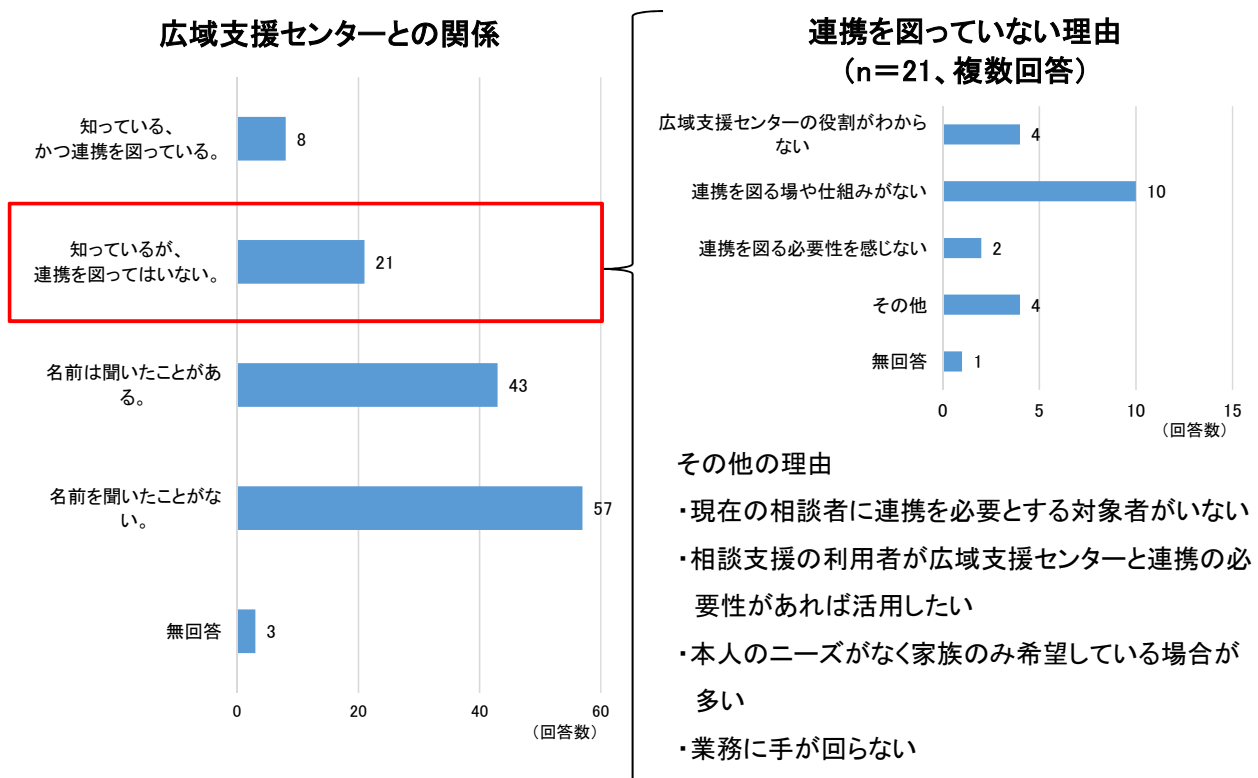
- 知っていると回答したのは29事業所で全体の22.0%
 - ↳ かつ、連携を図っていると回答したのは8事業所で全体の6.1%
 - ↳ しかし、連携を図っていないと回答したのは21事業所で全体の15.9%
- 名前は聞いたことがあると回答したのは43事業所で全体の32.6%
- 名前を聞いたことがないと回答したのは57事業所で全体の43.2%

問3-1 広域支援センターと連携したことがある事業内容



127

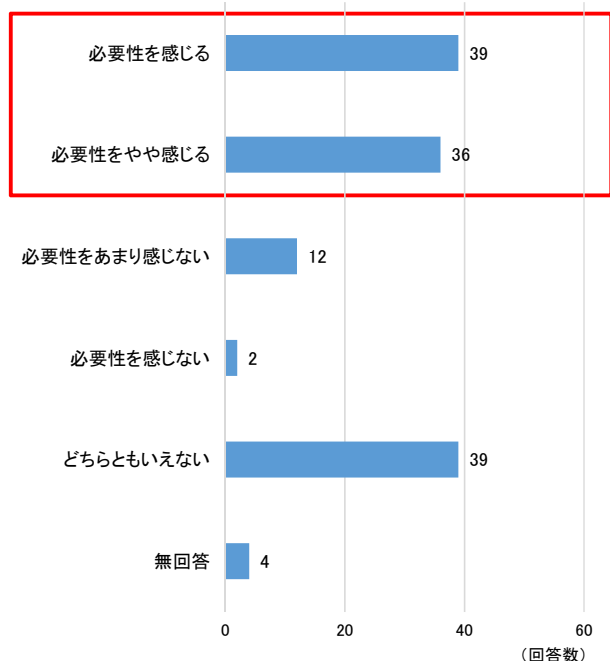
問3-2 広域支援センターと連携を図っていない理由



128

問4 広域支援センターとの今後の連携の必要性

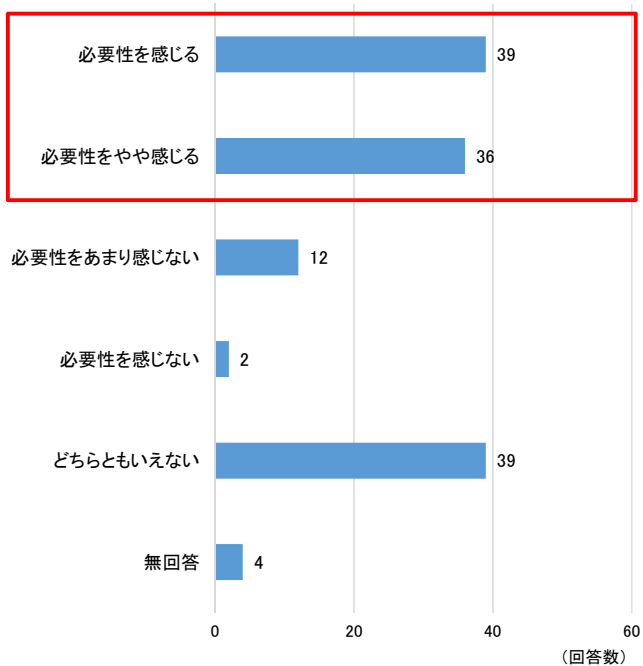
今後の連携の必要性



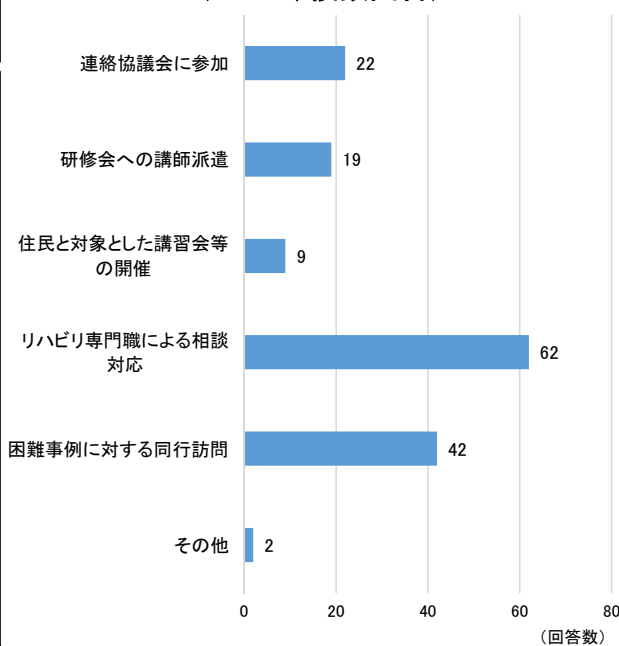
- 今後の連携の必要性について、
 「感じる」、「やや感じる」と回答したのは75事業所で全体の56.8%
 「あまり感じない」、「感じない」と回答したのは14事業所で全体の10.6%
 「どちらともいえない」と回答したのは39事業所で全体の29.5%

問4-1 広域支援センター業務のうち連携を図りたい事業

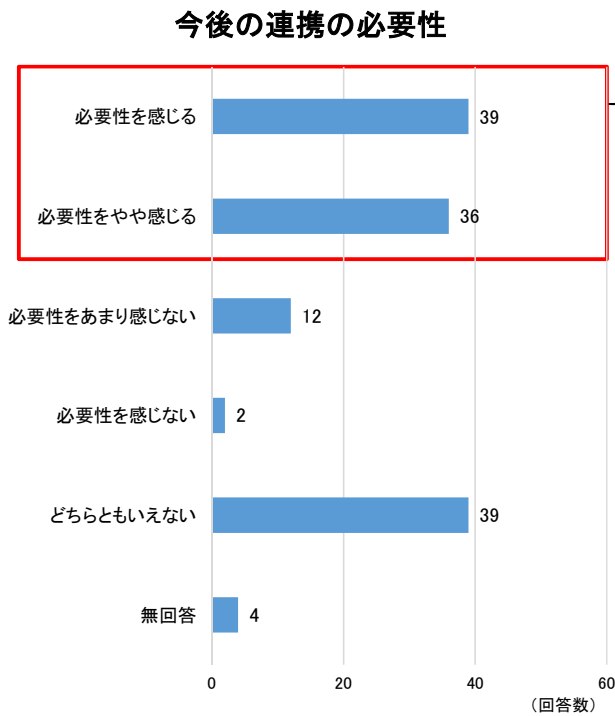
今後の連携の必要性



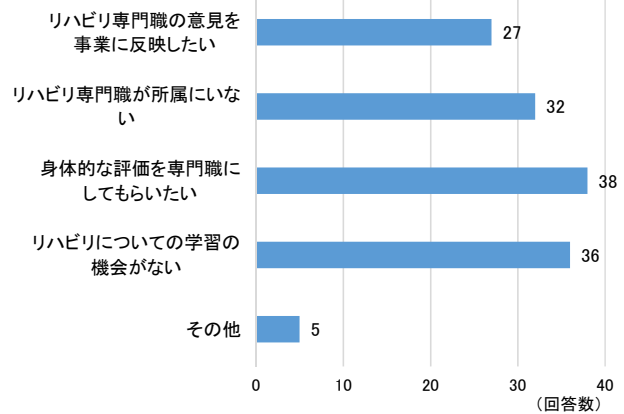
今後連携を図りたい事業
(n=75、複数回答)



問4-2 広域支援センターと連携を図りたい理由



連携を図りたい理由 (n=75、複数回答)

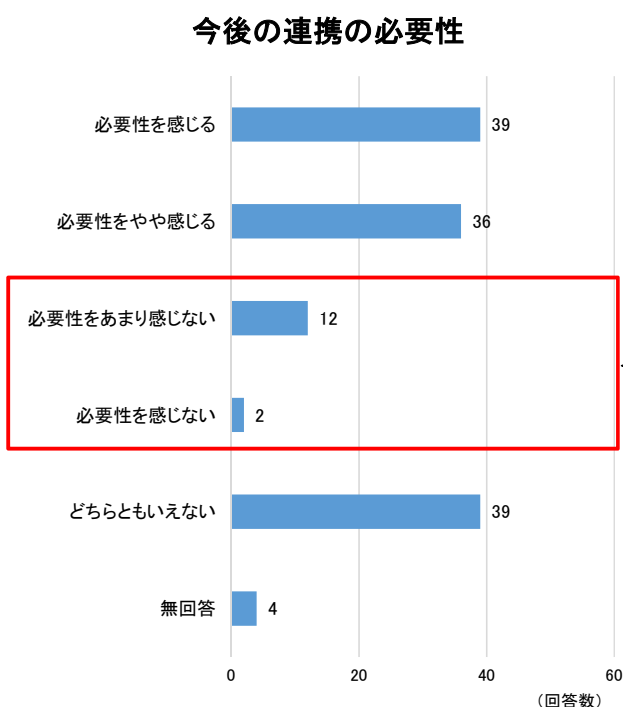


その他の理由

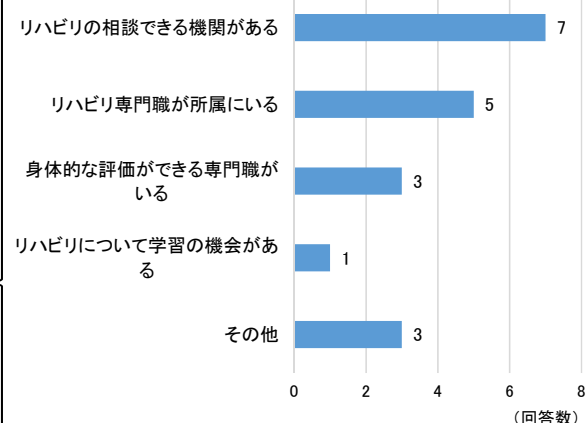
- ・リハビリを希望する保護者が多くいるが、利用できる事業所や病院が限られているため
- ・相談者へ安心を提供したいため
- ・本人、家族が相談を希望する場合に対応してもらいたい
- ・地域資源の情報が知りたい
- ・児童(発達障害も含め特に学齢児)に対応できる施設や病院の情報が少ないため

131

問4-3 広域支援センターと連携の必要性を感じない理由



連携の必要性を感じない理由 (n=14、複数回答)



その他の理由

- ・リハビリの相談がないため
- ・障害福祉サービスの利用が主な業務であり、医療的なリハビリテーションが終了した状態の方が相手方なので、特に必要はないと感じている

132

本事業に対する意見・要望 ①

- ・ 障害受容についての研修等を開催して頂きたい
- ・ 広域支援センターの広報誌等があればぜひ送ってほしい。
- ・ 広域支援センターのホームページ等を拝見しましたが、実際にどのような支援を行っていただけるのか、正直よくわかりませんでした。通院が困難な地域には送迎や訪問の手段を考慮くださるのか、あるいは近隣の病院がそういった対応を取ってくださるのか(取れたとしてやり切れるのか)等の疑問がありますが、そういった点がクリアになれば、連携について考えていきたいと思います。
- ・ 福祉サービスの利用に関する相談が中心で、リハビリに関する相談がほとんどない上、広域支援センターについて存じ上げなかったため、現段階では上記のような回答となりましたが、今後、リハビリに関する相談が増えた場合には必要性を強く感じるかもしれません。
- ・ 自分の勉強不足からその存在を知りませんでした。担当している利用者さんは、リハビリを必要としている人が多いので、知識を広げたいと思っています。
- ・ 具体的にどんなことをしている事業なのか、勉強したいです。
- ・ リハビリのことについて、ZOOMで見れる研究やネット上でアクセスし閲覧可能なもの、動画配信されているものが、今後も増えてくと有難いです。よりリハビリのことに興味をもってみたい、悩んでいることの解消につながるかもしれない。家庭や事業所で取り組めることが分かれば、実際に動画を見ながら一緒に動いてみたい、それ以上のことはしっかり対面で専門家に相談しようと思つちも上がってくると思います。お忙しいところ大変恐れいりますが、よろしくお願ひいたします。
- ・ 広域支援センターとの連携の必要性について、現在、当事業所では就労継続支援B型と生活介護の事業を行っており、さらにその利用者をメインとして、日中一時支援と相談支援を行っています。当事業所では主に知的障害の方を対象としていることもあり、現状、リハビリに関しての相談は生活介護利用者の保護者から念に1回程度となつています。さらに当事業所は18歳以上が対象なので、児童のうちにリハビリ関係の支援を受けている方が殆どで、すでに本人、保護者、リハビリ関連施設等との連携がとれているため、相談支援としての連携は現状、広域支援センターではなく、利用しているリハビリ関連施設等になっています。大きな括りで見ると広域支援センターとリハビリ関連施設等と当事業所で連携しているとも考えられるのですが、今後、利用者の年齢、障害の程度により新たにリハビリに関する相談等が出てきた際にはご相談させていただきたいと思ひます。

133

本事業に対する意見・要望 ②

- ・ 地域リハビリテーション広域支援センターの名前も聞いたことがなかったのではどのような役割をされているのか把握できていません。私共と契約していただいている利用者は身体に障害を持つ方が殆どで、リハビリを必要としている方が多くおります。今回のアンケートを受けて広域支援センターの役割等を知る必要性はあると思ひます。
- ・ 当センターにはリハビリ関係の相談が入ってこないのが現状ですが、今後、そのような相談があった際には活用できたらと思ひます。
- ・ 次第に高齢化の波が押し寄せてきていることを日頃から感じています。住み慣れた場所で生活されることを多くの方が望んでいます。日常動作の中に取り入れられる体のメンテナンス方法を学べ、だれでも利用できる場所があるとよいと思ひます。
- ・ リハビリの相談が少ないため
- ・ 児童の相談の中ではOTを受けたい、STで摂食を見てほしいなどといった相談が多いです。特にお話しがゆつくりなお子さんについて、言葉・コミュニケーションに関する話をしたいご家族はたくさんいます。病院で医師に話をしたが、「今は必要がない」と言われた、前提としてSTとかOTが何をしてくれるのかゆつくり説明してほしいなどといった話もよく聞かれます。
- ・ 広域支援センターがどのようなことをしているのかわからない、どのような時に相談すればよいのか。
- ・ 当事業所の地域において、現在どのような助言や育成、連携がなされているかを理解していないので、考えや感想をお伝えすることができない。重症心身障害者の方を多く担当しているが、日常的に呼吸や側弯、摂食に対し、生活リハの観点でケアを実施する必要性を強く感じている。その点において、この事業が積極的に関与してくれるのを期待している。
- ・ 当園の相談支援事業は入所者のみを対象としておりますので、在宅系サービスが原則利用できないと認識しております。入所施設においても、専門家によるリハビリの支援は必要不可欠と感じておりますが、利用できるサービスが見当たらず苦慮している次第です。リハビリ専門の職員を採用しましたが、施設入所の働く環境の違いに戸惑われて長続きしませんでした。入所施設は多くの公的資金を活用させていただきサービスを楽しんでいるところではありますが、利用者も地域住民として認めていただき、一定の割増負担をしていただいても在宅サービスが利用できるようなると、当園の利用者もより健康な生活が維持できるようになると感じております。入所施設でも活用できるリハビリサービス等ありましたら、お教示していただけると幸ひに存じます。

134

本事業に対する意見・要望 ③

- ・ 障害分野や生活期で利用できる医療の資源が少ない。少ない資源の中で必要な人に適切な量のリハビリが提供できる地域資源の情報がほしい。当事者やその家族が気軽にアクセスできるリハビリ専門職の相談先がほしいと思っている。
- ・ 広域支援センターがどのような機関であるのか興味はあるので、広域支援センターの機能やどういった機関と連携しているかなど知るための研修があるならば参加したいと思っている。
- ・ 当事業所では主に精神障害を支援しています。身体的なリハビリテーションに関係するケースは稀ですが、支援していた方で脳血管障害や自殺企図による身体の負傷等のケースがあります。本事業の研修等で広域センターの役割、連携の方法等、理解ができると有難いと思います。
- ・ 現時点では業務の中でなじみがないが、今後、研修などで詳細を知っていきたい。
- ・ 相談を依頼されている方で身体的機能の向上を目指す方がいらっしゃいます。学校に通われているお子様たちは、学校終了後、放課後等デイサービスに通われている方がおおいらっしゃいます。しかし、リハビリを専門的に扱っている事業所は少ないです。数多くある事業所では、リハビリ等専門的知識のある職員はほど皆無に等しいです。成長期でもあるお子様にとって適切な指導を受けることが先の事を考えると必要だと思っています。本格的なリハビリ等はできませんが、ストレッチであったり簡易的な運動など、専門的知識のある方からレクチャーお受けられる場がたくさんあればと思います。
- ・ 障害者の生活介護事業所、特に身体障害の方が多事業所は、ご利用者からのリハビリ希望やリハビリの必要性があるにも関わらず、利用者個々に関わる時間的余裕や、理学療法士を雇用するほどの経営面の人件費予算が捻出できないために取り入れることができないところがあるように思います。介護保険のリハビリデイサービスを障害の人も利用できる、もしくは同じものが障害分野にもできないものかと考えることもあります。事業所でのリハビリではなく、自宅で訪問リハビリを受ければよいのですが、様々な理由で自宅に理学療法士を迎え入れることができない家庭環境も多く、導入できない方もいます。もっと気軽に、そして定期的かつ頻回に理学療法士によるリハビリを受けられる機会ができないものかと思っています。

135

本事業に対する意見・要望 ④

- ・ 精神障害者の施設も高齢化となっており、サービス管理責任者からリハビリの必要性の相談を受けることがあります。自立支援で訪問リハビリの介入をお願いしても、薬の副作用又は病気の特徴から、リハビリを受け続けることが困難であり、ゴールを目指すことなく、途中リタイヤしてしまう人をみてきております。リハビリを継続していくにはどうしたらよいか難航中です。そんな時に、精神疾患の方を理解していただき、専門的なアドバイスが頂けたらと思っています。
- ・ 計画相談事業所のため、広域支援センターを知りませんでした。今後、情報のひとつとして知識を深めたいと思います。
- ・ 安房圏域だといきなりリハビリ目的の相談は少ないと思います。病院等のワーカーから話があるくらいです。リハビリ先はその時点でほぼ決まっています。
- ・ 今後、リハビリを必要とする事例が増えてくると思うので、連携体制の整備が必要と感じている。
- ・ 広域支援センターの周知活動が不足していると思われる。
- ・ 今のところ、たまたまりハビリを希望される方や必要性を感じる方がおられず連携の必要性を感じないが、希望や必要性があれば、当然連携は必要になってくると思う。
- ・ 精神発達障害(知的・自閉症スペクトラム等)のお子さんを持つご家族からの相談が主であるため、身体障害や下肢不自由児を持つ保護者の方からご相談が少ない状況です。

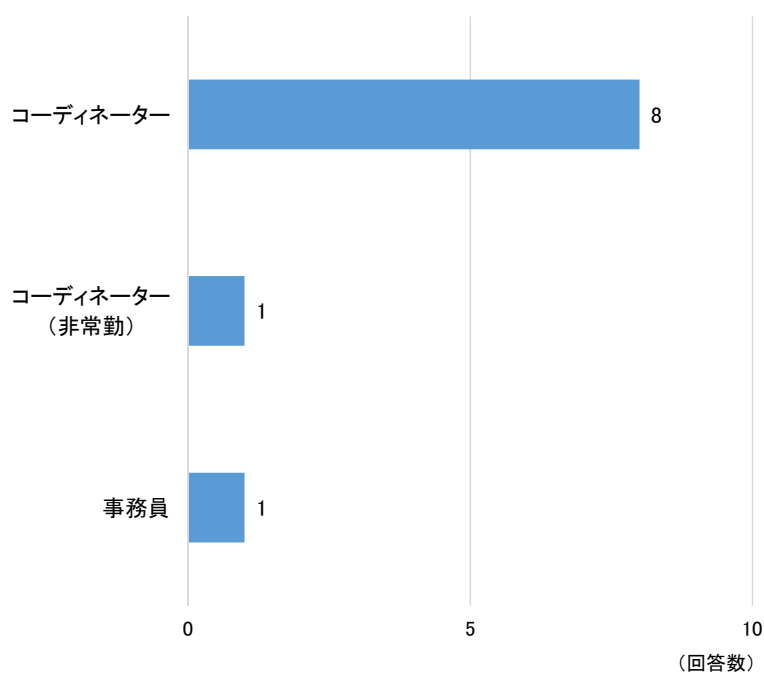
136

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (中核地域生活支援センター)

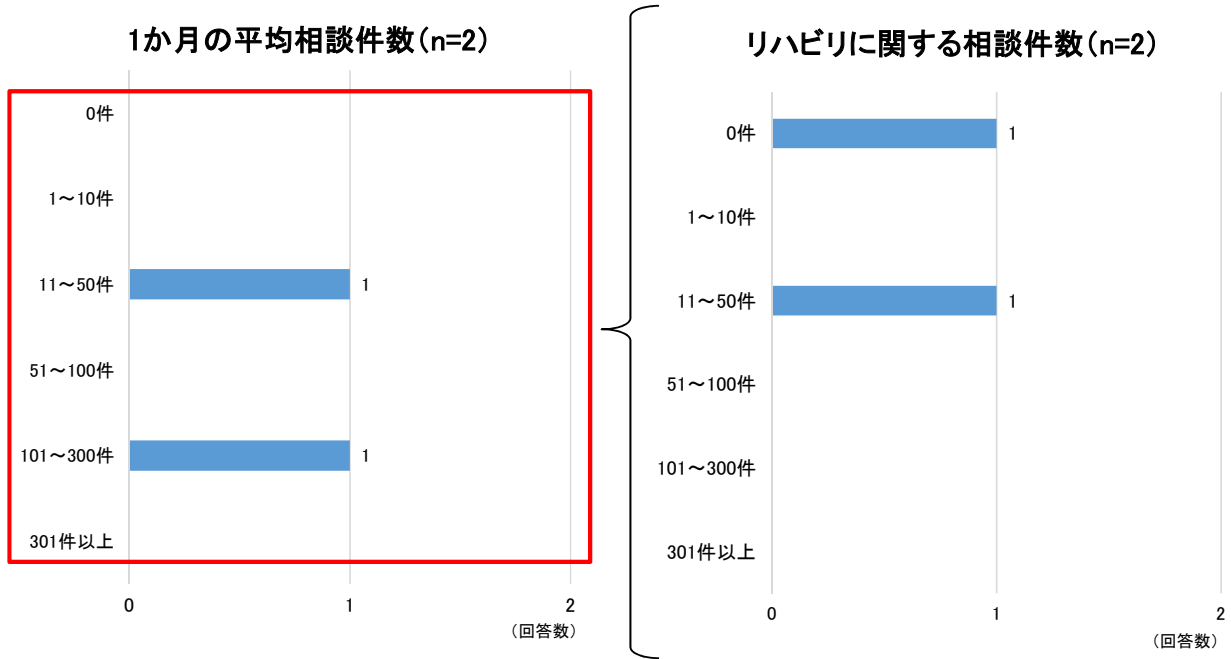
対象数 13施設 回答数2施設
回答率15%

問1 施設職員の配置状況

中核地域生活支援センターにおける
職員配置状況 (n=2)

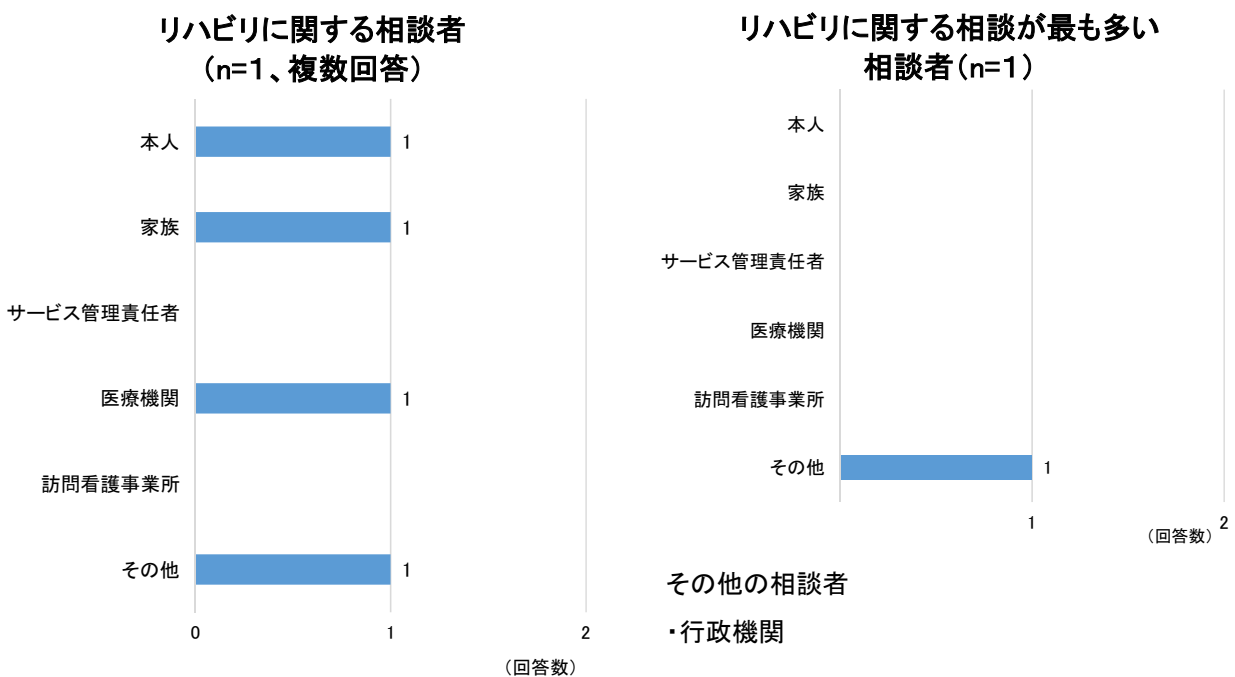


問2 平均相談件数



139

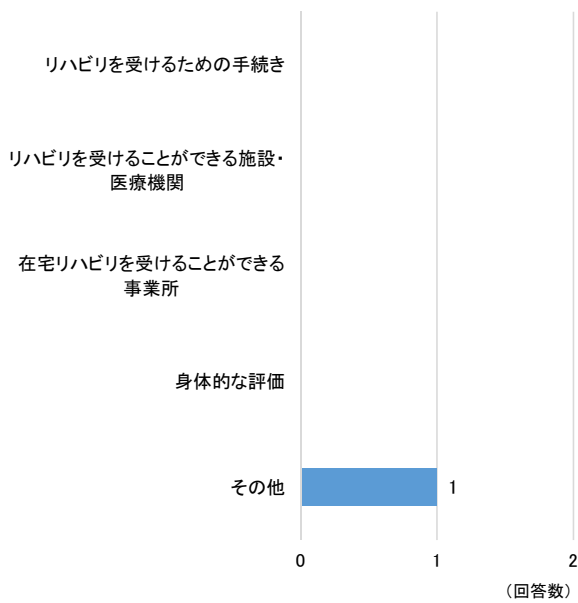
問2-1、2 リハビリに関する相談者



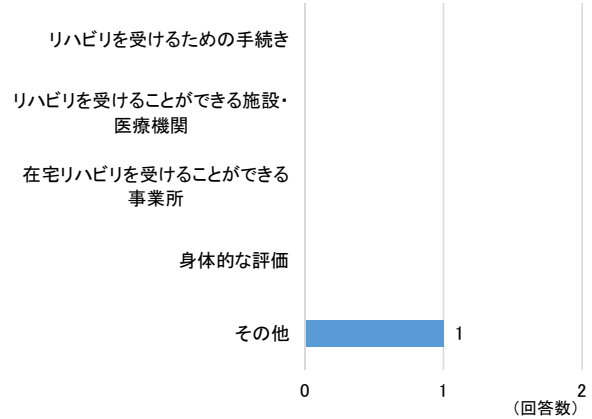
140

問2-3、4 リハビリに関する相談内容

リハビリに関する相談内容
(n=1、複数回答)



リハビリに関する相談で最も多い
相談内容(n=1)

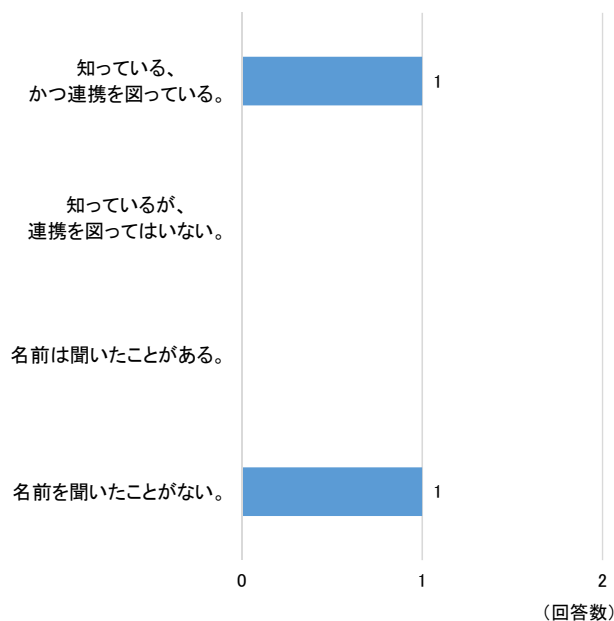


その他の相談内容

- ・生活支援、生活相談を通じた生活リハビリ

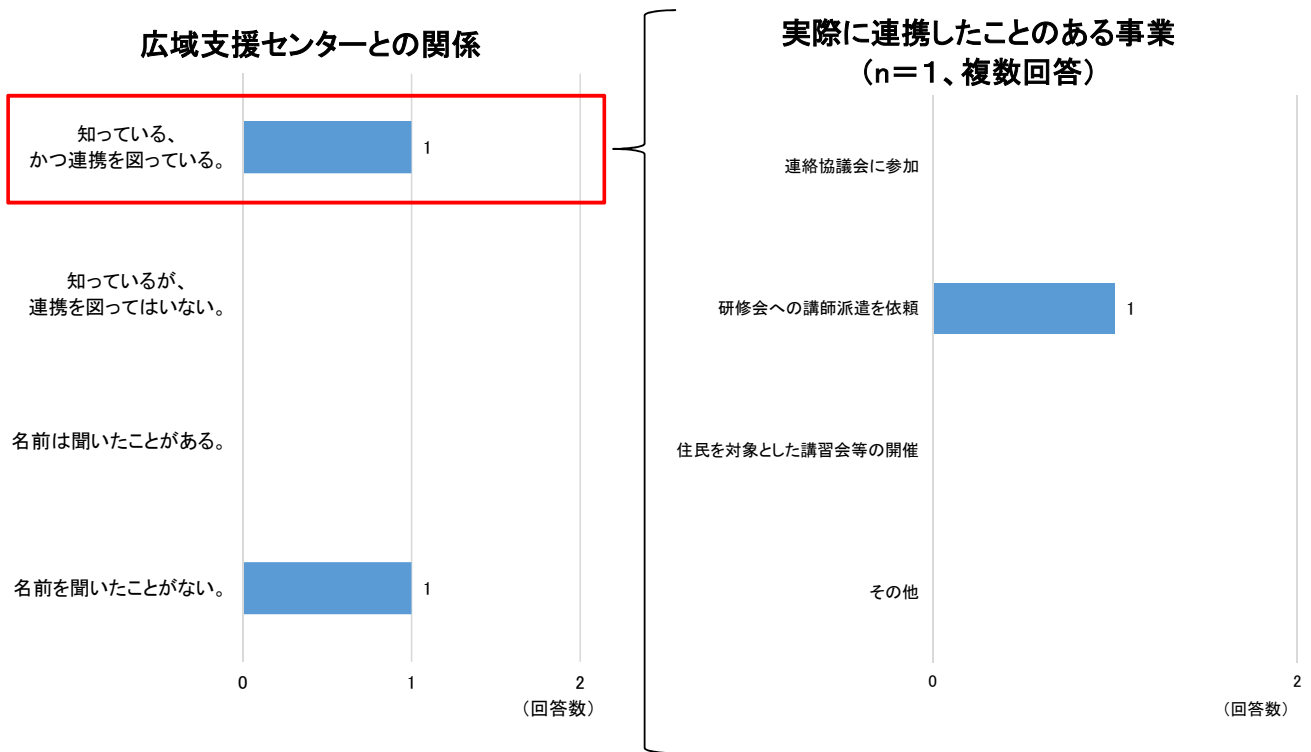
問3 広域支援センターとの現在の関係

広域支援センターとの関係

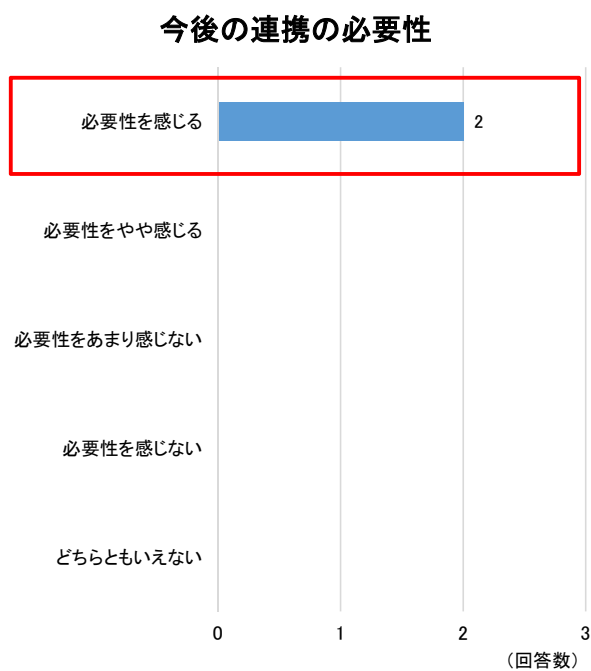


- ・ 知っている、かつ、連携を図っていると回答したのは1事業所で全体の50.0%
- ・ 名前を聞いたことがないと回答したのは1事業所で全体の50.0%

問3-1 広域支援センターと連携したことのある事業内容

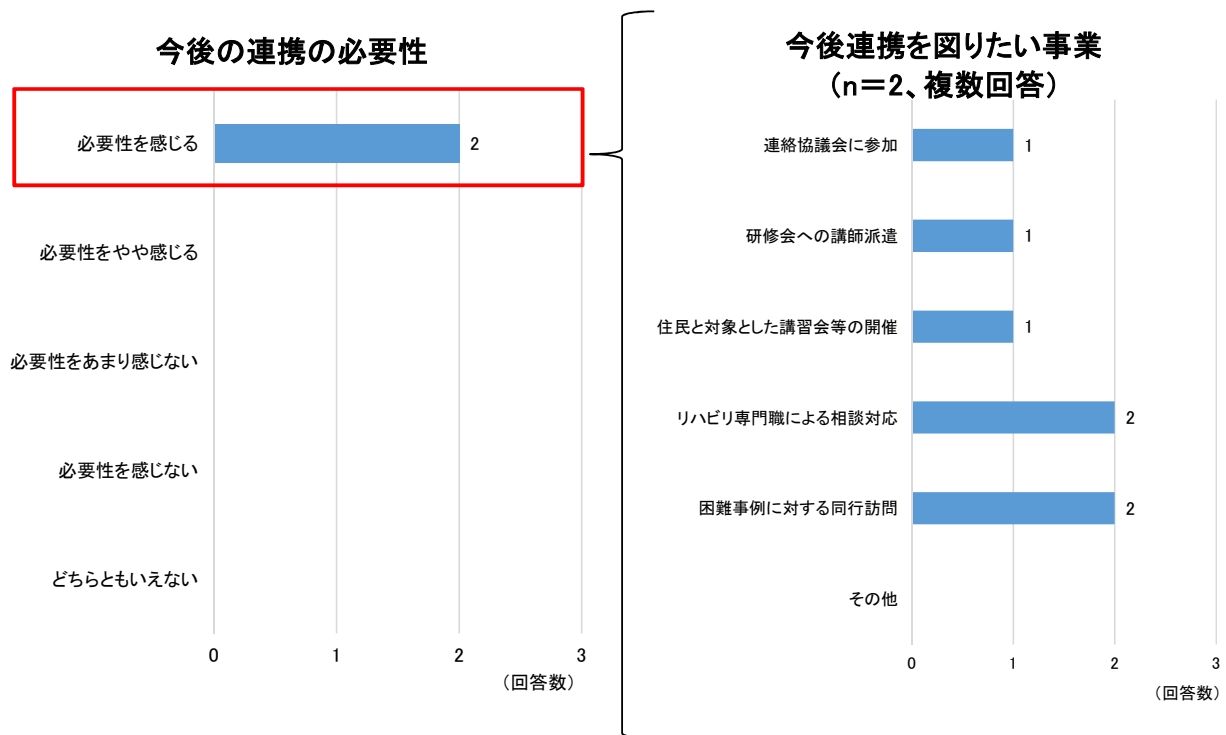


問4 広域支援センターとの今後の連携の必要性



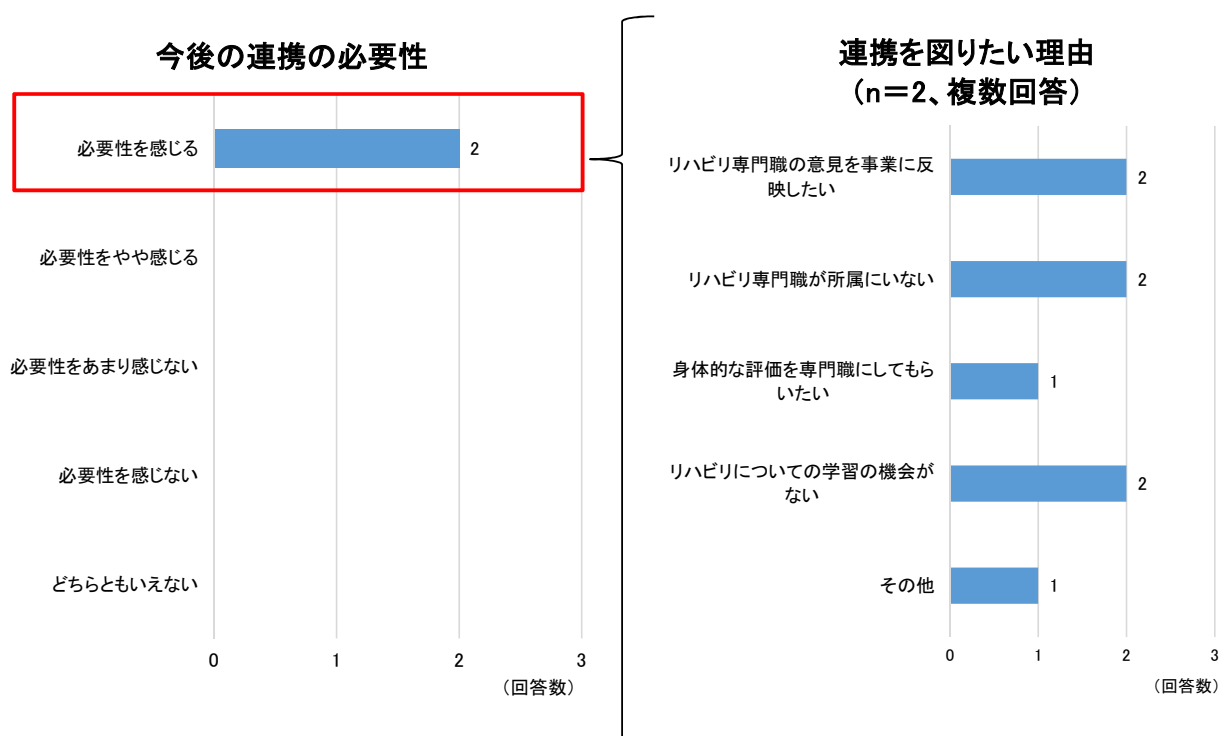
- 今後の連携の必要性について、
↳「感じる」と回答したのが2事業所で全体の100.0%

問4-1 広域支援センター業務のうち連携を図りたい事業



145

問4-2 広域支援センターと連携を図りたい理由



146

本事業に対する意見・要望

- ・ 私ども中核地域生活支援センターでは、精神疾患等をお持ちの方々の支援に携わることが圧倒的に多く、その中でも維持期、生活期に当たるかと思われる地域にて在宅での精神科訪問看護のお世話になることが大変多いです。その中でも、日頃の話し相手、相談相手がおらず、話を聴いてもらえない方が傾聴、精神疾患に分類されるアルコール依存の方々の具体的なリハビリテーション(散歩への付き添いや日常自分で行えるセルフリハの指導、急変時の救急搬送、精神状態を観察したうえでの「行動化」の予測)、他にも様々な情報を私たち中核支援センターや家族、相談支援専門員に与えてくださいます。精神科の地域生活支援に必要不可欠な存在です。もし可能なのであれば、訪問看護ステーションやその他、地域リハビリテーションに関わる事業所が半年に1回でも一堂に会し、情報交換や制度に関するセミナー、又、親睦を深める目的での集まりを実施していただけることが出来たら、そしてすみっこに中核もさせていただければ、こんなにも幸せなことはありません。私もいまだ依頼したことがないのですが、訪問リハビリテーションのパンフレットをもお送りいたします。
- ・ 病気のある方や退院後の方、孤立した生活を送ってきた方などに関する相談には、生活リハビリ(制度外を含め)の要素が含まれるため、相談の多くに含まれる要素と考えお答えしています。

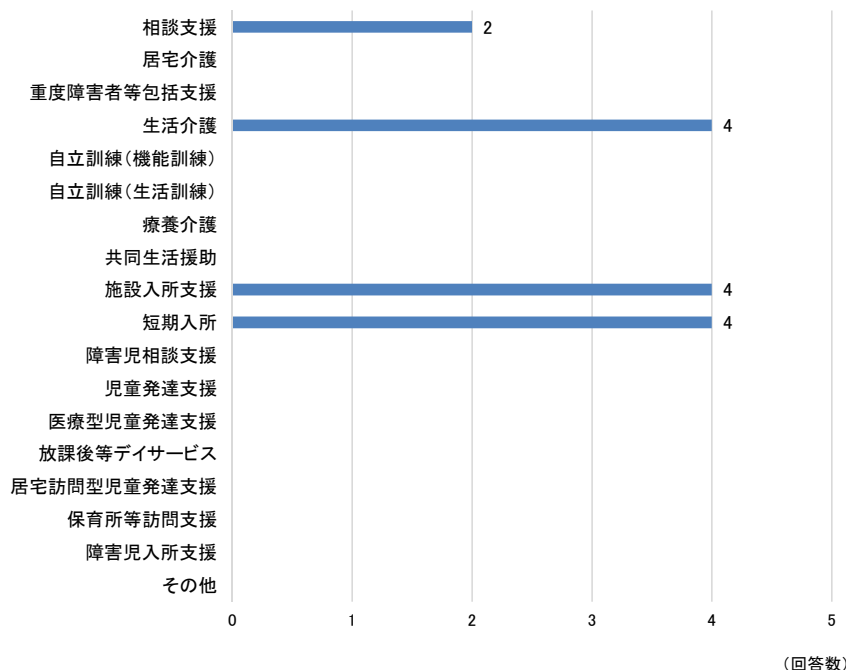
147

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (障害者支援施設)

対象数 86事業所 回答数4事業所
回答率5%

問1 事業所の概況

併設施設

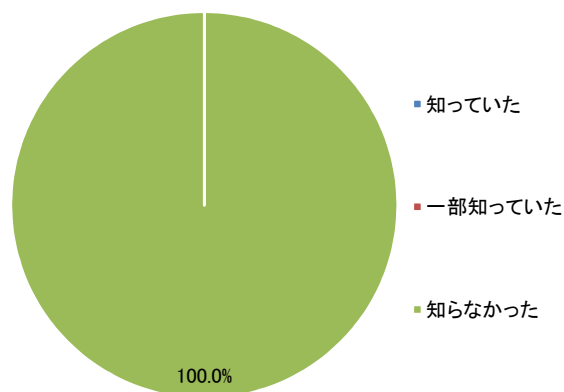


問2 地域リハビリテーション支援体制の整備・推進に関する認知度

【地域リハビリテーション支援体制の整備】
(千葉県保健医療計画より抜粋)

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

地域リハビリテーション支援体制の認知度

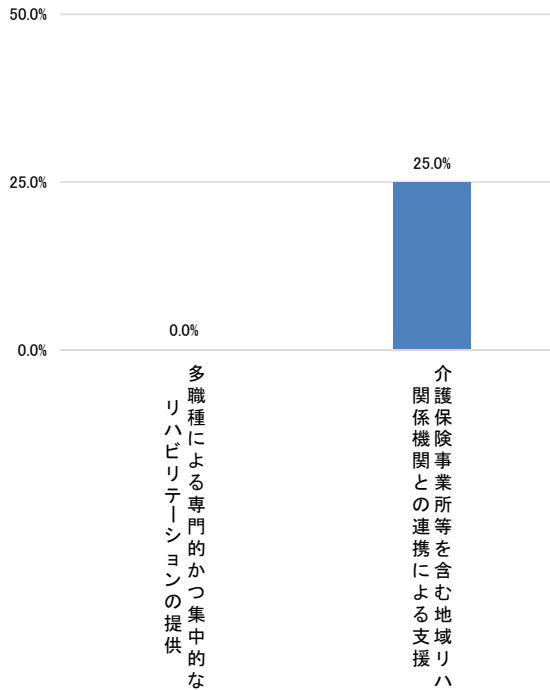


問2-1、2 地域リハビリテーション推進の取組状況

地域リハビリテーションに関する 取組状況(複数回答)

【その他、地域リハビリテーション推進のために
取り組んでいること】

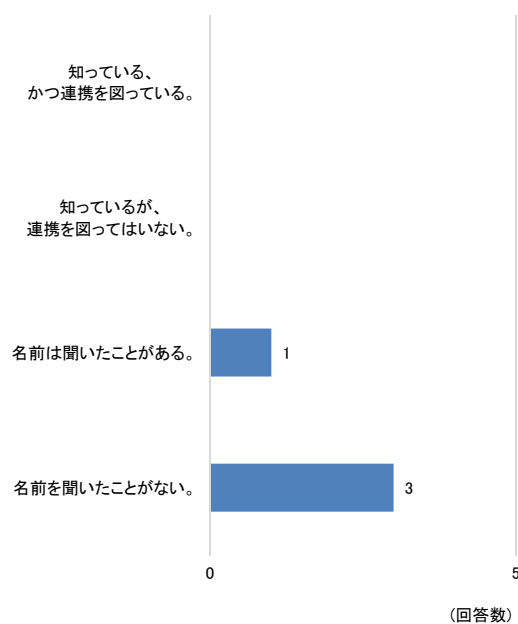
・回答無し



151

問3 広域支援センターとの現在の関係

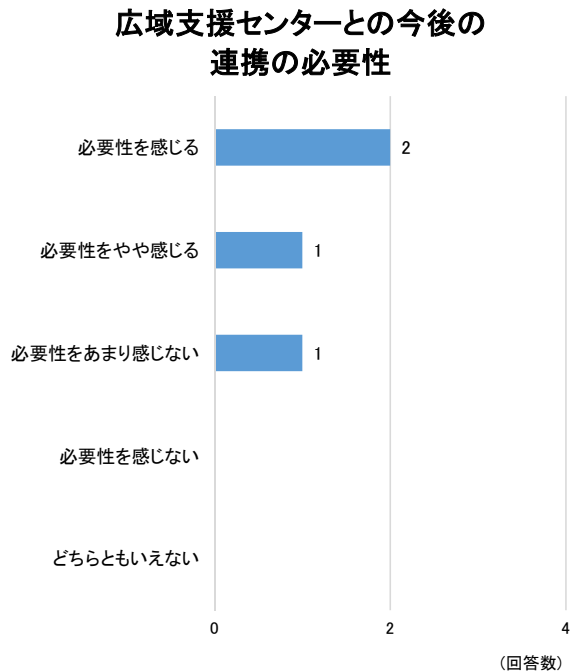
広域支援センターとの現在の関係



- ・ 名前は聞いたことがあると回答したのは1施設で全体の25.0%
- ・ 名前を聞いたことがないと回答したのは3施設で全体の75.0%

152

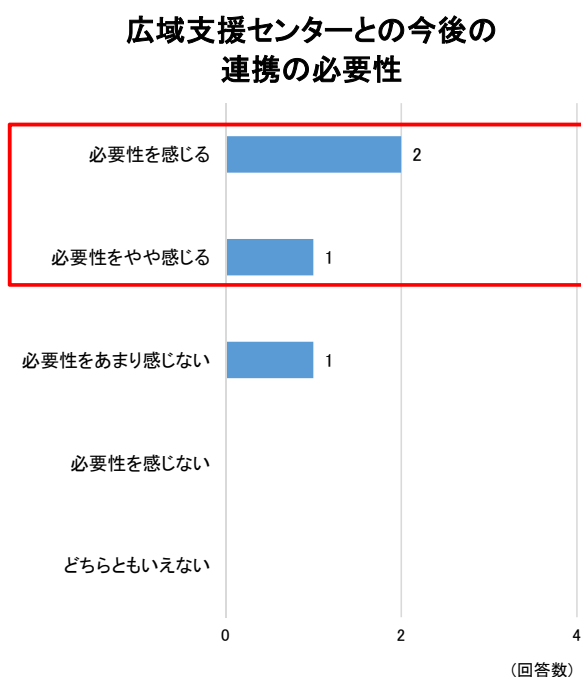
問4 広域支援センターとの今後の連携の必要性



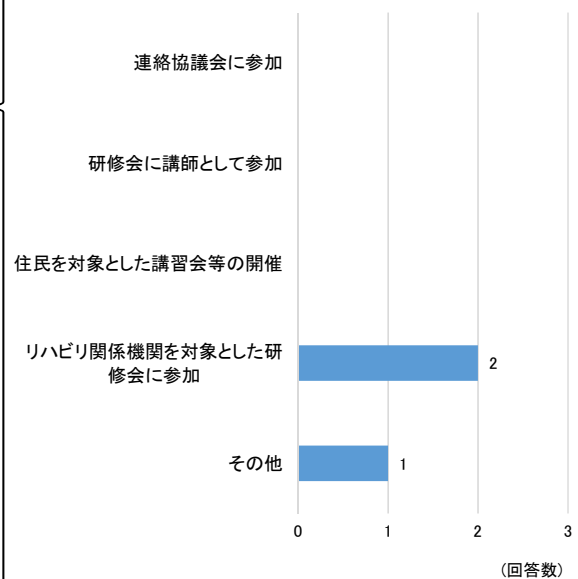
- 今後の連携の必要性について
 - 「感じる」、「やや感じる」と回答したのは3施設で全体の75.0%
 - 「あまり感じない」と回答したのは1施設で全体の25.0%

153

問4-1 今後の広域支援センターと連携を図りたい事業内容

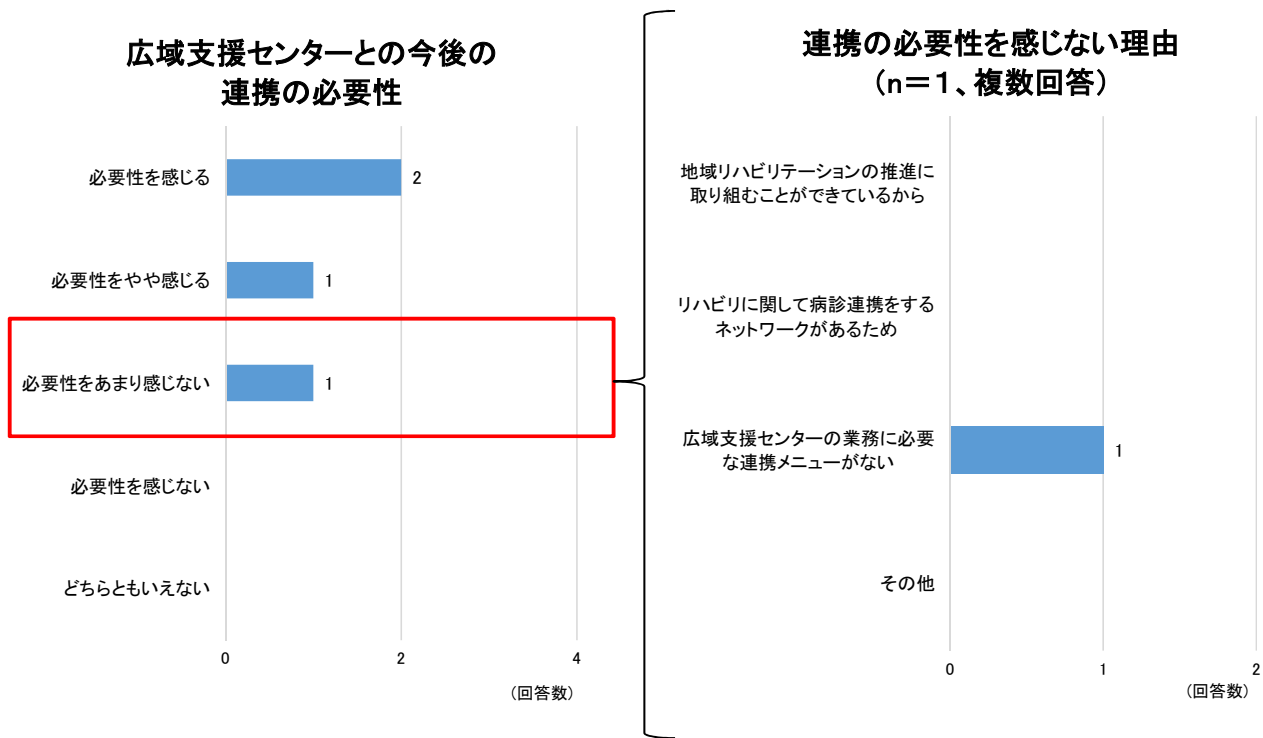


今後連携を図りたい事業内容 (n=3、複数回答)



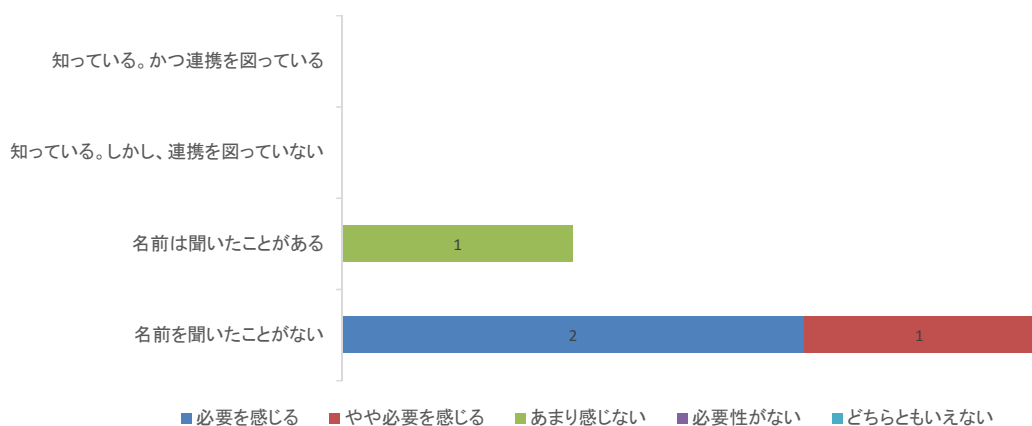
154

問4-2 広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由



155

広域支援センターとの「現在の関係(問3)」と「今後の連携の必要性(問4)」との関連

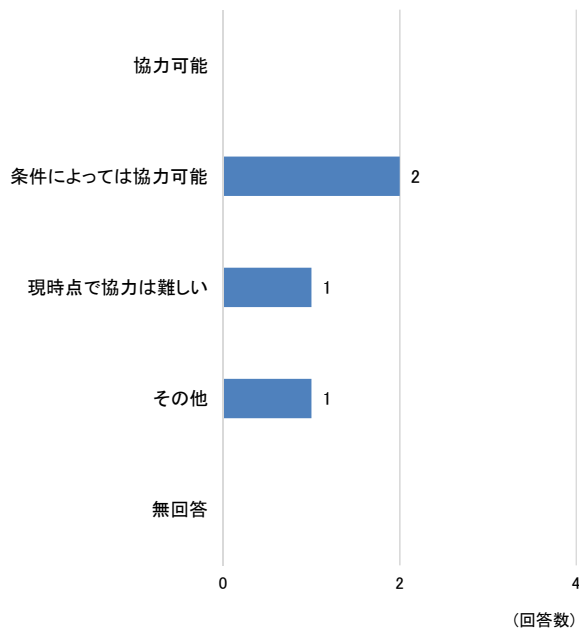


現在の関係 \ 今後の連携	必要を感じる	やや必要を感じる	あまり感じない	必要性がない	どちらともいえない	計
知っている、かつ連携を図っている	0	0	0	0	0	0
知っているが、連携を図っていない	0	0	0	0	0	0
名前は聞いたことがある	0	0	1	0	0	1
名前を聞いたことがない	2	1	0	0	0	3
計	2	1	1	0	0	4

156

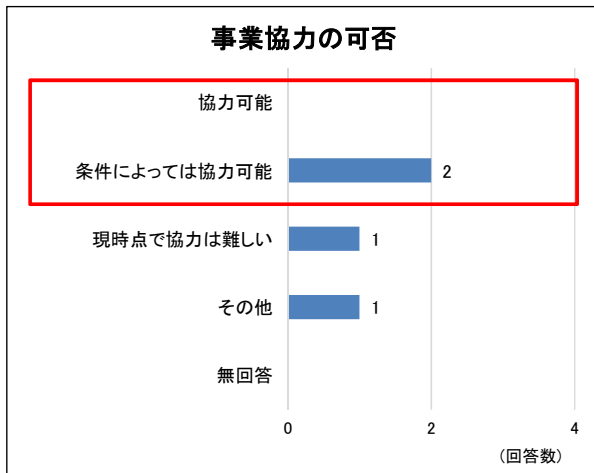
問5 広域支援センターが協力を依頼した場合の事業協力の可否

事業協力の可否

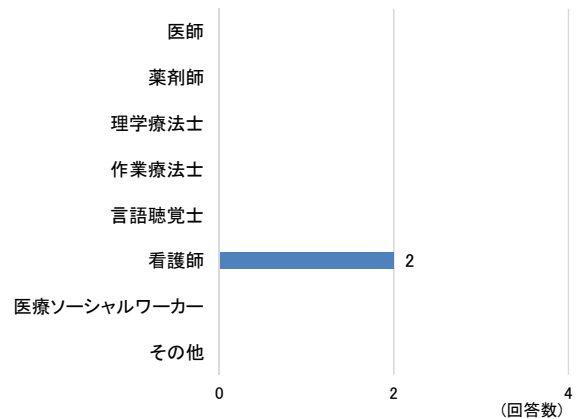


- 事業協力の可否について、
 - 「条件によっては協力可能」と回答したのは2施設で全体の50.0%
 - 「現時点で協力は難しい」と回答したのは1施設で全体の25.0%

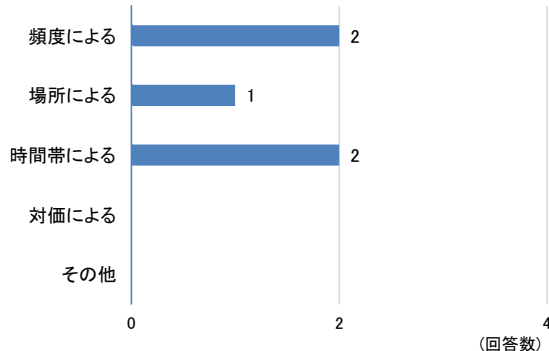
問5-1、2、3 事業協力の条件



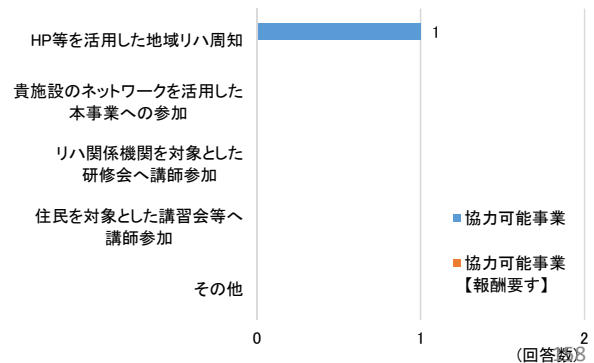
協力可能な職種(複数回答)



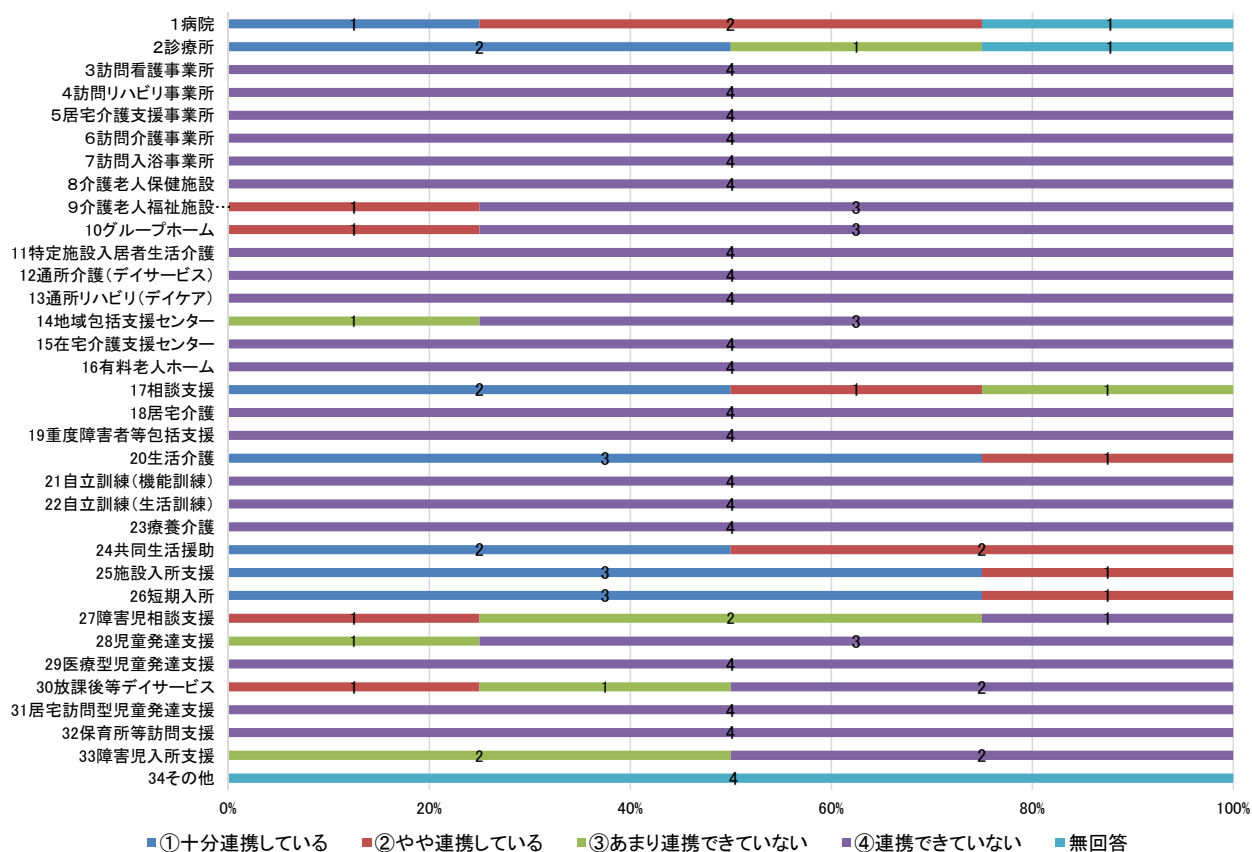
協力可否の条件(n=2、複数回答)



協力可能事業(複数回答)



問6 関係機関との連携状況



159

本事業の対する意見・要望

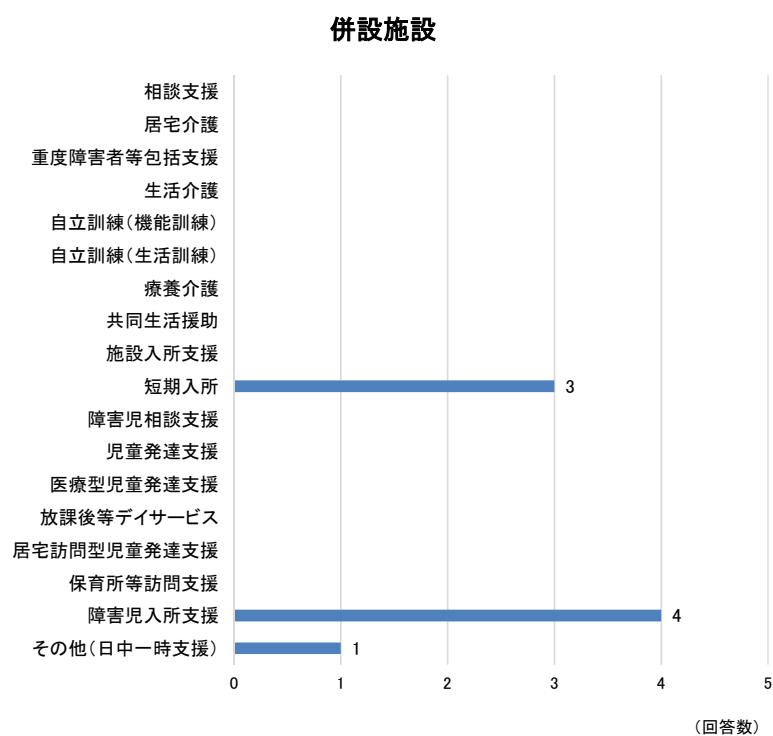
- ・ 知的障害者の入所施設は訪問リハビリなど制度上、利用が難しいと思います。入所者の高齢化に伴いリハビリなど医療的なニーズが高まっていますが、対応が難しい状況です。

160

地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (福祉型障害児入所施設)

対象数 12事業所 回答数4事業所
回答率33%

問1 事業所の概況

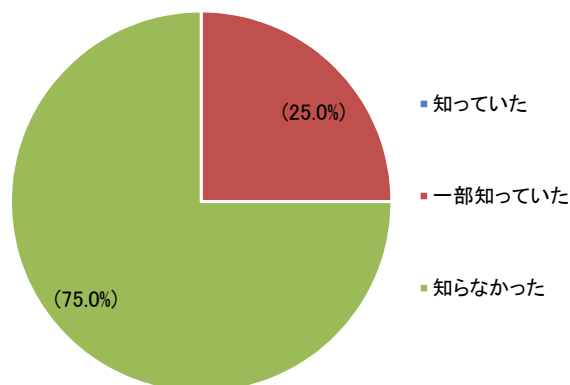


問2 地域リハビリテーション支援体制の整備・推進に関する認知度

【地域リハビリテーション支援体制の整備】 (千葉県保健医療計画より抜粋)

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

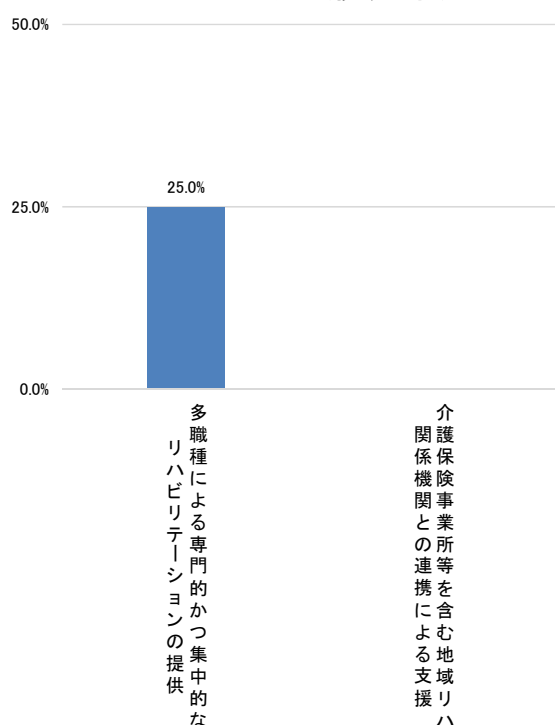
地域リハビリテーション支援体制の認知度



163

問2-1、2 地域リハビリテーション推進の取組状況

地域リハビリテーションに関する取組状況(複数回答)



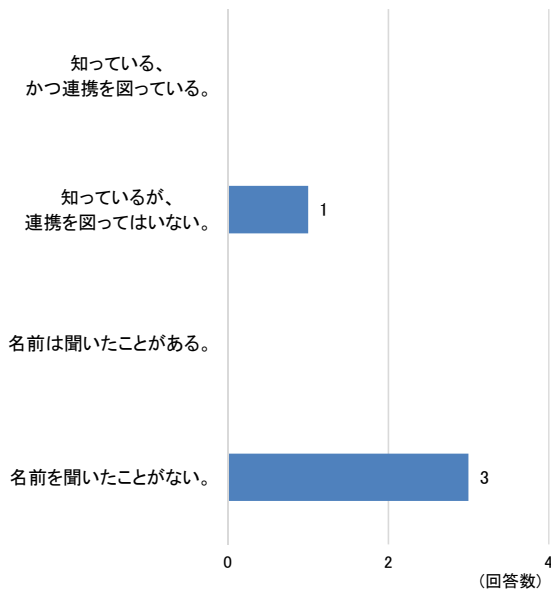
【その他、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいること】

・回答無し

164

問3 広域支援センターとの現在の関係

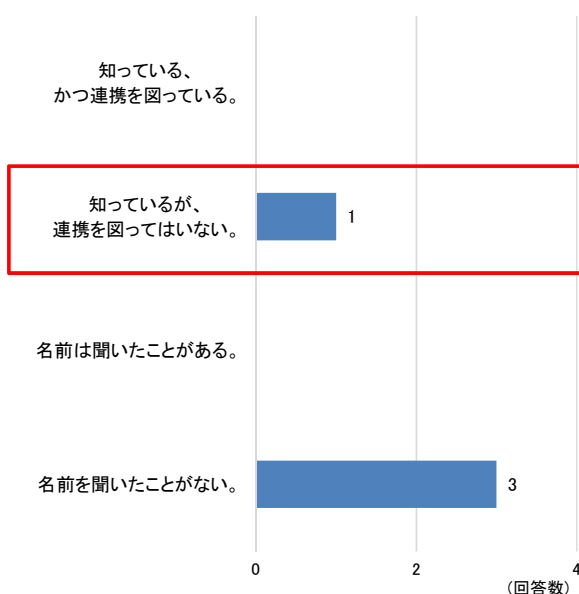
広域支援センターとの現在の関係



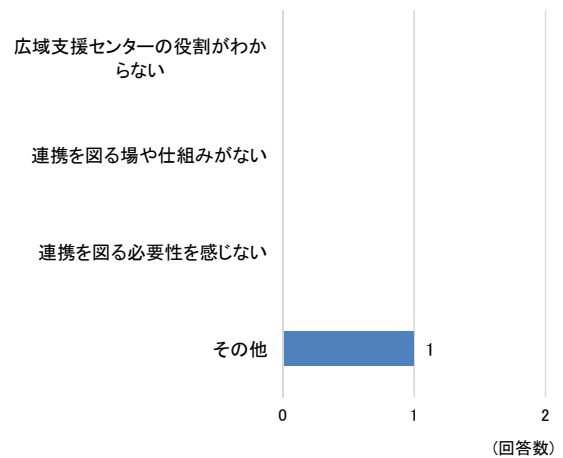
- 知っているが、連携を図ってはいないと回答したのは1施設で全体の25.0%
- 名前を聞いたことがないと回答したのは3施設で全体の75.0%

問3-3 広域支援センターと連携を図っていない理由

広域支援センターとの現在の関係



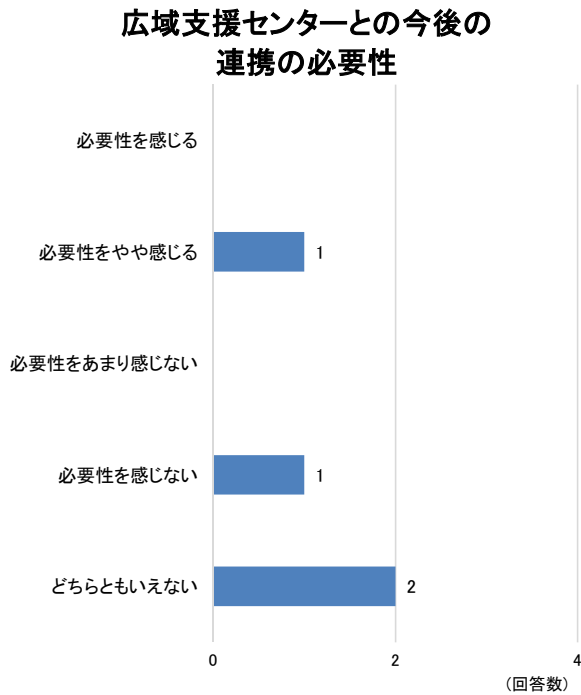
連携を図っていない理由 (複数回答)



【その他の理由】

- ・知的障害児支援が主のため

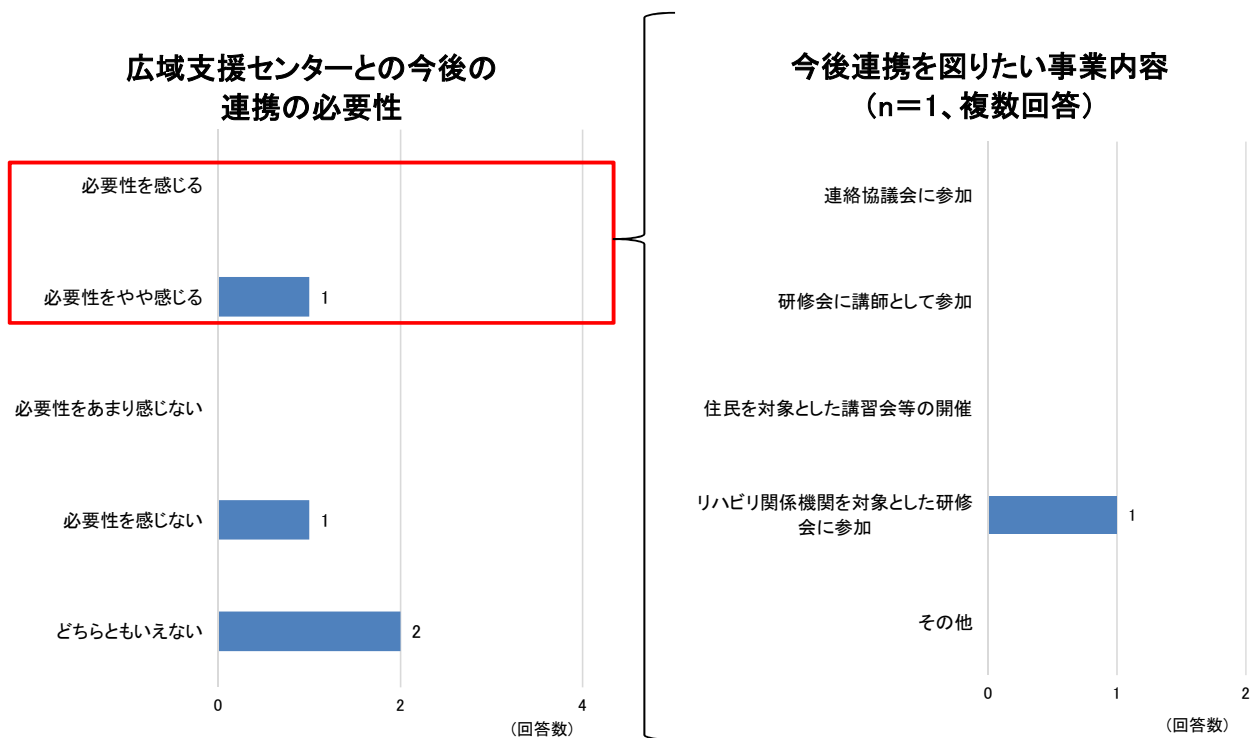
問4 広域支援センターとの今後の連携の必要性



- 今後の連携の必要性について
 - 「やや感じる」と回答したのは1施設で全体の25.0%
 - 「感じない」と回答したのは1施設で全体の25.0%
 - 「どちらともいえない」と回答したのは2施設で全体の50.0%

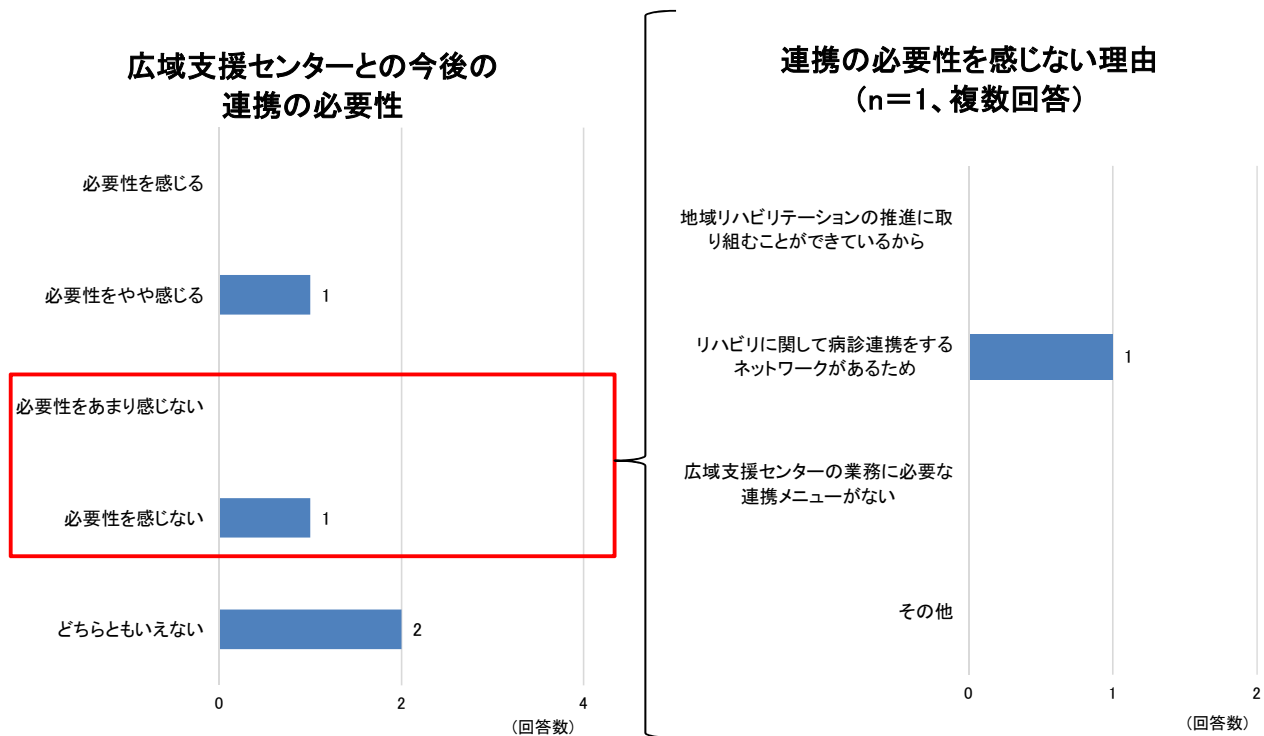
167

問4-1 今後の広域支援センターと連携を図りたい事業内容



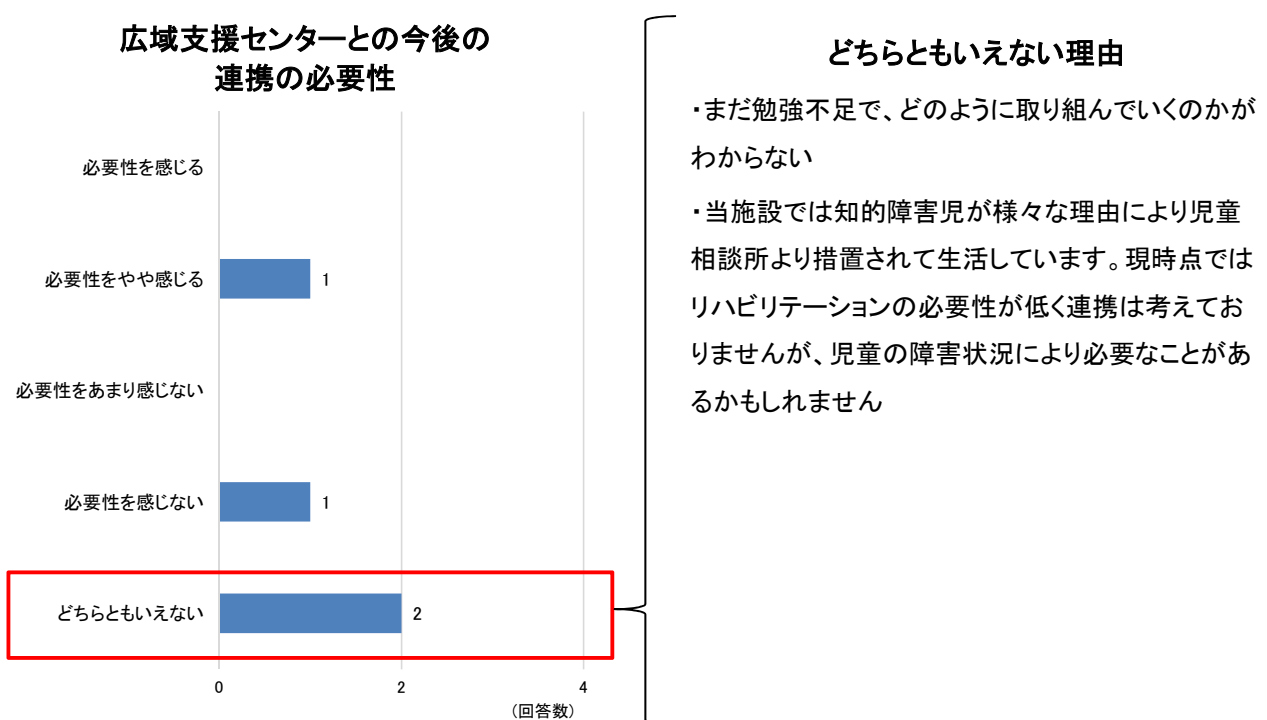
168

問4-2 広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由



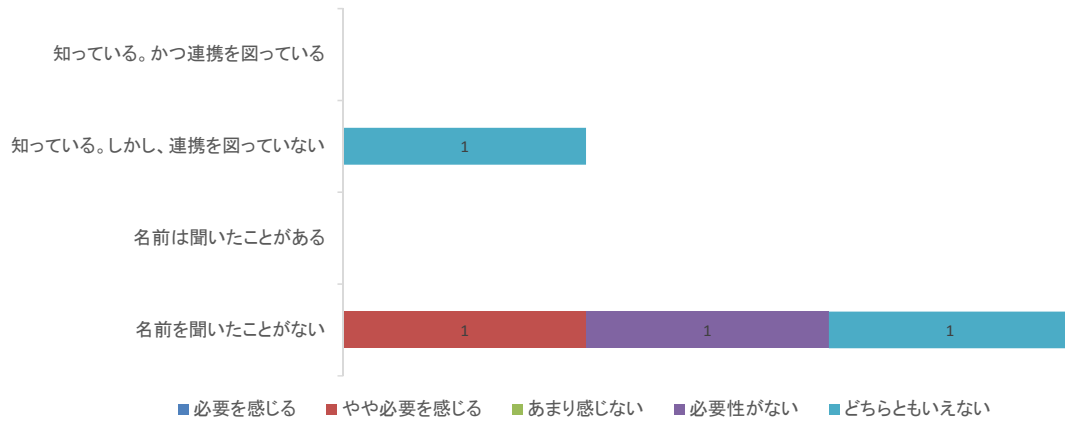
169

問4-3 今後の広域支援センターと連携の必要性について、どちらともいえない理由



170

広域支援センターとの「現在の関係(問3)」と「今後の連携の必要性(問4)」との関連

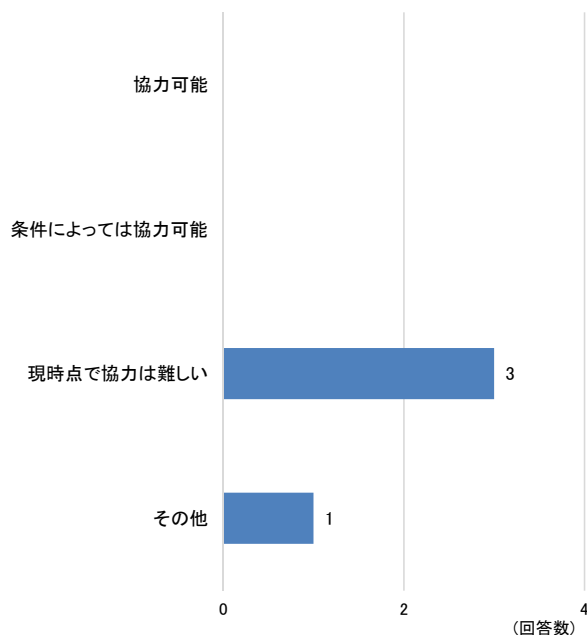


現在の関係 \ 今後の連携	必要を感じる	やや必要を感じる	あまり感じない	必要性がない	どちらともいえない	計
知っている、かつ連携を図っている	0	0	0	0	0	0
知っているが、連携を図っていない	0	0	0	0	1	1
名前は聞いたことがある	0	0	0	0	0	0
名前を聞いたことがない	0	1	0	1	1	3
計	0	1	0	1	2	4

171

問5 広域支援センターが協力を依頼した場合の事業協力の可否

事業協力の可否(複数回答)



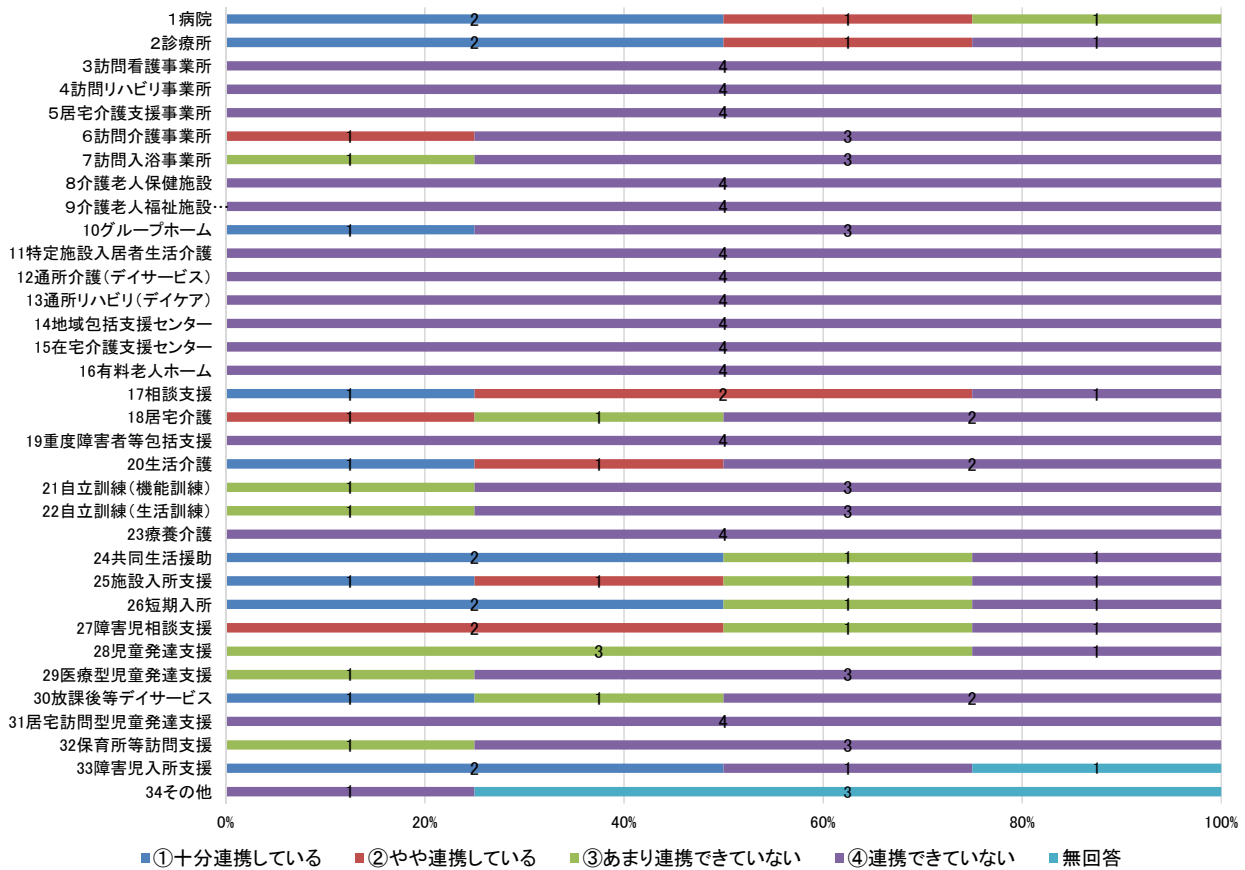
- 事業協力の可否について、
 - 「現時点で協力は難しい」と回答したのは3施設で全体の75.0%
 - 「その他」と回答したのは1施設で全体の25.0%

【その他の回答】

- ・状況による

172

問6 関係機関との連携状況

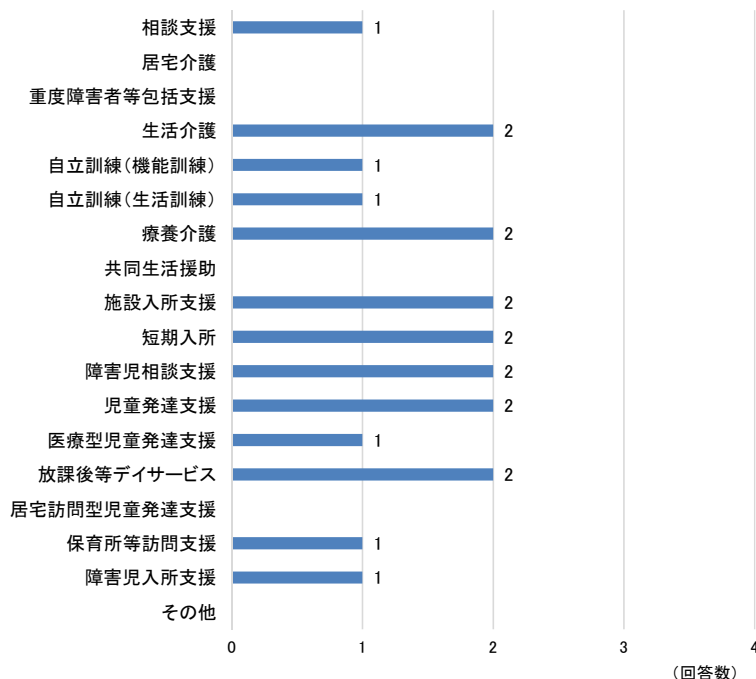


地域リハビリテーション推進のための 関係機関調査 (医療型障害児入所施設)

対象数 4事業所 回答数2事業所
回答率50%

問1 事業所の概況

併設施設

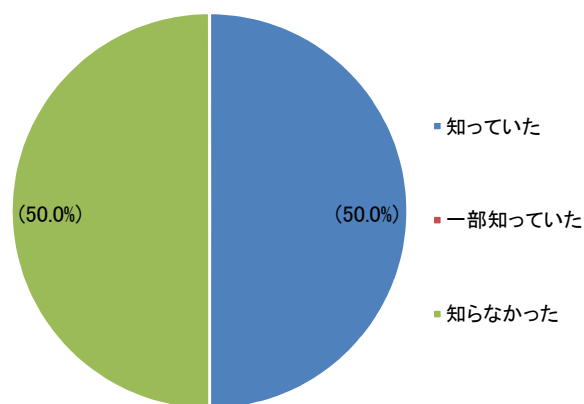


問2 地域リハビリテーション支援体制の整備・推進に関する認知度

【地域リハビリテーション支援体制の整備】
(千葉県保健医療計画より抜粋)

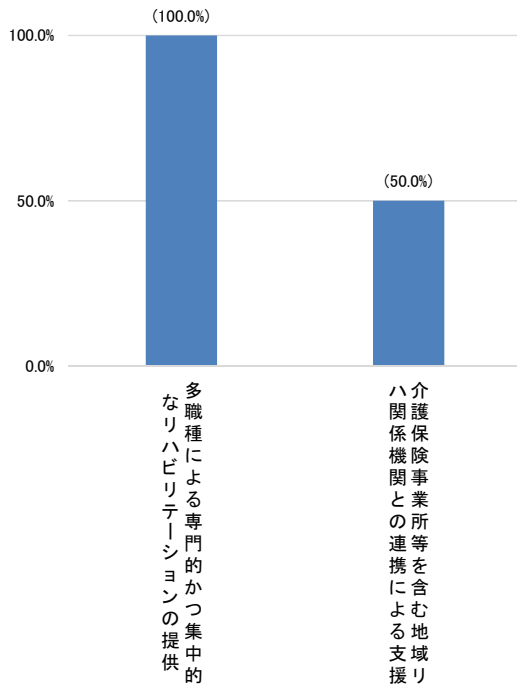
地域リハビリテーション支援体制
の認知度

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。



問2-1、2 地域リハビリテーション推進の取組状況

地域リハビリテーションに関する
取組状況(複数回答)



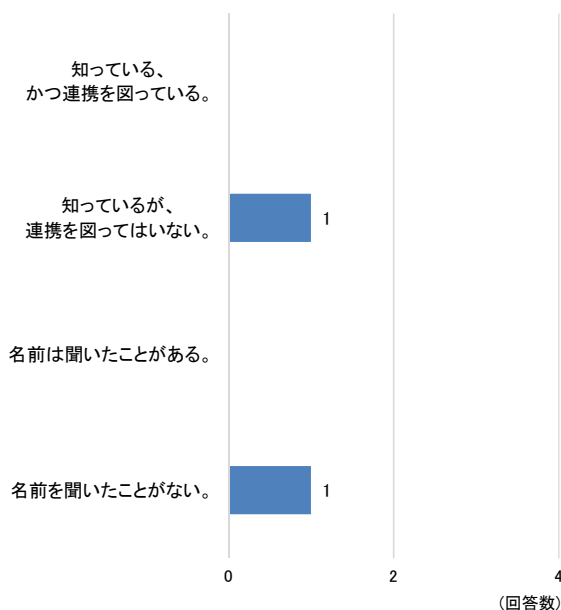
【その他、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいること】

- ・地域機関の職員に対する研修
- ・法人内外との連携、外来リハビリテーションの提供
(主に障害児者)

177

問3 広域支援センターとの現在の関係

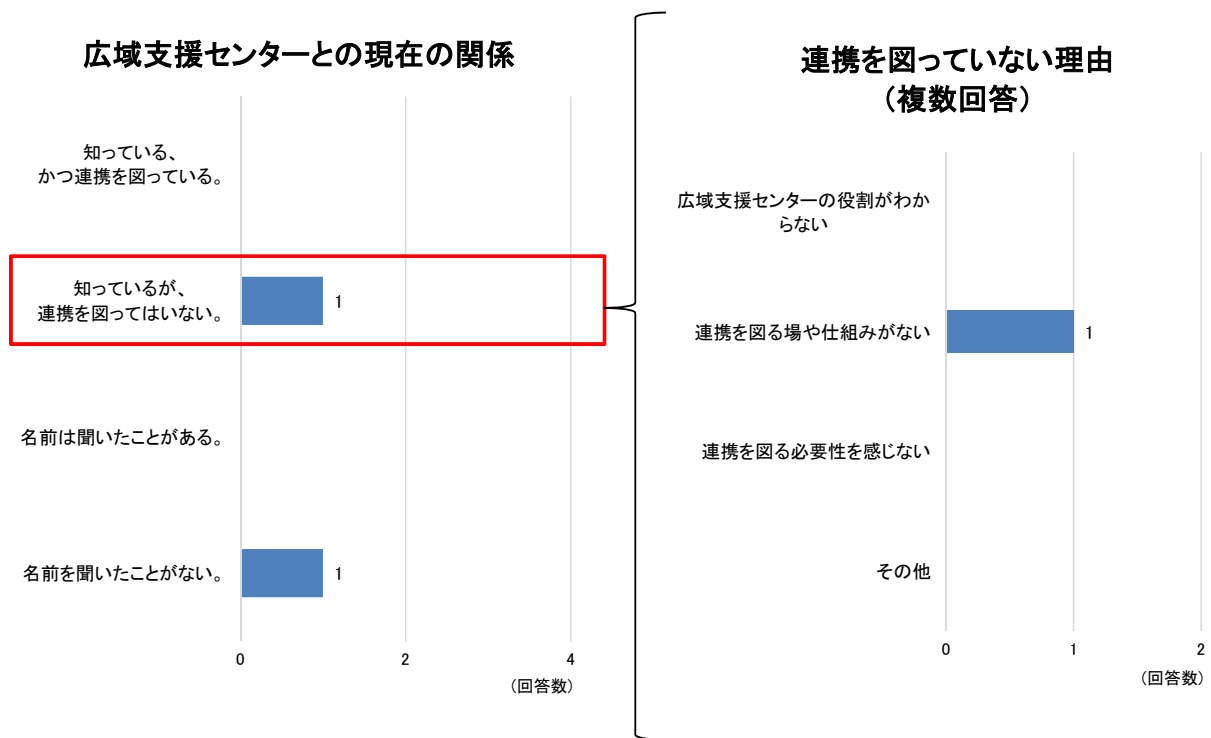
広域支援センターとの現在の関係



- ・ 知っているが、連携を図ってはいないと回答したのは1施設で全体の50.0%
- ・ 名前を聞いたことがないと回答したのは1施設で全体の50.0%

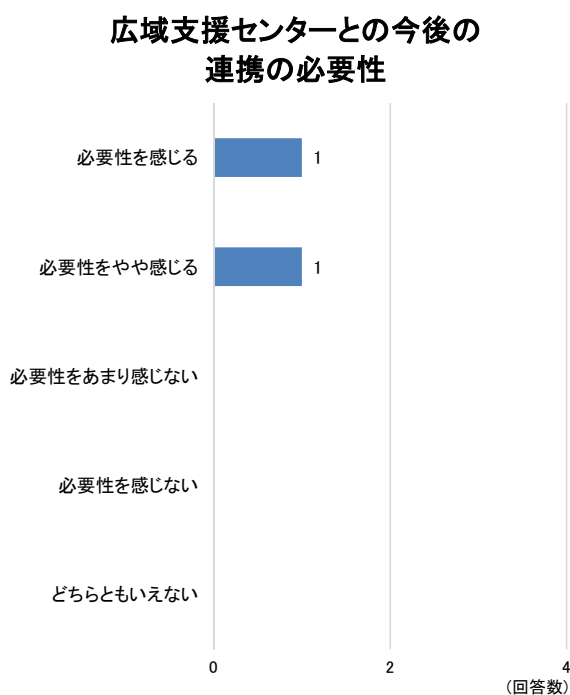
178

問3-3 広域支援センターと連携を図っていない理由



179

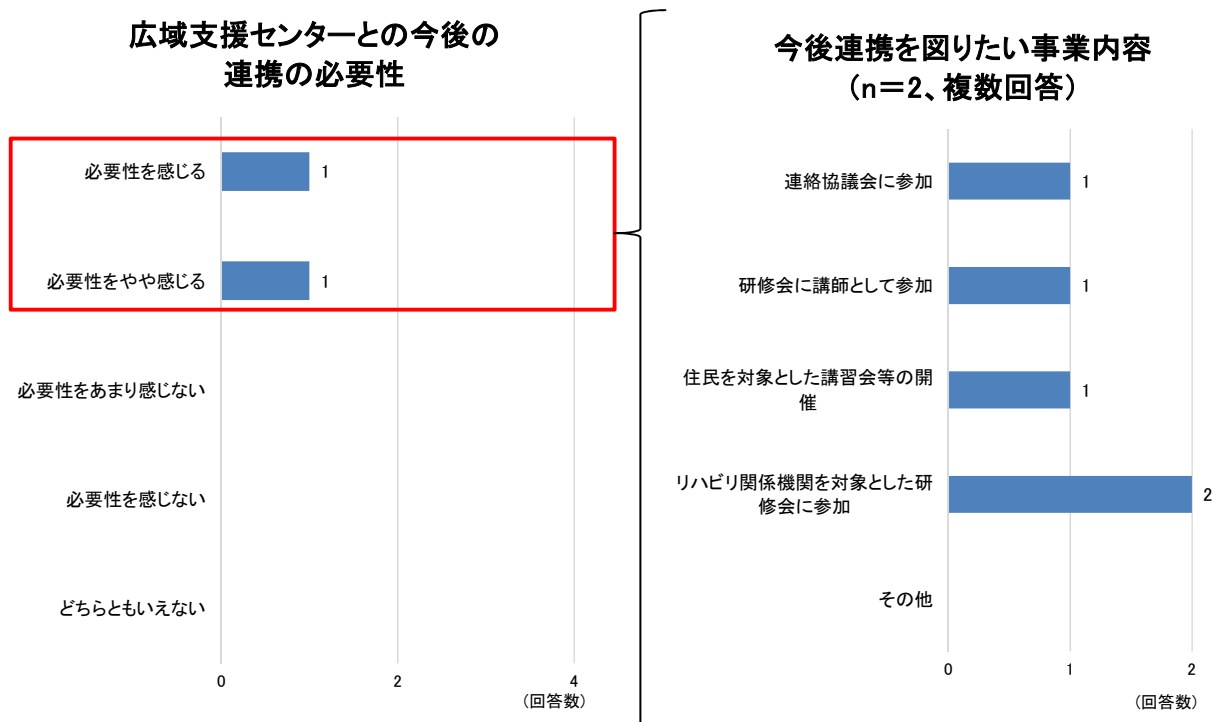
問4 広域支援センターとの今後の連携の必要性



- 今後の連携の必要性について
 - 「感じる」と回答したのは1施設で全体の50.0%
 - 「やや感じる」と回答したのは1施設で全体の50.0%

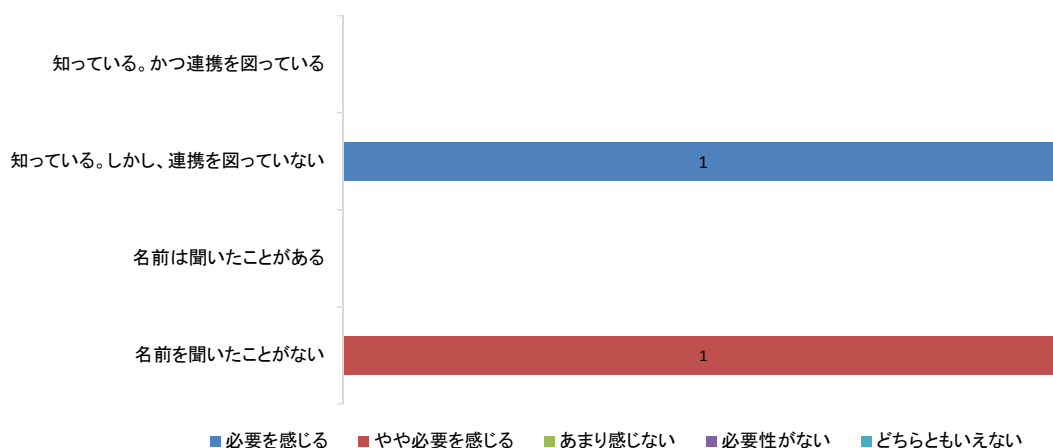
180

問4-1 今後の広域支援センターと連携を図りたい事業内容



181

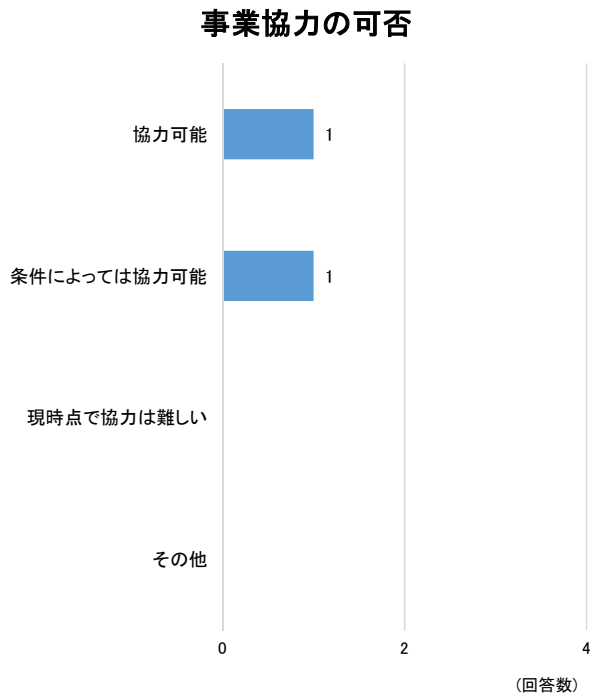
広域支援センターとの「現在の関係(問3)」と「今後の連携の必要性(問4)」との関連



現在の関係 \ 今後の連携	必要性を感じる	やや必要性を感じる	あまり感じない	必要性がない	どちらともいえない	計
知っている、かつ連携を図っている	0	0	0	0	0	0
知っているが、連携を図っていない	1	0	0	0	0	1
名前は聞いたことがある	0	0	0	0	0	0
名前を聞いたことがない	0	1	0	0	0	1
計	1	1	0	0	0	2

182

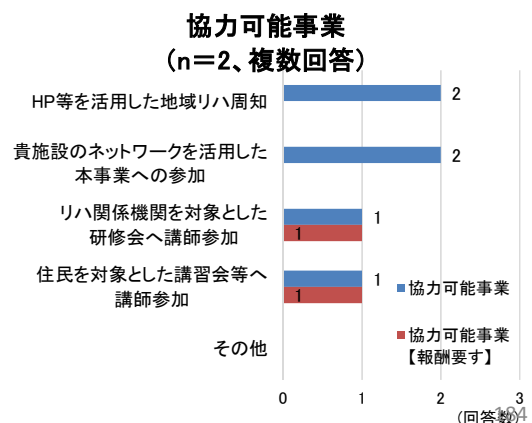
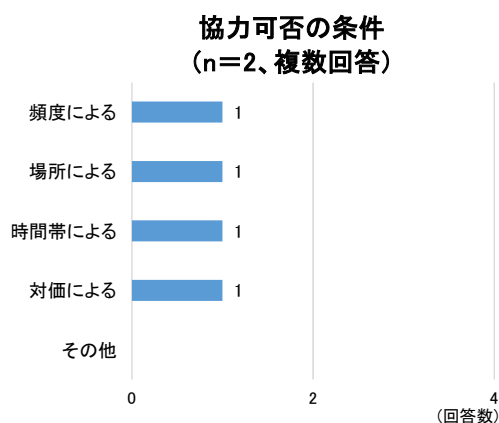
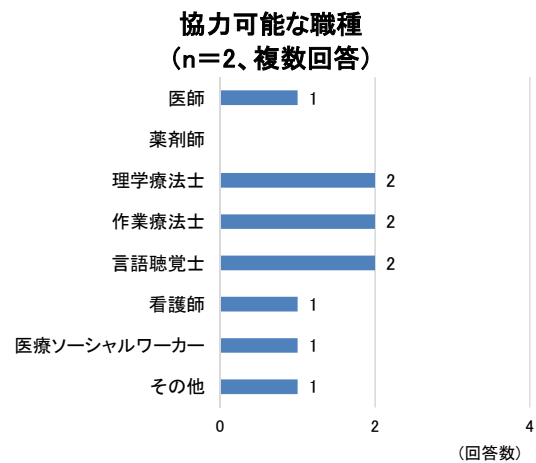
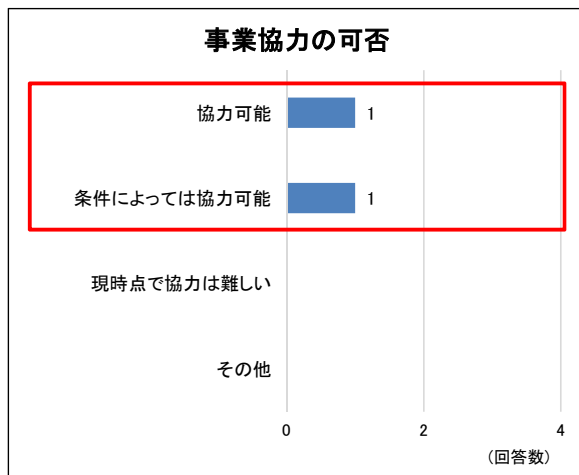
問5 広域支援センターが協力を依頼した場合の事業協力の可否



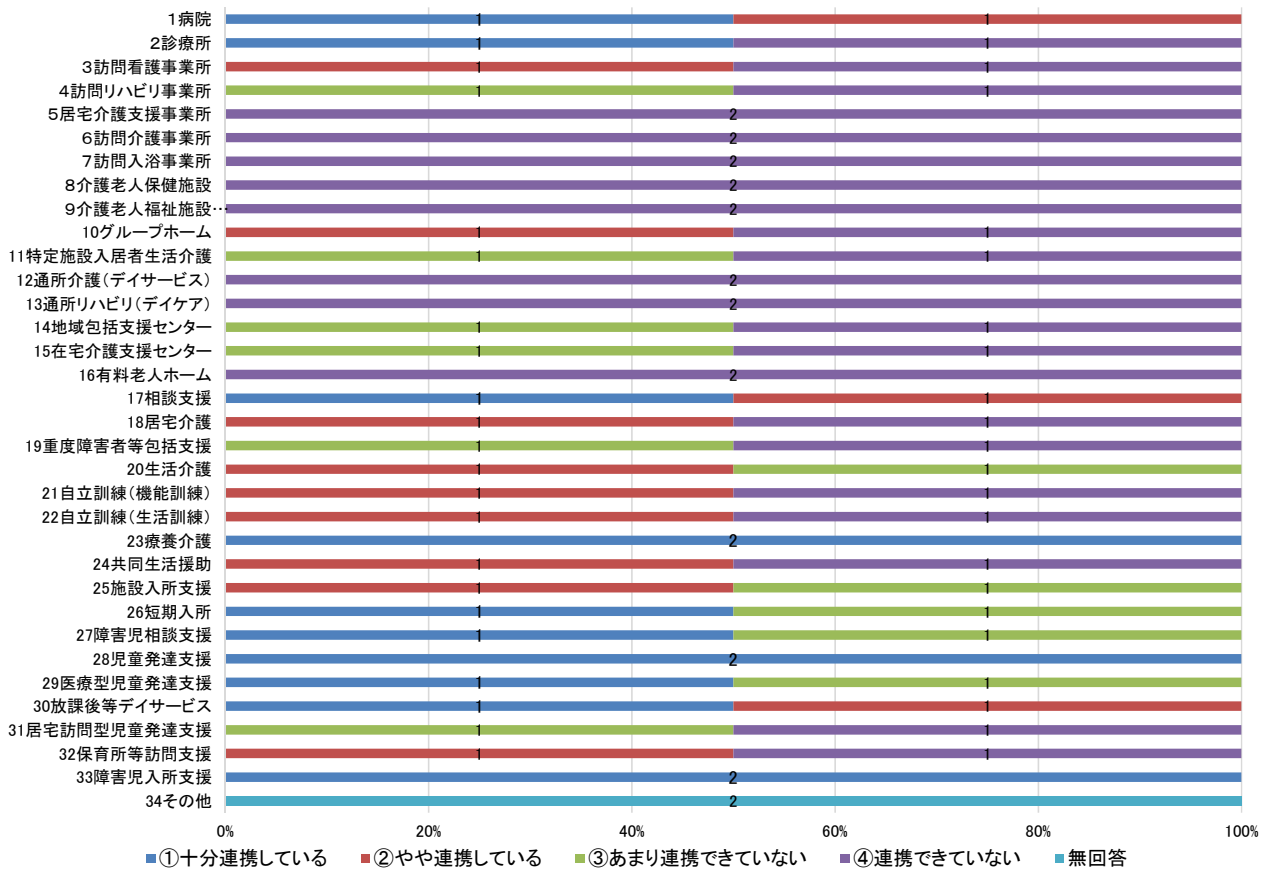
- 事業協力の可否について、
 - 「協力可能」と回答したのは1施設で全体の50.0%
 - 「条件によっては協力可能」と回答したのは1施設で全体の50.0%

183

問5-1、2、3 事業協力の条件



問6 関係機関との連携状況



185

本事業に対する意見・要望

- ・ 医療型障害児施設としては連携は不十分ではあるが、成人部門や外来を含めたセンター全体としては連携していると思われる。

市町村におけるリハビリテーション関連職の所属と配置状況【令和3年4月1日時点】

○:主要な課 △:関係課

※歯科:歯科衛生士 看護:看護師

医療圏	NO	市町村名	〒	住所	TEL	各事業担当課	健康増進	高齢者の健康増進	介護予防	地域包括ケアの推進	認知症対策の推進	障害者・児の支援	精神保健福祉	高次脳機能障害	母子保健	口腔・摂食、嚥下	リハビリ関連職種の配置				備考					
																	PT	OT	ST	歯科		看護	その他			
東葛北部	10	柏市	277-8505	柏市柏5-10-1	04-7167-1111	地域包括支援課		○	○	○	○						△	1	1	1	1					
						健康増進課		△													△					
						障害福祉課												△								
						地域保健課																				
						こども発達センター						○						3	2	6						
						キッズルーム						△														
						人数合計												4	3	6	3	4	67			
	11	流山市	270-0192	流山市平和台1-1-1	04-7158-1111	健康増進課	○	○		△		△		△	○	△										
						高齢者支援課		△	○	○																
						介護支援課					○	○														
						障害者支援課					○	○		○	○											
						児童発達支援センター					○			○	○	○		2	1	7		1				
						人数合計												2	2	7	4	1	29			
	12	我孫子市	270-1192	我孫子市我孫子1858	04-7185-1111	高齢者支援課		○	○	○	○		△		○	○										
						健康づくり支援課	○	△	△			△														
						障害福祉支援課						○	○													
						子ども相談課								△	○		1	3	5		2					
						人数合計												2	3	7	0	2	5			
						圏域合計												14	13	24	15	16	166			
印旛	13	成田市	286-8585	成田市花崎町760	0476-22-1111	健康増進課		○		△		△				○										
						高齢者福祉課		△	△	△	△															
						介護保険課		△	○	○	○															
							障がい者福祉課					○		○		△		1	2	4						
							人数合計												1	2	4	3	0	0		
	14	佐倉市	285-8501	佐倉市海隣寺町97	043-484-1111	健康増進課	○	○	△				△				△									
						母子保健課																				
						障害福祉課																				
							子育て支援課																			
							介護保険課				△															
						高齢者福祉課		△	○	○																
						健康保険課		△	△																	
						人数合計												2	0	4	3	0	0			
15	四街道市	284-8555	四街道市鹿渡無番地	043-421-2111	健康増進課	○	△							○	○											
					高齢者支援課		○	○	○	○																
					障害者支援課																					
						人数合計												1	0	1	1	0	0			
16	八街市	289-1192	八街市八街ほ35-29	043-443-1111	高齢者福祉課		○	○	○	○						○										
					障がい福祉課																					
					健康増進課	○																				
						人数合計												0	0	2	0	0	0			
17	印西市	270-1396	印西市大森2364-2	0476-42-5111	健康増進課	○	○	△				△			○	○										
					高齢者福祉課		△	○	○	○																
					障がい福祉課																					
						人数合計												3	0	2	9	7	0			
18	白井市	270-1492	白井市復1123	047-492-1111	高齢者福祉課		△	○	○	○							△									
					障害福祉課																					
					健康課	○	○																			
						子育て支援課																				
						社会福祉課																				
						人数合計												1	2	1	2	0	0			
19	富里市	286-0292	富里市七栄652-1	0476-93-1111	健康増進課		○	△								○										
					高齢者福祉課		△	○	○	○																
					社会福祉課																					
						人数合計												1	1	1	1	1	15			
20	酒々井町	285-8510	印旛郡酒々井町中央台4-11	043-496-1171	健康福祉課		○	○	○	○	○			○	○		○									
					健康介護課	○	○	○	○	○																
					福祉・子ども課																					
						人数合計												1	0	0	1	0				
21	栄町	270-1592	印旛郡栄町安食台1-2	0476-95-1111	健康介護課	○	○	○	○	○	△			△	△	○										
					福祉・子ども課																					
					人数合計																					
						圏域合計												10	5	16	23	8	15			
香取海匠	22	銚子市	288-8601	銚子市若宮町1-1	0479-24-8181	高齢者福祉課		○	○	○	○						△									
						社会福祉課																				
						健康づくり課		△	△	△	△															
							人数合計												0	0	0	3	0	6		
	23	旭市	289-2595	(4/26~旭市二の2132へ移転)	0479-62-1212	高齢者福祉課		○	○	○	○															
						健康管理課		△																		
健康づくり課							△																			
						社会福祉課																				
						人数合計												0	0	0	1	0	0			
24	匝瑳市	289-2198	匝瑳市八日市場ハ793-2	0479-73-0033	健康管理課		△									○										
					高齢者支援課		○	○	○	○																
					福祉課																					
						人数合計												0	0	0	1	1	1			
25	香取市	287-8501	香取市佐原口2127	0478-54-1111	高齢者福祉課	△	○	○	○	○		△		○	○		○									
					健康づくり課	○		△																		
					社会福祉課																					
						市民課(国民健康保険班)	△	△	△																	
						人数合計													0	0	0	2	1	0		
26	神崎町	289-0221	香取郡神崎町神崎本宿96	0478-72-1607	保健福祉課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										

市町村におけるリハビリテーション関連職の所属と配置状況【令和3年4月1日時点】

○:主要な課 △:関係課

※歯科:歯科衛生士 看護:看護師

医療圏	NO	市町村名	〒	住所	TEL	各事業担当課	健康増進	高齢者の健康増進	介護予防	地域包括ケアの推進	認知症対策の推進	障害者・児の支援	精神保健福祉	高次脳機能障害	母子保健	口腔・摂食、嚥下	リハビリ関連職種の配置				備考			
																	PT	OT	ST	歯科		看護	その他	
山武 長生 夷隅	27	多古町	289-2241	香取郡多古町多古2848	0479-70-6111	地域包括支援センター 保健福祉課 人数合計		○ △	○ △	○ △	○ △	○ △		○ △		○ △	○ △	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0			
	28	東庄町	289-0612	香取郡東庄町石出2692-4	0478-80-3300	健康福祉課 圏域合計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0			
	29	茂原市	297-8511	茂原市道表1	0475-20-1574 0475-20-1583	健康管理課 高齢者支援課地域包括支援室 障害福祉課 人数合計		△ ○	△ ○	△ ○	△ ○	△ ○		△ ○		△ ○		0 0 0	0 0 0	2 0 0	3 0 0	7 0 0		
	30	東金市	283-8511 283-0005	東金市東岩崎1-1 東金市田間三丁目9-1	0475-50-1167 0475-50-1174	社会福祉課 高齢者支援課 健康増進課 人数合計			○	○	○		○				○ △		0 0 0	0 0 0	2 2 0	0 2 0		
	31	勝浦市	299-5292	勝浦市新官1343-1	0470-73-1211	高齢者支援課 福祉課障害福祉係 市民課 福祉課 人数合計		○	○	○	○			○			○		0 0 0	0 0 0	1 0 0	0 0 0		
	32	山武市	289-1392	山武市殿台296	0475-80-1112	健康支援課 高齢者福祉課 社会福祉課 人数合計	○	○ △		○	○		△ ○	△ ○	△ ○	○	○		0 1 4	1 4 7	1 1 1	0 0 0		
	33	いすみ市	298-8501	いすみ市大原7400-1	0470-62-1116 0470-62-1118 0476-62-1117	健康高齢者支援課健康づくり班 健康高齢者支援課高齢者支援班 福祉課 人数合計	○	○	○	○	○			○		○	△		0 0 0	0 0 0	0 0 0	9 2 1	その他 保健師 12	
	34	大網白里市	299-3292	大網白里市大網115-2	0475-70-0300	高齢者支援課 健康増進課 市民課(後期高齢者医療) 社会福祉課 子育て支援課 地域包括支援センター 人数合計		○ △ △	△ △ △	△ △ △	△ △ △		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		△ ○		0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0		
	35	九十九里町	283-0195	山武郡九十九里町片貝4099	0475-70-3184	健康福祉課 高齢者福祉係 社会福祉課 社会福祉係 健康福祉課 健康指導係 人数合計		○	○	○	○			○			△ ○		0 0 0	0 0 0	0 0 0	3 3 1	その他 管理栄養士	
	36	芝山町	289-1692	山武郡芝山町小池992	0479-77-3925	福祉保健課 町民税務課 人数合計	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0		
	37	横芝光町	289-1793	山武郡横芝光町宮川11902	0479-84-1211	健康子ども課 福祉課 人数合計		○ △	△ ○	○ ○	△ ○	△ ○		○ ○			○		0 0 0	0 0 0	1 0 0	0 0 0		
	38	一宮町	299-4396	長生郡一宮町一宮2457	0475-42-1431	福祉健康課		○	○	○	○		○	○	○	○	○		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
	39	睦沢町	299-4492	長生郡睦沢町下之郷1650-1	0475-44-2531	福祉課 健康保険課 人数合計		○ △	○ △	○ △	○ △		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ △		0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0		
	40	長生村	299-4394	長生郡長生村本郷1-77	0475-32-2111 0475-43-6865	健康推進課 福祉課 人数合計		○ △	△ ○	○ ○	○ ○		○ ○	○ ○	○ ○		○		0 0 0	0 0 0	3 1 4	0 0 0		
	41	白子町	299-4292	長生郡白子町関5074-2	0475-33-2111	健康福祉課	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		0 0	0 0	0 0	4 0	0 0	
	42	長柄町	297-0298	長生郡長柄町桜谷712	0475-35-2414 0475-30-6000	健康福祉課 健康管理係 健康福祉課 福祉係 健康福祉課 介護保険係 地域包括支援センター 人数合計			○	○	○						○		0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	いきいきながら体操教室に作業療法士と理学療法士を派遣し、個別指導を実施。	
	43	長南町	297-0192	長生郡長南町長南2110	0475-46-2116 0475-46-3392	福祉課 健康保険課 人数合計	○	○	○	○	○		○	○	○	○	△		0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 4	その他 保健師、管理栄養士	
	44	大多喜町	298-0292	夷隅郡大多喜町大多喜93	0470-82-2168	健康福祉課 保健予防係 健康福祉課 介護保険係 人数合計	○ △	△ ○	△ ○	△ ○	△ ○		○ △	△ △	○ △	○ △	○ △		0 0	0 0	0 0	1 0	3 1	その他 保健師、管理栄養士
	45	御宿町	299-5192	夷隅郡御宿町須賀1522	0470-68-6716	保健福祉課 圏域合計	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		0 0 0	0 1 5	0 0 0	0 7 16	0 0 21	
	46	館山市	294-8601	館山市北条1145-1	0470-22-3111	健康課 高齢者福祉課 社会福祉課 人数合計	○	○ △	△ ○	△ ○	△ ○		○ ○	○ ○		○			0 0 0	0 0 0	0 0 0	1 1 0	0 3 0	
	47	鴨川市	296-0033	鴨川市八色887-1	04-7093-7111 7112 7113 1200	健康推進課 福祉課 子ども支援課 福祉総合相談センター 人数合計	○ △ △ △	○ △ △ △	○ △ △ △	△ △ △ ○	△ △ △ ○		△ △ △ △	△ △ △ ○	○ △ △ △	○ △ △ △		1 1 1 1	0 0 0 0	0 1 0 0	0 3 2 1	9 2 3 1	その他 管理栄養士 保健師、精神保健福祉士	
	48	南房総市	294-8701	南房総市谷向100	0470-36-1154 0470-36-1152 0470-36-1151	健康支援課 保健予防室 健康支援課 高齢者福祉係 社会福祉課 障害福祉係 人数合計	○	○ △	△ ○	△ ○	△ ○		○ ○	○ ○	○ ○	○	○		1 1	0 0	0 0	0 2	0 0	その他 保健師、管理栄養士
	49	鋸南町	299-1902	安房郡鋸南町保田560	0470-50-1172	保健福祉課 圏域合計	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0		
																		2	0	0	1	7	15	

市町村におけるリハビリテーション関連職の所属と配置状況【令和3年4月1日時点】

○:主要な課 △:関係課

※歯科:歯科衛生士 看護:看護師

医療圏	NO	市町村名	〒	住所	TEL	各事業担当課	健康増進	高齢者の健康増進	介護予防	地域包括ケアの推進	認知症対策の推進	障害者・児の支援	精神保健福祉	高次脳機能障害	母子保健	口腔・摂食、嚥下	リハビリ関連職種の配置				備考							
																	PT	OT	ST	歯科		看護	その他					
君津	50	木更津市	292-8501	木更津市朝日3-10-19	0438-23-7111	健康推進課	○	○								△	○											
						高齢者福祉課																						
						障がい福祉課										○	○	○										
						子育て支援課										△			○									
							人数合計											0	0	0	4	0	0					
	51	君津市	299-1192	君津市久保2-13-1	0439-57-2230	健康づくり課		○	△		△	△						○										
						0439-56-1732	高齢者支援課		△	○	○	○																
						0439-56-1181	障害福祉課									○		○										
						0439-56-1128	子育て支援課									△												
							人数合計											0	0	0	1	0	0					
	52	富津市	293-8506	富津市下飯野2443	0439-80-1222	介護福祉課		○	○		○	○					○							1				
						福祉の窓口課						○	○	○														
健康づくり課							○	△								○												
						人数合計											0	0	0	1	2	15						
53	袖ヶ浦市	299-0292	袖ヶ浦市坂戸市場1-1	0438-62-2111	高齢者支援課		○	○		○	○						△											
					健康推進課		○	△								○		○										
					障がい者支援課									○	○	○												
					人数合計																0	0	0	6	0	15		
						圏域合計											0	0	0	12	2	30						
市原	54	市原市	290-8501	市原市国分寺台中央1-1-1	0436-22-1111	共生社会推進課		△	△		○	○			△		△											
						高齢者支援課		○	○		△	△					△		△									
						障がい者支援課								○				○										
						国民健康保険課			△																			
						発達支援センター 保健センター		○	△						△						○	○						
						人数合計											0	0	0	2	0	5						
						県全体の合計											56	46	80	121	105	355						

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(市町村)

	作成日	令和3年 月 日
市町村名	回答課	
回答者(職・氏名)	電話番号	

・問1～問2については、市町村の事業担当課及び資源把握状況についてお聞きするものです。

問1	事業担当課について、以下の各事業を所掌する課を御選択ください。 (なお、複数の課にまたがる場合は、主要な課より順に3つまで御選択ください。)
-----------	---

		回答欄		
		担当課1	担当課2	担当課3
記入例	高齢者の健康増進	健康増進課	高齢者福祉課	
①	高齢者の健康増進			
②	介護予防			
③	地域包括ケアの推進			
④	認知症施策の推進			
⑤	障害者・児の支援			
⑥	高次脳機能障害			
⑦	口腔・摂食、嚥下に係る取組			

問2	令和3年4月1日時点のリハビリ関連職の配置状況についてお答えください。
問2-1	貴市町村に所属するリハビリ関連職の職種別人数について御記入ください。

	人数	内訳		
		成人分野	小児分野	
①	理学療法士(以下、PT)			※雇用人数で回答してください。 (勤務日数等は問いません。) ※1人の方が、成人・小児分野を兼務されている場合は、内訳は不要です。
②	作業療法士(以下、OT)			
③	言語聴覚士(以下、ST)			
④	歯科衛生士(以下、歯科)			
⑤	看護師(以下、NS)			
⑥	その他			
				⇒職種 ()

問2-2	リハビリ関連職の配置がある場合、所属・職種別の人数を御記入ください。
------	------------------------------------

		回答欄				
		人数				
担当課名 (↓問1で選択した課から選択)		PT	OT	ST	歯科	NS
記入例	健康増進課	1	0	0		
.						
.						
.						
.						

・問3～問4については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と市町村の連携等について、お聞きするものです。

* 本事業の概要については、千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業実施要綱を御参照ください。

問3	本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター(以下、広域支援センター)」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。 (該当する項目1つに○を記入)
-----------	--

		回答欄		
①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている		→ 問3-1へ	→ 問3-2へ
②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない			→ 問3-3へ
③	広域支援センターの名前を聞いたことがある			
④	広域支援センターの名前を聞いたことがない			

問3-1	広域支援センターで実施している事業例として、次のようなものがあります。これらの事業が広域支援センターで実施されていることを御存知でしたか。（該当する項目全てに○を記入）	回答欄
①	連絡協議会による地域のリハビリ関係機関の連携	
②	リハビリ専門職による技術的援助（講師派遣等）	
③	リハビリ関係機関の従事者を対象とした研修会の開催	
④	住民を対象とした講演会等の開催	
⑤	地域包括支援センターとの相談体制の構築	

問3-2	問3で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携（依頼）したことがありますか。（該当する項目全てに○を記入）	回答欄
①	連絡協議会による地域のリハビリ関係機関の連携	
②	リハビリ専門職による技術的援助（講師派遣等）	
③	リハビリ関係機関の従事者を対象とした研修会の開催	
④	住民を対象とした講演会等の開催	
⑤	地域包括支援センターとの相談体制の構築	
⑥	その他（↓具体的にご記入ください）	

問3-3	問3で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。（該当する項目1つに○を記入）	回答欄
①	広域支援センターの役割がわからない	
②	連携を図る場や仕組みが無い	
③	連携を図る必要性を感じない	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4	今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。（該当する項目1つに○を記入）	回答欄
①	必要性を感じる	→ 問4-1、4-2へ
②	必要性をやや感じる	
③	必要性をあまり感じない	→問4-3へ
④	必要性を感じない	
⑤	どちらともいえない	→ 問5へ

問4-1	問4で①、②と回答された方にお聞きします。今後（将来的に）、広域支援センターのどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。（該当する項目全てに○を記入）	回答欄
①	連絡協議会による地域のリハビリ関係機関の連携	
②	リハビリ専門職による技術的援助（講師派遣等）	
③	リハビリ関係機関の従事者を対象とした研修会の開催	
④	住民を対象とした講演会等の開催	
⑤	地域包括支援センターとの相談体制の構築	
⑥	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4-2	問4で①、②と回答された方にお聞きします。連携を図りたい理由は何ですか。（該当する全てに○を記入。）	回答欄
①	リハビリ専門職の意見や助言をもらいたいから	
②	所属にリハビリ専門職がないから	
③	リハビリテーションについて、学習する機会がないから	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4-3	問4で③、④と回答された方にお聞きします。 連携の必要性を感じない理由は何ですか。（該当する全てに○を記入。）	回答欄
①	リハビリに関する相談先があるから	
②	リハビリ専門職が所属にいるから	
③	リハビリについて、学習する機会があるから	
④	身体的な評価ができる専門職がいるから	
⑤	その他（↓具体的にご記入ください）	

・問5については、地域支援事業、介護予防事業「地域リハビリテーション活動支援事業」についてお聞きするものです。

問5	貴市町村では、「地域リハビリテーション活動支援事業」を実施していますか。 令和3年8月1日時点で御回答ください。（該当する項目1つに○を記入）	回答欄
①	実施している	
②	実施について、現在検討中	
③	現時点では、具体的な予定はない	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

・問6については、リハビリ関係団体等との連携についてお聞きするものです。

問6	貴市町村では、現在、どのようなリハビリ関係団体と連携（依頼）していますか。 （該当する項目全てに○を記入、なお、協議会などの委員に就任いただいている場合も含まれます。）	回答欄
①	ちば地域リハ・パートナー	
②	リハビリ関係職の職能団体	
③	地域リハビリテーション連絡協議会	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(地域包括支援センター)

		作成日	令和3年 月 日
センター名称			市町村名
種類	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託	設置主体	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 医療法人 <input type="checkbox"/> 社団法人 <input type="checkbox"/> 財団法人 <input type="checkbox"/> 株式会社等 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 市町村 <input type="checkbox"/> その他 ()
回答者 職種・氏名			
電話番号			E-mail

・問1～問2については、貴センターの職員配置状況及び相談業務についてお聞きするものです。

問1	令和3年4月1日時点で貴センターにリハビリ関連職配置はありますか。配置がある場合、職種別人数を御記入ください。		
	回答欄 (↓人数を記入)		
①	理学療法士	人	※雇用人数で回答してください。 (勤務日数等は問いません。)
②	作業療法士	人	
③	言語聴覚士	人	
④	歯科衛生士	人	
⑤	看護師	人	
⑥	その他	人	
			⇒職種 ()

問2	貴センターには、平均して月に何件の相談が寄せられますか。またその中で、リハビリに関する相談は何件くらい含まれていますか。(該当する項目それぞれ1つに○を記入)		
	回答欄		
	総件数	リハビリに関する相談	
①	0件		→ 問3へ
②	1～10件		→ リハビリに関する相談がある場合は、 問2-1～2-4へ
③	11～50件		
④	51～100件		
⑤	101～300件		
⑥	301件以上		

問2-1	問2のリハビリに関する相談はどなたからの相談ですか。該当する方全ての□にレ(チェック)をして下さい。 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

問2-2	問2-1の相談者で最も多い相談者はどなたですか。1つだけ□にレ(チェック)をしてください。 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

問2-3	リハビリに関する相談の内容で、該当する全ての□にレ(チェック)をしてください。 <input type="checkbox"/> リハビリを受けるための手続きの問い合わせ <input type="checkbox"/> リハビリを受けることができる施設や医療機関の問い合わせ <input type="checkbox"/> 在宅リハビリを受けることができる事業所の問い合わせ <input type="checkbox"/> 身体的な評価の依頼 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

問2-4	問2-3の相談内容で最も多い相談内容1つだけ□にレ(チェック)をしてください。 <input type="checkbox"/> リハビリを受けるための手続きの問い合わせ <input type="checkbox"/> リハビリを受けることができる施設や医療機関の問い合わせ <input type="checkbox"/> 在宅リハビリを受けることができる事業所の問い合わせ <input type="checkbox"/> 身体的な評価の依頼 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

・問3～問4については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴センターの連携等について、お聞きするものです。

問3	本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。 (該当する項目1つに○を記入)
-----------	--

		回答欄
①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問3-1へ
②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問3-2へ
③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→ 問4へ
④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	

問3-1	問3で①と回答された方にお聞きします。 どのような事業で連携（依頼）したことがありますか。（該当する項目全てに○を記入）
-------------	---

		回答欄
①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	
②	研修会への講師派遣を依頼	
③	住民を対象とした講習会等の開催	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問3-2	質問3で②と回答された方にお聞きします。 連携を図っていない理由は何ですか。（該当する項目1つに○を記入）
-------------	--

		回答欄
①	広域支援センターの役割がわからない	
②	連携を図る場や仕組みが無い	
③	連携を図る必要性を感じない	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4	今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。（該当する項目1つに○を記入）
-----------	---

		回答欄
①	必要性を感じる	→ 問4-1、4-2へ
②	必要性をやや感じる	
③	必要性をあまり感じない	→問4-3へ
④	必要性を感じない。	
⑤	どちらともいえない	→自由記載へ

問4-1	問4で①、②と回答された方にお聞きします。 今後（将来的に）、広域支援センターのどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。 (該当する項目全てに○を記入)
-------------	---

		回答欄
①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	
②	研修会への講師派遣	
③	住民を対象とした講習会等の開催	
④	リハビリ専門職による相談対応	
⑤	困難事例に対する同行訪問	
⑥	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4-2	問4で①、②と回答された方にお聞きします。 連携を図りたい理由についてお知らせください。 (該当する項目全てに○を記入)
------	--

		回答欄
①	リハビリ専門職の意見を事業に反映させたいから	
②	リハビリ専門職が所属にいないから	
③	身体的な評価を専門職にしてもらいたいから	
④	リハビリについての学習の機会がないから	
⑤	その他(↓具体的にご記入ください)	

問4-3	問4で③、④と回答された方にお聞きします。 必要性をあまり感じない理由についてお知らせください。(該当する項目全てに○)
------	---

		回答欄
①	リハビリの相談ができる機関があるから	
②	リハビリ専門職が所属にいるから	
③	身体的な評価ができる専門職がいるから	
④	リハビリについての学習の機会があるから	
⑤	その他(↓具体的にご記入ください)	

・本事業に対するご意見・ご要望等があればご記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査 病院（一般病棟・療養病棟（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟及び病床機能報告で回復期機能として報告した病院を含む）

		作成日	令和3年 月 日
病院名			所在地
回答者（職・氏名）			電話番号

問1 病院の概況についてお知らせください。（複数回答可）※令和3年4月1日時点

1 診療科目（該当項目全てに○）				2 従事者数（常勤）			3 併設施設（該当項目全てに○）				
回答欄	NO	診療科目	○	回答欄	NO	職種	人数	回答欄	NO	併設施設	○
	1	アレルギー科			1	医師			0	なし	
	2	胃腸科			2	薬剤師			1	訪問看護ステーション	
	3	外科			3	看護師			2	リハビリステーション	
	4	呼吸器内科			4	理学療法士			3	居宅介護支援事業所	
	5	循環器内科			5	作業療法士			4	介護老人保健施設	
	6	小児科			6	言語聴覚士			5	通所介護（デイサービス）	
	7	整形外科			7	放射線技師			6	通所リハビリステーション	
	8	内科			8	看護助手			7	地域包括支援センター	
	9	皮膚科			9	ケアマネジャー			8	在宅介護支援センター	
	10	リウマチ科			10	医療ソーシャルワーカー			9	有料老人ホーム	
	11	リハビリテーション科			11	事務			10	グループホーム	
	12	神経内科			12	介護福祉士			11	その他	
	13	その他（※複数回答可）			13	その他					

問2 貴院における回復期病棟、地域包括ケア病棟及び病床機能報告で回復期機能と報告した病棟の在宅復帰率についてお答えください。

回答欄	地域包括ケア病棟	在宅復帰率	%	回復期機能病棟	在宅復帰率	%
	回復期病棟	在宅復帰率	%			

問3 千葉県では、「千葉県保健医療計画」を策定し、その中で地域リハビリテーション支援体制の整備・推進を図ることとしており、以下の施策を推進していくこととしていますが、内容を御存じでしたか。（該当する項目1つに○を記入）

千葉県保健医療計画より抜粋
 ○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

回答欄	①	知っていた		→問3-1へ
	②	一部知っていた		
	③	知らなかった		

問3-1 貴院では、問3に示した地域リハビリテーションに関する取組を行っていますか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	多職種による専門的かつ集中的なリハビリテーションの提供		→問3-2へ
	②	リハビリ専門職による通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションの提供		
	③	介護保険事業所等を含む地域リハ関係機関との連携による在宅医療の提供		

問3-2 問3-1以外で貴院で地域リハビリテーションの推進のために取組んでいる事があれば記載下さい。

回答欄		→問4
-----	--	-----

・問4～問5については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴院の連携等についてお聞きするものです。地域リハビリテーション推進事業の概要は、千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業実施要綱をご覧ください。（千葉県HP）

問4 本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。（該当する項目1つに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問4-1、4-2へ
	②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問4-3へ
	③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→ 問5へ
	④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	

問4-1 問4で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携（依頼）したことがありますか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	→問4-2へ
	②	住民を対象とした講習会等の講師として参加	
	③	広域支援センターが企画する研修会や講演会に参加	
	④	広域支援センターが企画する回復期病棟職員の連絡会に参加	
	⑤	その他（具体的に記入：_____）	

問4-2 問4で①と回答された方にお聞きします。どこの広域支援センターと連携されていますか。連携を図っている広域支援センター全てに○を記入ください。

回答欄	①	千葉地域リハビリテーション広域支援センター（おゆみの中央病院）	問5へ
	②	東葛南部地域リハビリテーション広域支援センター（新八千代病院）	
	③	東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター（旭神経内科リハビリテーション病院）	
	④	印旛地域リハビリテーション広域支援センター（成田リハビリテーション病院）	
	⑤	香取海匠地域リハビリテーション広域支援センター（旭中央病院）	
	⑥	山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター（九十九里病院）	
	⑦	君津地域リハビリテーション広域支援センター（君津中央病院）	
	⑧	安房地域リハビリテーション広域支援センター（亀田総合病院）	
	⑨	市原地域リハビリテーション広域支援センター（白金整形外科病院）	

問4-3 質問4で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターの役割がわからない。	問5へ
	②	連携を図る場や仕組みが無い。	
	③	連携を図る必要性を感じない。	
	④	その他（具体的に記入：_____）	

問5 今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。（該当する項目1つに○を記入）

回答欄	①	必要性を感じる	→ 問5-1へ
	②	必要性をやや感じる	→ 問5-2へ
	③	必要性をあまり感じない	
	④	必要性を感じない	→ 問5-3へ
	⑤	どちらともいえない	

問5-1 問5で①、②と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	問6へ
	②	研修会への講師として参加	
	③	住民を対象とした講習会等の開催	
	④	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ参加	
	⑤	その他（具体的に記入：_____）	

問5-2	問5で③、④と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由をお知らせください。(該当する全てに○を記入)
------	---

回答欄	①	地域リハビリテーションの推進に取り組むことができているから	問6へ
	②	リハビリに関して病診連携をするネットワークがあるため	
	③	広域支援センターの業務に必要な連携メニューがない	
	④	その他(具体的に記入:)	

問5-3	問5で⑤と回答した方に伺います。⑤の回答理由について、御記入ください。
------	-------------------------------------

回答欄		問6へ
-----	--	-----

・問6～問8については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」への協力や関係機関との連携状況についてお伺いします。

問6	今後地域リハビリテーション関係機関の相互連携のため、広域支援センターから協力を依頼した場合、事業に協力いただけますか。(該当する項目1つに○を記入)
----	--

回答欄	①	協力可能である	→問6-1、6-2、6-3へ
	②	条件によって協力可能である。	
	③	現時点では、協力は難しい。	→問7へ
	④	その他(具体的に記入:)	

問6-1	問6で①、②と回答された方に伺います。どのような職種の方に、御協力いただけますか。(該当する全てに○を記入)
------	--

回答欄	①	医師	→問6-2へ←	⑧	歯科医師
	②	薬剤師		⑨	管理栄養士
	③	理学療法士		⑩	栄養士
	④	作業療法士		⑪	介護福祉士
	⑤	言語聴覚士			
	⑥	看護師			
	⑦	医療ソーシャルワーカー		次⑧は右上にあります。	
	⑫	その他: 職種()			

問6-2	問6で①、②と回答された方にお聞きします。どのような事業内容について、御協力いただけますか。また、報酬が支払われなければ協力できない事業内容がありますか。(該当する全てに○を記入)
------	--

		協力可能事業	報酬を要す事業	
回答欄	①	HP等を活用した地域リハビリテーションの周知		→問6-3へ
	②	貴院のネットワークを活用した本事業への参加		
	③	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ講師として参加		
	④	住民を対象とした講習会等へ講師として参加		
	⑤	地域包括支援センターに対するメール相談対応		
	⑥	その他(具体的に記入:)		

問6-3	問6で①、②と回答された方にお聞きします。協力の可否の検討には、どのような条件を重視しますか。回答欄の該当する全てに○をつけてください。また、詳細条件は、ドロップリストより選択してください。
------	---

回答欄	条件	該当に○
①	頻度による	
②	場所による	
③	時間帯による	
④	対価による	
⑤	その他	

回答欄	条件	詳細条件(ドロップリスト)	
①	頻度による		→問7へ
②	場所による		
③	時間帯による		
④	対価による		
⑤	その他		

問7 貴院とリハビリテーションについて連携を図る時の窓口はどこになりますか。

回答欄	部署		→問8へ
	連絡先	TEL FAX	

問8 関係機関との連携状況について、番号欄に連携状況について①～④を記入ください。

回答欄	NO	関係機関	番号
	1	病院	
	2	診療所	
	3	訪問看護事業所	
	4	訪問リハビリ事業所	
	5	居宅介護支援事業所	
	6	訪問介護事業所	
	7	訪問入浴事業所	
	8	介護老人保健施設	
	9	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
	10	グループホーム	
	11	特定施設入居者生活介護	
	12	通所介護(デイサービス)	
	13	通所リハビリ(デイケア)	
	14	地域包括支援センター	
	15	在宅介護支援センター	
	16	有料老人ホーム	
	17	相談支援	
	18	居宅介護	
	19	重度障害者等包括支援	
	20	生活介護	
	21	自立訓練(機能訓練)	
	22	自立訓練(生活訓練)	
	23	療養介護	
	24	共同生活援助	
	25	施設入所支援	
	26	短期入所	
	27	障害児相談支援	
	28	児童発達支援	
	29	医療型児童発達支援	
	30	放課後等デイサービス	
	31	居宅訪問型児童発達支援	
	32	保育所等訪問支援	
	33	障害児入所支援	
34	その他		

連携状況
①十分連携している
②やや連携している
③あまり連携できていない
④連携できていない



・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(リハビリテーション科標榜の診療所)

		作成日	令和3年 月 日
診療所名		所在地	
回答者(職・氏名)		電話番号	

問1	千葉県では、「千葉県保健医療計画」を策定し、その中で地域リハビリテーション支援体制の整備・推進を図ることとしており、以下の施策を推進していくこととしていますが、内容を御存じでしたか。 (該当する項目1つに○を記入)
-----------	--

千葉県保健医療計画より抜粋
 ○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

回答欄	①	知っていた	
	②	一部知っていた	→問1-1へ
	③	知らなかった	

問1-1	貴診療所では、問1に示した地域リハビリテーションに関する取組を行っていますか。 (該当する全てに○を記入)
-------------	--

回答欄	①	多職種による専門的かつ集中的なりハビリテーションの提供	
	②	リハビリ専門職による通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションの提供	→問1-2へ
	③	介護保険事業所等を含む地域リハ関係機関との連携による在宅医療の提供	

問1-2	問1-1以外で貴診療所で地域リハビリテーションの推進のために取組んでいる事があれば記載下さい。
-------------	---

回答欄		→問2
------------	--	-----

・問2～問3については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴院の連携等についてお聞きするものです。地域リハビリテーション推進事業の概要は、千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業実施要綱をご覧ください。

問2	本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター(以下、広域支援センター)」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。 (該当する項目1つに○を記入)
-----------	--

回答欄	①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問2-1、2-2へ
	②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問2-3へ
	③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	
	④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	→ 問3へ

問2-1	問2で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携(依頼)したことがありますか。 (該当する全てに○を記入)
-------------	---

回答欄	①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	→問2-2へ
	②	住民を対象とした講習会等の講師として参加	
	③	広域支援センターが企画する研修会や講演会に参加	
	④	広域支援センターが企画する回復期病棟連携の会等への参加	
	⑤	その他(具体的に記入: _____)	

問2-2	問2で①と回答された方にお聞きします。 どこの広域支援センターと連携されていますか。連携を図っている広域支援センター全てに○を記入ください。
------	---

回答欄	①	千葉地域リハビリテーション広域支援センター(おゆみの中央病院)		問3へ
	②	東葛南部地域リハビリテーション広域支援センター(新八千代病院)		
	③	東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター(旭神経内科リハビリテーション病院)		
	④	印旛地域リハビリテーション広域支援センター(成田リハビリテーション病院)		
	⑤	香取海浜地域リハビリテーション広域支援センター(旭中央病院)		
	⑥	山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター(九十九里病院)		
	⑦	君津地域リハビリテーション広域支援センター(君津中央病院)		
	⑧	安房地域リハビリテーション広域支援センター(亀田総合病院)		
	⑨	市原地域リハビリテーション広域支援センター(白金整形外科病院)		

問2-3	問2で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。 (該当する全てに○を記入)
------	---

回答欄	①	広域支援センターの役割がわからない。		問3へ
	②	連携を図る場や仕組みが無い。		
	③	連携を図る必要性を感じない。		
	④	その他(具体的に記入:)		

問3	今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。 (該当する項目1つに○を記入)
----	---

回答欄	①	必要性を感じる		→ 問3-1へ
	②	必要性をやや感じる		
	③	必要性をあまり感じない		→ 問3-2へ
	④	必要性を感じない		
	⑤	どちらともいえない		→ 問3-3へ

問3-1	問3で①、②と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。(該当する全てに○を記入)
------	--

回答欄	①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加		問4へ
	②	研修会への講師として参加		
	③	住民を対象とした講習会等の開催		
	④	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ参加		
	⑤	その他(具体的に記入:)		

問3-2	問3で③、④と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由をお知らせください。(該当する全てに○を記入)
------	---

回答欄	①	地域リハビリテーションの推進に取り組むことができているから		問4へ
	②	リハビリに関して病診連携をするネットワークがあるため		
	③	広域支援センターの業務に必要な連携メニューがない		
	④	その他(具体的に記入:)		

問3-3	問3で⑤と回答した方に伺います。⑤の回答理由について、御記入ください。
------	-------------------------------------

回答欄		問4へ
-----	--	-----

・問4～問7については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」への協力や関係機関との連携状況について伺います。

問4	今後地域リハビリテーション関係機関の相互連携のため、広域支援センターから協力を依頼した場合、事業に協力いただけますか。(該当する項目1つに○を記入)
----	--

回答欄	①	協力可能である		→ 問4-1、4-2、4-3
	②	条件によって協力可能である。		
	③	現時点では、協力は難しい。		→ 問5へ
	④	その他(具体的に記入:)		

問4-1 問4で①、②と回答された方に伺います。どのような職種の方に、御協力いただけますか。
(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	医師		→問4-2へ
	②	薬剤師		
	③	理学療法士		
	④	作業療法士		
	⑤	言語聴覚士		
	⑥	看護師		
	⑦	医療ソーシャルワーカー		
	⑧	その他:職種()		

問4-2 問4で①、②と回答された方にお聞きします。どのような事業内容について、御協力いただけますか。
また、報酬が支払われなければ協力できない事業内容がありますか。(該当する全てに○を記入)

		協力可能 事業	報酬を 要す事業	
回答欄	①	HP等を活用した地域リハビリテーションの周知		→問4-3へ
	②	貴院のネットワークを活用した本事業への参加		
	③	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ講師として参加		
	④	住民を対象とした講習会等へ講師として参加		
	⑤	地域包括支援センターに対するメール相談対応		
	⑥	その他(具体的に記入:)		

問4-3 問4で①、②と回答された方にお聞きします。協力の可否の検討には、どのような条件を重視しますか。
回答欄の該当する全てに○をつけてください。また、詳細条件は、該当に○をしてください。

回答欄	条件		詳細条件(該当に○)		→問5へ
		該当に○			
①	頻度による		①	頻度による	・年1回程度・四半期に1回程度・1カ月に1回程度・特になし
②	場所による		②	場所による	・徒歩圏内・車で30分以内・車で1時間以内・特になし
③	時間帯による		③	時間帯による	・昼休憩・診療時間外・休日・特になし
④	対価による		④	対価による	・実費(交通費程度・報酬(講師料等))
⑤	その他		⑤	その他	

問5 関係機関との連携状況について、番号欄に連携状況について①～④を記入ください。

回答欄	NO	関係機関	番号
		1	病院
	2	診療所	
	3	訪問看護事業所	
	4	訪問リハビリ事業所	
	5	居宅介護支援事業所	
	6	訪問介護事業所	
	7	訪問入浴事業所	
	8	介護老人保健施設	
	9	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
	10	グループホーム	
	11	特定施設入居者生活介護	
	12	通所介護(デイサービス)	
	13	通所リハビリ(デイケア)	
	14	地域包括支援センター	
	15	在宅介護支援センター	
	16	有料老人ホーム	
	17	相談支援	
	18	居宅介護	
	19	重度障害者等包括支援	
	20	生活介護	
	21	自立訓練(機能訓練)	
	22	自立訓練(生活訓練)	
	23	療養介護	
	24	共同生活援助	
	25	施設入所支援	
	26	短期入所	
	27	障害児相談支援	
	28	児童発達支援	
	29	医療型児童発達支援	
	30	放課後等デイサービス	
	31	居宅訪問型児童発達支援	
	32	保育所等訪問支援	
	33	障害児入所支援	
	34	その他	

連携状況	
①	十分連携している
②	やや連携している
③	あまり連携できていない
④	連携できていない

問6 訪問看護ステーション等に訪問リハビリの指示書を書いたことはありますか。(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	よくある	
	②	ある	
	③	ない	

問7 今後、医師を対象としたリハビリ医学研修(地域包括ケアシステムを中心としたリハビリの概論・実践等)が必要と
思いますか。(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	はい	
	②	いいえ	
	③	その他	(→具体的に記入:)

問7-1 リハ科を標榜していない医療機関の医師に対し、問7の様な研修は必要と思いますか。
(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	はい	
	②	いいえ	
	③	その他	(→具体的に記入:)

問7-2 リハ科を標榜していない診療所の医師に対し、リハビリ専門医に相談できる体制が必要と感
じますか。(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	はい	
	②	いいえ	
	③	その他	(→具体的に記入:)

・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(介護老人保健施設)

		作成日	令和3年 月 日
施設名		所在地	
回答者(職・氏名)		電話番号	

問1 貴施設の概況についてお知らせください。(複数回答可)

1 併設機関(該当項目全てに○)

直近の在宅復帰率

回答欄	NO	併設機関	該当に○
	1	病院・診療所	
	2	訪問看護事業所	
	3	訪問リハビリテーション事業所	
	4	居宅介護支援事業所	
	5	訪問介護事業所	
	6	訪問入浴介護事業所	
	7	介護老人保健施設	
	8	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
	9	認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)	
	10	特定施設入居者生活介護事業所	
	11	通所介護事業所(デイサービス)	
	12	通所リハビリテーション事業所(デイケア)	
	13	地域包括支援センター	
	14	在宅介護支援センター	
	15	有料老人ホーム	
16	その他		

回答欄	%
-----	---

問2 千葉県では、「千葉県保健医療計画」を策定し、その中で地域リハビリテーション支援体制の整備・推進を図ることとしており、以下の施策を推進していくこととしていますが、内容を御存じでしたか。
(該当する項目1つに○を記入)

千葉県保健医療計画より抜粋

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

回答欄	①	知っていた	→問2-1へ
	②	一部知っていた	
	③	知らなかった	

問2-1 貴施設では、問2に示した地域リハビリテーションに関する取組を行っていますか。
(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	医療機関と連携した地域生活期のリハビリテーションの提供	→問2-2へ
	②	介護スタッフやリハビリ専門職が連携した通所リハビリテーションの提供	
	③	在宅療養者向けの環境調整や、家族及び各関係機関との連携によるリハビリテーションの提供	

問2-2 問2-1以外で貴施設で地域リハビリテーションの推進のために取組んでいる事があれば記載下さい。

回答欄		→問3
-----	--	-----

・問3～問4については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴施設の連携等についてお聞きするものです。

問3 本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。（該当する項目1つに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問3-1、3-2へ
	②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問3-3へ
	③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→ 問4へ
	④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	

問3-1 問3で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携（依頼）したことがありますか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	→問3-2へ
	②	住民を対象とした講習会等の講師として参加	
	③	広域支援センターが企画する研修会や講演会に参加	
	④	広域支援センターが企画する回復期病棟職員の連絡会に参加	
	⑤	その他(具体的に記入:)	

問3-2 問3で①と回答された方にお聞きします。どこの広域支援センターと連携されていますか。連携を図っている広域支援センター全てに○を記入ください。

回答欄	①	千葉地域リハビリテーション広域支援センター（おゆみの中央病院）	問4へ
	②	東葛南部地域リハビリテーション広域支援センター（新八千代病院）	
	③	東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター（旭神経内科リハビリテーション病院）	
	④	印旛地域リハビリテーション広域支援センター（成田リハビリテーション病院）	
	⑤	香取海匠地域リハビリテーション広域支援センター（旭中央病院）	
	⑥	山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター（九十九里病院）	
	⑦	君津地域リハビリテーション広域支援センター（君津中央病院）	
	⑧	安房地域リハビリテーション広域支援センター（亀田総合病院）	
	⑨	市原地域リハビリテーション広域支援センター（白金整形外科病院）	

問3-3 質問3で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターの役割がわからない。	問4へ
	②	連携を図る場や仕組みが無い。	
	③	連携を図る必要性を感じない。	
	④	その他(具体的に記入:)	

問4 今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。（該当する項目1つに○を記入）

回答欄	①	必要性を感じる	→ 問4-1へ
	②	必要性をやや感じる	
	③	必要性をあまり感じない	→ 問4-2へ
	④	必要性を感じない	
	⑤	どちらともいえない	→ 問4-3へ

問4-1 問4で①、②と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	問5へ
	②	研修会への講師として参加	
	③	住民を対象とした講習会等の開催	
	④	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ参加	
	⑤	その他(具体的に記入:)	

問4-2	問4で③、④と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由をお知らせください。(該当する全てに○を記入)
------	---

回答欄	①	地域リハビリテーションの推進に取り組むことができているから	問5へ
	②	リハビリに関して病診連携をするネットワークがあるため	
	③	広域支援センターの業務に必要な連携メニューがない	
	④	その他(具体的に記入:)	

問4-3	問4で⑤と回答した方に伺います。⑤の回答理由について、御記入ください。
------	-------------------------------------

回答欄		問5へ
-----	--	-----

・問5～問6については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」への協力や関係機関との連携状況についてお伺いします。

問5	今後地域リハビリテーション関係機関の相互連携のため、広域支援センターから協力を依頼した場合、事業に協力いただけますか。(該当する項目1つに○を記入)
----	--

回答欄	①	協力可能である	→問5-1、5-2、5-3
	②	条件によって協力可能である。	
	③	現時点では、協力は難しい。	→問6へ
	④	その他(具体的に記入:)	

問5-1	問5で①、②と回答された方に伺います。どのような職種の方に、御協力いただけますか。(該当する全てに○を記入)
------	--

回答欄	①	医師	→問5-2へ
	②	薬剤師	
	③	理学療法士	
	④	作業療法士	
	⑤	言語聴覚士	
	⑥	看護師	
	⑦	医療ソーシャルワーカー	
	⑧	その他:職種()	

問5-2	問5で①、②と回答された方にお聞きします。どのような事業内容について、御協力いただけますか。また、報酬が支払われなければ協力できない事業内容がありますか。(該当する全てに○を記入)
------	--

		協力可能事業	報酬を要す事業	
回答欄	①	HP等を活用した地域リハビリテーションの周知		→問5-3へ
	②	貴施設のネットワークを活用した本事業への参加		
	③	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ講師として参加		
	④	住民を対象とした講習会等へ講師として参加		
	⑤	地域包括支援センターに対するメール相談対応		
	⑥	その他(具体的に記入:)		

問5-3	問4で①、②と回答された方にお聞きします。協力の可否の検討には、どのような条件を重視しますか。回答欄の該当する全てに○をつけてください。また、詳細条件は、ドロップリストより選択してください。
------	---

回答欄	条件	該当に○	詳細条件(ドロップリスト)	→問6へ	
	①	頻度による			
	②	場所による			
	③	時間帯による			
	④	対価による			
	⑤	その他			

問6 関係機関との連携状況について、番号欄に連携状況について①～④を記入ください。

NO	関係機関	番号
1	病院	
2	診療所	
3	訪問看護事業所	
4	訪問リハビリテーション事業所	
5	居宅介護支援事業所	
6	訪問介護事業所	
7	訪問入浴介護事業所	
8	介護老人保健施設	
9	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
10	認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)	
11	特定施設入居者生活介護事業所	
12	通所介護事業所(デイサービス)	
13	通所リハビリテーション事業所(デイケア)	
14	地域包括支援センター	
15	在宅介護支援センター	
16	有料老人ホーム	
17	相談支援	
18	居宅介護	
19	重度障害者等包括支援	
20	生活介護	
21	自立訓練(機能訓練)	
22	自立訓練(生活訓練)	
23	療養介護	
24	共同生活援助	
25	施設入所支援	
26	短期入所	
27	障害児相談支援	
28	児童発達支援	
29	医療型児童発達支援	
30	放課後等デイサービス	
31	居宅訪問型児童発達支援	
32	保育所等訪問支援	
33	障害児入所支援	
34	その他	

回答欄



連携状況
①十分連携している
②やや連携している
③あまり連携できていない
④連携できていない

・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション関係機関調査(介護支援専門員)

作成日:令和3年 月 日

- 「地域リハビリテーション」とは、「障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合っ行なう活動のすべて」です。
- 千葉県における地域リハビリテーション支援体制の現状と課題を整理するため、以下の調査にご協力をお願いいたします。なお集計結果は、次期千葉県保健医療計画(リハビリテーション対策)策定のための検討資料として使用させていただき、また当該検討報告書等の一部としてホームページ上に公開させていただきます予定です。

質問1 あなたの勤務先の所在地を教えてください。1つだけ□にレ(チェック)をしてください。

- 旭市 我孫子市 いすみ市 市川市 一宮町 市原市 印西市 浦安市
大網白里市 大多喜町 御宿町 柏市 勝浦市 香取市 鎌ヶ谷市 鴨川市
木更津市 君津市 鋸南町 九十九里町 神崎町 栄町 佐倉市 山武市
酒々井町 芝山町 白子町 白井市 匝瑳市 袖ヶ浦市 多古町 館山市
千葉市 銚子市 長生村 長南町 東金市 東庄町 富里市 長柄町
流山市 習志野市 成田市 野田市 富津市 船橋市 松戸市 南房総市
睦沢町 茂原市 八街市 八千代市 横芝光町 四街道市
その他()

質問2 あなたの勤務している地域には、リハビリテーションサービス提供機関が十分にあると思いますか。

1つだけ□にレ(チェック)をしてください。

- ①訪問リハビリテーション : 十分である ほぼ十分である やや不十分である 不十分である
その他()
- ②通所リハビリテーション : 十分である ほぼ十分である やや不十分である 不十分である
その他()

質問3 リハビリテーションサービスが必要と思われる方に、適切にリハビリテーションを導入することができますか。1つだけ□にレ(チェック)をしてください。

- 導入できている ほぼ導入できている あまり導入できていない 導入できていない
その他()

質問4 質問3で、適切にリハビリテーションを導入することができなかった事例がある場合、その理由は何か。該当する全ての□にレ(チェック)をしてください。

- 書類が煩雑なため
医師は必要だと判断したが、本人及び家族が断ったから
地域の訪問リハビリテーションのサービスが少ない(ない)から
地域の通所リハビリテーションのサービスが少ない(ない)から
地域内の訪問リハビリテーション情報が不足しているから
地域内の通所リハビリテーション情報が不足しているから
自分自身のリハビリテーションの知識が不十分だから
退院、退所時のケアカンファレンスが不十分だから
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がどこにいるか分からないから
医療機関の外来リハビリテーションサービスを利用しているので介護保険の医療系サービスの利用が困難だから
その他()

質問5 リハビリテーションサービスを円滑に導入するために、どのような施策が必要だと思いますか。
該当する全ての□にレ(チェック)をしてください。

- 通所リハビリテーションのサービスが近くにある
- 訪問リハビリテーションのサービスが近くにある
- 一定の地域で効率よく巡回する巡回型の訪問リハビリテーションのサービスがある
- リハビリテーション関係者との綿密なカンファレンス
- 通所・訪問リハビリテーションについて相談できる窓口・相手
- 地域の通所・訪問リハビリテーションの情報を知ることができる仕組み
- リハビリテーションに関する研修
- リハビリテーションサービスの導入の成功事例の情報
- ご利用者・ご家族への説明資料
- その他()

質問6 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は、日常生活行為(歩く・起きる・座る・食べる・入浴する・トイレに行く・着替える・聴く・話すなど)に深く関わる職種です。また介護予防には、リハビリテーションの理念を踏まえて、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけることが重要と考えられています。

高齢者の日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促すために、これらの職種が地域において様々な支援が可能であることを御存じですか。1つだけ□にレ(チェック)をしてください。

- よく知っている
- 知っている
- あまり知らない
- 知らない
- その他()

質問7 リハビリテーションに関する御意見・要望等があれば御記入ください。

[]

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(訪問看護事業所)

		作成日	令和3年 月 日
事業所名		所在地	
回答者(職・氏名)		電話番号	

問1	千葉県では、「千葉県保健医療計画」を策定し、その中で地域リハビリテーション支援体制の整備・推進を図ることとしており、以下の施策を推進していくこととしていますが、内容を御存じでしたか。 また、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士は在籍していますか。(それぞれ該当する1か所に○)
-----------	--

千葉県保健医療計画より抜粋
○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

回答欄	①	知っていた	→問1-1へ				
	②	一部知っていた					
	③	知らなかった					

回答欄	①	理学療法士					
	②	作業療法士					
	③	言語聴覚士					

問1-1	貴事業所では、問1に示した地域リハビリテーションに関する取組を行っていますか。 (該当する全てに○を記入)
-------------	--

回答欄	①	介護支援専門員などと連携をとり、利用者の安全で自立した生活のための援助、助言	→問1-2へ				
	②	医療依存度が高い利用者に対し、リハ専門職が連携して援助、また家族に対する介助方法の助言					
	③	その他、地域リハビリテーション関係機関と連携をとりつつ、サービスを提供					

問1-2	問1-1以外で貴事業所で地域リハビリテーションの推進のために取組んでいる事があれば記載下さい。
-------------	---

回答欄		→問2
------------	--	-----

・問2～問3については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴事業所の連携等についてお聞きするものです。地域リハビリテーション推進事業の概要は、千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業実施要綱をご覧ください。

問2	本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター(以下、広域支援センター)」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きます。 (該当する項目1つに○を記入)
-----------	---

回答欄	①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問2-1、2-2へ				
	②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問2-3へ				
	③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→ 問3へ				
	④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。					

問2-1	問2で①と回答された方にお聞きます。どのような事業で連携(依頼)したことがありますか。 (該当する全てに○を記入)
-------------	--

回答欄	①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	→問2-2へ				
	②	住民を対象とした講習会等の講師として参加					
	③	広域支援センターが企画する研修会や講演会に参加					
	④	広域支援センターが企画する回復期病棟職員の連絡会に参加					
	⑤	その他(具体的に記入: _____)					

問2-2 問2で①と回答された方にお聞きます。
 どの広域支援センターと連携されていますか。連携を図っている広域支援センター全てに○を記入ください。

回答欄	①	千葉地域リハビリテーション広域支援センター(おゆみの中央病院)		問3へ
	②	東葛南部地域リハビリテーション広域支援センター(新八千代病院)		
	③	東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター(旭神経内科リハビリテーション病院)		
	④	印旛地域リハビリテーション広域支援センター(成田リハビリテーション病院)		
	⑤	香取海匝地域リハビリテーション広域支援センター(旭中央病院)		
	⑥	山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター(九十九里病院)		
	⑦	君津地域リハビリテーション広域支援センター(君津中央病院)		
	⑧	安房地域リハビリテーション広域支援センター(亀田総合病院)		
	⑨	市原地域リハビリテーション広域支援センター(白金整形外科病院)		

問2-3 質問2で②と回答された方にお聞きます。連携を図っていない理由は何ですか。
 (該当する全てに○を記入)

回答欄	①	広域支援センターの役割がわからない。		問3へ
	②	連携を図る場や仕組みが無い。		
	③	連携を図る必要性を感じない。		
	④	その他(具体的に記入: _____)		

問3 今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。
 (該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	必要性を感じる		→ 問3-1へ
	②	必要性をやや感じる		
	③	必要性をあまり感じない		→ 問3-2へ
	④	必要性を感じない		
	⑤	どちらともいえない		→ 問3-3へ

問3-1 問3で①、②と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	地域のリハビリ関係機関が一室に会する連絡協議会に参加		問4へ
	②	研修会への講師として参加		
	③	住民を対象とした講習会等の開催		
	④	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ参加		
	⑤	その他(具体的に記入: _____)		

問3-2 問3で③、④と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由をお知らせください。(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	地域リハビリテーションの推進に取り組むことができているから		問4へ
	②	リハビリに関して病診連携をするネットワークがあるため		
	③	広域支援センターの業務に必要な連携メニューがない		
	④	その他(具体的に記入: _____)		

問3-3 問3で⑤と回答した方に伺います。⑤の回答理由について、御記入ください。

回答欄		問4へ
------------	--	-----

・問4～問5については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」への協力や関係機関との連携状況についてお伺いします。

問4 今後地域リハビリテーション関係機関の相互連携のため、広域支援センターから協力を依頼した場合、事業に協力いただけますか。(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	協力可能である		→問4-1、4-2、4-3
	②	条件によって協力可能である。		
	③	現時点では、協力は難しい。		→問5へ
	④	その他(具体的に記入: _____)		

問4-1 問4で①、②と回答された方に伺います。どのような職種の方に、御協力いただけますか。
(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	医師		→問4-2へ
	②	薬剤師		
	③	理学療法士		
	④	作業療法士		
	⑤	言語聴覚士		
	⑥	看護師		
	⑦	医療ソーシャルワーカー		
	⑧	その他:職種()		

問4-2 問4で①、②と回答された方にお聞きします。どのような事業内容について、御協力いただけますか。
また、報酬が支払われなければ協力できない事業内容がありますか。(該当する全てに○を記入)

		協力可能事業	報酬を要す事業	
回答欄	①	HP等を活用した地域リハビリテーションの周知		→問4-3へ
	②	貴事業所のネットワークを活用した本事業への参加		
	③	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ講師として参加		
	④	住民を対象とした講習会等へ講師として参加		
	⑤	地域包括支援センターに対するメール相談対応		
	⑥	その他(具体的に記入:)		

問4-3 問4で①、②と回答された方にお聞きします。協力の可否の検討には、どのような条件を重視しますか。
回答欄の該当する全てに○をつけてください。また、詳細条件は、ドロップリストより選択してください。

回答欄	条件		該当に○	詳細条件(ドロップリスト)		
	①	②		①	②	
	①	頻度による		①	頻度による	→問5へ
	②	場所による		②	場所による	
	③	時間帯による		③	時間帯による	
	④	対価による		④	対価による	
	⑤	その他		⑤	その他	

問5 関係機関との連携状況について、番号欄に連携状況について①～④を記入ください。

回答欄	NO	関係機関	番号
	1	病院	
	2	診療所	
	3	訪問看護事業所	
	4	訪問リハビリテーション事業所	
	5	居宅介護支援事業所	
	6	訪問介護事業所	
	7	訪問入浴介護事業所	
	8	介護老人保健施設	
	9	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
	10	認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)	
	11	特定施設入居者生活介護事業所	
	12	通所介護事業所(デイサービス)	
	13	通所リハビリテーション事業所(デイケア)	
	14	地域包括支援センター	
	15	在宅介護支援センター	
	16	有料老人ホーム	
	17	相談支援	
	18	居宅介護	
	19	重度障害者等包括支援	
	20	生活介護	
	21	自立訓練(機能訓練)	
	22	自立訓練(生活訓練)	
	23	療養介護	
	24	共同生活援助	
	25	施設入所支援	
	26	短期入所	
	27	障害児相談支援	
	28	児童発達支援	
	29	医療型児童発達支援	
	30	放課後等デイサービス	
	31	居宅訪問型児童発達支援	
	32	保育所等訪問支援	
	33	障害児入所支援	
34	その他		

連携状況	
①	十分連携している
②	やや連携している
③	あまり連携できていない
④	連携できていない

・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(障害者・児相談支援事業者)※赤字を参考に作成してください。

※作成された事業所名, 所在を記入してください。

事業所名称	作成日	令和3年 月 日
回答者 職種・氏名	設置主体	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 医療法人 <input type="checkbox"/> 社団法人 <input type="checkbox"/> 財団法人 <input type="checkbox"/> 株式会社等 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 市町村 <input type="checkbox"/> その他 ()
電話番号	事業所種別	<input type="checkbox"/> 指定特定相談支援事業者 (計画作成担当) <input type="checkbox"/> 指定一般相談支援事業者 (地域移行・定着担当) <input type="checkbox"/> 指定特定相談支援事業者 <input type="checkbox"/> 指定障害児相談支援事業者
E-mail	<p>該当するもの 全て■としてください。</p>	
	所在地市町村名	

・問1～問2については、貴事業所の職員配置状況及び相談業務についてお聞きするものです。

問1 令和3年4月1日時点で貴事業所にリハビリ関連職配置はありますか。配置がある場合、職種別人数を御記入ください。

		回答欄 (↓人数を記入)	
①	理学療法士	人	※雇用人数で回答してください。 (勤務日数等は問いません。) 事業所が複数の場合は合計を記入してください。 計画相談支援(個別給付)、障害者・児等からの 相談について記録で件数が出る範囲で 記載してください。
②	作業療法士	人	
③	言語聴覚士	人	
④	歯科衛生士	人	
⑤	看護師	人	
⑥	その他	人	

⇒職種 ()

問2 貴事業所には、平均して月に何件の相談が寄せられますか。またその中で、リハビリに関する相談は何件くらい含まれていますか。(該当する項目それぞれ1つに○を記入)

		回答欄		
		総件数	リハビリに関する相談	問2-3を参考に してください
①	0件			→ 問3へ
②	1～10件			→ リハビリに関する相談がある場合は、 問2-1～2-4へ
③	11～50件			
④	51～100件			
⑤	101～300件			
⑥	301件以上			

問2-1 問2のリハビリに関する相談はどなたからの相談ですか。該当する方全ての□にレ(チェック)をして下さい。

本人 家族 サービス管理責任者 医療機関 訪問看護事業所 その他 ()

問2-2 問2-1の相談者で最も多い相談者はどなたですか。1つだけ□にレ(チェック)をしてください。

本人 家族 サービス管理責任者 医療機関 訪問看護事業所 その他 ()

問2-3 リハビリに関する相談の内容で、該当する全ての□にレ(チェック)をしてください。

リハビリを受けるための手続きの問い合わせ
 リハビリを受けることができる施設や医療機関の問い合わせ
 在宅リハビリを受けることができる事業所の問い合わせ
 身体的な評価の依頼
 その他 ()

問2-4 問2-3の相談内容で最も多い相談内容1つだけ□にレ(チェック)をしてください。

リハビリを受けるための手続きの問い合わせ
 リハビリを受けることができる施設や医療機関の問い合わせ
 在宅リハビリを受けることができる事業所の問い合わせ
 身体的な評価の依頼
 その他 ()

・問3～問4については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴事業所の連携等について、お聞きするものです。

*本事業については、千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業実施要綱を御参照ください。

問3	本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。 (該当する項目1つに○を記入)
----	--

		回答欄
①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問3-1へ
②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問3-2へ
③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→ 問4へ
④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	

問3-1	問3で①と回答された方にお聞きします。 どのような事業で連携（依頼）したことがありますか。（該当する項目全てに○を記入）
------	---

		回答欄
①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	
②	研修会への講師派遣を依頼	
③	住民を対象とした講習会等の開催	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問3-2	質問3で②と回答された方にお聞きします。 連携を図っていない理由は何ですか。（該当する項目1つに○を記入）
------	--

		回答欄
①	広域支援センターの役割がわからない	
②	連携を図る場や仕組みが無い	
③	連携を図る必要性を感じない	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4	今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。（該当する項目1つに○を記入）
----	---

		回答欄
①	必要性を感じる	→ 問4-1、4-2へ
②	必要性をやや感じる	
③	必要性をあまり感じない	→問4-3へ
④	必要性を感じない。	
⑤	どちらともいえない	→自由記載へ

問4-1	問4で①、②と回答された方にお聞きします。 今後（将来的に）、広域支援センターのどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。 (該当する項目全てに○を記入)
------	---

		回答欄
①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	
②	研修会への講師派遣	
③	住民を対象とした講習会等の開催	
④	リハビリ専門職による相談対応	
⑤	困難事例に対する同行訪問	
⑥	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4-2 問4で①、②と回答された方にお聞きします。
 連携を図りたい理由についてお知らせください。
 (該当する項目全てに○を記入)

		回答欄
①	リハビリ専門職の意見を事業に反映させたいから	
②	リハビリ専門職が所属にいないから	
③	身体的な評価を専門職にしてもらいたいから	
④	リハビリについての学習の機会がないから	
⑤	その他 (↓具体的にご記入ください)	

問4-3 問4で③、④と回答された方にお聞きします。
 必要性をあまり感じない理由についてお知らせください。(該当する項目全てに○)

		回答欄
①	リハビリの相談ができる機関があるから	
②	リハビリ専門職が所属にいるから	
③	身体的な評価ができる専門職がいるから	
④	リハビリについての学習の機会があるから	
⑤	その他 (↓具体的にご記入ください)	

・本事業に対するご意見・ご要望等があればご記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

・問3～問4については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴事業所の連携等について、お聞きするものです。

*本事業については、千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業実施要綱を御参照ください。

問3	本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。 (該当する項目1つに○を記入)
----	--

		回答欄
①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問3-1へ
②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問3-2へ
③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→
④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	問4へ

問3-1	問3で①と回答された方にお聞きします。 どのような事業で連携（依頼）したことがありますか。（該当する項目全てに○を記入）
------	---

		回答欄
①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	
②	研修会への講師派遣を依頼	
③	住民を対象とした講習会等の開催	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問3-2	質問3で②と回答された方にお聞きします。 連携を図っていない理由は何ですか。（該当する項目1つに○を記入）
------	--

		回答欄
①	広域支援センターの役割がわからない	
②	連携を図る場や仕組みが無い	
③	連携を図る必要性を感じない	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4	今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。（該当する項目1つに○を記入）
----	---

		回答欄
①	必要性を感じる	→
②	必要性をやや感じる	問4-1、4-2へ
③	必要性をあまり感じない	→問4-3へ
④	必要性を感じない。	→自由記載へ
⑤	どちらともいえない	→自由記載へ

問4-1	問4で①、②と回答された方にお聞きします。 今後（将来的に）、広域支援センターのどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。 (該当する項目全てに○を記入)
------	---

		回答欄
①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	
②	研修会への講師派遣	
③	住民を対象とした講習会等の開催	
④	リハビリ専門職による相談対応	
⑤	困難事例に対する同行訪問	
⑥	その他（↓具体的にご記入ください）	

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(障害者支援施設)

	作成日	令和3年 月 日
施設名	所在地	
回答者(職・氏名)	電話番号	

問1 貴施設の概況についてお知らせください。(複数回答可)

1 併設機関(該当項目全てに○)

	NO	併設機関	該当に○
回答欄	1	相談支援	
	2	居宅介護	
	3	重度障害者等包括支援	
	4	生活介護	
	5	自立訓練(機能訓練)	
	6	自立訓練(生活訓練)	
	7	療養介護	
	8	共同生活援助	
	9	施設入所支援	
	10	短期入所	
	11	障害児相談支援	
	12	児童発達支援	
	13	医療型児童発達支援	
	14	放課後等デイサービス	
	15	居宅訪問型児童発達支援	
	16	保育所等訪問支援	
	17	障害児入所支援	
	18	その他	

問2 千葉県では、「千葉県保健医療計画」を策定し、その中で地域リハビリテーション支援体制の整備・推進を図ることとしており、以下の施策を推進していくこととしていますが、内容を御存じでしたか。(該当する項目1つに○を記入)

千葉県保健医療計画より抜粋

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

回答欄	①	知っていた	→問2-1へ
	②	一部知っていた	
	③	知らなかった	

問2-1 貴施設では、問2に示した地域リハビリテーションに関する取組を行っていますか。(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	多職種による専門的かつ集中的なリハビリテーションの提供	→問2-2へ
	②	介護保険事業所等を含む地域リハ関係機関との連携による支援	

問2-2 問2-1以外で貴施設で地域リハビリテーションの推進のために取組んでいる事があれば記載下さい。

回答欄		→問3
-----	--	-----

・問3～問4については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴施設の連携等についてお聞きするものです。

問3 本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。（該当する項目1つに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問3-1、3-2へ
	②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問3-3へ
	③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→ 問4へ
	④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	

問3-1 問3で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携（依頼）したことがありますか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	→問3-2へ
	②	住民を対象とした講習会等の講師として参加	
	③	広域支援センターが企画する研修会や講演会に参加	
	④	広域支援センターが企画する回復期病棟職員の連絡会に参加	
	⑤	その他（具体的に記入： _____）	

問3-2 問3で①と回答された方にお聞きします。どこの広域支援センターと連携されていますか。連携を図っている広域支援センター全てに○を記入ください。

回答欄	①	千葉地域リハビリテーション広域支援センター（おゆみの中央病院）	問4へ
	②	東葛南部地域リハビリテーション広域支援センター（新八千代病院）	
	③	東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター（旭神経内科リハビリテーション病院）	
	④	印旛地域リハビリテーション広域支援センター（成田リハビリテーション病院）	
	⑤	香取海匠地域リハビリテーション広域支援センター（旭中央病院）	
	⑥	山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター（九十九里病院）	
	⑦	君津地域リハビリテーション広域支援センター（君津中央病院）	
	⑧	安房地域リハビリテーション広域支援センター（亀田総合病院）	
	⑨	市原地域リハビリテーション広域支援センター（白金整形外科病院）	

問3-3 質問3で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	広域支援センターの役割がわからない。	問4へ
	②	連携を図る場や仕組みが無い。	
	③	連携を図る必要性を感じない。	
	④	その他（具体的に記入： _____）	

問4 今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。（該当する項目1つに○を記入）

回答欄	①	必要性を感じる	→ 問4-1へ
	②	必要性をやや感じる	
	③	必要性をあまり感じない	→ 問4-2へ
	④	必要性を感じない	
	⑤	どちらともいえない	→ 問4-3へ

問4-1 問4で①、②と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。（該当する全てに○を記入）

回答欄	①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	問5へ
	②	研修会への講師として参加	
	③	住民を対象とした講習会等の開催	
	④	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ参加	
	⑤	その他（具体的に記入： _____）	

問4-2	問4で③、④と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由をお知らせください。(該当する全てに○を記入)
------	---

回答欄	①	地域リハビリテーションの推進に取り組むことができているから		問5へ
	②	リハビリに関して病診連携をするネットワークがあるため		
	③	広域支援センターの業務に必要な連携メニューがない		
	④	その他(具体的に記入:)		

問4-3	問4で⑤と回答した方に伺います。⑤の回答理由について、御記入ください。
------	-------------------------------------

回答欄		問5へ
-----	--	-----

・問5～問6については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」への協力や関係機関との連携状況についてお伺いします。

問5	今後地域リハビリテーション関係機関の相互連携のため、広域支援センターから協力を依頼した場合、事業に協力いただけますか。(該当する項目1つに○を記入)
----	--

回答欄	①	協力可能である		→問5-1、5-2、5-3
	②	条件によって協力可能である。		
	③	現時点では、協力は難しい。		→問6へ
	④	その他(具体的に記入:)		

問5-1	問5で①、②と回答された方に伺います。どのような職種の方に、御協力いただけますか。(該当する全てに○を記入)
------	--

回答欄	①	医師		→問5-2へ
	②	薬剤師		
	③	理学療法士		
	④	作業療法士		
	⑤	言語聴覚士		
	⑥	看護師		
	⑦	医療ソーシャルワーカー		
	⑧	その他:職種()		

問5-2	問5で①又は②と回答された方にお聞きします。どのような事業内容について、御協力いただけますか。また、報酬が支払われなければ協力できない事業内容はありますか。(該当する全てに○を記入)
------	---

		協力可能事業	報酬を要す事業	
回答欄	①	HP等を活用した地域リハビリテーションの周知		→問5-3へ
	②	貴施設のネットワークを活用した本事業への参加		
	③	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ講師として参加		
	④	住民を対象とした講習会等へ講師として参加		
	⑤	その他(具体的に記入:)		

問5-3	問4で①又は②と回答された方にお聞きします。協力の可否の検討には、どのような条件を重視しますか。回答欄の該当する全てに○をつけてください。また、詳細条件は、ドロップリストより選択してください。
------	--

回答欄	条件		該当に○	→問6へ
	①	頻度による		
	②	場所による		
	③	時間帯による		
	④	対価による		
	⑤	その他		

		詳細条件(ドロップリスト)		
①	頻度による			
②	場所による			
③	時間帯による			
④	対価による			
⑤	その他			

問6 関係機関との連携状況について、番号欄に連携状況について①～④を記入ください。

回答欄	NO	関係機関	番号
	1	病院	
	2	診療所	
	3	訪問看護事業所	
	4	訪問リハビリ事業所	
	5	居宅介護支援事業所	
	6	訪問介護事業所	
	7	訪問入浴事業所	
	8	介護老人保健施設	
	9	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
	10	グループホーム	
	11	特定施設入居者生活介護	
	12	通所介護(デイサービス)	
	13	通所リハビリ(デイケア)	
	14	地域包括支援センター	
	15	在宅介護支援センター	
	16	有料老人ホーム	
	17	相談支援	
	18	居宅介護	
	19	重度障害者等包括支援	
	20	生活介護	
	21	自立訓練(機能訓練)	
	22	自立訓練(生活訓練)	
	23	療養介護	
	24	共同生活援助	
	25	施設入所支援	
	26	短期入所	
	27	障害児相談支援	
	28	児童発達支援	
	29	医療型児童発達支援	
	30	放課後等デイサービス	
	31	居宅訪問型児童発達支援	
	32	保育所等訪問支援	
	33	障害児入所支援	
34	その他		

連携状況
①十分連携している
②やや連携している
③あまり連携できていない
④連携できていない



・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(福祉型障害児入所施設)

	作成日	令和3年 月 日
施設名	所在地	
回答者(職・氏名)	電話番号	

問1 貴施設の概況についてお知らせください。(複数回答可)

1 併設機関(該当項目全てに○)

回答欄	NO	併設機関	該当に○
	1	相談支援	
	2	居宅介護	
	3	重度障害者等包括支援	
	4	生活介護	
	5	自立訓練(機能訓練)	
	6	自立訓練(生活訓練)	
	7	療養介護	
	8	共同生活援助	
	9	施設入所支援	
	10	短期入所	
	11	障害児相談支援	
	12	児童発達支援	
	13	医療型児童発達支援	
	14	放課後等デイサービス	
	15	居宅訪問型児童発達支援	
	16	保育所等訪問支援	
	17	障害児入所支援	
	18	その他	

問2 千葉県では、「千葉県保健医療計画」を策定し、その中で地域リハビリテーション支援体制の整備・推進を図ることとしており、以下の施策を推進していくこととしていますが、内容を御存じでしたか。(該当する項目1つに○を記入)

千葉県保健医療計画より抜粋

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

回答欄	①	知っていた	→問2-1へ
	②	一部知っていた	
	③	知らなかった	

問2-1 貴施設では、問2に示した地域リハビリテーションに関する取組を行っていますか。(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	多職種による専門的かつ集中的なリハビリテーションの提供	→問2-2へ
	②	介護保険事業所等を含む地域リハ関係機関との連携による支援	

問2-2 問2-1以外で貴施設で地域リハビリテーションの推進のために取組んでいる事があれば記載下さい。

回答欄		→問3
-----	--	-----

・問3～問4については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴施設の連携等についてお聞きするものです。

問3 本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。
(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問3-1、3-2へ
	②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問3-3へ
	③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→ 問4へ
	④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	

問3-1 問3で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携(依頼)したことがありますか。
(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	→問3-2へ
	②	住民を対象とした講習会等の講師として参加	
	③	広域支援センターが企画する研修会や講演会に参加	
	④	広域支援センターが企画する回復期病棟職員の連絡会に参加	
	⑤	その他(具体的に記入:)	

問3-2 問3で①と回答された方にお聞きします。どこの広域支援センターと連携されていますか。連携を図っている広域支援センター全てに○を記入ください。

回答欄	①	千葉地域リハビリテーション広域支援センター(おゆみの中央病院)	問4へ
	②	東葛南部地域リハビリテーション広域支援センター(新八千代病院)	
	③	東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター(旭神経内科リハビリテーション病院)	
	④	印旛地域リハビリテーション広域支援センター(成田リハビリテーション病院)	
	⑤	香取海匠地域リハビリテーション広域支援センター(旭中央病院)	
	⑥	山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター(九十九里病院)	
	⑦	君津地域リハビリテーション広域支援センター(君津中央病院)	
	⑧	安房地域リハビリテーション広域支援センター(亀田総合病院)	
	⑨	市原地域リハビリテーション広域支援センター(白金整形外科病院)	

問3-3 質問3で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。
(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	広域支援センターの役割がわからない。	問4へ
	②	連携を図る場や仕組みが無い。	
	③	連携を図る必要性を感じない。	
	④	その他(具体的に記入:)	

問4 今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。
(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	必要性を感じる	→ 問4-1へ
	②	必要性をやや感じる	
	③	必要性をあまり感じない	→ 問4-2へ
	④	必要性を感じない	
	⑤	どちらともいえない	→ 問4-3へ

問4-1 問4で①、②と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	問5へ
	②	研修会への講師として参加	
	③	住民を対象とした講習会等の開催	
	④	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ参加	
	⑤	その他(具体的に記入:)	

問4-2	問4で③、④と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由をお知らせください。(該当する全てに○を記入)
------	---

回答欄	①	地域リハビリテーションの推進に取り組むことができているから		問5へ
	②	リハビリに関して病診連携をするネットワークがあるため		
	③	広域支援センターの業務に必要な連携メニューがない		
	④	その他(具体的に記入:)		

問4-3	問4で⑤と回答した方に伺います。⑤の回答理由について、御記入ください。
------	-------------------------------------

回答欄		問5へ
-----	--	-----

・問5～問6については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」への協力や関係機関との連携状況についてお伺いします。

問5	今後地域リハビリテーション関係機関の相互連携のため、広域支援センターから協力を依頼した場合、事業に協力いただけますか。(該当する項目1つに○を記入)
----	--

回答欄	①	協力可能である		→問5-1、5-2、5-3
	②	条件によって協力可能である。		
	③	現時点では、協力は難しい。		→問6へ
	④	その他(具体的に記入:)		

問5-1	問5で①、②と回答された方に伺います。どのような職種の方に、御協力いただけますか。(該当する全てに○を記入)
------	--

回答欄	①	医師		→問5-2へ
	②	薬剤師		
	③	理学療法士		
	④	作業療法士		
	⑤	言語聴覚士		
	⑥	看護師		
	⑦	医療ソーシャルワーカー		
	⑧	その他:職種()		

問5-2	問5で①又は②と回答された方にお聞きします。どのような事業内容について、御協力いただけますか。また、報酬が支払われなければ協力できない事業内容はありますか。(該当する全てに○を記入)
------	---

		協力可能事業	報酬を要す事業	
回答欄	①	HP等を活用した地域リハビリテーションの周知		→問5-3へ
	②	貴施設のネットワークを活用した本事業への参加		
	③	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ講師として参加		
	④	住民を対象とした講習会等へ講師として参加		
	⑤	その他(具体的に記入:)		

問5-3	問4で①又は②と回答された方にお聞きします。協力の可否の検討には、どのような条件を重視しますか。回答欄の該当する全てに○をつけてください。また、詳細条件は、ドロップリストより選択してください。
------	--

回答欄	条件	該当に○	条件	詳細条件(ドロップリスト)	→問6へ	
	①	頻度による		①		頻度による
	②	場所による		②		場所による
	③	時間帯による		③		時間帯による
	④	対価による		④		対価による
	⑤	その他		⑤		その他

問6 関係機関との連携状況について、番号欄に連携状況について①～④を記入ください。

回答欄	NO	関係機関	番号
	1	病院	
	2	診療所	
	3	訪問看護事業所	
	4	訪問リハビリ事業所	
	5	居宅介護支援事業所	
	6	訪問介護事業所	
	7	訪問入浴事業所	
	8	介護老人保健施設	
	9	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
	10	グループホーム	
	11	特定施設入居者生活介護	
	12	通所介護(デイサービス)	
	13	通所リハビリ(デイケア)	
	14	地域包括支援センター	
	15	在宅介護支援センター	
	16	有料老人ホーム	
	17	相談支援	
	18	居宅介護	
	19	重度障害者等包括支援	
	20	生活介護	
	21	自立訓練(機能訓練)	
	22	自立訓練(生活訓練)	
	23	療養介護	
	24	共同生活援助	
	25	施設入所支援	
	26	短期入所	
	27	障害児相談支援	
	28	児童発達支援	
	29	医療型児童発達支援	
	30	放課後等デイサービス	
	31	居宅訪問型児童発達支援	
	32	保育所等訪問支援	
	33	障害児入所支援	
34	その他		

連携状況
①十分連携している
②やや連携している
③あまり連携できていない
④連携できていない

・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(医療型障害児入所施設)

	作成日	令和3年 月 日
施設名	所在地	
回答者(職・氏名)	電話番号	

問1 貴施設の概況についてお知らせください。(複数回答可)

1 併設機関(該当項目全てに○)

回答欄	NO	併設機関	該当に○
	1	相談支援	
	2	居宅介護	
	3	重度障害者等包括支援	
	4	生活介護	
	5	自立訓練(機能訓練)	
	6	自立訓練(生活訓練)	
	7	療養介護	
	8	共同生活援助	
	9	施設入所支援	
	10	短期入所	
	11	障害児相談支援	
	12	児童発達支援	
	13	医療型児童発達支援	
	14	放課後等デイサービス	
	15	居宅訪問型児童発達支援	
	16	保育所等訪問支援	
	17	障害児入所支援	
	18	その他	

問2 千葉県では、「千葉県保健医療計画」を策定し、その中で地域リハビリテーション支援体制の整備・推進を図ることとしており、以下の施策を推進していくこととしていますが、内容を御存じでしたか。(該当する項目1つに○を記入)

千葉県保健医療計画より抜粋

○予防的リハビリテーション、急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期リハビリテーションを患者の症状に応じて適切な時期に行っていくためには、地域の医療機関、介護保険施設、市町村等の連携を強化・推進していくことが重要であることから、連携・支援の中核となる地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに概ね1箇所指定するとともに、広域支援センターの支援機能を補完する役割を担う「ちば地域リハ・パートナー」などの協力医療機関等を指定するほか、職能団体や市町村等行政機関との連携・協力を進め、保健・医療・福祉等の関係機関をつなぐ、有機的な連携体制の整備・促進を図ります。

回答欄	①	知っていた	→問2-1へ
	②	一部知っていた	
	③	知らなかった	

問2-1 貴施設では、問2に示した地域リハビリテーションに関する取組を行っていますか。(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	多職種による専門的かつ集中的なりハビリテーションの提供	→問2-2へ
	②	介護保険事業所等を含む地域リハ関係機関との連携による支援	

問2-2 問2-1以外で貴施設で地域リハビリテーションの推進のために取組んでいる事があれば記載下さい。

回答欄	→問3
-----	-----

・問3～問4については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴施設の連携等についてお聞きするものです。

問3 本事業を円滑に推進するため、二次保健医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。
(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問3-1、3-2へ
	②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問3-3へ
	③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	→ 問4へ
	④	広域支援センターの名前は聞いたことがない。	

問3-1 問3で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携(依頼)したことがありますか。
(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	→問3-2へ
	②	住民を対象とした講習会等の講師として参加	
	③	広域支援センターが企画する研修会や講演会に参加	
	④	広域支援センターが企画する回復期病棟職員の連絡会に参加	
	⑤	その他(具体的に記入:)	

問3-2 問3で①と回答された方にお聞きします。どこの広域支援センターと連携されていますか。連携を図っている広域支援センター全てに○を記入ください。

回答欄	①	千葉地域リハビリテーション広域支援センター(おゆみの中央病院)	問4へ
	②	東葛南部地域リハビリテーション広域支援センター(新八千代病院)	
	③	東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター(旭神経内科リハビリテーション病院)	
	④	印旛地域リハビリテーション広域支援センター(成田リハビリテーション病院)	
	⑤	香取海匠地域リハビリテーション広域支援センター(旭中央病院)	
	⑥	山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター(九十九里病院)	
	⑦	君津地域リハビリテーション広域支援センター(君津中央病院)	
	⑧	安房地域リハビリテーション広域支援センター(亀田総合病院)	
	⑨	市原地域リハビリテーション広域支援センター(白金整形外科病院)	

問3-3 質問3で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。
(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	広域支援センターの役割がわからない。	問4へ
	②	連携を図る場や仕組みが無い。	
	③	連携を図る必要性を感じない。	
	④	その他(具体的に記入:)	

問4 今後、広域支援センターとの連携の必要性についてどのように考えていますか。
(該当する項目1つに○を記入)

回答欄	①	必要性を感じる	→ 問4-1へ
	②	必要性をやや感じる	
	③	必要性をあまり感じない	→ 問4-2へ
	④	必要性を感じない	
	⑤	どちらともいえない	→ 問4-3へ

問4-1 問4で①、②と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。(該当する全てに○を記入)

回答欄	①	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	問5へ
	②	研修会への講師として参加	
	③	住民を対象とした講習会等の開催	
	④	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ参加	
	⑤	その他(具体的に記入:)	

問4-2	問4で③、④と回答した方に伺います。今後、広域支援センターとの連携の必要性を感じない理由をお知らせください。(該当する全てに○を記入)
------	---

回答欄	①	地域リハビリテーションの推進に取り組むことができているから		問5へ
	②	リハビリに関して病診連携をするネットワークがあるため		
	③	広域支援センターの業務に必要な連携メニューがない		
	④	その他(具体的に記入:)		

問4-3	問4で⑤と回答した方に伺います。⑤の回答理由について、御記入ください。
------	-------------------------------------

回答欄		問5へ
-----	--	-----

・問5～問6については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」への協力や関係機関との連携状況についてお伺いします。

問5	今後地域リハビリテーション関係機関の相互連携のため、広域支援センターから協力を依頼した場合、事業に協力いただけますか。(該当する項目1つに○を記入)
----	--

回答欄	①	協力可能である		→問5-1、5-2、5-3
	②	条件によって協力可能である。		
	③	現時点では、協力は難しい。		→問6へ
	④	その他(具体的に記入:)		

問5-1	問5で①、②と回答された方に伺います。どのような職種の方に、御協力いただけますか。(該当する全てに○を記入)
------	--

回答欄	①	医師		→問5-2へ
	②	薬剤師		
	③	理学療法士		
	④	作業療法士		
	⑤	言語聴覚士		
	⑥	看護師		
	⑦	医療ソーシャルワーカー		
	⑧	その他:職種()		

問5-2	問5で①又は②と回答された方にお聞きします。どのような事業内容について、御協力いただけますか。また、報酬が支払われなければ協力できない事業内容がありますか。(該当する全てに○を記入)
------	---

		協力可能事業	報酬を要す事業	
回答欄	①	HP等を活用した地域リハビリテーションの周知		→問5-3へ
	②	貴施設のネットワークを活用した本事業への参加		
	③	リハビリ関係機関を対象とした研修会へ講師として参加		
	④	住民を対象とした講習会等へ講師として参加		
	⑤	その他(具体的に記入:)		

問5-3	問4で①又は②と回答された方にお聞きします。協力の可否の検討には、どのような条件を重視しますか。回答欄の該当する全てに○をつけてください。また、詳細条件は、ドロップリストより選択してください。
------	--

回答欄	条件		該当に○	→問6へ
	①	頻度による		
	②	場所による		
	③	時間帯による		
	④	対価による		
	⑤	その他		

		詳細条件(ドロップリスト)		
①	頻度による			→問6へ
②	場所による			
③	時間帯による			
④	対価による			
⑤	その他			

問6 関係機関との連携状況について、番号欄に連携状況について①～④を記入ください。

回答欄	NO	関係機関	番号
	1	病院	
	2	診療所	
	3	訪問看護事業所	
	4	訪問リハビリ事業所	
	5	居宅介護支援事業所	
	6	訪問介護事業所	
	7	訪問入浴事業所	
	8	介護老人保健施設	
	9	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
	10	グループホーム	
	11	特定施設入居者生活介護	
	12	通所介護(デイサービス)	
	13	通所リハビリ(デイケア)	
	14	地域包括支援センター	
	15	在宅介護支援センター	
	16	有料老人ホーム	
	17	相談支援	
	18	居宅介護	
	19	重度障害者等包括支援	
	20	生活介護	
	21	自立訓練(機能訓練)	
	22	自立訓練(生活訓練)	
	23	療養介護	
	24	共同生活援助	
	25	施設入所支援	
	26	短期入所	
	27	障害児相談支援	
	28	児童発達支援	
	29	医療型児童発達支援	
	30	放課後等デイサービス	
	31	居宅訪問型児童発達支援	
	32	保育所等訪問支援	
	33	障害児入所支援	
34	その他		

連携状況
①十分連携している
②やや連携している
③あまり連携できていない
④連携できていない

・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

御協力いただき、ありがとうございました。